

大学院環境科学学院

年次報告書

平成 23 年度～平成 24 年度



北海道大学大学院環境科学学院

北海道大学大学院環境科学院  
年次報告書 平成23年度～24年度

目次

はじめに	. . . . .	1
<b>I 組織</b>	. . . . .	2
1 沿革	. . . . .	3
2 教員組織	. . . . .	5
3 事務組織	. . . . .	9
4 各種委員会	. . . . .	10
<b>II 学生の受入</b>	. . . . .	12
5 入学試験	. . . . .	13
6 学生定員と現員の推移	. . . . .	14
7 留学生数の推移と支援体制	. . . . .	17
<b>III 教育活動</b>	. . . . .	20
8 専攻・コース編成	. . . . .	21
9 カリキュラム編成	. . . . .	22
10 公開コースの開催	. . . . .	26
<b>IV 成果</b>	. . . . .	32
11 学位取得状況	. . . . .	33
12 研究成果発表状況	. . . . .	52
13 修了後の進路	. . . . .	104
<b>V 補遺</b>	. . . . .	106
14 規程	. . . . .	107
15 予算	. . . . .	110
16 安全管理	. . . . .	110
17 協定	. . . . .	111



## はじめに

環境科学院は、平成17年に地球環境科学研究科を改組し、教員所属組織である地球環境科学研究所と、それまでも協力講座として参画していた低温科学研究所、電子科学研究所、触媒化学研究センターに加え、水産科学研究所、北方生物圏フィールド科学センターと学外から連携機関として防災科学技術研究所の参画を得、教員総数は150余名、入学定員は修士161名、博士64名の、特定の学部を持たない総合的な環境科学の大学院として発足しました。その後、サステナビリティ学教育研究センターおよび創成研究機構の教員も参画し、他方、参画部局の一部教員の他学院への異動および防災科学技術研究所が抜ける等の変遷を経て現在に至っています。現在は、教員数は約140名、学生入学定員は修士159名、博士63名です。

環境科学院では、中期目標期間の報告書を引き継ぐ形で、一昨年、平成20年度から平成22年度の3年分の年次報告書を作成しました。今回は平成23年度、平成24年度をまとめて発行します。環境科学をどのように教育し、どのような人材を世に送り出していくべきかという問題とともに、少子化に伴って大学進学者が減っている昨今の状況を踏まえ、今後どのように学院を運営していくかは、学部を持たない独立大学院である環境科学院にとっては重要な問題です。そのような問題を正しく考えていくためには、現状を正しく認識することが不可欠です。この報告書はそのための基礎資料とすることを目指しております。

北海道大学大学院環境科学院長 久保川 厚





# I 組 織



# 1 沿革

## 大学院環境科学研究科

1977(昭和52年)	4月1日	大学院環境科学研究科が設置される
	4月1日	環境計画学専攻修士課程, 環境構造学専攻修士課程, 社会環境学専攻修士課程, 環境保全学専攻修士課程が設置される
	4月1日	環境計画学専攻博士後期課程が設置される
	4月1日	環境構造学専攻博士後期課程が設置される
1979(昭和54年)	4月1日	社会環境学専攻博士後期課程, 環境保全学専攻博士後期課程が設置される
1980(昭和55年)	3月10日	管理棟・研究棟(現在のA棟)・実験棟(6,898㎡)竣工
1987(昭和62年)	10月17日	大学院環境科学研究科創立10周年記念式典・祝賀会を開催
1988(昭和63年)	2月20日	大学院環境科学研究科創立10周年記念公開シンポジウムを開催

## 大学院地球環境科学研究科

1993(平成5年)	4月1日	大学院地球環境科学研究科が設置される
	4月1日	地圏環境科学専攻(修士課程, 博士後期課程), 生態環境科学専攻(修士課程, 博士後期課程), 物質環境科学専攻(修士課程, 博士後期課程)が設置される
	7月14日	アメリカ合衆国・イリノイ大学大学院シカゴ校と部局間交流協定を締結
1994(平成6年)	4月1日	大気海洋圏環境科学専攻修士課程が設置される
1995(平成7年)	3月16日	インドネシア共和国・パラカラヤ大学と部局間交流協定を締結
1996(平成8年)	2月9日	イギリス・ノッチングム大学と部局間交流協定を締結(～2002(平成14年)2月6日)
	4月1日	大気海洋圏環境科学専攻博士後期課程が設置される
	12月2日	研究棟(現在のB棟)(第一期4,580㎡)竣工
1997(平成9年)	10月17日	ネパール連邦民主共和国・トリバン大学科学技術研究科と部局間交流協定を締結
	11月17日	中華人民共和国・蘭州大学資源環境学院と部局間交流協定を締結
1998(平成10年)	1月16日	マレーシア連邦・サバ大学科学技術研究科と部局間交流協定を締結(～2003(平成15年)1月15日)
2000(平成12年)	3月27日	研究棟(現在のC棟)(第二期5,282㎡)竣工
2003(平成15年)	9月29日	大学院地球環境科学研究科創立10周年記念シンポジウム・祝賀会を開催

## 大学院環境科学院

2005(平成17年)	4月1日	大学院地球環境科学研究院が設置される
	4月1日	統合環境科学部門, 地球圏科学部門, 環境生物科学部門, 物質機能科学部門が設置される
	4月1日	大学院環境科学院が設置される
	4月1日	環境起学専攻(修士課程, 博士後期課程), 地球圏科学専攻(修士課程, 博士後期課程), 生物圏科学専攻(修士課程, 博士後期課程), 環境物質科学専攻(修士課程, 博士後期課程)が設置される
2006(平成18年)	8月26日	インドネシア共和国・パラカラヤ大学と大学間交流協定を締結
2007(平成19年)	6月13日	スイス連邦・スイス連邦工科大学チューリッヒ校と大学間交流協定を締結
2009(平成21年)	12月24日	講義棟(614㎡)竣工
2010(平成22年)	9月2日	中華民国・国立成功大学と部局間交流協定を締結
	10月24日	ネパール連邦民主共和国・トリバン大学と大学間交流協定を締結
	10月29日	中華人民共和国・東南大学と大学間交流協定を締結
2011(平成23年)	4月1日	大学院地球環境科学研究院の分野を一部再編, 大学院環境科学院のコースを一部再編
	4月13日	(株)星野リゾート・トマムとの間で連携協定を締結
	12月15日	環境中間支援会議・北海道との間で連携協定を締結
2012(平成24年)	5月31日	ドイツ連邦民主共和国・GEOMAR   Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel と部局間交流協定を締結
	6月25日	中華民国・国立東華大学環境科学院と部局間交流協定を締結
	9月21日	(株)星野リゾート・トマム及び占冠村との間で連携協定を締結
2013(平成25年)	1月22日	アメリカ合衆国・ユタ大学大学院ナノ研究所と部局間交流協定を締結
	7月29日	北海道コカ・コーラボトリング株式会社との間で連携協定を締結

## 1-2 歴代研究科長，研究院長・学院長

職 名	氏 名	在 任 期 間
大学院環境科学研究科長	関 清 秀	1977 (昭和 52 年) 4 月 1 日～1979 (昭和 54 年) 3 月 31 日
	高 桑 栄 松	1979 (昭和 54 年) 4 月 1 日～1980 (昭和 55 年) 3 月 31 日
	明 道 博	1980 (昭和 55 年) 4 月 1 日～1982 (昭和 57 年) 3 月 31 日
	太 田 實	1982 (昭和 57 年) 4 月 1 日～1986 (昭和 61 年) 3 月 31 日
	伊 藤 浩 司	1986 (昭和 61 年) 4 月 1 日～1990 (平成 2 年) 3 月 31 日
	黒 柳 俊 雄	1990 (平成 2 年) 4 月 1 日～1992 (平成 4 年) 3 月 31 日
	小 島 豊	1992 (平成 4 年) 4 月 1 日～1993 (平成 5 年) 3 月 31 日
大学院地球環境科学研究科長	堀 浩	1993 (平成 5 年) 4 月 1 日～1995 (平成 7 年) 3 月 31 日
	戸 倉 清 一	1995 (平成 7 年) 4 月 1 日～1998 (平成 10 年) 3 月 31 日
	西 則 雄	1998 (平成 10 年) 4 月 1 日～2002 (平成 14 年) 3 月 31 日
	池 田 元 美	2002 (平成 14 年) 4 月 1 日～2005 (平成 17 年) 3 月 31 日
大学院地球環境科学研究院長・ 大学院環境科学学院院长	池 田 元 美	2005 (平成 17 年) 4 月 1 日～2007 (平成 19 年) 3 月 31 日
	岩 熊 敏 夫	2007 (平成 19 年) 4 月 1 日～2009 (平成 21 年) 3 月 31 日
	南 川 雅 男	2009 (平成 21 年) 4 月 1 日～2011 (平成 23 年) 3 月 31 日
	嶋 津 克 明	2011 (平成 23 年) 4 月 1 日～2013 (平成 25 年) 9 月 30 日
	久 保 川 厚	2013 (平成 25 年) 10 月 1 日～

## 2 教員組織

平成23年度

学院長 嶋津 克明  
副学院長 久保川 厚  
副学院長 甲山 隆司

23.4.1現在

専攻	コース	教授	准教授	講師	助教	助手
環境起学専攻 専攻長 露崎 史朗	人間・生態システム	高田 壯則 露崎 史朗 渡邊 悌二 平川 一臣	藤井 賢彦 石川 守 白岩 孝行 佐竹 暁子		澤柿 教伸 佐藤 友徳 根岸淳二郎 戸田 求 宮崎 真	
	環境適応科学	古月 文志	新岡 正 豊田 和弘 沖野 龍文		藏崎 正明	
	実践環境科学	小野 有吾 山中 康裕 笹 賀一郎			岡田 直資	
	国際環境保全	南川 雅男 田中 俊逸 田中 教幸				
地球圏科学 専攻 専攻長 杉本 敦子	大気海洋化学・環境変遷学	杉本 敦子 吉川 久幸 河村 公隆	山本 正伸 鈴木 光次 山下 洋平 西岡 純 渡辺 豊 関 宰		入野 智久 亀山 宗彦 宮崎 雄三 岩花 剛 濱田 洋平	
	雪氷・寒冷圏科学	藤吉 康志 渡辺 力 佐藤 篤司 グレーベ, ラルフ・ ギュンター	白澤 邦男 中井 専人	杉山 慎	石井 吉之 兒玉 裕二 曾根 敏雄 的場 澄人 下山 宏 飯塚 芳徳	
	大気海洋物理学・気候力学	久保川 厚 山崎 孝治 長谷部文雄 大島慶一郎 江淵 直人 三寺 史夫	谷本 陽一 藤原 正智 青木 茂 堀之内 武 深町 康	中村 知裕	水田 元太 豊田 威信 川島 正行	

専攻	コース	教授	准教授	講師	助教	助手
生物圏科学 専攻 専攻長 大原 雅	生態系生物学	戸田 正憲 原 登志彦 福井 学	隅田 明洋 笠原 康裕 落合 正則		大舘 智志 小野 清美 小島 久弥 長谷川成明	
	生態遺伝学	木村 正人 大原 雅	鈴木 仁 三浦 徹			吉田 磨仁
	分子生物学	森川 正章	奥山英登志 山崎 健一		鷺尾 健司 <u>三輪 京子</u>	
	植物生態学	甲山 隆司	春木 雅寛 工藤 岳		久保 拓弥	
	動物生態学	東 正剛	野田 隆史		<u>小泉 逸郎</u>	
	海洋圏科学	岸 道郎 門谷 茂	工藤 勲		上野 洋路	
	水圏生物学	上田 宏 本村 泰三 山羽 悦郎 仲岡 雅裕	宗原 弘幸 宮下 和士 長里千香子		山本 潤 三谷 曜子 四ツ倉典滋 傳法 隆	
	森林圏環境学	佐藤 冬樹 神沼公三郎 日浦 勉 齊藤 隆	車 柱榮 門松 昌彦 柴田 英昭 植村 滋 吉田 直樹 俊也		野村 睦 高木健太郎 中路 達郎 岸田 治 夏目 俊二 中村 誠宏 <u>福澤加里部</u>	
耕地圏科学	荒木 肇 山田 敏彦 秦 寛			平田 聡之 星野洋一郎 高橋 誠		
環境物質科学 専攻 専攻長 坂入 信夫	生体物質科学	坂入 信夫 松田 冬彦	山田 幸司		梅澤 大樹	
	ナノ環境材料	嶋津 克明 中村 博 小西 克明	神谷 裕一 吉田 登 川口 俊一 廣川 淳		中田 耕 七分 勇勝	
	光電子科学	太田 信廣 中村 貴義	中林 孝和 野呂真一郎		飯森 俊文 久保 和也	
	環境触媒化学	大澤 雅俊 大谷 文章	叶 深 阿部 竜		天野 史章	

※斜体は特任教員・ゴシックは再雇用教員を示す。

平成24年度

学院長 嶋津 克明  
副学院長 久保川 厚  
副学院長 甲山 隆司

24.4.1現在

専攻	コース	教授	准教授	講師	助教	助手
環境起学専攻 専攻長 渡邊 悌二	人間・生態システム	高田 壯則 露崎 史朗 渡邊 悌二 荒井 眞一	藤井 賢彦 石川 守 白岩 孝行 佐竹 暁子		澤柿 教伸 佐藤 友徳 根岸 淳二郎 宮崎 眞	
	環境適応科学	古月 文志	新岡 正 豊田 和弘 沖野 龍文		藏崎 正明	
	実践環境科学	山中 康裕			岡田 直資	
	国際環境保全	田中 俊逸 田中 教幸				
地球圏科学 専攻 専攻長 三寺 史夫	大気海洋化学・環境変遷学	杉本 敦子 吉川 久幸 河村 公隆	山本 正伸 鈴木 光次 山下 洋平 西岡 純 渡辺 豊 関 宰		入野 智久 亀山 宗彦 宮崎 雄三 濱田 洋平 島村 道代	
	雪氷・寒冷圏科学	藤吉 康志 渡辺 力 グレーベ, ラルフ・ ギュンター		杉山 慎	石井 吉之 曾根 敏雄 的場 澄人 下山 宏 飯塚 芳徳	
	大気海洋物理学・気候力学	久保川 厚 山崎 孝治 長谷部文雄 大島慶一郎 江淵 直人 三寺 史夫	谷本 陽一 藤原 正智 青木 茂 堀之内 武 深町 康	中村 知裕	水田 元太 豊田 威信 川島 正行 松村 義正	
生物圏科学 専攻 専攻長 齊藤 隆	生態系生物学	原 登志彦 福井 学	隅田 明洋 笠原 康裕 落合 正則		大舘 智志 小野 清美 小島 久弥 長谷川成明	
	生態遺伝学	木村 正人 大原 雅	鈴木 仁 三浦 徹			吉田 磨仁
	分子生物学	森川 正章	奥山英登志 山崎 健一		鷺尾 健司 三輪 京子	
	植物生態学	甲山 隆司	春木 雅寛 工藤 岳		久保 拓弥	
	動物生態学	東 正剛	野田 隆史		小泉 逸郎	
	海洋圏科学	岸 道郎 門谷 茂	工藤 勲		上野 洋路	
	水圏生物学	上田 宏 本村 泰三 山羽 悦郎 仲岡 雅裕 宮下 和士	宗原 弘幸 長里千香子 四ツ倉典滋		山本 潤 三谷 曜子 傳法 隆	
	森林圏環境学	佐藤 冬樹 神沼公三郎 日浦 勉 齊藤 隆 柴田 英昭 吉田 俊也	車 柱榮 門松 昌彦 植村 滋 揚妻 直樹 高木健太郎		野村 睦 中路 達郎 岸田 治 中村 誠宏 福澤加里部	
耕地圏科学	荒木 肇 山田 敏彦 秦 寛	星野洋一郎		平田 聡之 高橋 誠		

専攻	コース	教授	准教授	講師	助教	助手
環境物質科学 専攻 専攻長 松田 冬彦	生体物質科学	坂入 信夫 松田 冬彦	山田 幸司		梅澤 大樹	
	ナノ環境材料	嶋津 克明 中村 博 小西 克明	神谷 裕一 吉田 登 川口 俊一 廣川 淳		中田 耕 七分 勇勝	
	光電子科学	太田 信廣 中村 貴義	中林 孝和 野呂真一郎		飯森 俊文 久保 和也	
	環境触媒化学	大澤 雅俊 大谷 文章	叶 深		本林 健太 高瀬 舞	

※ 斜体は特任教員・ゴシックは再雇用教員を示す。

### 3 事務組織

平成23年度 環境科学事務部  事務長 久保 修	担 当	係 長	主 任		一般職員	契約職員等
	総 務	濱 勝博	佐藤 優子			梅原 美佳(事務補佐員)
	学術助成	山下 昌利	北野 修司	芳岡 英美	高嶋 和希	長谷川峰子(事務補助員)
	会 計	柴野 仁	沖田 正彦		小林 由宜	井筒菜津美(事務補助員)
	図 書	竹鼻 敏治				

GCOEユニット 拠点リーダー 山中 康裕	特任助教	事務補佐員			
	岡田 直資	秋田 玲希	小笠原のぞみ	堀 紘子	
		倉品佐千子	村木 菜美		

GCOE 環境教育 研究交流推進室	特定専門職員 (GCOE 上級コーディネータ)		特定専門職員 (GCOE コー ディネータ)	博士研究員
	中村 一樹	渡辺 保史	吉村 暢彦	佐藤 祐介

平成24年度 環境科学事務部  事務長 久保 修	担 当	係 長	主 任		一般職員	契約職員等
	総 務	山羽 好幸	佐藤 優子			梅原 美佳(事務補佐員)
	学術助成	山下 昌利	千葉 修士	伊藤 郁子	金澤 希	長谷川峰子(事務補助員)
	会 計	柴野 仁	山田 睦代		小林 由宜	本多 智子(事務補助員)
	図 書	菊池 健二				

GCOEユニット 拠点リーダー 山中 康裕	特任助教	事務補佐員			
	島村 道代	秋田 玲希	小笠原のぞみ	堀 紘子	
		倉品佐千子	村木 菜美		

GCOE 環境教育 研究交流推進室	特定専門職員 (GCOE 上級コー ディネータ)	特定専門職員 (GCOE コーディ ネータ)	博士研究員
	中村 一樹	吉村 暢彦	佐藤 祐介

## 4 各種委員会

平成23年度

委員会名	環境起学	地球圏科学	生物圏科学	環境物質科学	副学院長	職指定		事務選出委員	事務所掌	備考
専攻長会議	露崎 史朗	杉本 敦子	大原 雅	坂入 信夫	久保川 厚 甲山 隆司	学院長	専攻長		総務担当	申合せで明記
学院人事委員会	露崎 史朗	杉本 敦子	大原 雅	坂入 信夫	久保川 厚 甲山 隆司	学院長	専攻長		総務担当	内規で明記
教務委員会	渡邊 悌二	山崎 孝治	奥山英登志	松田 冬彦	久保川 厚 甲山 隆司	学院長			学術助成担当	
入試委員会	露崎 史朗	杉本 敦子	大原 雅	坂入 信夫	久保川 厚 甲山 隆司	学院長	専攻長		学術助成担当	
点検評価委員会	露崎 史朗	杉本 敦子	大原 雅	坂入 信夫	久保川 厚 甲山 隆司	学院長	専攻長	事務長	総務担当	内規で明記
将来計画委員会	露崎 史朗	杉本 敦子	大原 雅	坂入 信夫	久保川 厚 甲山 隆司	学院長	専攻長		総務担当	
安全管理委員会	露崎 史朗	杉本 敦子	大原 雅	坂入 信夫	久保川 厚 甲山 隆司	学院長	専攻長	事務長 会計係長	会計担当	
環境委員会	露崎 史朗	杉本 敦子	大原 雅	坂入 信夫	久保川 厚 甲山 隆司	学院長	専攻長		会計担当	
広報委員会	沖野 龍文	山下 洋平	長谷川成明	川口 俊一					総務担当	
WEBサイト管理委員会	澤柿 教伸	入野 智久 川島 正行	久保 拓弥 吉田 磨仁	川口 俊一		学院長 (わかず)			総務担当	
学生委員会	高田 壯則	長谷部文雄	木村 正人	坂入 信夫					学術助成担当	
留学生支援委員会	古月 文志	江淵 直人	上田 宏	坂入 信夫	久保川 厚 甲山 隆司	学院長				※1
人材育成委員会	田中 教幸	鈴木 光次	岸 道郎	坂入 信夫	久保川 厚 甲山 隆司	学院長				※2
コース代表教員	高田 壯則 古月 文志 山中 康裕 山中 俊逸	吉川 久幸 渡辺 直人 江淵	福井 学雅 大原 正隆 森川 剛 甲山 正 東 藤 本 村 齊 泰 藤 三 山 隆 田 敏彦	松田 冬彦 小西 克明 太田 信廣 大澤 雅俊						

H23.4.1

※1 (GCOE委員)山中 康裕・杉本 敦子・古月 文志

※2 (GCOE委員)山中 康裕・杉本 敦子・大原 雅・(低温科学研究所)大島慶一郎

平成24年度

委員会名	環境起学	地球圏科学	生物圏科学	環境物質科学	副学院長	職指定		事務選出委員	事務所掌	備考
専攻長会議	渡邊 悌二	三寺 史夫	齊藤 隆	松田 冬彦	久保川 厚 甲山 隆司	学院長	専攻長		総務担当	甲合 せで 明記
学院人事委員会	渡邊 悌二	三寺 史夫	齊藤 隆	松田 冬彦	久保川 厚 甲山 隆司	学院長	専攻長		総務担当	内規 で 明記
教務委員会	露崎 史朗	渡辺 豊	奥山英登志	小西 克明	久保川 厚 甲山 隆司	学院長			学術助成 担当	
入試委員会	渡邊 悌二	三寺 史夫	齊藤 隆	松田 冬彦	久保川 厚 甲山 隆司	学院長	専攻長		学術助成 担当	
点検評価委員会	渡邊 悌二	三寺 史夫	齊藤 隆	松田 冬彦	久保川 厚 甲山 隆司	学院長	専攻長	事務長	総務担当	内規 で 明記
将来計画委員会	渡邊 悌二	三寺 史夫	齊藤 隆	松田 冬彦	久保川 厚 甲山 隆司	学院長	専攻長		総務担当	
安全管理委員会	渡邊 悌二	三寺 史夫	齊藤 隆	松田 冬彦	久保川 厚 甲山 隆司	学院長	専攻長	事務長 会計係長	会計担当	
環境委員会	渡邊 悌二	三寺 史夫	齊藤 隆	松田 冬彦	久保川 厚 甲山 隆司	学院長	専攻長		会計担当	
広報委員会	沖野 龍文	山下 洋平	長谷川成明	川口 俊一					総務担当	
WEB サイト 管理 委員会	澤柿 教伸	入野 智久 川島 正行	久保 拓弥 吉田 磨仁	川口 俊一		学院長 (初 サ-ハ -)			総務担当	
学生 委員会	高田 壯則	長谷部文雄	木村 正人	松田 冬彦					学術助成 担当	
留学生 支援 委員会	藤井 賢彦	杉本 敦子	上田 宏	太田 信廣	久保川 厚 甲山 隆司	学院長				※1
人材育成 委員会	田中 教幸	鈴木 光次	岸 道郎	松田 冬彦	久保川 厚 甲山 隆司	学院長				※2
コース 代表教員	露崎 史朗 新岡 正裕 山中 康裕 山田 教幸	渡辺 豊 渡辺 力 長谷部 文雄	福井 学 大原 雅 森川 正 甲山 隆 野田 史 岸 道 宮下 和 柴田 士 山田 英 敏彦	坂入 信夫 小西 克 中村 明 大澤 貴 大 雅 大 俊						

H24.4.1

※1 (GCOE委員)山中 康裕・杉本 敦子・石川 守

※2 (GCOE委員)山中 康裕・杉本 敦子・大原 雅



## Ⅱ 学生の受入



## 5 入学試験

### 平成23年度

秋季入試：博士後期課程	平成22年	8月26日(木)
修士(博士前期)課程	平成22年	8月26日(木) 27日(金)
春季入試：博士後期課程	平成23年	3月1日(火)
修士(博士前期)課程	平成23年	3月1日(火) 2日(水)
入試説明会 第1回	平成22年	5月22日(土) 23日(日) 26日(水)
第2回	平成22年	11月27日(土) 28日(日) 12月7日(火)

### 平成24年度

秋季入試：博士後期課程	平成23年	8月25日(木)
修士(博士前期)課程	平成23年	8月25日(木) 26日(金)
春季入試：博士後期課程	平成24年	2月28日(火)
修士(博士前期)課程	平成24年	2月28日(火) 29日(水)
入試説明会 第1回	平成23年	5月21日(土) 22日(日) 24日(火)
第2回	平成23年	10月29日(土) 30日(日) 11月1日(火)

## 6 学生定員と現員の推移

### 6-1. 入学定員

#### ①博士後期課程

(単位：人)

専攻	平成 23 年度	平成 24 年度
環境起学専攻	15	15
地球圏科学専攻	14	14
生物圏科学専攻	23	23
環境物質科学専攻	11	11
計	63	63

#### ②修士課程（博士前期課程）

(単位：人)

専攻	平成 23 年度	平成 24 年度
環境起学専攻	44	44
地球圏科学専攻	35	35
生物圏科学専攻	52	52
環境物質科学専攻	28	28
計	159	159

## 6-2. 入学者数

### ①博士後期課程

(単位：人(％))

専攻	平成 23 年度	平成 24 年度
環境起学専攻	21 (140%)	7 (47%)
地球圏科学専攻	10 (71%)	10 (71%)
生物圏科学専攻	14 (61%)	16 (70%)
環境物質科学専攻	10 (91%)	9 (82%)
計	55 (87%)	42 (67%)

### ②修士課程 (博士前期課程)

(単位：人(％))

専攻	平成 23 年度	平成 24 年度
環境起学専攻	35 (80%)	26 (59%)
地球圏科学専攻	35 (100%)	20 (57%)
生物圏科学専攻	54 (104%)	55 (105%)
環境物質科学専攻	32 (114%)	34 (121%)
計	156 (98%)	135 (85%)

(注1) ( ) は、入学定員に対する充足率を示す。

(注2) 10月入学者数を含む。

### 6-3. 在籍者数

#### ① 博士後期課程

(単位：人)

専攻	平成 23 年度	平成 24 年度
環境起学専攻	39	47
地球圏科学専攻	45	49
生物圏科学専攻	64	57
環境物質科学専攻	28	28
計	176	181

#### ② 修士課程 (博士前期課程)

(単位：人)

専攻	平成 23 年度	平成 24 年度
環境起学専攻	66	64
地球圏科学専攻	62	58
生物圏科学専攻	99	110
環境物質科学専攻	55	68
計	282	300

(注) 各年度 5 月 1 日現在の数

## 7 留学生数の推移と支援体制

### 7-1. 留学生数（全体）

#### ① 博士後期課程 （単位：人）

専攻	平成 23 年度	平成 24 年度
環境起学専攻	18	21
地球圏科学専攻	15	16
生物圏科学専攻	15	14
環境物質科学専攻	10	12
計	58	63

#### ② 修士課程（博士前期課程） （単位：人）

専攻	平成 23 年度	平成 24 年度
環境起学専攻	7	12
地球圏科学専攻	4	3
生物圏科学専攻	3	3
環境物質科学専攻	5	2
計	19	20

（注）各年度 5 月 1 日現在の数

## 7-2. 留学生数（国別）

（単位：人）

地域	日本語による 国名・地域名	平成 23 年度		平成 24 年度	
		博士後期	修士	博士後期	修士
アジア	インド	4		3	
	インドネシア	5		6	1
	韓国	3		3	
	シンガポール		1		1
	スリランカ		1		1
	タイ	2	1	3	
	台湾	1		1	
	中国	19	10	23	14
	ネパール	2	1	3	
	バングラデシュ	7	1	6	1
	フィリピン	3	1	4	
	ブルネイ	1		1	
	マレーシア	1		1	
	モンゴル	3	1	2	1
アフリカ	ガーナ	2		2	
	ナイジェリア	1	1	1	
	ベナン	1		1	
	マダガスカル				1
北米	アメリカ		1		
中南米	ガイアナ			1	
	ブラジル	1			
ヨーロッパ	セルビア	1		1	
	ロシア	1		1	
	計	58	19	63	20

（注）各年度 5 月 1 日現在の数

### 7-3. 留学生の支援体制

#### (1) 留学生支援委員会

留学生の国費留学生や各種奨学金の応募，私費留学生特待制度（下記）に関わるプロジェクト公募および候補者の選考，各年度の特待生研究発表会の開催および国際パーティーの実施支援を行った。

#### (2) 北海道大学国際本部の私費留学生特待制度による博士後期課程生の支援

北海道大学が入学金・学費相当額を支援，受入れ研究者が年間 100 万円を超える研究補助員経費を負担する私費留学生特待制度により，各年度 2 名以上の私費留学生を受入れた。環境科学院では，毎年 2 名相当分（年間 600 万円強）について教員共通経費を充てる制度を設けた。

#### (3) 留学生担当事務補助員 1 名の配置

留学生を専任で担当する事務補助員を置き，本学院への入学を検討している他国の学生からの問合せ対応から入学に至る間の支援，入学後の学位取得に至る間の留学生の学業，生活全般に関わる支援を行った。

#### (4) 専任留学生サポーターの設置

在学学生を対象にサポーターを募集し，留学生支援委員会での面接を経て各年度 3 名程度を採用。留学生担当事務補助員の指導のもと，留学生向けホームページの作成・翻訳，イベントの企画・運営等を行った。



### Ⅲ 教育活動



## 8 専攻・コース編成

### 環境起学専攻（4コース）

人間・生態システムコース  
環境適応科学コース  
実践環境科学コース  
国際環境保全コース

### 地球圏科学専攻（3コース）

大気海洋化学・環境変遷学コース  
大気海洋物理学・気候力学コース  
雪氷・寒冷圏科学コース

### 生物圏科学専攻（9コース）

生態系生物学コース  
生態遺伝学コース  
分子生物学コース  
植物生態学コース  
動物生態学コース  
海洋圏科学コース  
水圏生物学コース  
森林圏環境学コース  
耕地圏科学コース

### 環境物質科学専攻（4コース）

生体物質科学コース  
ナノ環境材料コース  
光電子科学コース  
環境触媒化学コース

## 9 カリキュラム編成

### 修了要件

修士課程：必修科目 12 単位を含み、合計 30 単位以上修得することを修了の要件とする。ただし、環境物質科学専攻においては、必修科目 18 単位、選択必修科目から 8 単位以上を含み、合計 30 単位以上を修得することとする。（※環境物質科学実習Ⅰ及び環境物質科学Ⅱの単位は、修了に必要な単位数に算入することができない。）

博士後期課程：必修科目 12 単位を修得すること

### 環境起学専攻

#### 修士課程

（必修科目）

- ・ 環境起学論文講読Ⅰ 4 単位
- ・ 環境起学特別研究Ⅰ 8 単位

（選択科目） ※実習・演習は 4 単位、他は 2 単位

- ・ 環境科学基礎論 地球環境科学総論
- ・ 地球温暖化総論 環境修復学総論 オゾン層破壊・紫外線影響評価総論 生態系機能学総論 水循環総論 共生システム創成学総論
- ・ 地球温暖化メカニズム特論 地球温暖化物質科学特論 地球温暖化生態学特論 成層圏オゾン変動特論 対流圏広域汚染特論 保全生態学特論 環境保全学特論 水資源物理学特論 流域環境学特論 環境修復学特論 環境修復研究法特論 野外環境学特論 生物資源環境学特論 環境解析学特論 国際コミュニケーション法特論
- ・ 地球温暖化対策特別講義 環境国際関係論特別講義 環境社会学特別講義
- ・ 環境解析法演習 国際コミュニケーション法演習 環境保全教育法演習 統合環境観測法実習 統合環境調査法実習 環境保全教育法実習 統合環境分析法実習

#### 博士後期課程

（必修科目）

- ・ 環境起学論文講読Ⅱ 4 単位

- ・ 環境起学特別研究Ⅱ 8単位

## 地球圏科学専攻

### 修士課程

(必修科目)

- ・ 地球圏科学論文講読Ⅰ 4単位
- ・ 地球圏科学特別研究Ⅰ 8単位

(選択科目) ※実習・演習は4単位，他は2単位

- ・ 古環境学基礎論 地球雪氷学基礎論 大気海洋物理学基礎論 大気海洋化学基礎論
- ・ 第四紀環境変動特論 山岳環境科学特論 陸域環境統合システム特論 陸圏物質循環学特論 古気候変動学特論 大気圏化学特論 化学海洋学特論 海洋堆積学特論 環境分析化学特論 生物地球科学特論 氷河・氷床学特論 雪氷水文学特論 寒冷圏気象・気候学特論 応用雪氷学特論 大気環境科学特論 極域海洋学特論 大気力学特論 海洋力学特論 気候変動特論 気候変動モデリング特論 地球流体力学特論 大気海洋解析法特論 惑星系物質科学特論 雪氷物性学特論 宇宙雪氷学特論 遠隔情報学特論
- ・ 地球圏科学特別講義Ⅰ 地球圏科学特別講義Ⅱ 地球圏科学特別講義Ⅲ 地球圏科学特別講義Ⅳ
- ・ 地球圏科学演習Ⅰ 地球圏科学演習Ⅱ 地球圏科学実習Ⅰ 地球圏科学実習Ⅱ 地球雪氷学実習

### 博士後期課程

(必修科目)

- ・ 地球圏科学論文講読Ⅱ 4単位
- ・ 地球圏科学特別研究Ⅱ 8単位

## 生物圏科学専攻

### 修士課程

(必修科目)

- ・ 生物圏科学論文講読Ⅰ 4単位
- ・ 生物圏科学特別研究Ⅰ 8単位

(選択科目) ※実習・演習は4単位, 他は2単位

- ・ 多様性生物学基礎論 生態学基礎論 分子生物学基礎論 海洋生物環境学基礎論 フィールド科学基礎論 生物生産学基礎論
- ・ 多様性生物学特論Ⅰ 多様性生物学特論Ⅱ 生態遺伝学特論Ⅰ 生態遺伝学特論Ⅱ 環境分子生物学特論Ⅰ 環境分子生物学特論Ⅱ 植物生態学特論Ⅰ 植物生態学特論Ⅱ 動物生態学特論Ⅰ 動物生態学特論Ⅱ 海洋生物圏環境科学特論Ⅰ 海洋生物圏環境科学特論Ⅱ 水圏科学特論Ⅰ 水圏科学特論Ⅱ 森林圏科学特論Ⅰ 森林圏科学特論Ⅱ 森林圏科学特論Ⅲ 森林圏科学特論Ⅳ 耕地圏科学特論Ⅰ 耕地圏科学特論Ⅱ
- ・ 生物圏科学特別講義Ⅰ 生物圏科学特別講義Ⅱ
- ・ 生物圏科学実習Ⅰ 生物圏科学実習Ⅱ

### 博士後期課程

(必修科目)

- ・ 生物圏科学論文講読Ⅱ 4単位
- ・ 生物圏科学特別研究Ⅱ 8単位

## 環境物質科学専攻

### 修士課程

(必修科目)

- ・ 環境物質科学論文講読Ⅰ 4単位
- ・ 環境物質科学特別研究Ⅰ 8単位
- ・ 環境物質科学基礎論Ⅰ 環境物質科学基礎論Ⅱ 環境物質科学基礎論Ⅲ 各2単位

(選択必修科目) 各2単位

- 分子環境学特論Ⅰ 資源分子化学特論 化学物質影響学特論 環境生態化学特論 環境触媒学特論 分子機能材料特論 ナノ構造制御化学特論 光分子化学特論 電子材料科学特論 光触媒化学特論 表面機能科学特論 反応制御化学特論

(選択科目) ※実習は4単位, 他は2単位

- 分子環境学特論Ⅱ 分子環境学特論Ⅲ
- 環境物質科学特別講義Ⅰ 環境物質科学特別講義Ⅱ
- 環境物質科学実習Ⅰ 環境物質科学実習Ⅱ

#### 博士後期課程

(必修科目)

- 環境物質科学論文講読Ⅱ 4単位
- 環境物質科学特別研究Ⅱ 8単位

## 10 公開コースの開催

### 10-1 南極学カリキュラム

南極学カリキュラムとは、極地や寒冷圏における環境や物性、生態系について総合的に学ぶ教育プログラムであり、国際的な雪氷圏科学教育のコンソーシアムである国際南極大学（International Antarctic Institute）と提携してプログラムを提供している。プログラムは極地研究のエキスパートを講師に招いて坐学形式で行う南極学特別講義とスイス氷河やオホーツク海沿岸水域などのフィールドで現地に行う南極学特別実習および各専攻の寒冷科学関連講義から構成され、所定の単位数を履修した学生には南極学修了証書（Diploma of Antarctic Science）が授与される。

各講義の履修者数，および南極学修了証書の取得者数

	平成23年度	平成24年度
南極学特別講義Ⅰ	65	61
南極学特別講義Ⅱ	18	17
南極学特別実習Ⅰ	11	11
南極学特別実習Ⅱ	18	実施せず
南極学特別実習Ⅲ	63	57
南極学修了証書	11	10

### 10-2 世界に開かれた低炭素社会形成教育プラットフォームの構築，持続可能な低炭素社会づくりに向けた教育プログラムの策定および国際枠組みの構築に関する研究・提言

本プロジェクトでは、環境科学院及び公共政策大学院，国際本部及びサステイナブルキャンパス推進本部の連携により，北海道大学におけるサステナビリティ・ウィークや国際シンポジウム，市民セミナー等の開催，修士課程レベルの教育プログラムの充実（英語教育コースの整備，環境科学院・公共政策大学院

共通のシラバスの作成，大学院共通授業・市民公開講座の実施等），学生参加による低炭素社会の実験場としてのサステナブルキャンパスづくりや，低炭素社会の形成等に関する研究の実施及び政策提言を行った。

プロジェクトの主な実施状況

- (1) 大学院共通授業・市民公開講座「持続可能な低炭素社会」受講者数  
平成23年度：約90名（大学院生45名，市民48名）  
平成24年度：約120名（大学院生30名，市民88名）
- (2) サステナビリティ・ウィーク  
平成23年度：平成23年9月25日～11月3日開催  
47企画，参加者数約9,900人  
平成24年度：平成24年9月1日～11月30日開催  
36企画，参加者数約5,700人
- (3) 持続可能な社会に関する教科書の作成  
日本語2冊，英語2冊（「持続可能な低炭素社会Ⅲ」，「持続可能な未来のために」  
「Lecture on Environmental Economics」，「FUKUSHIMA political economic analysis of nuclear disaster」）
- (4) 研究・政策提言
  - ・平成23年度及び平成24年度にそれぞれサステナビリティ・ウィークにおいてシンポジウムを開催し，持続可能な社会を目指して，地域の活性化をもたらすことの出来る再生可能エネルギーの普及について提言した。
  - ・大学院生の参加を得て，サステナブルキャンパスに関する研究活動を実施すると共に，低炭素社会形成研究として北海道をフィールドとするバイオマス利活用研究やインドネシアのバイオ燃料作物栽培による農薬散布のリスクに関する研究等を行った。

### 10-3 海外サマースクール

グローバルCOEプログラム「統合フィールド環境科学の教育研究拠点形成」では，シベリア，モンゴル，インドネシアに海外フィールド観測拠点を設置し，

観測研究を推進した。これらの各地域がかかえる問題を広い視野から理解し、問題に取り組む能力を養うことを目的として、広範な専門分野の講義や観測・分析の実習を行う海外フィールド観測サマースクールを同プログラム主催で実施した。学生や若手研究者自身が企画を分担し、受講生として、また講師として参加することによって、実践的な研究者の育成を目指した。

## 平成23年度

### 2011 IFES-GCOE Field Short Course Summer School 2011 in Indonesia

2011年IFES-GCOEフィールドショートコース サマースクール2011 in  
インドネシア「熱帯泥炭地域の開発と保全のためのマネジメント戦略」

期間：平成23年11月8日～19日

場所：インドネシア・ボゴール農科大学ダルマガキャンパス，中央カリマンタ  
ン州パラカラヤ周辺，リアウ州プララワン周辺

応募者：68名（海外37名）

参加者：北海道大学19名（うち環境科学院学生6名），国内（他大学）  
0名，海外20名（4カ国）

講師：21名

### 2011年IFES-GCOEフィールドショートコース サマースクール フォロー アップ

熱帯泥炭地域をテーマとして平成23年11月に開催したインドネシアサマ  
ースクールのフォローアップを目的として、石狩泥炭地をテーマとした実習プロ  
グラムを札幌および周辺地域で開催した。このプログラムのために現地から招  
聘した講師3名，学生6名を含めて合計23名が参加し，事前講義，2日間の  
巡検，室内実験，学習成果の発表などに取り組んだ。

期間：平成24年3月12日～17日

## 平成24年度

開催無し

## 10-4 国際サマースクール

博士後期課程の大学院生に将来における国際的・学術的国際プロジェクトを牽引できるような研究者としての能力を身につけてもらうことを目的とし、日本および国外の大学院生と一緒にフィールド研究の方法を学ぶ国際サマースクールを、グローバルCOEプログラム「統合フィールド環境科学の教育研究拠点形成」(平成20年度～24年度)の主催で実施した。フィールドでの調査観測技術の習得、参加者による各自の研究のポスター発表、研究課題・計画に関するトレーニング、英語でのグループ討論、発表・議論などを行った。

### 平成23年度

GCOE-INeT International Summer School 2011 "Understanding coupled natural and social system; feedback loops between land-use and ecosystem change"

GCOE-INeT国際フィールド科学サマースクール2011「自然－人間システムの融合的理解」

期間：平成23年6月27日～7月8日

場所：北方生物圏フィールド科学センター苫小牧研究林，静内研究牧場，生物生産研究農場（札幌キャンパス）

応募者：77名（海外29カ国）

参加者：北海道大学4名（うち環境科学院学生4名），海外14名（9カ国），計18名

講師，スタッフ：17名

GCOE-INeT国際サマースクール2011 フォローアッププログラム（海外派遣支援）

サマースクール参加者の中からプロポーザル審査によって選ばれた本学の大学院生1名がタイを訪れ，現地の研究者と共同で泥炭地管理および荒廃した泥炭湿地森林の復元と地域住民による利用に関する研究を行った。

期間：平成23年9月30日～10月13日

GCOE-INeT国際サマースクール2011 フォローアッププログラム（海外学生招聘）

サマースクール参加者の中からプロポーザル審査によって選ばれた米国の大学院生が本学に滞在し、山岳の社会－生態システムの回復力や適応容量に関する研究を行った。

期間：平成24年1月9日～2月3日

## 平成24年度

GCOE-INeT International Summer School 2012 in Samani “Sustainability for coupled human and nature”

GCOE-INeT国際フィールド科学サマースクール2012 in 様似「自然－社会のつながりと持続可能性」

期間：平成24年6月25日～7月3日

場所：札幌キャンパス，様似町

応募者：79名（海外26カ国）

参加者：北海道大学9名（うち環境科学院学生9名），海外12名（9カ国），計21名（海外11カ国）

講師，スタッフ：17名

GCOE-INeT国際サマースクール2012 フォローアッププログラム

サマースクール参加者の中からプロポーザル審査によって選抜された3名が研究計画に沿って様似町にて持続可能性に関するインタビューやアンケートおよびタウンホールミーティングを実施し，住民の意識を調べた。

期間：平成24年10月23日～11月9日

## 10-5 公開ラボ実習

公開ラボ実習とは，グローバルCOEプログラム「統合フィールド環境科学の教育研究拠点形成」が主催して，学生や若手研究者に対して，分析技術実習および周辺学問分野の講義を行うものである。参加者は全国の大学院・大学に対し

て公募した。一部の実習は英語で実施され、海外からの参加者および留学生交流支援制度（ショートステイ，ショートビジット）参加者も受講した。企画実習生は、自ら提案した企画がカリキュラムの一部として採用され、運営に主体的に関わる参加者である。

#### 平成23年度

- (1) GCOE安定同位体実習（平成23年10月31日～11月4日，応募者：25名，参加者：企画実習生7名，受講生9名，計16名（うち環境科学院学生8名））
- (2) GCOE環境生物学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（平成23年12月5日～16日，参加者：3名（うち環境科学院学生（留学生）2名，地球環境科学研究院博士研究員1名））
- (3) GCOE環境物質科学ラボ実習“Laboratory Short Course on Environmental Materials Science”（平成24年1月16日～26日，参加者：6名（環境科学院留学生2名，留学生交流支援制度（ショートステイ，ショートビジット）参加者4名））

#### 平成24年度

- (1) GCOE安定同位体実習（平成24年11月1日～8日，応募者：29名，参加者：企画実習生5名，受講生11名，計16名（うち環境科学院学生5名））
- (2) GCOE環境生物学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（平成24年11月20日～12月4日，参加者：3名（すべて環境科学院学生））
- (3) GCOE環境物質科学ラボ実習“Laboratory Short Course on Environmental Materials Science”（平成25年1月10日～31日，参加者：5名（すべて留学生交流支援制度（ショートステイ，ショートビジット）参加者））



## IV 成 果



## 1 1 学位取得状況

### 1 1-1 博士論文題目一覧

#### 環境起学専攻

##### 平成23年度

Extreme weather events in Mongolia: numerical modeling and sensitivity experiments (モンゴルにおける極端気象現象：数値計算と感度実験) Altangerel Batbold (起学研究)

Climatic effects on seasonal rice yields in Bangladesh with implications for future projection (バングラデッシュのコメ生産に及ぼす気候の影響と生産量の将来予測) Mohammed Rezaul Karim (起学研究)

Assessment of denitrification processes in lower Ishikari river system, Hokkaido, Japan (石狩川下流域における脱窒過程の動態評価) Pawan Kumar Jha (起学研究)

Development of remediation methods for lead contaminated soil and water by using electrokinetic process and phytoremediation (エレクトロカイネティック法とファイトレメディエーションによる鉛汚染土壌及び水の修復法の開発) Rudy Syah Putra (起学研究)

##### 平成24年度

Carbon and nitrogen isotope composition of the Micropterus salmoides largemouth bass as a freshwater environmental indicator (炭素・窒素安定同位体比を用いた淡水環境指標としてのオオクチバス *Micropterus salmoides* に関する研究) 稲村 修 (起学研究)

Responses of marine ecosystem to typhoons in the western subtropical North Pacific (亜熱帯における台風通過に伴う海洋生態系の応答に関する研究) 柴野 良太 (起学研究)

Development of high-performance water-decontamination systems by using graphene oxide as the functioning element (酸化グラフェンを機能場として用いた高性能水浄化システムの開発) 孫 凌 (起学研究)

Development of an evaluation system for chemical contaminant toxic risks and protective health effects of natural food components using epigenetic factors (エピジェネティック因子を用いた化学物質毒性リスクおよび食品組成の健康影響に関する評価システムの開発) 孫 永琨 (起学研究)

The mechanisms of seedling establishment and seedbank formation along successional sere in disturbed wetlands (攪乱後の湿原における遷移系列に沿った実生定着およびシードバンク形成機構) 江川 知花 (起学研究)

Connection between the Asian summer monsoon and the middle latitudes through the geopotential height anomaly over the western Tibetan plateau (西部チベット高原上空の高度場擾乱を介した夏季アジアモンスーンと中緯度との関係) 渡邊 武志 (起学研究)

Effects of CO<sub>2</sub> and iron availability on the community composition and photosynthetic physiology of natural phytoplankton (CO<sub>2</sub> と鉄の利用可能性が天然植物プランクトンの群集構造および光合成生理機能に与える影響) 遠藤 寿 (起学研究)

Analyses of contaminants and development of a high-performance water purification technique for surface water (陸水の汚染分析および高効率水浄化法の開発) Md. Tajuddin Sikder (起学研究)

A study of seasonal change in partial pressure of carbon dioxide in the western North Pacific (西部北太平洋における二酸化炭素分圧の季節変動に関する研究) 熊 炫睿 (起学研究)

## 地球圏科学専攻

### 平成23年度

Studies on glacial lake development in the eastern Nepal Himalaya from 1964 to 2010 (ネパール・ヒマラヤ東部における1964～2010年の氷河湖の発達に関する研究) Damodar Lamsal (陸圏環境科学)

Abrupt change in oceanic biogeochemical cycles associated with global warming (地球温暖化に伴う海洋物質循環の劇変に関する研究) 山本 彬友 (大気海洋物理学・気候力学)

An ecophysiological study of marine aerobic anoxygenic phototrophic bacteria (海洋における酸素非発生源好気性光合成細菌の生理生態学的研究) 佐藤 由季 (物質循環・環境変遷学)

Experimental studies on the electrification phenomena of blowing snow (吹雪の帯電現象に関する実験的研究) 大宮 哲 (雪氷・寒冷圏科学)

Characteristics of seasonal and short-term variation of near-surface water vapor D/H isotope ratio revealed by continuous in-situ measurement (連続・現場測定から明らかとなった地表近くの水蒸気D/H同位体比の季節および短時間変動特性) Lukman Ayanniyi Sunmonu (大気海洋物理学・気候力学)

### 平成24年度

Instabilities and diapycnal mixing caused by tidally-generated large-amplitude lee waves (潮流により生成された大振幅風下波が引き起こす不安定と鉛直混合) 阿部 祥子 (大気海洋物理学・気候力学)

Studies on Synoptic-scale atmospheric transport into the Antarctic inland based upon in-situ observation (南極内陸域への総観規模大気輸送に関する観測的研究) 平沢 尚彦 (論文博士)

Biogeochemical roles of phytoplankton functional types in the Southern Ocean carbon cycle (南大洋の炭素循環における植物プランクトン機能別分類群の生物地球化学的役割) 高尾 信太郎 (物質循環・環境変遷学)

Sources and sinks of atmospheric carbon dioxide in the East Asia (東アジアにおける大気二酸化炭素の発生源と消失源) 朱 春茂 (物質循環・環境変遷学)

Studies on diurnal variations in dynamical fields and ozone field in the stratosphere (成層圏における力学場とオゾン場の日変化に関する研究) 坂崎 貴俊 (大気海洋物理学・気候力学)

Study on radial growth and carbon isotope ratio of larch in taiga of north eastern Siberia (東シベリアタイガ林カラマツの年輪幅および炭素同位体比に関する研究) 鄭 峻介 (物質循環・環境変遷学)

- Isotopic study on the sources of atmospheric water vapor of taiga forest in eastern Siberia  
(水安定同位体比を用いたシベリアタイガ林の大気水蒸気の起源に関する研究)  
上田 哲大 (物質循環・環境変遷学)
- Dynamics of the Antarctic ice sheet with coupled ice shelves (南極氷床変動における棚氷の影響)  
佐藤 建 (雪氷・寒冷圏科学)
- Climatological evolution and interannual variation of the Okinawa Baiu (沖縄梅雨の気候学的時間発展と年々変動) 岡田 靖子 (大気海洋物理学・気候力学)
- A synthetic study of the tsunami disaster danger along the Pacific coast of Hokkaido, with reference to the 2011 Tohoku Earthquake Tsunami (2011年度東北地方太平洋沖津波災害に依拠した北海道太平洋沿岸における津波危険度に関する総合的研究) 水木 千春 (陸圏環境科学)
- Nitrogen budget and dynamics of taiga forest ecosystem in north eastern Siberia (東シベリアタイガ林生態系の窒素収支と動態) Alexandra Popova (物質循環・環境変遷学)

## 生物圏科学専攻

### 平成23年度

- Geographic variations of morphological and genetic features among island populations of the sika deer (*Cervus nippon*) in southern Japan: ecological and historical nonexchangeability (ニホンジカの形態及び遺伝的形質の地理的変異: 生態学的・歴史的な交換不可能性に着目した南日本島嶼個体群の解析) 寺田 千里 (森林圏環境学)
- The role of Sasa litter on biogeochemical cycling in forest ecosystem (森林生態系の物質循環におけるササリターの役割) 渡辺 恒大 (森林圏環境学)
- Studies on life history of large Copepoda (*Neocalanus cristatus*) using the numerical model (数値モデルを用いた大型カイアシ類 (*Neocalanus cristatus*) の生活史の研究) 照井 健志 (海洋生物生産環境学)
- Seasonal and spatial variations in population dynamics of intertidal barnacle *Chthamalus* spp. (潮間帯に生息するフジツボ (*Chthamalus* spp.) の個体群動態の季節変異と空間変異) 深谷 肇一 (動物生態学)
- Studies on the changes in the marine production process due to the decreasing nutrient concentrations in the hypertrophic bay (Dokai Bay, Japan) (過栄養内湾 (洞海湾) における栄養塩濃度の減少に伴う低次生産過程の変化に関する研究) 濱田 建一郎 (海洋生物生産環境学)
- Shoot and leaf dynamics of eelgrass *Zostera marina* L. along multiple environmental gradients (多重環境勾配下におけるアマモの成長動態) 細川 真也 (水圏環境生物学)
- A microbiological study that is conducive to efficient ammonia removal processes (アンモニア除去プロセスの効率化に資する微生物学的研究) 東條 ふゆみ (環境分子生物学・微生物生態学)
- Structures and functions of consortia composed of limnic large sulfur-oxidizing bacteria (*Thioploca*) and their epibiont (湖沼に生息する大型硫黄酸化細菌 (*Thioploca*) と付着菌からなる群集の構造と機能) 根本 富美子 (生物多様性科学)
- Tree-height dependent plasticity of open-grown current-year shoots (明所に生育する樹木当年枝の樹高依存的な可塑性) 宮田 理恵 (植物生態学)

- Evolution of host use in the leaf beetle *Agelasa nigriceps* (Coleoptera: Chrysomelidae) (キクビアオハムシ (甲虫目: ハムシ科) における寄主利用の進化) 甲山 哲生 (生態遺伝学)
- Developmental regulatory mechanisms of mandible growth in the stag beetle (クワガタムシ) における大顎発達の発生制御機構) 後藤 寛貴 (生態遺伝学)
- Relationship between microbial community structure and environmental factor in high altitude and high latitude regions (高緯度および高標高域における微生物群集構造と環境要因との関係) 藤井 正典 (生物多様性科学)
- Effects of physical environment on material cycle in Akkeshi Lake- focused on the role of eelgrass and the Manila clam - (厚岸湖の物質循環に及ぼす物理環境の研究 - アマモとアサリの役割 -) 尹 錫鎮 (海洋生物生産環境学)
- Differentiation in tree architecture and life history across co-occurring tree species in a Malaysian rainforest (マレーシアの熱帯雨林における樹木種の樹冠構造と生活史の種間変異) 飯田 佳子 (植物生態学)
- The origin and ecology of *Rana nigromaculata* introduced into Hokkaido (北海道に侵入したトノサマガエルの由来と生態) 高井 孝太郎 (動物生態学)
- Variations in life-history strategy and reproductive performance of alpine plants under heterogeneous snow conditions (異質積雪環境における高山植物の生活史戦略と繁殖特性の変異) 川合 由加 (植物生態学)
- Studies on fruit productivity of watermelon [*Citrullus lanatus* (Thunb.) Matsum. et Nakai] cultivated with vertical training (立体栽培スイカの果実生産特性に関する研究) 渡辺 慎一 (耕地圏科学)
- Evaluation of the horticultural traits of Alstroemeriaceae and the fertilization barriers in intergeneric crosses (アルストロメリア科の園芸学的評価と属間交雑における受精障壁に関する研究) 柏原 夕希子 (耕地圏環境学)
- Studies on molecular breeding using comparative approaches among species for the purpose of an improvement of winter hardiness in forage grasses (牧草における越冬性向上のための種間比較アプローチを用いた分子育種学的研究) 田村 健一 (耕地圏科学)
- Development of SSR markers in forage grasses and marker-assisted selection for crown rust disease of Italian ryegrass (牧草におけるSSRマーカーの開発およびイタリアンライグラス冠さび病抵抗性に関するマーカー選抜育種) 平田 球子 (耕地圏科学)

## 平成24年度

- The effects of biological invasion of *Solidago gigantea* Aiton on native grasslands (在来草地に対するオオアワダチソウによる生物学的侵入の効果) 斎藤 達也 (植物生態学)
- Long-term evaluation on the effect of anthropogenic disturbances to the carbon budget of cool-temperate mixed forests in northern Hokkaido, Japan (人為起源の攪乱が北海道北部冷温帯混交林の炭素循環に及ぼす影響に関する長期評価) Maricar Morales Aguilos (森林圏環境学)
- Reproductive ecology of Japanese great tits focusing on extra-pair paternity (つがい外父性に注目したシジュウカラの繁殖生態) 油田 照秋 (動物生態学)
- Studies on the long-term production of white asparagus by rootstock storage and film shading (根株貯蔵とフィルム遮光によるホワイトアスパラガスの長期収穫体系に関する研究) 地子 立 (耕地圏科学)

- Effect of temperature on anaerobic degradation process of organic matter in coastal marine sediment (沿岸海洋堆積物における嫌氣的有機物分解過程に対する温度の影響) 松井 崇人 (環境分子生物学・微生物生態学)
- Population and ecological studies of the invasive pioneer species *Chromolaena odorata* and the application on post-mining land restoration and forest regeneration (外来侵入植物ヒマワリヒヨドリ (*Chromolaena odorata*) の個体群生態学的研究とその鉱山跡地の再生および森林回復への応用) Jonathan Castel Djietror (生態遺伝学)
- Tree community structure, architecture and dynamics of woody savanna of the Dahomey Gap in West Africa (西アフリカ, ダホメ・ギャップにおける木本サバンナの樹木群集構造, 樹冠構造と動態) Augustin Timothee Bio Orou Matilo (植物生態学)
- Physiological and behavioral studies on functional evaluation of fish passage during upstream migration of Pacific salmon (太平洋サケ遡上行動時における魚道の機能評価に関する生理・行動学的研究) 林田 寿文 (水圏環境生物学)
- Ultrastructural observation and proteomics analysis on flagella of brown algal swarmers (褐藻遊泳細胞の鞭毛についての微細構造観察とプロテオミクス解析) 付 剛 (水圏環境生物学)
- Cavity-using bird community and nest web in a mixed forest, with special reference to cavity production by Japanese pygmy woodpeckers *Dendrocopos kizuki* (針広混交林の樹洞利用鳥類群集とネスト・ウェブ, 特にコゲラによる樹洞生産) 椎名 佳の美 (動物生態学)
- A physiological and morphological field study of *Abies sachalinensis* and *Picea glehnii* juveniles of different size-classes (トドマツとアカエゾマツの異なるサイズの幼木に関する生理学的及び形態学的野外研究) Edgard Alves Bontempo e Silva (植物生態学)
- Studies on effective breeding methodologies to improve the nutritive value in timothy (*Phleum pratense* L.) (チモシー (*Phleum pratense* L.) の栄養価改良に向けた効果的な育種方法に関する研究) 足利 和紀 (耕地圏科学)
- Taxonomy and phylogeny of the *Drosophila robusta*, *quadrisetata* and *melanica* species groups (Diptera: Drosophilidae) (*Drosophila robusta*, *quadrisetata* および *melanica* 種群(ハエ目: ショウジョウバエ科) の分類と系統) Awit Suwito (生態遺伝学)
- Field experiments of top-down and bottom-up effects on the structure of soil animal community in a cool-temperate forest of Japan (日本の冷温帯林における土壌動物群集構造に対するトップダウン効果とボトムアップ効果の野外実験) 南波 興之 (生態遺伝学)

## 物質環境科学専攻

### 平成23年度

- Crystal structures and physical properties of polyoxometalate crystals containing dynamical supramolecular cation structures (動的超分子カチオン構造を有するポリオキソメタレート結晶の構造と物性) 遠藤 大五郎 (光電子科学) (課程博士)
- Study on magnetic adsorbent with surface modification and application to removal of hazardous materials (表面修飾磁性吸着剤とその有害物質除去への適用に関する研究) 佐々木 隆浩 (生体物質科学) (課程博士)
- External electric field effects on photoexcitation dynamics of semiconductor and metal nanoparticles (半導体および金属ナノ粒子の光励起ダイナミクスへの外部電場効果) 大島 瑠利子 (光電子科学) (課程博士)

Monitoring cellular environment based on the time-resolved fluorescence measurements (時間分解蛍光測定による細胞環境のモニタリング) Md. Serajul Islam (光電子科学) (課程博士)

Study of photoresponse in the electrical conductivity of crystalline materials by using spectroscopic techniques (分光学的手法による結晶状物質の電気伝導度における光応答の研究) Farzana Sabeth (光電子科学) (課程博士)

Fabrication, behaviors and applications of graphitic nano-carbon based electrodes(グラファイト構造ナノカーボン電極の製作, 挙動解析及び応用に関する研究) 賀 建軍 (生体物質科学) (課程博士)

## 平成24年度

Studies on linear peptides from the freshwater cyanobacteria of genus *Anabaena* (淡水産ラン藻*Anabaena*属の直鎖ペプチドに関する研究) Andrea Roxanne Anas Jocsing (生体物質科学) (課程博士)

Development of Highly Selective Organic Synthesis Reactions Using Tungsten(VI) Oxide Photocatalysts (酸化タングステン系光触媒を用いた高選択的有機合成反応の開発) 富田 修 (環境触媒化学) (論文博士)

Specific Adsorption-Absorption Properties and Catalysis of Alkaline Metal Salts of Keggin-Type Heteropoly Tungstates (ケギン型ヘテロポリタングステン酸アルカリ金属塩の特異な吸着-収着特性と触媒作用) 三浦 裕紀 (ナノ環境材料) (課程博士)

Synthesis and evaluation of CO<sub>2</sub> adsorption properties of porous copper complexes with inorganic anion ligands (無機アニオン配位子を含む多孔性銅金属錯体の合成とCO<sub>2</sub>吸着特性評価) 福原 克郎 (光電子科学) (課程博士)

Investigation of Multiple Molecular Motions in Supramolecular Cation-Metal Complex Crystals and Their Functions (超分子カチオン-金属錯体単結晶における複合的分子運動の探索と機能発現) 劉 尊奇 (光電子科学) (課程博士)

Study on metabolome analysis using capillary electrophoresis mass spectrometry and its application to biomedical research (キャピラリー電気泳動質量分析法を用いたメタボローム解析とその生物医学研究への応用) 平山 明由 (生体物質科学) (論文博士)

## 1 1-2 修士論文題目一覧

### 環境起学専攻

#### 平成23年度

温暖化した北海道における基礎人口収容力を推定する 木下 卓夫 (統合)

Depression effect of Vitamin E on oxidative stress (ビタミンEの酸化ストレス抑制効果)  
石渡 沙織 (先駆)

卵殻を吸着材として用いた重金属の除去に関する研究 中村 直樹 (先駆)

環境分野で働く方に特徴的なマインド・スキル・性格に関するフィールド調査 池田 貴裕 (統合)

Phytoremediation of cadmium accumulation in water using *Micranthemum unbrosium* and *Drymaria cordata* (ラージパールグラスおよびホワイトドリマリアを用いた水圏のカドミウムのファイトレメディエーション) 上野 恭幸 (先駆)

ダムが下流域の河床環境に及ぼす影響の検討—河床材料の違いに着目して— 西明 剛 (統合)

Sensitivity analysis of household CO<sub>2</sub> emissions in 47 prefectures of Japan (日本の47都道府県における家計部門CO<sub>2</sub>排出量の感度分析) 本城 慶多 (統合)

A quantitative genetic model on sex determination under the assumption of temperature-dependent fitness (温度依存的適応度を仮定した性決定に関する量的遺伝モデル) 山田 翔一 (先駆)

下層植生のササの除去が樹木の空間分布に及ぼす影響 藤部 拓己 (統合)

セシウムの除去を指向した多層カーボンナノチューブ/プルシアンブルー複合型吸着材の開発 真鍋 翔一 (先駆)

シモバシラ (*Keiskea japonica*) に成長する氷花の形成メカニズム～気象環境および茎内部構造の影響～ 田丸 隼也 (統合)

Effects of differences of UV length on production of pyrimidine dimer in PC12 cells (PC12細胞におけるUV波長の違いによるピリミジンダイマー生成量への影響) 鹿嶋 さくら (統合)

Establishment patterns of native and non-native trees on an abandoned skislope (放棄スキー場における在来・非在来樹種の定着パターン) 吉田 智明 (統合)

大学キャンパスにおける堆肥化事業実現可能性の検討～北海道大学をケーススタディとして～ 久保 弦 (統合)

Analysis of a possible impact of global warming on Ishikari River runoff by sensitivity experiments using a hydrological model (水循環モデルを用いた石狩川の流出量に対する地球温暖化影響の感度実験) 阿部 景太 (統合)

北海道における昇温事例の時空間的特徴に関する解析 森 佳祐 (統合)

北海道北部森林における地上部・地中部の総炭素貯留量の把握 鈴木 秀知 (統合)

Effects of zinc on cadmium toxicity in PC12 cells (PC12細胞におけるカドミウム毒性に対する亜鉛の影響) 浮穴 純貴 (統合)

環境情報伝達における、インターネットを用いた感覚的表現に関する研究～製作者と研究者・実践者へのインタビュー調査と考察～ 須山 哲 (統合)

WRFモデルによる局地的豪雨の解析－1999年7月21日の練馬における事例について－  
佐藤 達大（先駆）

Developing a Composite Index for Vulnerability of Coastal Communities in Baler, Aurora,  
Philippines（フィリピン沿岸域の地域社会における脆弱性指標の開発） Orencio Pedcris  
Miralles（先駆）

Study on comparison of citizens' environmental awareness among four cities in China and  
Japan（日中の4都市における市民の環境意識の比較） 林 応超（統合）

## 平成24年度

電気化学的手法とファイトレメディエーションの組み合わせによる汚染土壌修復法に関する検  
討 杉本 翔（環境適応科学）

風力発電開発におけるHEPを用いた自然環境影響最少化案の検討 篠原 徹（統合）

Effects of catechin on copper toxicity in PC12 cells（PC12細胞における銅毒性に対するカテキ  
ンの影響） 中野 紘希（環境適応科学）

Development of cognitive-task performance data processing system and an application of the  
system to analysis of time course of effect of alcohol ingestion on cognitive-task  
performance（認知課題成績データ処理システムの開発とアルコール摂取が認知課題成績  
に及ぼす影響の経時変化解析へのそのシステムの適用） 笹口 真幹（環境適応科学）

環境非営利団体による「北海道の環境報告書」の出版に関する考察，およびその環境教育の可能  
性-「もうひとつの北海道環境白書」の制作を事例として- 福岳 渉（実践環境科学）

網走川流域ガバナンス 倉野 健人（人間・生態システム）

砂防ダムが下流生態系に与える影響～攪乱強度に応じた影響の空間変異～ 吉崎 匡広（人間・  
生態システム）

表面修飾微粒子中空体（シラスバルーン）の作製とその吸着材としての評価 張 思京（環境適  
応科学）

A decision support model for traffic congestion in protected areas（自然保護区域における交  
通渋滞管理のためのシミュレーションモデルに関する研究） 石川 健介（人間・生態シ  
ステム）

カーボンクレジットの活用による木材利用促進の可能性と課題 中村 真平（統合）

流域スケールにおける水生昆虫群集の種多様性維持機構-水文過程の異なる河川の役割-  
渡辺 のぞみ（人間・生態システム）

持続可能な社会に向けたグリーン電力カーットの基礎的実証実験 中西 浩崇（実践環境科学）

Comparative Analysis of Solid Waste Management in Ulaanbaatar, Mongolia: Sustainability  
Assessment and the Implication（モンゴル共和国ウランバートル市の固形廃棄物管理の  
比較研究：持続性アセスメントとその意義） Byamba Bolorchimeg（国際環境保全）

北海道における未利用森林木質資源の暖房エネルギーとしてのポテンシャル及び活用可能性の  
検討 森田 真史（統合）

大雪山国立公園のヒグマ生息地における管理方針策定に向けた提言 惠藤 嵩久（人間・生態  
システム）

土地被覆・土地利用の違いが河川水質成分および沿岸の磯焼けに与える影響評価 ～道南 上ノ  
国町を例に～ 夏目 奏（人間・生態システム）

- 中国の小学校における環境教育プログラムの作成及び実践評価 李 仙 (人間・生態システム)
- Evaluation of the toxicity of the sorbic acids using PC12 cells (PC12細胞を用いたソルビン酸類の毒性の評価) 井上 祥太郎 (環境適応科学)
- とろろ昆布を吸着体とする重金属イオンの除去法の開発 長内 雅浩 (環境適応科学)
- フェロシアン化コバルトを吸着材として用いたセシウムの除去 有菌 英樹 (環境適応科学)
- Evaluation of phytoremediation of cesium using a cucumber (きゅうりを用いたセシウムのファイトレメディエーションの評価) 高瀬 聖 (環境適応科学)
- 流水性イシガイ目における水路の連続性の重要性—生息地保全への提言 玉置 弘幸 (統合)
- DNAフォームを吸着材として用いたセシウムとストロンチウムの除去 藤井 佑介 (環境適応科学)
- モンゴル・カラマツ林の年輪構造からみた虫害履歴の復元 - クロノロジー再構築とLight ringに注目した解析 - 阿部 直美子 (人間・生態システム)
- 日本の登山道の持続的な維持管理に関する研究—大雪山国立公園の登山道協働型維持管理体制をもとに— 平山 健太郎 (人間・生態システム)
- Genetic Engineering for the Improvement of Phytoremediation of Heavy Metals (遺伝子工学を用いた重金属のファイトレメディエーション改良) Zaman Mohammad Shahriar (環境適応科学)
- Evaluation on fixation of cesium ions in Japanese bentonite clays (日本のベントナイト粘土へのセシウムイオンの固定化現象の評価) 申屠 雷吉 (環境適応科学)
- 地球温暖化に関するパンフレットを例にした評価方法及び評価基準の作成 高野 葵 (統合)
- 河床低下が引き起こす生物相の変化 —底質置換の影響把握— 青木 久美子 (先駆)
- モンゴルにおける未舗装道路形成による草地の荒廃及び遷移プロセス 村山 翔太 (人間・生態システム)
- 生息地の光特性に応じたカシワの形態変化 北條 愛 (人間・生態システム)
- 光・低温ストレスに対するクマイザサの生理的応答 橋口 恵 (人間生態システム)

## 地球圏科学専攻

### 平成23年度

- 炭素安定同位体による植物の水分環境ストレス評価 千葉 庸平 (物質循環・環境変遷学)
- 富士吉田の森林タワーを使って測定した水蒸気安定同位体比の変動特性 田井戸 逸平 (大気海洋物理学・気候力学)
- 金星雲頂における風速推定の研究 池川 慎一 (大気海洋物理学・気候力学)
- 樹木年輪炭素安定同位体比を用いたモンゴル国森林-草原境界域における水分環境変動解析 津久浦 朱美 (物質循環・環境変遷学)
- 東シベリアタイガ-ツンドラ境界域におけるメタンフラックスと安定同位体比 新宮原 諒 (物質循環・環境変遷学)
- 海氷融氷水が春季南部オホーツク海域の栄養環境に与える影響に関する研究 漢那 直也 (物質循環・環境変遷学)

- Termination I における南極ドームふじ氷床コアに含まれる水溶性微粒子の化学組成 大藪 幾美  
(雪氷・寒冷圏科学)
- 大気境界層における運動量輸送に寄与する乱流構造の解析 小川 公一 (大気海洋物理学・気候力学)
- 樽前山周辺の降雪機構 坪倉 光佑 (大気海洋物理学・気候力学)
- 南極周極流における渦活動の長期的な変化とSAMへの応答 谷口 央 (大気海洋物理学・気候力学)
- 南太平洋における溶存イソプレンの分布とその成因に関する研究 吉田 怜 (物質循環・環境変遷学)
- Distribution, Morphology and Internal Structure of Pingos in Mongolia** (モンゴルにおけるピングの分布, 形態と内部構造) 酒井 貴悠 (陸圏環境科学)
- 大分県大野川地域におけるグリセロール・ジアルキル・グリセロール・テトラエーテル組成に基づく完新世の古環境復元 山本 康人 (物質循環・環境変遷学)
- 積雪内間隙空気中オゾンの濃度変動に関する研究 中山 桃子 (物質循環・環境変遷学)
- 地形学的解釈と氷河流動モデルの融合による氷河復元手法の検討 阿部 洋祐 (陸圏環境科学)
- Treeline ecotone dynamics of Abies spectabilis in the Barun vally, eastern Nepal Himalaya** (ネパール・ヒマラヤ東部,バルン谷における高木限界付近の移行帯のダイナミクス) Parveen Kumar Chhetri (陸圏環境科学)
- 北海道の主要山岳 48 山における登山道侵食の分布と形態-登山道侵食に関する台帳と地形学図の作成- 小林 勇介 (陸圏環境科学)
- ニセコにおけるスキーリゾートの発展と山岳環境変化の関係 William Jefferson (陸圏環境科学)
- 大気大循環モデルにおける熱帯の海面水温と降水に関する研究 水口 元 (大気海洋物理学・気候力学)
- オホーツク海における Profiling float を用いた海氷融解と生物生産過程に関する研究 一色 倫聡 (大気海洋物理学・気候力学)
- 戸蔭別川上流域の河川砂防の進展に伴う河床変動 先本 直生 (陸圏環境科学)

## 平成24年度

- 樽前山周辺の降雪機構 坪倉 光佑 (大気海洋物理学・気候力学)
- Assessing vegetation cover changes induced by livestock grazing in the Alai valley, the Kyrgyz Republic in and after the Soviet time (キルギス共和国, アライ谷におけるソビエト時代とその後の家畜放牧による植被変化の評価) 刘 洁 (陸圏環境科学)
- Organic molecular compositions and source apportionments of suburban aerosols collected at Mangshan, North of Beijing, China** (北京市郊外・マンシャンにおける大気エアロゾルの有機化学組成と起源解析) 楊 飛 (物質循環・環境変遷学)
- 南極ロス棚氷ポリニヤの変動機構と海氷生産収支 中田 和輝 (大気海洋物理学・気候力学)
- 千島海盆を中心とするオホーツク海の季節変動に関する研究 高島 知充 (大気海洋物理学・気候力学)

- ODP Site 1237堆積物から見た後期漸新世以降の陸源碎屑物供給パターンおよび海洋環境の変遷 野間 恵理子 (大気海洋化学・環境変遷学)
- 東シベリア永久凍土中のメタン蓄積 中村 恵 (大気海洋化学・環境変遷学)
- 西部北太平洋における移行域モード水の形成メカニズム 西方 彩乃 (大気海洋物理学・気候力学)
- 黒潮・黒潮続流上の大気境界層内における非地衡風成分の特徴 村中 里衣 (大気海洋物理学・気候力学)
- ウェッデル海東部における南極底層水の暖水化傾向 野田 朝美 (大気海洋物理学・気候力学)
- 森林大気中の糖類及びSOAトレーサーの組成と日変化 福田 康朗 (大気海洋化学・環境変遷学)
- チュクチ海とその周辺域の碎屑鉱物の分布とその古海洋学的応用 小林 大祐 (大気海洋化学・環境変遷学)
- 熱帯の季節内振動に伴う東アジア域の降水変動とその要因の定量的評価 本内 奈津子 (大気海洋物理学・気候力学)
- 強い潮流による渦対の形成とその後の時間発展 大上 真寅 (大気海洋物理学・気候力学)
- 安定接地層における気流水平構造の可視化計測 飯岡 祐貴 (大気海洋物理学・気候力学)
- Fe(II)クリーン分析計の開発と海氷域における Fe(II)の定量的評価 稲垣 成一 (大気海洋化学・環境変遷学)
- オホーツク海沿岸に設置した2台のドップラーレーダを用いた海上で発達する筋雲の構造と形成要因の解明 林 侑斗 (大気海洋物理学・気候力学)
- 渦と内部波の相互作用 伊藤 薫 (大気海洋物理学・気候力学)
- 流域環境が渓流水中の溶存有機物動態に及ぼす影響 吉田 なつ美 (大気海洋化学・環境変遷学)
- 霰の落下速度と粒径分布の定式化及びその応用 蒲山 裕起 (雪氷・寒冷圏科学)
- 九種の再解析データを用いた大規模火山噴火時の気温変化量の評価 日比野 敬司 (大気海洋物理学・気候力学)
- 領域大気モデルを用いたメソスケール降水システム (平成24年・筑波竜巻)の研究 今井 悠雅 (大気海洋物理学・気候力学)
- 南極海における表層塩分の長期変動に関する研究 遠藤 貴裕 (大気海洋物理学・気候力学)
- 北海道水同位体マップ及び無機態窒素マップの作成 都築 佑太 (大気海洋化学・環境変遷学)
- 夏期と秋雨期の降水と水輸送 谷澤 隼人 (大気海洋物理学・気候力学)
- 東京のオゾン濃度とエアロゾル数濃度の長時間変動特性および短時間変動に及ぼす大気境界層の影響 大賀 友貴 (大気海洋物理学・気候力学)
- 理想化した盆地地形における夜間冷却過程に関する数値解析 清水 大粋 (雪氷・寒冷圏科学)
- オホーツク海サハリンポリニヤの形成・変動ダイナミクス 鈴木 裕太 (大気海洋物理学・気候力学)
- オホーツク海南部・日本海北部の表層水中における主要栄養塩及び鉄の地理的分布 田中 美菜子 (大気海洋化学・環境変遷学)

Ice front variations and velocity changes of calving glaciers in the Southern Patagonia Icefield (南パタゴニア氷原におけるカービング氷河の末端変動と流動変化) 榊原 大貴 (雪氷・寒冷圏科学)

花粉センサを利用した雲粒子ゾンデの開発 新井 徹 (大気海洋物理学・気候力学)

東シベリアタイガ-ツンドラ境界における凍土及び表面水の水安定同位体比の観測 鷹野 真也 (大気海洋化学・環境変遷学)

熱帯対流圏界層内ケルビン波構造に伴う水蒸気変動 山木 望愛 (大気海洋物理学・気候力学)

森林における低分子ジカルボン酸・脂肪酸の組成と日変化 野坂 圭 (大気海洋化学・環境変遷学)

## 生物圏科学専攻

### 平成23年度

植物バイオセンサーを用いた甲状腺ホルモン活性物質の探索法の確立 川端 宏枝 (環境分子生物学・微生物生態学)

種子生産が春植物エゾエンゴサクの個体群動態に及ぼす影響 平野 里佳 (生物多様性科学)

Comparisons of foraging patterns of bumblebees (*Bombus* spp.) between urban and natural forests (都市林と自然林におけるマルハナバチ類の採餌パターンの比較) 中村 祥子 (生物多様性科学)

Evolutionary history of the house mouse *Mus musculus* from Eurasia inferred from nucleotide diversities of the chromosomal region associated with coat color-related gene (毛色関連遺伝子周辺領域の塩基多型からみたユーラシア産野生ハツカネズミの自然史) 児玉 紗也香 (生態遺伝学)

Phylogeography of the genus *Lepus* in northern Asia and population history of the mountain hare (*L. timidus*) in Hokkaido, Japan (北アジア産ノウサギ属の系統地理学的解析と北海道産ユキウサギの集団史の解明) 木下 豪太 (生態遺伝学)

Phylogenetic origin of the sable in Hokkaido (*Martes zibellina brachyura*) based on *Mclr* gene sequences (毛色関連遺伝子 *Mclr* の変異に基づくエゾクロテンの系統学的起源) 石田 浩太郎 (生態遺伝学)

Diversity and host use of *Drosophila* parasitoids in Tokyo and Sapporo (東京および札幌におけるショウジョウバエの捕食寄生者の多様性と宿主利用) 粕谷 菜月 (生態遺伝学)

Analysis on the soldier-specific proteins in sternal gland of the damp-wood termite (オオシロアリの腹板腺における兵隊特異的タンパク質の解析) 淀井 智也 (生態遺伝学)

北海道における高層湿原の池塘にみられる水生節足動物の種多様性と種組成の空間変異 林 瑠宇 (動物生態学)

Developmental bases of underlying the sexual differentiation of antennae in the ponerine ant (トゲオオハリアリにおける触角形態の顕著な性差をもたらす分子発生的基盤) 笹 千舟 (動物生態学)

北海道厚岸湖における二枚貝の環境収容力の推定 阿部 博哉 (海洋生物生産環境学)

根室湾における栄養塩環境特性と低次生物生産の関係 市野 亜沙美 (海洋生物生産環境学)

アマモ場の存在が風蓮湖の栄養塩循環に及ぼす影響の定量的評価 張間 千鶴 (海洋生物生

産環境学)

サロマ湖における二枚貝垂下養殖が物質循環系に与える影響評価 森田 康 (海洋生物生産環境学)

天塩川感潮域におけるヤマトシジミ (*Corbicula japonica*) の分布特性と食性解析 渡邊 恵実 (海洋生物生産環境学)

北海道東部別寒辺牛川水系におけるイトウ *Parahucho perryi* 成魚の生息地選択性に関する研究 鍵和田 玄 (水圏環境生物学)

知床半島沿岸域におけるシロザケ *Oncorhynchus keta* の漁獲量変動メカニズム解明に関する研究 篠原 陽 (水圏環境生物学)

バイオロギング・バイオテレメトリー手法を用いたイトウ *Parahucho perryi* 成魚の行動生態に関する研究 高橋 伸幸 (水圏環境生物学)

Origin and genetic population structure of two hemi-clone strains of *Hexagrammos hybrid* (半クローン生殖するアイナメ属雑種生殖集団2系統の起源と遺伝的集団構造) 堀田 海帆 (水圏環境生物学)

植物バイオセンサーによる糖質コルチコイド・アンドロゲン活性物質検出の試み 大崎 渥子 (環境分子生物学・微生物生態学)

アンモニア酸化細菌の活性促進機構の解析 坂上 景子 (環境分子生物学・微生物生態学)

*Acinetobacter calcoaceticus* P23株が生産する新規植物成長促進因子の同定 千田 俊輔 (環境分子生物学・微生物生態学)

便器表面に早期付着する新規 *Rhizobium* 属細菌R8株の諸特性解析 深野 透 (環境分子生物学・微生物生態学)

シロイヌナズナにおけるホウ素応答機構の解明とホウ素過剰耐性付与を目指した形質転換トマトの生育解析 平井 達也 (環境分子生物学・微生物生態学)

サンゴ及び褐虫藻の脂質組成とサンゴの白化現象との関係 若浜 貴宏 (環境分子生物学・微生物生態学)

サハリン油田開発に伴う原油汚染事故を想定した原地性バイオオーグメンテーションの研究 坂口 直史 (環境分子生物学・微生物生態学)

Spatial genetic structures of the sika deer population in Hokkaido using mtDNA and msDNA (mtDNAとmsDNAを用いたエゾシカ個体群の遺伝的空間構造の解明) 山田 敏也 (森林圏環境学)

mtDNA と nDNA の比較に基づいた遺伝的多様性の維持機構の推定-小型哺乳類であるエゾヤチネズミをモデルとして- 菅家 恵未 (森林圏環境学)

広葉樹が混交したアカエゾマツ人工林における樹木の成長過程と森林の多面的機能の評価 加藤 聡美 (森林圏環境学)

天然生針広混交林の択伐施業地における炭素貯留量の長期変化 南雲 未智 (森林圏環境学)

湿地性アカエゾマツ林の動態に地下水位の空間的・時間的変動が及ぼす影響 竹内 史郎 (森林圏環境学)

針広混交林における枯死木の腐朽過程の変動：材の部位，樹種，周辺環境の影響 井上 太樹 (森林圏環境学)

4倍体草本ザゼンソウのマイクロサテライトマーカー開発 間宮 渉 (森林圏環境学)

ミズナラの種子生産量と肥大成長の長期変動 來住 牧 (森林圏環境学)

SSRマーカーによるススキの遺伝的多様性解析 工藤 悠 (耕地圏環境学)

キイチゴ属野生種に由来する交配雑種および北海道内各地で栽培したキイチゴ属遺伝資源の特性評価に関する研究 曾根 哲朗 (耕地圏環境学)

ハスカップの雑種作出およびインプリント遺伝子の解析による胚乳分化機構に関する研究 松原 忍 (耕地圏環境学)

北海道における春コムギ-カバークロップ輪作体系における窒素動態の解析 永山 毅 (耕地圏環境学)

肉用育成牛の定置放牧における放牧方式と牧草生産に関する研究 石坂 祐子 (耕地圏環境学)

Physiological biotelemetry study on upstream migration of salmon (サケ科魚類の遡上行動に関する生理学的バイオテレメトリー研究) 三好 晃治 (水圏環境生物学)

Contribution of photosynthetic products to seed production in *Gagea lutea* (*Lilliaceae*) (ユリ科植物キバナノアマナにおける光合成産物の種子生産への貢献度について) Azizat Idowu Sunmonu (生物多様性科学)

### 平成24年度

植物バイオセンサー群を用いた食品中ステロイドホルモン活性の調査研究 東 史弥 (分子生物学)

海底油田から単離した高度好熱菌 *Coprothermobacter* sp. PM9-2 の諸特性解析 漆畑 亘 (分子生物学)

アゾ色素分解性 *Flavobacteriaceae* 科細菌由来アゾ還元酵素の遺伝子探索及び酵素特性解析 村上 峻 (分子生物学)

ウキクサ根圏細菌共生系を利用した低炭素型フェノール分解 倉科 光紀 (分子生物学)

*Acinetobacter calcoaceticus* P23 の植物成長促進機構に関する研究 鈴木 和歌子 (分子生物学)

海洋細菌における多価不飽和脂肪酸の合成と機能 本猪木 太郎 (分子生物学)

Impact of the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake on rocky intertidal community (岩礁潮間帯生物群集への東北地方太平洋沖地震の及ぼすインパクト) 飯田 光穂 (動物生態学)

なぜフクロウの巣は汚いのか? その適応的な理由 朝日 健斗 (動物生態学)

Potential impact of an invasive mammal on native birds through resource competition: tree cavity preferences of feral raccoon and Ural owl (外来アライグマが在来フクロウに与える影響: 樹洞をめぐる資源競争) 小林 章弥 (動物生態学)

なぜサケ科魚類は冬季に夜行性になるのか? 餌資源量が活動時間に与える影響 田中 友樹 (動物生態学)

Environmental factors affecting the reproductive success of the White-tailed Sea Eagle *Haliaeetus albicilla* (オジロワシの繁殖成功に関わる環境要因) 福原 るみ (動物生態学)

北海道産シロザケの最適放流量を推定するEBM (Ecosystem Based Management) モデルの開発 三輪 剛士 (海洋圏科学)

Distribution and formation of halocline in the world ocean (全球塩分躍層の分布と形成)

- 安井 桂 (海洋圏科学)
- 太平洋における海洋中規模渦の合併と分裂 石山 宙夢 (海洋圏科学)
- 陸奥湾における窒素態栄養塩の循環過程—主に底層付近での硝化過程に着目して—  
橋岡 香織 (海洋圏科学)
- 陸奥湾における堆積物中の生元素動態に基づいた生物生産過程の歴史的変遷の評価  
吉村 真理 (海洋圏科学)
- 噴火湾堆積物における安定同位体比の時空間分布特性について 内田 佳孝 (海洋圏科学)
- 風蓮湖におけるヤマトシジミ (*Corbicula japonica*) の生態と物理化学的環境の関係 川原 創  
(海洋圏科学)
- 火散布沼(半閉鎖性亜寒帯汽水湖)における堆積物から見た環境変遷 前田 和平 (海洋圏科学)
- The interaction between scallop culture and primary production in Mutsu bay, Japan (陸奥  
湾におけるホタテ養殖と基礎生産の相互作用) Kanchana Niwanthi Warnakulasooriya  
(海洋圏科学)
- 森林土壌における窒素動態の空間的不均質性とその形成要因 井上 貴央 (森林圏環境学)
- 北海道北部における森林の人為的攪乱が土壌および溪流水の溶存イオン動態に与える影響  
青山 隼人 (森林圏環境学)
- アカネズミにおけるタンニン耐性能力の地理的変異-ナラ類の生育地と非生育地に着目して-  
岡本 彩佳 (森林圏環境学)
- エゾヤチネズミの遺伝的空間構造の年次変化-雌雄の分散パターンに着目して- 杉木 学 (森  
林圏環境学)
- 局所的な環境の違いがキツネの食性に与える影響 安生 浩太 (森林圏環境学)
- Indirect effects of deer bark stripping on herbivores through the spatial different responses  
of tree (シカ樹皮剥ぎによる樹木の空間的に異質な反応を介した植食者への間接効果)  
田中 幹展 (森林圏環境学)
- Is variation in canopy herbivory of birches along altitudinal gradient driven by  
temperature? -verification of temperature effect by warming experiment- (標高勾配に  
おけるダケカンバの食害度の変異は温度によってもたらされているのか? —温暖化操作  
実験による温度効果の検証—) 簗島 萌子 (森林圏環境学)
- 同種の存在に応じた孵化直後の表現型可塑性: 共食いに対するサンショウウオの成長戦略  
池田 晃子 (森林圏環境学)
- Predator cannibalism can intensify negative impacts on its prey: ecological consequences of  
size variation within populations of cannibalistic species (捕食者種の共食いが被食者種  
への負の影響を強める: 個体群内のサイズ変異の生態学的意義) 高津 邦夫 (森林圏  
環境学)
- Responses of shoot growth and distribution of *Pinus pumila* to climate change (気候変動に対  
するハイマツのシュート成長と分布域の応答) 雨谷 教弘 (植物生態学)
- 苫小牧の天然林と二次林における主要樹種個体群の動態 生駒 佳史 (植物生態学)
- Enrichment and isolation of novel sulfate-reducing bacteria (新規硫酸還元細菌の集積と単  
離) 渡邊 美穂 (生態系生物学)
- ヘアリーベッチをカバークロープとして導入した施設トマト生産の肥培管理に関する研究への  
安定同位体<sup>15</sup>Nの活用 杉原 雄一 (耕地圏科学)

- 種間交雑を利用したハスカップの新規系統育成および形質評価に関する研究 下田 真明  
(耕地圏科学)
- アマモ場の葉上動物群集に対するボトムアップ・トップダウン効果の検証 百田 恭輔 (水  
圏生物学)
- Neuroendocrinological studies on Gonadal Maturation and Homing Migration in Pacific  
Salmon (太平洋サケの性成熟・母川回帰機構に関する神経内分泌学的研究)  
深谷 厚輔 (水圏生物学)
- 音響計測手法を用いたアマモ場の季節変動の定量化に関する研究 園木 詩織 (水圏生物学)
- バイオロギングデータに基づく板鰓類の行動分類手法の構築に関する研究 日下部 有紀  
(水圏生物学)
- バイオテレメトリ手法を用いた北海道東部忠類川における降海型サクラマス *Oncorhynchus  
masou masou* の遡上生態に関する研究 木村 龍一 (水圏生物学)
- 北海道沿岸を利用するトドの初夏における回遊生態と潜水行動 高橋 菜里 (水圏生物学)
- Spatial, temporal and dietary overlap between harbour seals *Phoca vitulina* and fisheries in  
Erimo, Japan (北海道えりも岬におけるゼニガタアザラシ *Phoca vitulina* の食性及び漁  
業との時空間的重複) Tabitha Cheng Yee Hui (水圏生物学)
- The molecular ecological study in the early demersal period of *Gymnocanthus herzensteini*  
and *G. intermedius* sympatrically distributing (同所的に生息するツマグロカジカ属2  
種の着底初期における分子生態学的研究) 山崎 彩 (水圏生物学)
- Sequence variations of coat color related genes, *Mclr* and *Asip*, in the sable (*Martes  
zibellina*) from Hokkaido, Japan (北海道産クロテン (*Martes zibellina brachyuran*) の  
毛色多型に関する責任遺伝子の解析) 小川 耕平 (生態遺伝学)
- Evolutionary history of the three subspecies lineages of the house mouse *Mus musculus* in  
the Japanese Archipelago (日本列島にみられる野生ハツカネズミ 3 亜種系統の自然史)  
桑山 崇 (生態遺伝学)
- Genetic and morphological studies on the large Japanese mole *Mogera wogura* and its  
taxonomic reconsideration (コウベモグラの遺伝・形態解析と分類学的再考察)  
三賀森 敬亮 (生態遺伝学)
- Intra-specific variation in reproductive strategies of *Viola brevistipulata* (Violaceae) (オオ  
バキスミレにおける繁殖戦略の種内変異) 速水 将人 (生態遺伝学)
- Variations of aggressive behavior among pseudergates and their relation to the physiological  
status in the damp-wood termite *Hodotermopsis sjostedti* (オオシロアリにおける擬職  
蟻の攻撃性の個体変異と生理機構との関連に関する研究) 田部 慧 (生態遺伝学)
- Developmental regulation of wing primordia involved in the wing polyphenism in the vetch  
aphid *Megoura crassicauda* (ソラマメヒゲナガアブラムシの翅多型に関わる翅原基の発  
生制御機構) 阿部 太亮 (生態遺伝学)

## 環境物質科学専攻

### 平成23年度

- Adsorption Properties of Organic Dyes and Heavy Metal Ions on Chitosan-Activated Carbon  
Beads (キトサン-活性炭ビーズの有機色素および重金属イオンに対する吸着特性)

Kirdpipat Nathakorn (生体物質科学)

樹脂配糖体 Pescaprein XVIII の合成研究 金岡 大樹 (生体物質科学)

$\beta$ -Glucan生合成を模倣した新規糖鎖合成法の開発 近藤 和志 (生体物質科学)

ドデシルチオグリコシドを用いる高マンノース型糖鎖の収束合成法に関する研究 中井 大輔  
(生体物質科学)

Vinigrolの合成研究 加納 邦泰 (生体物質科学)

フロアワックス剥離廃液の処理過程における亜鉛の動態 児玉 康成 (生体物質科学)

UV照射DNA修飾電極へのインターカレーターの濃縮とその電極挙動 濱出 唯芽 (生体物質科学)

種々のシクロデキストリン単分子層の表面構造と包接特性 岡村 一真 (ナノ環境材料)

マルチポルフィリンに内包されたAuナノクラスターの合成と性質 岩原 恵太 (ナノ環境材料)

アルキニル修飾Auクラスターの合成と性質 大塚 英華 (ナノ環境材料)

PEG修飾半導体性クラスターの外部ゲスト応答特性 福永 直人 (ナノ環境材料)

12-タングストリン酸セシウム-鉄塩の酸触媒特性 安藤 卓 (ナノ環境材料)

フェニルスズ基を導入したKeggin型ヘテロポリ酸セシウム塩の分子吸着特性 菊池 卓希 (ナノ環境材料)

活性炭担持ニッケル触媒による水中硝酸イオン還元反応 瀬戸 孟 (ナノ環境材料)

アークプラズマ照射-アニール処理により金属微粒子を担持させた高効率光触媒の開発 荻坪 敬栄 (環境触媒化学)

金属コア-酸化クロムシェル型助触媒を用いる高効率水素生成光触媒系の構築 喜瀬 逸 (環境触媒化学)

水溶液中における電気化学手法を用いる酸化チタン光触媒粒子中の電子トラップの解析 野中 篤 (環境触媒化学)

層間に白金を担持させた層状チタン酸-有機色素系水素生成光触媒の開発 王 嘉辰 (環境触媒化学)

※ 以下2011年9月修了生

ヨウ化銀の電気伝導度に対する電場効果と光照射効果 秦 昊 (光電子科学)

## 平成24年度

サルモネラ菌由来O抗原多糖の5糖繰り返し構造の全合成に関する研究 篠田 隆祥 (生体物質科学)

Characterization of Water-Soluble EDTA-Chitosan as Heavy Metal Chelating Flocculant (水溶性EDTA-キトサンの重金属キレート凝集剤としての性能評価) 藤田 彩華 (生体物質科学)

グロボトリオース結合キトサンの合成とレクチン認識能の評価に関する研究 松永 智恵 (生体物質科学)

アルデヒド, 酸フッ化物, トリメチルシリルメチルホスホネートのワンポット3成分カップリング反応とその応用 清野 智也 (生体物質科学)

- プルシアンブルー修飾マグネタイトを用いた土壤中セシウム捕集法の検討 山下 綾乃 (生体物質科学)
- サケ白子由来デオキシリボ核酸/第四級アンモニウムポリカチオン複合繊維を用いた発癌性物質の除去 飯尾 真理 (生体物質科学)
- ニホンウナギの産卵場を決める化学的要因 吉岡 裕太郎 (生体物質科学)
- 界面活性剤に選択的な蛍光性シクロデキストリン型検出試薬の開発 上谷 祐介 (ナノ環境材料)
- 金ナノ粒子の固定化炭素電極の調製とキャラクタリゼーション 飯嶋 洋平 (ナノ環境材料)
- 機能性官能基導入によるシクロデキストリン単分子膜の包接特性制御 磯村 洵子 (ナノ環境材料)
- 親水性基で表面修飾された半導体性クラスターの設計と応答活性 小笠原 啓 (ナノ環境材料)
- 異種クラスター複合体の設計と分子吸着特性 加藤 雄貴 (ナノ環境材料)
- 金属チオラート骨格を有するティアラ型環状ホストの合成と機能 瀬田 敬太 (ナノ環境材料)
- 金属酸化物触媒による水中アンモニウムイオンのオゾン酸化分解 市川 昇一 (ナノ環境材料)
- Pt/SrTiO<sub>3</sub>:RhとSn-Pd/Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>が共存した反応系による可視光照射下での水中硝酸イオン還元分解 平山 純 (ナノ環境材料) CO<sub>3</sub>
- ピリジンオキシド部位を含む電荷分極型中性配位子を利用した多孔性軽金属錯体の構造多様化に関する研究 水谷 純也 (光電子科学)
- 超分子ローター/[MnCr(oxalate)<sub>3</sub>]結晶におけるマルチフェロイック性の開拓 吉竹 理 (光電子科学)
- 金属-絶縁体転移を示す分子性導体λ-(BETS) 2 FeC<sub>14</sub>の光励起による電気伝導度変化の時間分解測定 生沼 要 (光電子科学)
- 単一生細胞ナノ秒パルス電場効果観測システムの製作 本間 将人 (光電子科学)
- 白金表面上におけるシンシコニジンの吸着構造の解明-溶存水素による構造変化- 富岡 亮太 (環境触媒化学)
- Structure and Stability of Surfactant Monolayers on the Solid Surface** (固体基板表面における界面活性剤単分子膜の構造と安定性) 彭 奇齡 (環境触媒化学)
- X線回折による酸化チタン光触媒の結晶-アモルファス構造の精密解析 佐野 美香子 (環境触媒化学)
- アナターズ-ルチル混合微粒子酸化チタン光触媒の結晶組成の精密解析 稗貫 右京 (環境触媒化学)
- タングステン酸ビスマス粒子の光触媒活性におよぼす結晶形態の影響の解析 堀 晴菜 (環境触媒化学)
- 二重励起光音響分光法による酸化チタン光触媒中の電子トラップ密度の評価 八木 祐太 (環境触媒化学)
- 十面体形状アナターズ酸化チタン光触媒の気相合成と構造-活性相関の解析 楊 ジョウ (環境触媒化学)
- ※以下2012年9月修了生
- ポスト処理法による多孔性12-タングストケイ酸セシウム塩への酸機能付与 佐野 翔吾 (ナノ環境材料)

### 11-3 修業年限修業学位取得率

博士後期課程

	入学者数	平成23年度までの修了者	
		標準年限内 修了者数	取得率 (%)
平成21年4月 入学者	37	14	37.8
平成21年10月 入学者	8	0	0

	入学者数	平成23年度までの修了者	
		標準年限内 修了者数	取得率 (%)
平成22年4月 入学者	39	20	51.3
平成22年10月 入学者	9	4	44.4

※ 修士（博士前期）課程は省略（概ね年限内で取得している）

## 1 2 研究成果発表状況

### 1 2-1 査読有り論文

平成23年度及び平成24年度に受理された査読有り論文を専攻毎にまとめた。下線の氏名は環境科学院学生（修了者も学院所属時の発表ならば含む）、イタリックの氏名は学院教員、括弧内は受理日（年/月/日）を表す。なお、教員のみ業績については各部局の報告等に所載するため掲載していない。また、原著論文（査読有り論文）に関しては、受理された年度（4月1日-3月31日）で分けている。

#### 環境起学専攻

（平成 23 年度）

- Batbold, A., Sato, T., Ishikawa, M., Tsogt, J., 2011. Performance of dynamic downscaling for extreme weather event in eastern Mongolia: Case study of severe windstorm in 26 May 2008. SOLA, 7, 117-120. (2011/7/6)
- Begum, P., Ikhtiar, R., Fugetsu, B., 2011. Graphene phytotoxicity in the seeding stage of cabbage, tomato, red spinach, and lettuce. Carbon, 49, 3907-3919. (2011/5/18)
- Begum, P., Ikhtiar, R., Fugetsu, B., Matsuoka, M., Akasaka, T., Watari, F., 2012. Phytotoxicity of multi-walled carbon nanotubes assessed by selected plant species in the seedling stage. Applied Surface Science, 262, 120-124. (2012/3/14)
- Dai, Y., Zhang, Y., Liu, B., Teduka, M., Lin, Y., Tanaka, S., 2011. Separation of pollutants from water using the freeze-concentration process. Environmental Engineering and Management Journal, 10(7), 955-958. (2011/7/-)
- Djietror, J.C., Ohara, M., Tsuyuzaki, S., Appiah, C., 2011. On the path of invasion: disturbance promotes the growth vigor among siam weeds in a mine land ecosystem. Research Journal of Forestry, 5, 144-153. (2011/12/14)
- Egawa, C., Tsuyuzaki, S., 2011. Seedling establishment of late colonizer is facilitated by seedling and overstory of early colonizer in a post-mined peatland. Plant Ecology, 212, 369-381. (2011/8/2)
- Egawa, M., Aoki, K., Sun, Y., Hosokawa, T., Saito, T., Kurasaki, M., 2012. Effects of parabens on apoptosis induced by serum-free medium. Journal of Environmental Science and Health Part B, 47, 196-204. (2011/6/10)
- Hu, B., Fugetsu, B., Yua, H., Abe, Y., 2012. Prussian blue caged in spongiform adsorbents using diatomite and carbon nanotubes for elimination of cesium. Journal of Hazardous Materials, 217-218, 85-91. (2012/2/27)
- Karim R., Ikeda M., Ishikawa M., 2011. Recent climatic effects on seasonal rice yields in Bangladesh: A statistical overview, Agricultural Science and Technology B, 1(7), 950-963. (2011/5/16)
- Kitamura, M., Sikder, M.T., Saito, T., Kurasaki, M., 2012. Study on toxicity of boron detected in Toyohira River water using PC12 cells. Biomedical Research on Trace Elements, 23(1), 24-32. (2012/3/12)
- Kuboki, Y., Furusawa, T., Sato, M., Sun, Y., Unuma, H., Fujisawa, R., Abe S., Akasaka, T., Watari, F., Takita, H., Sammons, R., 2012. Interaction between titanium and phosphoproteins revealed by chromatography column packed with titanium beads. Bio-Medical Materials and Engineering, 22 (5), 283-288. (2012/2/27)
- Lin, Y., Fujii, M., Wang, P., 2011. Study on comparison of citizen's environmental awareness among four cities in China and Japan. Management Science and Engineering, 5 (3), 126-131. (2011/7/8)
- Masuma, R. Choudhuri, M.S.K., 2011. Pharmacology study of aqueous extract of *scoparia dulcis L.* on gastrointestinal tract. Hamdard Medicus, 54, 64-68. (2011/3/14)
- Saito, T.I., Okubo, K., 2011. Effects of vegetation cutting on the invasive plant *Coreopsis lanceolata* vary with vegetation type. Landscape and Ecological Engineering, 8 (2), 207-214. (2011/7/14)
- Saito, T.I., Okubo, K., 2011. Influences of invasive herb *Coreopsis lanceolata* on riparian endemic herbs in relation to the understory light availability. Landscape and Ecological Engineering, 9 (2), 271-280. (2011/9/25)
- Saito T.I., Okubo, K., 2011. The relationship between alien herb *Coreopsis lanceolata* and soil texture types on gravelly floodplain vegetation in central Japan. Vegetation Science, 28 (1), 39-47. (2011/5/16)
- Saito, T.I., Tsuyuzaki, S., 2012. *Miscanthus sinensis* community as an indicator for forecasting tree regeneration on abandoned skislopes in the lowland of Hokkaido, northern Japan. Vegetation Science, 29 (1), 41-48. (2012/2/5)
- Saito, T.I., Tsuyuzaki, S., 2012. Response of riparian vegetation to the removal of the invasive forb, *Solidago gigantea*, and its litter layer. Weed Biology and Management, 12 (2), 63-70. (2012/2/22)
- Sawagaki, T., Lamsal, D., Byers, A., Watanabe, T., 2012. Changes in surface morphology and glacial lake development of Chamlang Glacier in the eastern Nepal Himalaya since 1964. Global Environmental Research, 16 (1), 83-94. (2012/3/13)
- Seki, S., Aoki, M., Hosokawa, T., Saito, T., Masuma, R., Komori, M., Kurasaki, M., 2011. Bisphenol-A suppresses neurite

- extension due to inhibition of phosphorylation of mitogen-activated protein kinase in PC12 cells. *Chemico-Biological Interactions*, 194 (1), 23-30. (2011/8/1)
- Shibano, R., Yamanaka, Y., Okada, N., Chuda, T., Suzuki, S., Niino, H., Toratani, M., 2011. Responses of marine ecosystem to typhoon passages in the western subtropical North Pacific. *Geophysical Research Letter*, 38, L18608. (2011/8/15)
- Sikder, M.T., Yasuda, M., Yustiawati, Syawal, S.M., Saito, T., Tanaka, S., Kurasaki, M., 2012. Comparative assessment of water quality in the major rivers of Dhaka and west Java. *International Journal of Environmental Protection*, 2 (4), 8-13. (2012/2/28)
- Sun, L., Yu, H., Fugetsu, B., 2012. Graphene oxide adsorption enhanced by in situ reduction with sodium hydrosulfite to remove acridine orange from aqueous solution. *Journal of Hazardous Materials*, 203-204, 101-110. (2011/11/25)
- Sun, Y., Takahashi, K., Hosokawa, T., Saito, T. Kurasaki, M., 2012. Diethyl phthalate enhances apoptosis induced by serum deprivation in PC12 cells. *Basic & Clinical Pharmacology & Toxicology*, 111 (2), 73-144. (2012/1/30)
- Takahashi, K., Sun, Y., Yanagiuchi, I., Hosokawa, T., Saito, T., Komori, M., Okino, T., Kurasaki, M., 2012. Stevioside enhances apoptosis induced by serum deprivation in PC12 cells. *Toxicol Mech Methods*, 22(4), 243-249. (2012/1/16)
- Tsuyuzaki, S., Nakajima, H., Hirata, A.K.B., Koyama, A. 2011. Distribution pattern of exotic plants in the metropolitan area of Sapporo (Japan) in relation to life form and immigration date. *Feddes Repertorium*, 122, 275-286. (2011/11/16)
- Yasuda, M., Yustiawati, Syawal, S.M., Sikder, M.T., Hosokawa, T., Saito, T., Tanaka, S., Kurasaki, M., 2011. Metal concentrations of river water and sediments in West Java, Indonesia. *Bulletin of Environmental Contamination and Toxicology*, 87(6), 669-673, 2011. (2011/9/9)
- 澤柿教伸, Lamsal, D., 2011. デジタル三次元空間における実体視地形解析へのステレオスコピック技術の応用. *地理学論集*, 86, 1-9. (2011/6/30)
- 水木千春, 平川一臣, 2011. 北海道日高・十勝・根釧地域における津波避難標識に関する台帳一津波危険度および土地条件から見た問題点. *地理学論集*, 86, 86-96. (2011/11/5)
- 水木千春, 平川一臣, 2011. 2011年3月11日東日本大震災発生源における北海道日高・十勝沿岸域住民の津波に対する意識と避難行動. *地理学論集*, 86, 97-107. (2011/11/5)
- 山田健太, 藤井賢彦, 荒木肇, 2011. 大学キャンパスにおける有機性廃棄物の学内循環システムの導入可能性検討: 北海道大学をケーススタディとして. *Journal of Life Cycle Assessment, Japan*, 8 (1), 45-54. (2011/12/13)
- (平成 24 年度)**
- Anas, A.R.J., Kisugi, T., Umezawa, T., Matsuda, F., Campitelli, M.R., Quinn, R.J., Okino, T. 2012. Thrombin inhibitors from the freshwater cyanobacterium *Anabaena compacta*. *Journal of Natural Products*, 75, 1546-1552. (2012/9/5)
- Appiah, C., Tsuyuzaki, S., Dijietror, J.C., 2012. Post fire restoration study of ash and moisture variation effects on seed germination of *Colocynthis citrullus* and *Vigna unguiculata*. *Research Journal of Seed Science*, 5 (4), 126-135. (2012/7/31)
- Dijietror, J.C., Appiah, C., 2012. Conservation studies on land use change and the sustainability of food production and gold mining in a Sub-Sahara African forest ecosystem. *American Journal of Pland Physiology*, 7 (5), 184-199. (2012/7/23)
- Egawa, C., Tsuyuzaki, S., 2013. The effects of litter accumulation through succession on seed bank formation for small- and large-seeded species. *Journal of Vegetation Science*, 24, 1062-1073. (2012/11/26)
- Honjo, K., Fujii, M., 2013. Impacts of demographic, meteorological, and economic changes on household CO<sub>2</sub> emissions in the 47 prefectures of Japan. *Regional Science, Policy and Practice*, 6 (1), 13-30. (2013/3/8)
- Hoyo, Y., Tsuyuzaki, S., 2013. Characteristics of leaf shapes among two parental *Drosera* species and a hybrid examined by canonical discriminant analysis and a hierarchical Bayesian model. *American Journal of Botany*, 100(5), 817-823. (2013/2/25)
- Ikhtari, R., Begum, P., Fugetsu, B., 2012. Studies of phytotoxicity of carbon-based nanoparticles on edible plants model. *Toxicology Letters*, 211, S164-S164. (2012/6/17).
- Islam, M.S., Ueno, Y., Sikder, Md.T., Kurasaki, M., 2013. Phytofiltration of arsenic and cadmium from the water environment using *Micranthemum umbrosum* (J.F. Gmel) S.F. Blake as a hyperaccumulator. *International Journal of Phytoremediation*, 15 (10), 1010-1021. (2012/11/12)
- Kihara, Y., Yustiawati, Tanaka, M., Sulmin, G., Ardianor, Hosokawa, T., Tanaka, S., Saito, T., Kurasaki, M., 2012. Mechanism of the toxicity induced by natural humic acid on human vascular endothelial cells. *Environmental Toxicology*, 29 (8), 916-925. (2012/9/10)
- Karim R., Ishikawa M., Ikeda M. 2012. Modeling of seasonal water balance for crop production in Bangladesh with implications for future projection. *Italian Journal of Agronomy*, 7 (e21), 146-153. (2011/12/27)

- Karim R., Ishikawa M., Ikeda M., Tariqul Islam Md. 2012. Climate change model predicts 33 % rice yield decrease in 2100 in Bangladesh. *Agronomy for Sustainable Development*, 32 (4), 821-830. (2012/10/01)
- Koyama, A., Tsuyuzaki, S., 2012. Mechanism of facilitation by sedge and cotton-grass tussocks on seedling establishment in a post-mined peatland. *Plant Ecology*, 213, 1729-1737. (2012/9/11)
- Koyama, A., Tsuyuzaki, S., 2013. Facilitation by tussock-forming species on seedling establishment collapses in an extreme drought year in a post-mined *Shagnum* peatland. *Journal of Vegetation Science*, 24, 473-483. (2012/7/30)
- Kubo, K., Yamaguchi, K., Mitsuhashi, M., Hattori K., Tanaka, S., 2013. Concentration profiles of PCB congeners in the blubber and liver of Steller sea lions (*Eumetopias jubatus*) from the coast of Hokkaido Japan. *Marine Pollution Bulletin*, 69, 228-232. (2012/12/15)
- Kurasaki, M., Sun, Y., Komori, M., Miyajima, M., Hosokawa, T., Saito, T., 2012. Measurement of DNA damage by terminal deoxynucleotidyl transferase reaction. *Advances in Biological Chemistry*, 2 (3), 243-247. (2012/6/30)
- Mizuki, C., Hirakawa, K., 2012. Site-specific behavior of 2011 Tohoku Earthquake Tsunami influenced by artificial changes of coastal environments. *Journal of Disaster Research*, 7 (Special Issue), 485-490. (2012/5/28)
- Mizuki, C., 2012 Flood risk communication from the viewpoint of disaster prevention awareness in an urban area of Tokyo, Kita-Ward. *Journal of Disaster Research*, 7 (5), 595-603. (2012/6/19)
- Mukai, Y., Sun, Y., Sato, S., 2013. Azuki bean polyphenols intake during lactation upregulate AMPK in male rat offspring exposed to fetal malnutrition. *Nutrition*, 29 (1), 291-297. (2012/6/4)
- Oizumi, R., Takada, T., 2013. Optimal life schedule with stochastic growth in age-size structured models: Theory and an application. *Journal of Theoretical Biology*, 323, 76-89. (2013/1/25)
- Orencio, P., Fujii, M., 2012. An index to determine vulnerability of communities developing a composite index for vulnerability of communities in a coastal zone: A case study of Baler, Aurora, Philippines. *A Journal of the Human Environment (AMBIO)*, 42 (1), 61-71. (2012/6/14)
- Orencio, P., Fujii, M., 2013. A localized disaster-resilience index to assess coastal communities based on an analytic hierarchy process (AHP). *International Journal of Disaster Risk Reduction*, 3, 62-75. (2012/11/29)
- Rudy, S.P., Ohkawa, Y., Tanaka, S., 2013. Application of EAPR system on the removal of lead from sandy soil and uptake by Kentucky bluegrass (*Poa pratensis L.*). *Separation and Purification Technology*, 102, 34-42. (2012/9/25)
- Sato, S., Mukai, Y., Hamaya, M., Sun, Y., Kurasaki, M., 2013. Long-term effect of green tea extract during lactation on AMPK expression in rat offspring exposed to fetal malnutrition. *Nutrition*, 29 (9), 1152-1158. (2012/12/8)
- Sikder, M.T., Elahi, K.M., 2013. Environmental degradation and global warming- consequences of Himalayan mega dams: A review. *American Journal of Environmental Protection*, 2 (1), 1-9. (2013/2/18)
- Sikder, M.T., Kihara, Y., Yasuda, M., Yustiawati, Mihara, Y., Tanaka, S., Odgerel, D., Mijiddorj, B., Syawal, M.S., Hosokawa, T., Saito, T., Kurasaki, M., 2013. River water pollution in developed and developing countries: Judge and assessment of physicochemical characteristics and selected dissolved heavy metal concentration. *CLEAN - Soil, Air, Water*, 41 (1), 60-68. (2012/5/23)
- Sikder, M.T., Kikuchi, T., Suzuki, J., Hosokawa, T., Saito, T., Kurasaki, M., 2013. Removal of cadmium and chromium ions using modified  $\alpha$ ,  $\beta$ , and  $\gamma$ -cyclodextrin polymers. *Separation Science and Technology*, 48 (4), 587-597. (2012/6/26)
- Sun, Y., Guo, Z., Iku, S., Saito, T., Kurasaki, M., 2013. Diethyl phthalate enhances expression of SIRT1 and DNMT3a during apoptosis in PC12 Cells. *Journal of Applied Toxicology*, 33, 1484-1492. (2012/8/2)
- Tsuyuzaki, S., Matsuda, M., Akasaka, M. 2012. Effect of a deciduous shrub on microclimate along an elevation gradient, Mount Koma, north Japan. *Climate Research*, 51, 1-10. (2012/8/29)
- Wang, Y., Sun, L., Fugetsu, B., 2012. Thiourea dioxide as a green reductant for the mass production of solution-based graphene. *Bulletin of the Chemical Society of Japan*, 85 (12), 1339-1344. (2012/8/21)
- Wang, Y., Fugetsu, B., 2013. A polyelectrolyte-stabilized approach for massive production of AgCl/Graphene nanocomposites. *Chemistry Letters*, 42 (4), 438-440. (2013/2/10)
- Yamamoto, A., Kawamiya, M., Ishida, A., Yamanaka, Y., Watanabe, S., 2012. Impact of rapid sea-ice reduction in the Arctic Ocean on the rate of ocean acidification. *Biogeosciences*, 9, 2365-2375. (2012/6/1)
- 小松哲也, 平川一臣, 塚本すみ子, 2012. 中央アジア, 東パミール, カラクル湖 (氷河を流域に擁する閉塞湖) の更新世後期の湖水位変動史の解明. *地学雑誌*, 121 (6), 1063-1072. (2012/10/15)
- 田中朱美, 高橋潔, 申龍熙, 増富祐司, 山中康裕, 佐藤友徳, 2012. 潜在作物生産性モデル GAEZ の北海道での適用可能性の検討と改良. *土木学会論文集 G (環境)*, 68, I\_237-I\_248. (2012/7/9)
- 藤原沙弥香, 地子立, 荒木肇, 藤井賢彦, 2012. 温泉地における CO<sub>2</sub> 排出量低減の可能性検討 - 北海道・流山温泉と夕張温泉における未利用エネルギーの利用促進に向けたケーススタディー. *Journal of Life Cycle Assessment, Japan*, 8 (4), 356-

地球圏科学専攻  
(平成 23 年度)

- Aniya, M., Skvarca, P., Sugiyama, S., Aoki, T., Matsumoto, T., Anma, R., Naito, N., Enomoto, H., Hori, K., Marinsek, S., Konya, K., Nuimura, T., Tsutaki, S., Tone, K., Barcaza, G., 2011. Glaciological research project in Patagonia 2006-2009: Studies at Glaciario Perito Moreno, Hielo Patagónico Sur, in area of Hielo Patagónico Norte and along the Pacific coast. *Bulletin of Glaciological Research*, 30, 1-17. (2011/6/28)
- Fu, P., Kawamura, K., Kobayashi, M., Simoneit, B.R.T., 2012. Seasonal variations of sugars in atmospheric particulate matter from Gosan, Jeju Island: Significant contributions of airborne pollen and Asian dust in spring. *Atmospheric Environment* 55, 234-239. (2012/2/14)
- Ho, S.L., Yamamoto, M., Mollenhauer, G., Minagawa, M., 2011. Core top TEX<sub>86</sub> values in the south and equatorial Pacific. *Organic Geochemistry*, 42, 94-99. (2010/10/18)
- Iizuka, Y., Tsuchimoto, A., Hoshina, Y., Sakurai, T., Hansson, M., Karlin, T., Fujita, K., Nakazawa, F., Motoyama, H., Fujita, S., 2012. The rates of sea salt sulfatization in the atmosphere and surface snow of inland. *Antarctica Journal of Geophysical Research*, 117, D04308. (2012/2/28)
- Ishii, H. and Toyota, T., 2012. Temporal evolution of the structural properties of seasonal sea ice during the early melt season. *Journal of Glaciology*, 58(207), 23-37. (2011/10/14)
- Iwamoto, K., Ohshima, K.I., Tamura, T., Nihashi, S., 2012. Estimation of thin ice thickness from AMSR-E data in the Chukchi Sea. *International Journal of Remote Sensing*, 34 (2), 468-489. (2012/3/8)
- Kawaguchi, Y., Tamura, T., Nishino, S., Kikuchi, T., Itoh, M., Mitsudera, H., 2011. Numerical Study of Winter Water Formation in the Chukchi Sea: Roles and Impacts of Coastal Polynyas. *Journal of Geophysical Research: Oceans*, 116, C07025. (2011/4/26)
- Mathew, R., Tanimoto, Y., 2011. Influence of sea surface temperature on the intraseasonal variability of the South China Sea summer monsoon. *Climate Dynamics* 39 (5), 1209-1218. (2011/6/1)
- Nakayama, Y., Ohshima, K.I., Fukamachi, Y., 2012. Enhancement of sea-ice drift due to the dynamical interaction between sea ice and a coastal ocean. *Journal of Physical Oceanography*, 42, 179-192. (2011/8/10)
- Nihashi, S., Ohshima, K.I., Nakasato, H., 2011. Sea-ice retreat in the Sea of Okhotsk and the ice-ocean albedo feedback effect on it. *Journal of Oceanography*, 67, 551-562. (2011/6/28)
- Nihashi, S., Ohshima, K.I., Kimura, N., 2012. Creation of a heat and salt flux dataset associated with sea-ice production and melting in the Sea of Okhotsk. *Journal of Climate*, 25(7), 2261-2278. (2011/10/18)
- Ohno, H., Oyabu, I., Iizuka, Y., Hondoh, T., Narita, H., Nagao, J., 2011. Dissociation behavior of C<sub>2</sub>H<sub>6</sub> hydrate at temperatures below the ice point: Melting to liquid water followed by ice nucleation. *Journal of Physical Chemistry A*, 115 (32), 8889-8894. (2011/6/11)
- Roxy, M., Tanimoto, Y., 2011. Influence of sea surface temperature on the intraseasonal variability of the South China Sea summer monsoon. *Climate Dynamics*, 39 (5), 1209-1218. (2011/6/1)
- Sakurai, T., Ohno, H., Horikawa, S., Iizuka, Y., Uchida, T., Hirakawa, K., Hondoh, T., 2011. The chemical forms of water-soluble microparticles preserved in the Antarctic ice sheet during termination I. *Journal of Glaciology*, 57(206), 1027-1032. (2011/8/21)
- Sato, T., Greve, R., 2012. Sensitivity experiments for the Antarctic ice sheet with varied sub-ice-shelf melting rates. *Annals of Glaciology* 53 (60), 221-228. (2012/2/25)
- Sato-Takabe, Y., Hamasaki, K., Suzuki, K., 2011. Photosynthetic characteristics of marine aerobic anoxygenic phototrophic bacteria *Roseobacter* and *Erythrobacter* strains. *Archives of Microbiology*, 194 (5), 331-341. (2011/10/6)
- Shintani, T., Yamamoto, M., Chen, M.-T., 2011. Paleoenvironmental changes in the northern South China Sea over the past 28,000 years: a study of TEX<sub>86</sub>-derived sea surface temperatures and terrestrial biomarkers. *Journal of Asian Earth Sciences*, 40, 1221-1229. (2010/11/4)
- Sugiyama, S., Skvarca, P., Naito, N., Enomoto, H., Tsutaki, S., Tone, K., Marinsek, S., Aniya, M., 2011. Ice speed of a calving glacier modulated by small fluctuations in basal water pressure. *Nature Geoscience*, 4, 597-600. (2011/6/28)
- Sunmonu, N., Muramoto, K., Kurita, N., Yoshimura, K., Fujiyoshi, Y., 2012. Characteristics of seasonal variation of near-surface water vapor D/H isotope ratio revealed by continuous in situ measurement in Sapporo, Japan. *SOLA*, 4, 101-104. (2012/1/4)

- Tamura, T., Ohshima, K.I., 2011. Mapping of sea ice production in the Arctic coastal polynyas. *Journal of Geophysical Research*, 116, C07030. (2011/5/13)
- Watanabe, T., Yamazaki, K., 2012. Influence of the anticyclonic anomaly in the subtropical jet over the western Tibetan Plateau on the intraseasonal variability of the summer Asian monsoon in early summer. *Journal of Climate*, 25, 1291-1303. (2011/8/22)
- Yoshida, K., Yamazaki, K., 2011. Tropical cooling in the case of stratospheric sudden warming in January 2009: focus on the tropical tropopause layer. *Atmospheric Chemistry and Physics*, 11, 6325-6336. (2011/6/18)
- Yoshida, O., Yoshikawa-Inoue, H., Suzuki, K., Watanabe, S., Noriki, S., 2011. Biogenic methane distribution in the south pacific and the southern ocean in austral summer, 2001-2002. *Journal of Geophysical Research*, 116, C07008. (2011/4/4)
- Zhu, C., Yoshikawa-Inoue, H., Matsueda, H., Sawa, Y., Niwa, Y., Wada, A., Tanimoto, H., 2012. Variations in atmospheric  $^{222}\text{Rn}$  in the northernmost Japan. *Atmospheric Environment*, 50, 174-181. (2011/12/19)
- 石井吉之, 佐藤大輔, 2012. 積雪底面融解量の場所による変化と流域平均量 北海道大学地球物理学研究報告, 75, 59-71. (2012/1/12)
- 田村岳史, 清水大輔, 牛尾収輝, 大島慶一郎. 2011. 日本南極地域観測隊の夏期行動中における海氷分布情報の提供システム. 南極資料, 55(3), 260-268. (2011/8/11)

(平成 24 年度)

- Abe, S., Nakamura, T., 2013. Processes of breaking of large-amplitude unsteady lee waves leading to turbulence. *Journal of Geophysical Research*, 118, 316-331. (2012/11/28)
- Bajish, C.C., Aoki, S., Taguchi, B., Komori, N., Kim, S.J., 2013. Quasi-decadal circumpolar variability of Antarctic sea ice. *SOLA*, 9, 32-35. (2013/1/6)
- Bindschadler, R.A., Nowicki, S., Abe-Ouchi, A., Aschwanden, A., Choi, H., Fastook, J., Granzow, G., Greve, R., Gutowski, G., Herzfeld, U.C., Jackson, C., Johnson, J., Khroulev, C., Levermann, A., Lipscomb, W.H., Martin, M.A., Morlighem, M., Parizek, B.R., Pollard, D., Price, S.F., Ren, D., Saito, F., Sato, T., Seddik, H., Seroussi, H., Takahashi, K., Walker, R., Wang, W.L., 2013. Ice-sheet model sensitivities to environmental forcing and their use in projecting future sea level (the SeaRISE project). *Journal of Glaciology*, 59 (214). (2013/1/20)
- Endo, H., Yoshimura, T., Kataoka, T., Suzuki, K., 2012. Effects of CO<sub>2</sub> and iron availability on phytoplankton and eubacterial community compositions in the northwest subarctic Pacific. *Journal of Experimental Marine Biology and Ecology*, 439, 160-175. (2012/11/7)
- Fu, P., Kawamura, K., Chen, J., Li, J., Sun, Y.L., Liu, Y., Tachibana, E., Aggarwal, S.G., Okuzawa, K., Tanimoto, H., Kanaya, Y., Wang, Z.F., 2012. Diurnal variations of organic molecular tracers and stable carbon isotopic compositions in atmospheric aerosols over Mt. Tai in the North China Plain: an influence of biomass burning. *Atmospheric Chemistry and Physics*, 12, 8359-8375. (2012/9/1)
- Fujiyoshi, Y., Osumi, K., Ohi, M., Yamada, Y., 2013. Sea ice identification and derivation of its velocity fields by X-band doppler radar. *Journal of Atmospheric and Oceanic Technology*, 30, 1240-1249. (2013/1/26)
- Inai, Y., Shibata, T., Fujiwara, M., Hasebe, F., Voemel, H., 2012. High supersaturation inside cirrus in well-developed tropical tropopause layer over Indonesia. *Geophysical Research Letters*, 39 (20), L20811. (2012/9/28)
- Isada, T., Iida, T., Liu, H., Saitoh, S. I., Nishioka, J., Nakatsuka, T., Suzuki, K., 2013. Influence of Amur River discharge on phytoplankton photophysiology in the Sea of Okhotsk during late summer. *Journal of Geophysical Research: Oceans*, 118 (4), 1995-2013. (2013/3/8)
- Kawamura, K., Izawa, Y., Mochida, M., Shiraiwa, T., 2012. Ice core records of biomass burning tracers (levoglucosan and dehydroabietic, vanillic and *p*-hydroxybenzoic acids) and total organic carbon for past 300 years in the Kamchatka Peninsula, Northeast Asia (2012). *Geochimica et Cosmochimica Acta*, 99, 317-329. (2012/8/20)
- Kuwae, M., Yamamoto, M., Ikehara, K., Irino, T., Takemura, K., Sagawa, T., Sakamoto, T., Ikehara, M., Takeoka, H., 2012. Stratigraphy and wiggle-matching-based age-depth model of late Holocene marine sediments in Beppu Bay, southwest Japan. *Journal of Asian Earth Sciences*, 69 (5), 133-148. (2012/7/4)
- Nakanishi, T., Yamamoto, M., Irino, T., Tada, R., 2012. Distribution of glycerol dialkyl glycerol tetraethers, alkenones and polyunsaturated fatty acids in suspended particulate organic matter in the East China Sea. *Journal of Oceanography*, 68, 959-970. (2012/9/18)
- Nakanishi, T., Yamamoto, M., Tada, R., Oda, H., 2012. Centennial-scale winter monsoon variability in the northern East China Sea during the Holocene. *Journal of Quaternary Science*, 27, 956-963. (2012/7/26)

- Nakazawa, N., Ono, J., Yamaguchi, H., Ohshima, K.I., Kurokawa, A., 2012. Numerical prediction of spilled oil behavior under sea ice conditions: Modification of the 2011 model. Offshore Technology Conference, 23801-MS. (2012/12/-)
- Ohshima, K.I., Fukamachi, Y., Williams, G.D., Nihashi, S., Roquet, F., Kitade, Y., Tamura, T., Hirano, D., Herreraiz-Borreguero, L., Field, I., Hindell, M., Aoki, S., Wakatsuchi, M., 2013. Antarctic bottom water production by intense sea-ice formation in the Cape Darnley polynya. Nature Geoscience, 6, 235-240. (2013/1/21)
- Okada, Y., Yamazaki, K., 2012. Climatological evolution of the Okinawa baiu and differences in large-scale features during May and June. Journal of Climate, 25, 6287-6303. (2012/4/3)
- Popova, A., Tokuchi, N., Ohte, N., Ueda, U.M., Osaka, K., Maximov, T., Sugimoto, A., 2013. Nitrogen availability in the taiga forest ecosystem of northeastern Siberia. Soil Science and Plant Nutrition, 59 (3), 2013, 427-441. (2013/1/29)
- Sakakibara, D., Sugiyama, S., Sawagaki, T., Marinsek, S., Skvarca, P., 2013. Rapid retreat, acceleration, and thinning of Glacier Upsala in the Southern Patagonia Icefield, initiated in 2008. Annals of Glaciology 54(63), 131-138. (2012/4/26)
- Sakazaki, T., Fujiwara, M., Zhang, X., Hagan, M., Forbes, J., 2012. Diurnal tides in the troposphere to the lower mesosphere as deduced from TIMED/SABER satellite data and six global reanalysis data sets. Journal of Geophysical Research, 117, D13108. (2012/4/18)
- Shibata, T., Hayashi, M., Naganuma, A., Hara, N., Hara, K., Hasebe, F., Shimizu, K., Komala, N., Inai, Y., Voemel, H., Hamdi, S., Iwasaki, S., Fujiwara, M., Shiotani, M., Ogino, S.Y. and Nishi, N., 2012. Cirrus cloud appearance in a volcanic aerosol layer around the tropical cold point tropopause over Biak, Indonesia, in January 2011. Journal of Geophysical Research, 117, D11209. (2012/4/25)
- Sugidachi, T., Fujiwara, M., 2013. Correction of the stepwise change observed at 0 °C in Meisei RS2-91, RS-01G, and RS-06G radiosonde relative humidity profiles. Journal of the Meteorological Society of Japan, 91(3), 323-336. (2013/3/1)
- Takao, S., Hirawake, T., Wright, S.W., Suzuki, K., 2012. Variations of net primary productivity and phytoplankton community composition in the Southern Ocean as estimated from ocean-color remote sensing data. Biogeosciences, 9, 3875-3890. (2012/9/12)
- Taketani, F., Kanaya, Y., Pochanart, P., Liu, Y., Li, J., Okuzawa, K., Kawamura, K., Wang, Z., Akimoto, H., 2012. Measurement of overall uptake coefficients for HO<sub>2</sub> radicals by aerosol particles sampled from ambient air at Mts. Tai and Mang, China. Atmospheric Chemical Physics, 12, 11907-11916. (2012/4/12)
- Tamura, T., Williams, G.D., Fraser, A.D., Ohshima, K.I., 2012. Potential regime shift in decreased sea ice production after the Mertz Glacier calving. Nature Communications, 3, 826. (2012/4/3)
- Tanaka, S.S., Watanabe, Y. W., Onob, T., Aramakic, T., 2013. Spatial high-resolution estimation of net oxygen production during spring bloom in the western North Pacific using dissolved oxygen, nitrogen and argon. Marine Chemistry, 49, 85-95. (2013/1/1)
- Tei, S., Sugimoto, A., Yonenobu, H., Hoshino, Y., Maximov, C., 2013. Reconstruction of summer Palmer Drought Severity Index from  $\delta^{13}\text{C}$  of larch tree rings in East Siberia. Quaternary International, 290-291, 275-281. (2012/6/27)
- Terao, T., Horinouchi, T., 2012. Low cloud modulation by synoptic waves over the eastern tropical Pacific. Journal of the Meteorological Society of Japan, 90 (6), 947-958. (2012/8/-)
- Tsutaki, S., Sugiyama, S., Nishimura, D., Funk, M., 2012. Acceleration and flotation of a glacier terminus during formation of a proglacial lake in Rhonegletscher, Switzerland. Journal of Glaciology, 59 (215), 559-570. (2013/2/21)
- Ueta, A., Sugimoto, A., Iijima, Y., Yabuki, H., Maximov, T., Velivetskaya, T., Ignatiev, A., 2012. Factors controlling diurnal variation in the isotopic composition of atmospheric water vapour observed in the Taiga, eastern Siberia. Hydrological Processes, 27, 2295-2305. (2012/4/20)
- Yamamoto, S., Kawamura, K., Seki, O., Kariya, T., Lee, M., 2013. Influence of aerosol source regions and transport pathway on  $\delta\text{D}$  of terrestrial higher plant biomarkers in atmospheric aerosols from the East China Sea. Gochimica et Cosmochimica Acta, 106, 164-176. (2012/12/24)
- Yoshikawa-Inoue, Hisayuki, Zhu, C., 2013. Ecosystem respiration derived from <sup>222</sup>Rn on Rishiri Island, Japan. Biogeochemistry, 115 (1-3), 185-194. (2013/1/27)

生物圏科学専攻  
(平成 23 年度)

- Bin Haji Mohd Taha, A.I., Okuyama, H., Ohwada, T., Yumoto, I., Orikasa, Y., 2011. Exogenous catalase gene expression as a tool for enhancing metabolic activity and production of biomaterials in host microorganisms. Innovations in Biotechnology, Chapter 11, 251-274. (2011/10/19)
- Dietror, J.C., Ohara, M., Appiah, C., 2011. Predicting the establishment and spread of Siam weed in Australia: A test of

- abiotic cues on seed dormancy and germination. *Research Journal of Forestry*, 5 (3), 115-127. (2011/9/8)
- Djietror, J.C., Ohara, M., Tsuyuzaki, S., Appiah, C., 2011. On the path of invasion: Disturbance promotes the growth vigor among Siam weeds in a mine land ecosystem. *Research Journal of Forestry*, 5 (4), 144-153. (2011/12/14)
- Fujii, M., Kojima, H., Iwata, T., Urabe, J., Fukui, M., 2012. Dissolved organic carbon as major environmental factor affecting bacterioplankton communities in mountain lakes of eastern Japan. *Microbial Ecology*, 63, 496-508. (2011/11/5)
- Fujino, T., Goto, T., Shimura, T., Yasuma, H., Tian, Y., Kidokoro, H., Masuda, S., Miyashita, K., 2013. Decadal variation in egg abundance of a mesopelagic fish, *Maurolicus japonicas*, in the Japan Sea during 1981-2005. *Journal of Marine Science and Technology*, 21, 58-62. (2011/9/19)
- Gotoh, H., Cornette, R., Koshikawa, S., Okada, Y., Lavine, L.C., Emlen, D.J., Miura, T., 2011. Juvenile hormone regulates extreme mandible growth in male stag beetles. *PLoS ONE*, 6 (6), e21139. (2011/5/20)
- Gotoh, H., Fukaya, K., Miura, T., 2012. Heritability of male mandible length in the stag beetle, *Cyclommatus metallifer*. *Entomological Science*, 15 (4), 430-433. (2012/3/29)
- Honda, K., Arai, T., Kobayashi, S., Tsuda, Y., Miyashita, K., 2012. Migratory patterns of exotic brown trout, *Salmo trutta*, in south-western Hokkaido, Japan, on the basis of otolith Sr:Ca ratios and acoustic telemetry. *Journal of Fish Biology*, 80 (2), 408-426. (2011/11/10)
- Hori, R., Nishida, N., Okuyama, H., 2011. Hydrophilic and hydrophobic compounds antithetically affect the growth of eicosapentaenoic acid-synthesizing *Escherichia coli* recombinants. *The Open Microbiology Journal*, 5, 114-118. (2011/7/29)
- Iida, Y., Kohyama, T.S., Kubo, T., Kassim, A.R., Poorter, L., Sterck, F., Potts, M.D., 2011. Tree architecture and life-history strategies across 200 co-occurring tropical tree species. *Functional Ecology* 25, 1260-1268. (2011/5/27)
- Iida, Y., Poorter, L., Sterck, F., Kassim, A.R., Kubo, T., Potts, M., Kohyama, T.S., 2012. Wood density explains architectural differentiation across 145 co-occurring tropical tree species. *Functional Ecology*, 26, 274-282. (2011/9/9)
- Ishikawa, A., Ishikawa, Y., Okada, Y., Mizazaki, S., Miyakawa, H., Koshikawa, S., Brisson, J.A., Miura, T., 2012. Screening of up-regulated genes induced by high density in the vetch aphid *Megoura crassicauda*. *Journal of Experimental Zoology Part A*, 317 (3), 194-203. (2011/11/17)
- Ishikawa, A., Ogawa, K., Gotoh, H., Walsh, T.K., Tagu, D., Brisson, J.A., Rispe, C., Jaubert-Possamai, S., Kanbe, T., Shiotsuki, T., Miura, T., 2012. Juvenile hormone titer and related gene expression during the change of reproductive modes in the pea aphid. *Insect Molecular Biology* 21(1), 49-60. (2011/8/17)
- Ishikawa, Y., Miura, T., 2012. Hidden aggression in termite workers: plastic defensive behaviour dependent upon social context. *Animal Behaviour*, 83 (3), 737-745. (2011/11/30)
- Jishi, T., Maeda, T., Araki, H., 2012. Comparison of external quality and hardness of white asparagus spears produced by two different method. *Journal of Japanese Society for Horticultural Science*, 81, 54-59. (2011/7/27)
- Kashihara, Y., Shinoda, K., Murata, N., Araki, H., Hoshino, Y., 2011. Towards intergeneric hybridization between *Alstroemeria L.* and *Bomarea Mirb.* *Floriculture and Ornamental Biotechnology*, 6 (2), 146-149. (2011/5/26)
- Kitanishi, S., Yamamoto, T., Koizumi, I., Dunham, J.B., Higashi, S., 2012. Fine scale relationship between sex, life history and dispersal of masu salmon. *Ecology and Evolution*, 2 (5), 920-929. (2012/1/18)
- Komorita, T., Tsutsumi, H., Kajihara, R., Suga, N., Shibanuma, S., Yamada, T., Montani, S., 2012. Oceanic nutrient supply and uptake by microphytobenthos of the Hichirippu Lagoon, Hokkaido, Japan. *Marine Ecology Progress Series*, 446, 161-171. (2012/1/24)
- Lee, S.P., Ueda, H., 2012. Effects of aggressive interaction on downstream movement and olfactory function in masu salmon, *Oncorhynchus masou*. *Aquaculture*, 362-363, 167-171. (2012/9/14)
- Maeda, T., Jishi, T., Honda, K., Araki, H., Suzuki, T., Suzuki, M., 2012. Effects of blanching method on sugar and protodioscin contents of white asparagus spears. *Journal of Japanese Society for Horticultural Science*, 81 (2), 166-170. (2011/10/24)
- Miyata, R., Kubo, T., Nabeshima, E., Kohyama, T.S., 2011. Common allometric response of open-grown leader shoots to tree height in co-occurring deciduous broad-leaved trees. *Annals of Botany*, 108, 1279-1286. (2011/7/7)
- Miyazono, A., Nagai, S., Kudo, I., Tanizawa, K., 2012. Viability of *Alexandrium tamarense* cysts in the sediment of Funka Bay, Hokkaido, Japan: Over a hundred year survival times for cysts. *Harmful Algae*, 16, 81-88. (2011/6/23)
- Nemoto, F., Kojima, H. and Fukui, M., 2012. Diversity of freshwater *Thioploca* species and their specific association with filamentous bacteria of the phylum *Chloroflexi*. *Microbial Ecology*, 62, 753-764. (2011/7/13)
- Ogawa, K., Ishikawa, A., Kanbe, T., Akimoto, S., Miura, T., 2012. Male-specific flight apparatus development in *Acyrtosiphon pisum* (Aphididae, Hemiptera, Insecta): comparison with female wing polyphenism. *Zoomorphology*,

131 (3), 197-207. (2012/2/21)

- Ohta, T., Miyake, Y., Hiura, T., 2011. Light intensity regulates growth and reproduction of a snail grazer (*Gyraulus chinensis*) through changes in the quality and biomass of stream periphyton. *Freshwater Biology*, 56, 2260-2271. (2011/6/9)
- Shimada, K., Itoh, Y., Washio, K., Morikawa, M., 2012. Efficacy of forming biofilms by naphthalene degrading *Pseudomonas stutzeri* T102 toward bioremediation technology and its molecular mechanisms. *Chemosphere*, 87, 226-233. (2011/12/28)
- Shimada, T., Nishii, E., Saitoh, T., 2011. Interspecific differences in tannin intake levels of forest-dwelling rodents in the wild revealed by a new method using fecal proline content. *Journal of Chemical Ecology*, 37 (12), 1277-1284. (2011/12/1)
- Sugihara, S., Bin Haji Mohd Taha, A.I., Motoigi, T., Ueno, A., Shimizu, S., Sato, M., Kaneko, T., Watanabe, K., Yumoto, I., Okuyama, H., 2012. *Shewanella oshoroensis* sp. nov.: A Mesophilic Eicosapentaenoic Acid and Hentriacontanoic Acid Producing Bacterium. *Research Journal of Microbiology*, 7 (2), 131-138. (2012/3/14)
- Takenaka Takano, K., Repin, R., Mohamed, D.M.B., Toda, M.J., 2012. Pollination mutualism between *Alocasia macrorrhizos* (Araceae) and two taxonomically undescribed *Colocasiomyia* species (Diptera: Drosophilidae) in Sabah, Borneo. *Plant Biology*, 14 (4), 555-564. (2011/10/25)
- Terada, C., Tatsuzawa, S., Saitoh, T., 2012. Ecological correlates and determinants in the geographical variation of deer morphology. *Oecologia*, 169 (4), 981-994. (2012/1/23)
- Tojo, F., Itoh, Y., Okabe, S., Morikawa, M., 2011. Analyses of three dominant membrane proteins from anammox planctomycete *Candidatus Brocadia sinica*. *Journal of Environmental Biotechnology*. 11(1-2), 77-81. (2011/11/15)
- Wakahama, T., Okuyama, H., Takashi Maoka, T., Takaichi, S., 2012. Unique carotenoid lactoside, P457, in *Symbiodinium* sp. of dinoflagellate. *The Journal of the Polish Biochemical Society and of the Committee of Biochemistry and Biophysics*, 59(1), 155-157. (2012/3/1)
- Washio, K., Lim, S.P., Roongsawang, N., Morikawa, M., 2011. A truncated form of SpoT, including the ACT domain, inhibits the production of cyclic lipopeptide arthrofactin, and is associated with moderate elevation of guanosine 3',5'-bispyrophosphate level in *Pseudomonas* sp. MIS38. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, 75, 1880-1888. (2011/7/20)
- Watanabe, T., Fukuzawa, K., Shibata, H., 2012. Temporal changes in litterfall, litter decomposition and their chemical composition in Sasa dwarf bamboo in a natural forest ecosystem of northern Japan. *Journal of Forest Research*, 18 (2), 129-138. (2011/11/18)
- Yamauchi, T., Agetsuma, N., Araki, N., Fukushima, M. 2012. Ixodid ticks collected from the raccoon dog *Nyctereutes procyonoides albus* and the common raccoon *Procyon lotor* in southern Hokkaido, Japan. *International Journal of Acarology*, 38(3), 214-216. (2011/11/24)
- Yoon, S.J., Sakanishi, Y., Kishi, M.J., 2011. Estimation of particulate organic carbon flux produced from eelgrass, *Zostera marina* L., in a subarctic estuary of Hokkaido, Japan. *Current Development in Oceanography*, 3, 1-32. (2011/6/16)
- Novkovic, B., 2011. 翅の幾何学的形態測定学的手法に基づく種間および種内変異の査定：フタクシショウジョウバエ種複合体を例として. *昆虫 ニューシリーズ*, 14(3), 224-231. (2011/5/10)
- 工藤勲, フローラン・アヤ, 高田兵衛, 小林直人, 2011. オホーツク海沿岸域の海洋構造と生物生産. *沿岸海洋研究*, 49, 13-21. (2011/7/13)
- 地子立, 午来博, 門傳千香子, 荒木肇, 2012. 北海道オホーツク地域のグリーンアスパラガス伏せ込み促成栽培における10月掘り1年生株の若茎収量. *園芸学研究*, 11(4), 491-495. (2012/3/15)
- 藤原沙弥香, 荒木肇, 地子立, 藤井賢彦, 2012. 大学キャンパスにおける有機性廃棄物の学内循環システムの導入可能性検討学北海道をケーススタディとして. *Journal of Life Cycle Assessment, Japan*, 8, 45-54. (2011/12/13)
- 南憲史, 濱野明, 東条斉興, 中村武史, 安間洋樹, 宮下和士, 2011. 計量魚群探知機を用いた久留見ノ瀬周辺におけるガラモ場の分布推定. *日本水産学会誌*, 78, 171-179. (2011/11/14)
- 門谷茂, 真名垣友樹, 柴沼成一郎, 2011. 酪農業の進展と風蓮湖の生物生産構造変化. *沿岸海洋研究*, 49, 59-67. (2011/8/31)

(平成 24 年度)

- Agboola, J., Uchimiya, M., Kudo, I., Osawa, M., Kido, K., 2013. Seasonality and environmental drivers of biological productivity on the western Hokkaido coast, Ishikari Bay, Japan. *Estuarine, Coastal and Shelf Science*, 127, 12-23. (2013/3/19)
- Aguilos, M.M., Takagi, K., Takahashi, H., Hasegawa, J., Ashiya, D., Kotsuka, C., Naniwa, A., Sakai, R., Ito, K., Miyoshi, C.,

- Nomura, M., Uemura, S., Sasa, K.*, 2012. Enhanced annual litterfall production due to spring radiation in cool-temperate mixed forests of northern Hokkaido, Japan. *Journal of Agricultural Meteorology*, 68, 195-204. (2012/5/7)
- Araki, H., Nakano, H., Takamushi, S., Ichikawa, S., Jishi, T., Hoshino, Y., Yamagata, S., Kamide, M., Yamakoshi, Y., Yamada, A.*, 2012. Evaluation of asparagus fern and rhizome residues as bio-energy source. *Acta Horticulturae*, 950, 201-206. (2012/5/1)
- Araki, H., Sarwar, A.K.M.G., Nakano, S., Takamushi, S., Ichikawa, T., Jishi, T. and Hoshino, Y.*, 2012. Biomass production and yield of recent asparagus cultivars in snow cover region, Hokkaido, Japan: 3rd IACT report. *Acta Horticulturae*, 950, 195-200. (2012/5/1)
- Bontempo e Silva, E.A., Hasegawa, S.F., Ono, K., Sumida, A., Uemura, S., Hara, T.*, 2012. Differential photosynthetic characteristics between seedlings and saplings of *Abies sachalinensis* and *Picea glehnii*, in the field. *Ecological Research*, 27 (5), 933-943. (2012/7/3)
- Djietror, J.C., Ohara, M., Appiah, C.*, 2012. Conservation studies on land use change and the sustainability of food production and gold mining in a Sub-Sahara African forest ecosystem. *American Journal of Plant Physiology* 7(5), 184-199. (2012/7/23)
- Djietror, J.C., Ohara, M.*, 2012. Spatial analysis of the distribution and abundance patterns of *Chromolaena odorata* in Ghana: an invasion risk analysis. *International Journal of Botany*, 8 (3), 127-135. (2012/7/24)
- Dolezal, J., Yakubov, V., Hara, T.*, 2013. Plant diversity changes and succession along resource availability and disturbance gradients in Kamchatka. *Plant Ecology*, 214 (3), 477-488. (2013/2/5)
- Fukaya, K., Okuda, T., Hori, M., Yamamoto, T., Nakaoka, M., Noda, T.*, 2013. Variable processes that determine population growth and invariant mean-variance relationship of intertidal barnacles. *Ecosphere*, 4 (4), Article 48. (2013/2/26)
- Fukaya, K., Amano, M., Ueda, H.*, 2013. Diurnal changes in salmon GnRH secretion in the brain of masu salmon (*Oncorhynchus masou*). *General and Comparative Endocrinology*, 192, 77-80 (2013). (2013/3/13)
- Hattori, A., Sugime, Y., Sasa, C., Miyakawa, H., Ishikawa, Y., Miyazaki, S., Okada, Y., Cornette, R., Lavine, L.C., Emlen, D.J., Koshikawa, S., Miura, T.*, 2013. Soldier morphogenesis in the damp-wood termite is regulated by the insulin signaling pathway. *Journal of Experimental Zoology Part B: Molecular and Developmental Evolution*, 320 (5), 295-306. (2013/3/2)
- Hayamizu, M., Hosokawa, I., Kimura, O., Ohara, M.*, 2012. Intraspecific variation in life history traits of *Viola brevistipulata* (Violaceae) in Hokkaido. *Plant Species Biology*, 29 (1), 85-91. (2012/7/25)
- Hayashida, K., Nii, H., Tsuji, T., Miyoshi, K., Hamamoto, S., Ueda H.*, 2013. Effects of anesthesia and surgery on  $U_{crit}$  performance and  $MO_2$  in chum salmon, *Oncorhynchus keta*. *Fish Physiology and Biochemistry*, 39 (4), 907-915. (2012/12/5)
- Higashioka, H., Kojima, H., Watanabe, M., Fukui, M.*, 2013. *Desulfatitalea tepidiphila* gen. nov., sp. nov., a novel sulfate-reducing bacterium isolated from tidal flat sediment. *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology*, 63, 761-765. (2012/5/4)
- Honda, K., Kagiwada, H., Takahashi, N., Miyashita, K.*, 2012. Seasonal stream habitat of adult Sakhalin taimen, *Parahucho perryi*, in the Bekanbeushi River system, eastern Hokkaido, Japan. *Ecology of Freshwater Fish*, 21, 640-657. (2012/6/14)
- Ishida, K., Sato, J.J., Kinoshita, G., Hosoda, T., Kryukov, A.P., Suzuki, H.*, 2013. Evolutionary history of the sable (*Martes zibellina brachyura*) on Hokkaido inferred from mitochondrial *Cytb* and nuclear *Mc1r* and *Tcf25* gene sequences. *Acta Theriologica*, 58, 13-24. (2012/9/17)
- Ishikawa, A., Miura, T.*, 2013. Transduction of high-density signals across generations in aphid wing polyphenism. *Physiological Entomology*, 38 (2), 150-156. (2013/3/25)
- Ishikawa, A., Gotoh, H., Abe, T., and Miura, T.*, 2013. Juvenile hormone titer and wing-morph differentiation in the vetch aphid *Megoura crassicauda*. *Journal of Insect Physiology*, 59 (4), 444-449. (2013/2/11)
- Jimbo, H., Noda, A., Hayashi, H., Nagano, T., Yumoto, I., Orikasa, Y., Okuyama, H., Nishiyama, N.*, 2013. Expression of a highly active catalase VktA in the cyanobacterium *Synechococcus elongatus* PCC 7942 alleviates the photoinhibition of photosystem II. *Photosynthesis Research*, 117 (1-3), 509-515. (2013/2/12)
- Jishi, T., Araki, H.*, 2013. Effects of long-term storage of one-year-old rootstocks in snow mound on the sugar contents of storage roots and white spear yield of asparagus. *Japanese Society for Horticultural Science*, 82 (2), 138-144. (2013/2/2)
- Jishi, T., Maeda, T., Siga, Y., Araki, H.*, 2012. Inter production of white asparagus from one-year old rootstocks by forcing culture. *Acta Horticulturae*, 950, 27-32. (2012/5/1)

- Kaji, T., Maran, V., Kondoh, Y., Ohtsuka, S., Boxshall, G., Tsukagoshi, A., 2012. The lunule of caligid copepods: an evolutionarily novel structure. *Evolution & Development*, 14 (6), 465-475. (2012/5/27)
- Kasuya, N., Mitsui, H., Ideo, S., Watada, M., Kimura, M.T., 2013. Ecological, morphological and molecular studies on *Ganaspis* individuals (Hymenoptera: Figitidae) attacking *Drosophila suzukii* (Diptera: Drosophilidae). *Applied Entomology and Zoology*, 48, 87-92. (2012/12/13)
- Kazahari, N., Tsuji, Y., Agetsuma, N., 2013. The relationships between feeding-group size and feeding rate vary from positive to negative with characteristics of food items in wild Japanese macaques (*Macaca fuscata*). *Behaviour*, 150 (2), 175-197. (2012/12/16)
- Kim, N.N., Shin, H.S., Choi, Y.J., Yamamoto, Y., Fukaya, K., Ueda, H., Choi C.Y., 2013. Effect of hypo-osmotic environmental changes on the expression of gonadotropin-releasing hormone, its receptor, and gonadotropin hormone subunit mRNA in adult chum salmon (*Oncorhynchus keta*). *Marine and Freshwater Behaviour and Physiology*, 45 (6), 397-410. (2013/3/8)
- Kinoshita, G., Nunome, M., Han, S-H., Hirakawa, H., Suzuki, H., 2012. Ancient Colonization and Within-Island Vicariance Revealed by Mitochondrial DNA Phylogeography of the Mountain Hare (*Lepus timidus*) in Hokkaido, Japan. *Zoological Science*, 29 (11), 776-785. (2012/6/8)
- Kirihara, T., Shinohara, A., Tsuchiya, K., Harada, M., Kryukov, A.P., Suzuki, H., 2013. Spatial and temporal aspects of occurrence of species in the Japanese Islands inferred from mitochondrial and nuclear gene sequences. *Zoological Science*, 30 (4), 267-281. (2012/11/7)
- Koizumi, I., Kanazawa, Y., Tanaka, Y., 2013. The fishermen were right: experimental evidence for tributary refuge hypothesis during floods. *Zoological Science*, 30 (5), 375-379. (2012/12/3)
- Matsui, T., Kojima, H., Fukui, M., 2013. Effects of temperature on successive anaerobic decomposition of high-molecular organic matter under sulfate-reducing conditions. *Estuarine, Coastal and Shelf Science*, 119, 139-144. (2013/1/2)
- Maeda, T., Kawai, T., Nakaoka, M., Yotsukura, N., 2013. Effective DNA extraction method for fragment analysis using capillary sequencer of the kelp, *Saccharina*. *Journal of Applied Phycology*, 25, 337-347. (2012/6/8)
- Minoshima, M., Takada, M.B., Agetsuma, N., Hiura, T., 2013. Sika deer browsing differentially affects web-building spider densities in high and low productivity forest understories. *Ecoscience*, 20 (1), 55-64. (2012/11/27)
- Novkovic, B., Oikawa, A., Murata, Y., Mitsui, H., Kimura, M.T., 2012. Abundance and host association of parasitoids attacking frugivorous drosophilids in Iriomote-jima, a subtropical island of Japan. *European Journal of Entomology*, 109, 517-526. (2012/5/29)
- Okada, Y., Gotoh, H., Miura, T., Miyatake, T., Okada, K., 2012. Juvenile hormone mediates developmental integration between exaggerated traits and supportive traits in the horned flour beetle *Gnatocerus cornutus*. *Evolution & Development*, 14 (4), 363-371. (2012/7/5)
- Orou Matilo, A.T.B., Iida, Y. and Kohyama, T.S., 2013. Tree species composition and stand structure of woody savanna in Dahomey Gap. *Tropics*, 2 (2), 39-57. (2013/1/15)
- Sugihara Y., Ueno, H., Hirata T., Araki, H., 2013. Uptake and distribution of nitrogen derived from hairy vetch used as a cover crop by tomato plant. *Japanese Society for Horticultural Science*, 82, 30-38. (2012/10/4)
- Sunmonu, N., Ida, T.Y., Kudo, G., 2012. Photosynthetic compensation by the reproductive structures in the spring ephemeral *Gagea lutea*. *Plant Ecology*, 214 (2), 175-188. (2012/12/5)
- Suwito, A. Ishida, T.A., Hattori, K., Kimura, M.T., 2012. Territorial and mating behaviours of two flower-breedng *Drosophila* species, *D. elegans* and *D. gunungcola* (Diptera: Drosophilidae) at Cibodas, West Java, Indonesia. *Treubia*, 39, 77-85. (2012/10/5)
- Taha, A.I.B.H.M., Kimoto, T., Kanada, T., Okuyama, H., 2013. Growth optimization of thraustochytrid strain 12B for the commercial production of docosahexaenoic acid. *Food Science and Biotechnology*, 22 (1), Supplement, 53-58. (2013/2/18)
- Takatsu, K., Kishida, O., 2013. An offensive predator phenotype selects for an amplified defensive phenotype in its prey. *Evolutionary Ecology*, 27 (1), 1-11. (2012/4/5)
- Terada, C., Yamada, T., Uno, H., Saitoh, T., 2013. New mtDNA haplotypes of the sika deer (*Cervus nippon*) found in Hokkaido, Japan suggest human-mediated immigration. *Mammal Study*, 38 (2), 123-129. (2012/12/29)
- Terauchi, M., Nagasato, C., Kajimura, N., Mineyuki, Y., Okuda, K., Katsaros, C., Motomura, T., 2012. Ultrastructural study of plasmodesmata in the brown alga *Dictyota dichotoma* (Dictyotales, Phaeophyceae). *Planta*, 236, 1013-1026. (2012/4/11)
- Terui T., Kishi M.J., Ueno H., 2012. Lagrangian ensemble model of Copepoda (*Neocalanus cristatus*) in the northwestern

- subarctic Pacific. *Journal of Oceanography*, 68, 727-741. (2012/7/4)
- Uchida R., Kuma K., Omata A., Ishikawa S., Hioki N., Ueno H., Isoda Y., Sakaoka K., Kamei Y., Takagi S., 2013. Water column iron dynamics in the Subarctic North Pacific Ocean and the Bering Sea. *Journal of Geophysical Research: Oceans*, 118 (3), 1257-1271. (2013/1/23)
- Watanabe, M., Kojima, H., Fukui, M., 2013. *Desulfotomaculum intricatum* sp. nov., a sulfate-reducer isolated from freshwater lake sediment. *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology*, 63, 3574-3578. (2013/2/26)
- Wakahama, T., Laza-Martinez, A., Taha, A.I.B.H.M., Okuyama, H., Yoshida, K., Kogame, K., Awai, K., Kawachi, M., Maoka, T., Takaichi, S., 2012. Structural confirmation of a unique carotenoid lactoside, P457, in *Symbiodinium* sp. strain NBRC 104787 isolated from a sea anemone and its distribution in dinoflagellates and various marine organisms. *Journal of Phycology*, 48 (6), 1392-1402. (2012/5/16)
- Watanabe, T., Kojima, H., Fukui, M., 2012. Draft genome sequence of a psychrotolerant sulfur-oxidizing bacterium *Sulfuricella denitrificans* skB26 and proteomic insights into cold adaptation. *Applied and Environmental Microbiology*, 78, 6545-6549. (2012/6/29)
- Yasuda A., Yoshida T., Miya H., Harvey, B., 2012. An alternative management regime of selection cutting for sustaining stand structure of mixed forests of northern Japan - a simulation study. *Journal of Forest Research*, 18 (5), 398-406. (2012/6/12)
- Yuta, T., Koizumi, I., 2012. Long breeding season and high frequency of multiple brooding in Great Tits in northern Japan. *Ardea*, 100 (2), 197-201. (2012/7/7)
- 岩波秀晃, 和田知之, 坂本和佳, 工藤勲, 知北和久, 2013. 流出特性と土地利用形態に基づく十勝川水系の栄養塩供給機構. *日本水文科学会誌*, 43, 3-24. (2012/10/8)
- 平田聡之, 永山毅, 荒木肇, 2012. 北海道の春コムギ-カバークロップ輪作体系におけるバイオマス生産と窒素吸収. *農作業研究*, 47, 127-137. (2012/11/11)

## 環境物質科学専攻

(平成 23 年度)

- Akutagawa, T., Kudo, F., Tsunashima, R., Noro, S., Cronin, L., Nakamura, T., 2011. Hydrogen-bonded assemblies of two-electron reduced mixed-valence  $[XM_{0.12}O_{40}]$  (X = P and Si) with p-Phenylenediamines. *Inorganic Chemistry*, 50, 6711-6718. (2011/6/14)
- Amano, F., Ebina, T., Ohtani, B., 2011. Photoelectrochemical hydrogen evolution using copper-indium-sulfide nanocrystalline films. *Electrochemistry*, 79 (10), 804-807. (2011/6/7)
- Amano, F., Yamakata, A., Nogami, K., Osawa, M., Ohtani, B., 2011. Effect of photoexcited electron dynamics on photocatalytic efficiency of bismuth tungstate. *The Journal of Physical Chemistry C*, 115 (33), 16598-16605. (2011/7/11)
- Chiang, H.C., Imori, T., Onodera, T., Oikawa, H., Ohta, N., 2012. Gigantic electric dipole moment of organic microcrystals evaluated in dispersion liquid with polarized electroabsorption spectra. *The Journal of Chemical Physics C*, 116 (14), 8230-8235. (2012/3/14)
- Darwish, N., Eggers, P.K., Silva, P.D., Zhang, Y., Tong, Y., Ye, S., Gooding, J.J., Paddon-Row, M.N., 2012. Electro-active self-assemble monolayers of unique geometric structures using rigid norbornylogous bridges. *Chemistry - A European Journal*, 18 (1), 283-292. (2011/11/23)
- Domi, Y., Ikeura, K., Okamura, K., Shimazu, K., Porter, M.D., 2011. Strong inclusion of inorganic anions into  $\beta$ -cyclodextrin immobilized to gold electrode. *Langmuir*, 27, 10580-10586. (2011/7/5)
- Endo, D., Akutagawa, T., Kubo, K., Noro, S., Cronin, L., Nakamura, T., 2011. Molecular motions and hydrogen-bonding networks in ( $\sigma$ -Aminoanilinium)-(Crown Ethers)- $[PM_{0.12}O_{40}]^{4-}$  Crystals. *Bulletin of the Chemical Society of Japan*, 85 (3), 305-315. (2012/3/3)
- Hirayama, J., Kondo, H., Miura, Y., Abe, R., Kamiya, Y., 2012. Highly effective photocatalytic system comprising semiconductor photocatalyst and supported bimetallic non-photocatalyst for selective reduction of nitrate to nitrogen in water. *Catalysis Communications*, 20, 99-102. (2012/1/12)
- Imori, T., Sabeth, F., Naito, T., Ohta, N., 2011. Time-resolved photoresponse measurements of the electrical conductivity of the quasi-two-dimensional organic superconductor  $\beta$ -(BEDT-TTF) $_2$ I $_3$  using a nanosecond laser pulse. *The Journal of*

- Physical Chemistry C, 115 (48), 23998-24003. (2011/10/31)
- Kamei, Y., Shichibu, Y., Konishi, K., 2011. Generation of ultrasmall gold clusters with unique geometries through cluster-to-cluster transformation: Octanuclear clusters with edge-sharing gold tetrahedron motifs. *Angewandte Chemie International Edition* 50, 7442-7445. (2011/6/17)
- Kanno, M., Miura, Y., Yasukawa, T., Hasegawa, T., Ninomiya, W., Ooyachi, K., Imai, H., Tatsumi, T., Kamiya, Y., 2011. 11-Molybdo-1-vanadophosphoric acid  $H_4PMo_{11}VO_{40}$  supported on ammonia-modified silica as highly active and selective catalyst for oxidation of methacrolein. *Catalysis Communications*, 13, 59-62. (2011/6/23)
- Liu, X., Iimori, T., Ohshima, R., Nakabayashi, T., Ohta, N., 2011. Electroabsorption spectra of PbSe nanocrystal quantum dots. *Applied Physics Letters*, 98(16), 161911. (2011/4/6)
- Miura, Y., Kamiya, Y., 2012. Highly selective sorption of small polar molecules by a nonporous ionic crystal of a lacunary Keggin-type heteropoly anion and alkali-metal cations. *Chemistry Letters*, 41, 331-333. (2011/12/30)
- Nakabayashi, T., Oshita, S., Sumikawa, R., Sun, F., Kinjo, M., Ohta, N., 2011. pH dependence of the fluorescence lifetime of enhanced yellow fluorescent protein in solution and cells. *Journal of Photochemistry and Photobiology A: Chemistry*, 235, 65-71. (2012/2/14)
- Nishikawa, K., Nakahara, H., Shirokura, Y., Nogata, Y., Yoshimura, E., Umezawa, T., Okino, T., Matsuda, F., 2011. Total synthesis of 10-isocyano-4-cadinene and its stereoisomers and evaluations of antifouling activities. *Journal of Organic Chemistry* 76, 6558-6573. (2011/7/14)
- Noro, S., Fukuhara, K., Kubo, K., Nakamura, T., 2011. Rational construction of wide coordination space and control of adsorption properties in one-dimensional Cu(II) coordination polymer. *Crystal Growth & Design*, 11, 2379-2385. (2011/5/3)
- Ogikubo, S., Nakabayashi, T., Adachi, T., Islam, M.S., Yoshizawa, T., Kinjo, M., Ohta, N., 2011. Intracellular pH sensing using autofluorescence lifetime microscopy. *The Journal of Physical Chemistry B*, 115(34), 10385-10390. (2011/7/21)
- Ohshima, R., Nakabayashi, T., Kobayashi, Y., Tamai, N., Ohta, N., 2011. External electric field effects on state energy and photoexcitation dynamics of water soluble CdTe nanoparticles. *The Journal of Physical Chemistry C*, 115 (31), 15274-15281. (2011/7/5)
- Sasaki, T., Tanaka, S., 2011. Adsorption behavior of some aromatic compounds on hydrophobic magnetite for magnetic separation. *Journal of Hazardous Materials*, 196, 327-334. (2011/9/9)
- Sasaki, T., Tanaka, S., 2012. Magnetic separation of cesium ion using Prussian blue modified magnetite. *Chemical Letters*, 41 (1), 32-34. (2011/12/24)
- Shichibu, Y., Kamei, Y., Konishi, K., 2012. Unique [core+two] structure and optical property of a dodeca-ligated undecagold cluster: critical contribution of the exo gold atoms to the electronic structure. *Chemical Communications*, 48, 7559-7561. (2012/3/1)
- Son, S.H., Yamagishi, Y., Tani, M., Yuasa, M., Yamada, K., 2011. Spectral shifts of the environment-sensitive fluorophore POLARIC. *Chemistry Letters*, 40, 989-991. (2011/9/5)
- Tomita, O., Abe, R., Ohtani, B., 2011. Direct synthesis of phenol from benzene over platinum-loaded tungsten(VI) oxide photocatalysts with water and molecular oxygen. *Chemistry Letters*, 40 (12), 1405-1407. (2011/12/3)
- Tong, Y., Tyrode, E., Osawa, M., Yoshida, N., Watanabe, T., Nakajima, A., Ye, S., 2011. Preferential adsorption of amino-terminated silane in a binary mixed self-assembled monolayer. *Langmuir*, 27, 5420-5426. (2011/4/1)
- Umezawa, T., Sueda, M., Kamura, T., Kawahara, T., Han, X., Okino, T., Matsuda, F., 2012. Synthesis and biological activity of kalkitoxin and its analogues. *Journal of Organic Chemistry* 77, 357-370. (2011/10/20)
- Zhang, J., Kanno, M., Wang, Y., Nishii, H., Miura, Y., Kamiya, Y., 2011. Changes in surface acidity of silica-supported dodecatungstosilicic acid in relation to the loading amount. *Journal of Physical Chemistry C*, 115 (30), 14762-14769. (2011/6/27)
- 大川康寿, Syah, P. R., 藤原直哉, 神和夫, 田中俊逸, 2012. 連続分画抽出及び鉛同位体比を用いた鉛汚染土壌中の鉛の汚染原因の推定. *分析化学*, 61 (2), 95-101. (2011/12/13)

(平成 24 年度)

- Amano, F., Nogami, K., Ohtani, B., 2012. Enhanced photocatalytic activity of bismuth-tungsten mixed oxides for oxidative decomposition of acetaldehyde under visible light irradiation. *Catalysis Communications*, 20, 12-16. (2012/12/28)
- Anas, A.R.J., Kisugi, T., Umezawa, T., Matsuda, F., Campitelli, M.R., Quinn, R.J., Okino, T., 2012. Thrombin inhibitors from the freshwater cyanobacterium *Anabaena compacta*. *Journal of Natural Products*, 75, 1546-1552. (2012/9/5)
- Darwish, N., Eggers, P.K., Ciampi, S., Tong, Y., Ye, S., Paddon-Row, M.N., Gooding, J.J., 2012. Probing the effect of the

- solution environment around redox-active moieties using rigid anthraquinone terminated molecular rulers. *Journal of the American Chemical Society*, 134, 18401-18409. (2012/10/18)
- Darwish, T., Tong, Y., James, M., Hanley, T., Peng, Q., Ye, S., 2012. Characterizing the photoinduced switching process of nitrospiropyran self-assembled monolayer using in situ sum frequency generation spectroscopy. *Langmuir*, 28, 13852-13860. (2012/8/31)
- Endo, T., Kubo, K., Yoshitake, M., Noro, S., Akutagawa, T., Nakamura, T., 2013. (3-Fluoro-4-methoxyanilinium)<sup>+</sup> ([18]Crown-6) supramolecular cation salt of ferromagnetic [Mn<sup>II</sup>Cr<sup>III</sup>(oxalate)<sub>3</sub>]<sup>-</sup>. *Chemistry Letters*, 42, 137-139. (2012/11/2)
- Fukuhara, K., Noro, S., Sugimoto, K., Akutagawa, T., Kubo, K., Nakamura, T., 2013. Porous coordination polymer polymorphs with different flexible pores using structurally flexible and bent 1,3-Bis(4-pyridyl)propane ligand. *Inorganic Chemistry*, 52 (8), 4229-37. (2013/3/25)
- Iwase, M., Yamada, K., Kurisaki, T., Prieto-Mahaney, O.O., Ohtani, B., Wakita, H., 2013. Visible-light photocatalysis with phosphorus-doped titanium(IV) oxide particles prepared using a phosphide compound. *Applied Catalysis B: Environmental*, 132-133, 39-44. (2012/11/11)
- Liu, Z.Q., Kubo, K., Lin, L., Hoshino, N., Noro, S., Akutagawa, T., Nakamura, T., 2013. Molecular motion in pyridazinium/crown ether supramolecular cation salts of a nickel-dithiolene complex. *Dalton Transactions*, 42, 2930-2939. (2012/11/23)
- Miura, Y., Imai, H., Yokoi, T., Tatsumi, T., Kamiya, Y., 2013. Microporous cesium salts of tetravalent Keggin-type polyoxotungstates Cs<sub>4</sub>[SiW<sub>12</sub>O<sub>40</sub>], Cs<sub>4</sub>[PW<sub>11</sub>O<sub>39</sub>(Sn·n·C<sub>4</sub>H<sub>9</sub>)], and Cs<sub>4</sub>[PW<sub>11</sub>O<sub>39</sub>(Sn·OH)] and their adsorption properties. *Microporous and Mesoporous Materials*, 174, 34-43. (2013/2/22)
- Noro, S., Fukuhara, K., Kubo, K., Nakamura, T., 2012. Synthesis, crystal structure, and adsorption properties of werner-type Cu(II) complex [Cu(CF<sub>3</sub>SO<sub>3</sub>)<sub>2</sub>(4-methylpyridine)<sub>4</sub>]. *Chemistry Letters*, 41, 1314-1316. (2012/5/14)
- Ohnuma, A., Cho, E.C., Ohtani, B., 2012. A strategy for amorphous arrangement of gold nanoparticles using eccentric hybrid particles. *Chemistry Letters*, 41 (10), 1319-1321. (2012/7/9)
- Oka, Y., Nakamura, S., Uetani, Y., Morozumi, T., Nakamura, H., 2012. Determination of SDS using fluorescent  $\gamma$ -cyclodextrin based on TICT in aqueous solution. *Analytical Sciences*, 28 (10), 973-978. (2012/9/5)
- Osakai, T., Yoshimura, T., Kaneko, D., Nagatani, H., Son, S.H., Yamagishi, Y., Yamada, K., 2012. Potential-modulated fluorescence spectroscopy of zwitterionic and dicationic membrane-potential-sensitive dyes at the 1,2-dichloroethane/water interface. *Analytical and Bioanalytical Chemistry*, 404 (3), 785-792. (2012/6/13)
- Sabeth, F., Iimori, T., Ohta, N., 2012. Insulator-metal transitions induced by electric field and photoirradiation in organic mott insulator deuterated  $\kappa$ -(BEDT-TTF)<sub>2</sub>Cu[N(CN)<sub>2</sub>]Br. *Journal of the American Chemical Society*, 134 (16), 6984-6987. (2012/4/4)
- Sabeth, F., Iimori, T., Ohta, N., 2012. Gigantic photoresponse and reversible photoswitching in ionic conductivity of polycrystalline beta-AgI. *The Journal of Physical Chemistry C*, 116 (16), 9209-9213. (2012/4/4)
- Sabeth, F., Iimori, T., Ohta, N., 2012. Remarkable temperature dependence of time-resolved photoresponse in electrical conductivity of deuterated  $\kappa$ -(BEDT-TTF)<sub>2</sub>Cu[N(CN)<sub>2</sub>]Br. *The Journal of Physical Chemistry C*, 116 (32), 17182-17187. (2012/7/26)
- Serajul, I.Md., Honma, M., Nakabayashi, T., Kinjo, M., Ohta, N., 2013. pH dependence of the fluorescence lifetime of FAD in solution and in cells. *International Journal of Molecular Science*, 14 (1), 1952-1963. (2013/1/18)
- Shichibu, Y., Suzuki, K., Konishi, K., 2012. Facile synthesis and optical properties of magic-number Au<sub>13</sub> clusters. *Nanoscale*, 4, 4125-29. (2012/4/18)
- Tanaka, A., Ogino, A., Iwaki, M., Hashimoto, K., Ohnuma, A., Amano, F., Ohtani, B., Kominami, H., 2012. Gold-Titanium(IV) oxide plasmonic photocatalysts prepared by a colloid-photodeposition method: Correlation between physical properties and photocatalytic activities. *Langmuir*, 28 (36), 13105-13111. (2012/8/7)
- Umezawa, T., Seino, T., Matsuda, F., 2012. Novel one-pot three-component coupling reaction with trimethylsilylmethylphosphonate, acyl fluoride, and aldehyde through the horner-wadsworth-emmons reaction. *Organic Letters*, 14, 4206-4209. (2012/7/31)
- Wu, H., Yu, L., Tong, Y., Ge, A., Yau, Y., Osawa, M., Ye, S., 2013. Enzyme-catalyzed hydrolysis of the phospholipid bilayers studied by atomic force microscopy. *Biochimica et Biophysica Acta (BBA) - Biomembranes*, 1828, 642-651. (2012/9/7)
- Yamamoto, H., Ohnuma, A., Kozawa, T., Ohtani, B., 2012. Location control of nanoparticles using combination of top-down and bottom-up nano-fabrication. *Journal of Photopolymer Science and Technology*, 25 (4), 449-453. (2012/6/10)

## 12-2 査読無し論文

平成23年度及び平成24年度に発表された査読無し論文を専攻毎にまとめる。下線の氏名は環境科学院学生（修了者も学院所属時の発表ならば含む）、イタリックの氏名は学院教員を示す。なお、教員のみ業績については、各部署の報告等に所載するため掲載していない。査読無し論文（その他論文・著書）に関しては発表年（1月1日-12月31日）で年毎に分けている。

### 環境起学専攻

- Chhetri, P.K., 2011. Climate Change and Dendrochronology in Nepal. *Nesaj Patra* 8, 29-32.
- 澤柿教伸, 松岡直子, 平川一臣, 2011. ポロシリ亜氷期とトツタベツ亜氷期の新事実. 北海道の雪氷, 30, 67-68.
- 中村一樹, 山中康裕, 佐藤志徳, 田中大介, 山岸奈津子, 2012. 氷のラボでの多様な雪氷体験—産官学連携で行った雪と氷の価値化—. 北海道の雪氷, 31, 21-24.
- 中村一樹, 吉村暢彦, 根岸淳二郎, 佐藤祐介, 佐藤友徳, 山中康裕, 藤吉康志, 佐藤志徳, 山岸奈津子, 田中大介, 星宏聡, 上林宣夫, 橋本亮一, 今野裕次郎, 鈴木和仁, 佐藤大介, 岡崎善二, 藤本武, 中村博, 2012. 寒冷な地域特性を活かした産官学発展の取り組み～星野リゾートトトマム・占冠村・北海道大学の三者が発展する連携へ～. 寒地技術シンポジウム2012寒地技術論文・報告集, 28, 370-375.
- 山岸奈津子, 田中大介, 佐藤大介, 中村一樹, 山中康裕, 佐藤志徳, 2012. アイスシェルの技術を活用した氷のオアシス. 日本雪工学会誌, 28 (3), 33-36.

### 地球圏科学専攻

- Hasebe, F., Inai, Y., Shiotani, M., Fujiwara, M., Voemel, H., Nishi, N., Ogino, S.Y., Shibata, T., Iwasaki, S., Komala, N., Peter, T., Oltmans, S.J., 2012. Cold trap dehydration in the Tropical Tropopause Layer characterized by SOWER chilled-mirror hygrometer network data in the Tropical Pacific. *Atmospheric Chemistry and Physics Discuss.*, 12, 25833-25885.
- Levermann, A., Winkelmann, R., Nowicki, S., Fastook, J. L., Frieler, K., Greve, R., Hellmer, H.H., Martin, M. A., Mengel, M., Payne, A.J., Pollard, D., Sato, T., Timmermann, R., Wang, W.L., Bindshadler, R.A., 2012. Projecting Antarctic ice discharge using response functions from SeaRISE ice-sheet models. *The Cryosphere Discussions*, 6(4), 3447-3489.
- 阿部祥子, 中村知裕, 2012. 大振幅風下波の碎波に伴う鉛直混合. 月刊海洋, 通巻501号, Vol.44, No.7, 385-391.
- 榊原大貴, 杉山慎, 2012. 人工衛星画像を用いた南パタゴニア氷原カービング氷河の流動速度測定. 北海道の雪氷, 31, 101-104.
- 澤柿教伸, 杉山慎, 福田武博, 2012. 南極ラングホブデ氷河における熱水掘削孔を用いたビデオ観察. 北海道の雪氷, 31, 93-96.
- 杉山慎, 澤柿教伸, 福田武博, 2012. 南極ラングホブデ氷河における熱水掘削. 北海道の雪氷, 第31号, 89-92.
- 福田武博, 杉山慎, 澤柿教伸, 2011. ALOS/PRISMデータの解析によるラングホブデ氷河表面高度測定. 北海道の雪氷, 30, 75-78.
- 福田武博, 杉山慎, 澤柿教伸, 2012. 南極ラングホブデ氷河における表面流動速度測定と氷厚探査. 北海道の雪氷, 31, 97-100.

- 福田武博, 杉山慎, 澤柿教伸, 樋口和生, 2012. ラングホブデ氷河熱水掘削. 雪氷, 74 (3), 雪氷写真館@i-ii.
- 西村大輔, 津滝俊, 杉山慎, 2011. スイスアルプス・ローヌ氷河の底面堆積物分布. 北海道の雪氷, 30, 69-72.
- 松田淳二, 笹島雄一郎, 三寺史夫, 中村知裕, 大島慶一郎, 羽角博康, 2012. オホーツク海・北太平洋熱塩循環モデリング. 月刊海洋, 通巻501号, Vol.44, No.8, 460-465.

### 生物圏科学専攻

- Tamaru, O., Miyashita, K., Kimura, N., Fujimori, Y., Takahara, H., Miura, T., 2012. Fishery income fluctuation with changing social situation and selecting fishing ground, in the Japanese coastal squid jigging fishery. *Bulletin of Fisheries Sciences*, Hokkaido University, 62, 75-82.
- Bin Haji Mohd Taha, A.I., 佐藤眞美子, 東條元昭, 神田啓史, 木元貴士, 金田輝之, 奥山英登志, 2012. 微生物を用いた二段階培養法による長鎖多価不飽和脂肪酸含有リン脂質の発酵生産. *New Food Industry*, 54 (10), 1-8.
- 飯島沙織, 岡原良太, 鷺尾健司, 森川正章, 2012. 海水環境でバイオフィルムを形成する *Pseudoalteromonas* 属細菌に見られるユニークな微生物学的特性～水質浄化機能と栽培漁業への貢献の可能性. *Bull. Soc. Sea Water Sci., Jpn.*, 66, 186-190.
- 木下豪太, 2012. ノウサギ属における浸透性交雑の研究とその展望. *タクサ*, 32, 20-25.
- 桑山崇, 布目三夫, 鈴木仁, 2012. 組換え現象に着目した集団ハプロタイプ構造解析法—一分かれと出会いの系統地理学—. *タクサ*, 32, 7-12.
- 斎藤達也, 2012. シカの食んだ高原を歩く. 植生情報, (16), 113.
- 佐藤淳, 石田浩太郎, 2012. 日本産テン類の系統地理学的研究. *タクサ*, 32, 13-19.
- 椎名佳の美, 2012. 森の動物の棲み家としてのキツツキの樹洞. *生物科学*, 63 (4), 43-50.
- 藤原沙弥香, 荒木肇, 地子立, 藤井賢彦, 2012. 温泉地におけるCO2排出量低減の可能性: 北海道・流山温泉と夕張温泉における未利用エネルギーの利用促進に向けたケーススタディ. *日本LCA学会誌*, 8, 356-369.

### 環境物質科学専攻

無し

## 12-3 学会発表

### 環境起学専攻

(平成23年度)

- Anas, A. R. J., Kisugi, T., Okino, T., 2011年7月10日-15日, Thrombin inhibitors from *Anabaena compacta*, 27th International Symposium on the Chemistry of Natural Products, オーストラリア・ブリスベン, ポスター
- Anas, A. R. J., Kisugi, T., Umezawa, T., Matsuda, F., Okino, T., 2012年2月1日, Thrombin inhibitors from *Anabaena compacta*, 日本化学会北海道支部2012年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- Chhetri, P.K., 2011年9月5日-9日, Treeline Ecotone Dynamics of *Abies spectabilis* (D. Don) Mirb in Barun Valley, Eastern Nepal, Himalaya, International Long-Term Ecological Research Network (ILTER) Annual Meetings, 札幌, 口頭
- Chhetri, P.K., 2011年10月14日, Climate Change and Treeline Shift in Eastern Nepal Himalaya, Joint Symposium between Hokkaido University and Tribhuvan University, ネパール・カトマンズ, 口頭
- Chhetri, P.K., 2012年2月24日-28日, Treeline Dynamics in Makalu Barun National Park, Eastern Nepal, Himalaya, Annual Meeting of the Association of American Geographers, アメリカ・ニューヨーク, 口頭
- Hu, B., Yu, H., Fugetsu, B., 2011年11月17-19日, Novel absorbents obtained by caging prussian blue in the cavities of diatomite using carbon nanotubes and their applications for elimination of radioactive cesium, 第14回北大ソウル大学「環境科学シンポジウム」, 韓国・ソウル, 口頭
- Kaneko, K., Washio, K., Umezawa, T., Morikawa, M., Matsuda, F. and Okino, T., 2012年2月26日-3月2日, Study on bromination enzyme from the red alga *Laurencia nipponica*, Gordon Research Conference on Marine Natural Products, アメリカ・ベンチュラ, ポスター
- Kihara, Y., Komori, M., Sun, Y., Sikder, Md., T., Hosokawa, T., Saito, T. and Kurasaki, M., 2011年5月24日-27日, Mechanism of toxicity on human vascular endothelial cells by humic acid obtained from tropical peatland, 3rd International Symposium on Trace Elements & Health, スペイン・ムルシア, ポスター
- Kihara, Y., Sun, Y., Yustiawati, S.G., Tanaka, S., Hosokawa, T., Saito, T., Kurasaki, M., 2011年9月22日-24日, General Water Quality and Toxicity of Humic Acid in Tropical Peatland, Central Kalimantan, 3rd International Workshop on "Wild Fire and Carbon Management in Peat-Forest in Indonesia", インドネシア・パラカラヤ, 口頭
- Magdaong, E. and Villanoy, C., 2011年11月4日, Modeling residence time and particle dispersal in a mariculture area, Northwest Philippines, 日本サンゴ礁学会, 那覇, 口頭
- Nioka, T., Ohnuki, S., 2011年9月27日, Effects of noise on computer-based task performance, cerebral hemoglobin concentrations, and cardiovascular-system response and their individual differences, The 11st International Conference on Cognitive Neuroscience, スペイン・パルマ, ポスター
- Orencio, P. and Fujii, M., 2011年9月27日, Developing a composite index for vulnerability of coastal communities in Baler, Aurora, Philippines, 日本海洋学会秋季大会, 福岡, ポスター
- Orencio, P. and Fujii, M., 2011年11月4日, Developing a composite index for vulnerability of coastal communities in Baler, Aurora, Philippines, 日本サンゴ礁学会, 那覇, 口頭
- Sato, T. and Sasaki, T., 2011年6月28日-7月7日, Historical land use change and its impact on regional climate in North Japan, IUGG 2011 General Assembly, オーストラリア・メルボルン, ポスター
- Sato, T. and Sasaki, T., 2011年12月5日-9日, Impact of historical deforestation and urbanization on regional climate in North Japan, 2011 AGU Fall Meeting, アメリカ・サンフランシスコ, ポスター
- Shibano, R., Yamanaka, Y., Okada, N., Chuda, T., Suzuki, S., Niino, H., Toratani, M., 2012年2月20日-24日, Responses of marine ecosystem to typhoon passages in the western subtropical north pacific, 2012 Ocean Sciences Meeting, アメリカ・ソルトレイクシティ, ポスター
- Sikder, Md. T., Kihara, Y., Gumiri, A.S., Tanaka, S., Ishiwatari, S., Ueno, Y., Hosokawa, T., Saito, T., Kurasaki, M., 2011年9月22日-24日, Physico-chemical pollution assessment of rivers; a comparative study between developed and developing countries, 3rd International Workshop on "Wild Fire and Carbon Management in Peat-Forest in Indonesia", インドネシア・パラカラヤ, ポスター
- Sikder, Md. T., Hosokawa, T., Saito, T. and Kurasaki, M., 2011年12月5日-7日, Application of  $\alpha$ ,  $\beta$  and  $\gamma$  cyclodextrin polyurethanes in the removal of size specific copper derivatives, 1st International Conference on Water and Society, アメリカ・ラスベガス, 口頭
- Sikder, Md. T., 細川敏幸, 齋藤健, 蔵崎正明, 2012年3月24日-26日, 不可溶化 $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ シクロデキストリンを用いた溶液中カドミウムの除去, 第82回日本衛生学会, 京都, 口頭
- Sun, L., Yu, H., Fugetsu, B., 2011年11月17-19日, Graphene oxide adsorption enhanced by in situ reduction with sodium hydrosulfite to remove acridine orange from aqueous solution, 第14回北大ソウル大学「環境科学シンポジウム」, 韓国・ソウル, 口頭
- Sun, Y., Hosokawa, T., Saito, T. and Kurasaki, M., 2011年10月30日-11月1日, A Novel Study of Effects of Environmental Chemical Substances on Epigenetic Modification, Cell Symposia: Epigenetics and the Inheritance of Acquired States 2011, アメリカ・ボストン, ポスター
- Wang, Y., Yu, H., Fugetsu, B., 2011年11月17-19日, Facile Construction of Transparent and Conductive Thin Films of Single-walled Carbon Nanotubes for Flexible Display Applications, 第14回北大ソウル大学「環境科学シンポジウム」, 韓国・ソウル, 口頭
- Wannakovit, N., Pumijumng, N. and Chhetri, P.K., 2011年8月20日-23日, Climate Response in Ring Density and Total Ring Width of *Abies spectabilis* (D. Don)

- Mirb. from Eastern Nepal, Second Asian Dendrochronology Conference and Workshops, 中国・西安, ポスター
- Yustiawati, S.G., Kihara, Y., Kurasaki, M., Gumiri, A.S., Saito, T., Wulandari, L., Hosokawa, T., Kuramitsu, H., Suhaemi, S.M., Tanaka, S., 2011年9月22日-24日, Spatial and Temporal Variation of Watre quality in Rivers and Canal in Central Kalimantan, Indonesia, 3rd International Workshop on "Wild Fire and Carbon Management in Peat-Forest in Indonesia", インドネシア・パランカラヤ, 口頭
- Yustiawati, S.G., Kihara, Y., Kurasaki, M., Tanaka, S., 2011年9月22日-24日, Characteristic of humic acid and fulvic acid from soil and river in Central Kalimantan, 3rd International Workshop on "Wild Fire and Carbon Management in Peat-Forest in Indonesia", インドネシア・パランカラヤ, ポスター
- 江川知花, 露崎史朗, 2011年6月21日, Different responses of early and late colonizers to light and water in a post-mined peatland, northern Japan, 54th Symposium of International Association for Vegetation Science, フランス・リヨン, ポスター
- 江川知花, 露崎史朗, 2011年9月5日-9日, Different responses of early and late colonizers to light and water in a post-mined peatland, northern Japan, International Long-Term Ecological Research Network (ILTER) Annual Meetings, 札幌, ポスター
- 江川知花, 露崎史朗, 2012年3月16日-21日, リター堆積が種子サイズの異なる湿原植物4種のシードバンク持続性に与える影響, 第59回日本生態学会, 大津, 口頭
- 大泉嶺, 高田壮則, 2011年9月13日-15日, 齢・サイズ構造をもつ個体群動態の経路積分による解析, 第21回日本数理生物学会, 東京, 口頭
- 金子賢介, 鷺尾健司, 沖野龍文, 2011年6月17日-18日, 紅藻ウラボソ由来 Laurencin のハロゲン化酵素解析, 第6回化学生態学研究会, 函館, ポスター
- 金子賢介, 鷺尾健司, 森川正章, 沖野龍文, 2012年3月23日-25日, 紅藻ウラボソ (*Laurencia nipponica*) 由来のハロゲン化酵素の解析, 日本農芸化学会大会, 京都, 口頭
- 久保溪女, 山口勝透, 田中俊逸, 2011年7月16日-18日, トドの母体とその胎子におけるPCBs異性体の濃度と蓄積傾向について, 第20回環境化学討論会2011, 熊本, ポスター
- 久保弦, 山下善道, 岩田晃一郎, 荒木肇, 藤井賢彦, 2012年3月8日, 大学キャンパスにおける堆肥化事業実現可能性の検討 -北海道大学をケーススタディとして-, 日本LCA学会, 野田, ポスター
- 酒井佑植, 高田壮則, 2012年3月16日-21日, コンタクトプロセスを用いたクローナル植物における病原体伝播モデルの解析, 第59回日本生態学会, 大津, 口頭
- 篠塚良嗣, 山田和芳, 五反田克也, 豊田和弘, 梅津茜, 米延仁志, 安田喜憲, 2011年5月25日, 一の目潟堆積物コアの主要元素組成を用いたマイクロテフラの検出, 日本地球惑星科学連合2011年大会, 千葉, ポスター
- 斎藤達也, 2011年9月25日, 外来植物オオアワダチソウの除去に対する河川敷植生の応答, 植生学会, 神戸, 口頭
- 佐藤友徳, 佐々木智規, 山崎孝治, 松村伸治, 2011年5月18日-22日, 北海道における土地被覆変化と地域気候影響の理想化実験, 日本気象学会, 東京, 口頭
- 澤柿教伸, 松岡直子, 平川一臣, 2011年5月16日, 日高山脈のポロシリ亜氷期とトッタベツ亜氷期の認定に関する新発見, 雪氷学会北海道支部研究発表会, 札幌, 口頭
- 澤柿教伸, 渡邊悌二, Lamsal, D., Byers, A., 2011年5月22日, ネパールヒマラヤ東部・ホンクー谷における氷河湖決壊の可能性, 日本地球惑星連合2011大会, 千葉, 口頭
- ジェファーソン, ウィリアム, 2011年6月26日, ニセコの発展サイクル, 北海道地理学会, 札幌, 口頭
- 孫永琨, 佐藤伸, 向井友花, 細川敏幸, 齋藤健, 蔵崎正明, 2012年3月24日-26日, 妊娠期緑茶投与の出産子のエピゲネチック因子に及ぼす影響, 第82回日本衛生学会, 京都, 口頭
- 田丸準也, 石川守, 宮崎真, 2011年9月20日, 霜柱の氷花形成現象への内部構造変化の影響, 日本雪氷学会 雪氷研究大会, 長岡, ポスター
- 武島智美, 2012年3月15日, サケ白子DNAを用いたAgナノ粒子の創製, 化学工学会第77年会, 東京, 口頭
- 新岡正, 大貫宗一郎, 2011年11月26日, 騒音が認知課題成績に及ぼす影響の個体差生起要因としての脳酸素動態および心臓血管系反応, 日本生理人類学会第65回大会, 吹田, 口頭
- 新岡正, 大貫宗一郎, 2012年3月24日-26日, 認知課題成績、脳酸素動態および心臓血管系反応への低レベル騒音の影響と性格特性, 第82回日本衛生学会総会, 京都, 口頭
- 長谷川航, 澤柿教伸, 渡邊裕美子, 田上高広, 2011年5月25日, 北海道南西部の洞窟「北海洞」の記載と環境観測 (Description and environmental monitoring in Hokkai Cave, southwestern Hokkaido), 日本地球惑星連合2011大会, 千葉, ポスター
- 平山健太郎, 2011年10月14日, National Park Management System in Japan and the U.S., Joint Symposium between Hokkaido University and Tribhuvan University, ネパール・カトマンズ, 口頭
- 干場康博, 山中康裕, 水田元太, 2012年3月26日-30日, 数値計算による単純化した河口沿岸域における栄養塩循環に関する考察, 日本海洋学会春季大会, つくば, 口頭
- 保要有里, 露崎史朗, 2011年9月19日, モウセンゴケ、ナガバノモウセンゴケ、サジバモウセンゴケの比較形態, 日本植物学会, 東京, ポスター
- 本城慶多, 藤井賢彦, 2011年9月13日-15日, 日本の47都道府県における家計部門CO2排出量の感度分析, 第21回日本数理生物学会, 東京, ポスター
- 水木千春, 平川一臣, 渡邊悌二, 2011年6月26日, 北海道日高・十勝地方太平洋沿岸域における東日本大震災発生時の住民の避難行動に関する研究, 北海道地理学会, 札幌, 口頭
- 森佳祐, 佐藤友徳, 2011年11月16日-18日, 北海道における昇温事例の時空間的特徴についての統計解析, 日本気象学会, 名古屋, ポスター
- 山田翔一, 高田壮則, 2011年9月13日-15日, 温度依存的適応度と量的形質による性決定モデル, 第21回日本数理生物学会, 東京, 口頭
- 山田翔一, 高田壮則, 2012年3月16日-21日, 温度依存的適応度と量的形質による性決定モデル, 第59回日本生態学会, 大津, 口頭
- 吉田智明, 2011年11月2日, 放棄スキー場における森林回復, 北方森林学会, 札幌, ポスター
- 渡邊恵実, 森佳祐, 中村一樹, 佐藤祐介, 吉村暢彦, 山中康弘, 2011年7月16日-17日, 雲の学校〜リゾートホテルの持つ資源を活かした環境教育プログラムの開発〜, 日本環境教育学会第22回大会, 札幌, 口頭

(平成24年度)

- Akemoto, Y., Putra, R. S., Tanaka, S., 2012年7月8日-11日, Removal of Sodium Ion from Soil Contaminated Sea-water by Using Electrokinetic., EREM2012, 札幌, ポスター
- Appiah, C., Tsuyuzaki, S., 2012年7月23-28日, Post fire restoration study of ash and moisture variation effects on seed germination of *Colocynthis citrullus* and *Vigna unguiculata*., 55th Symposium of International Association for Vegetation Science, 韓国・木浦, 口頭
- Bolochimeg, B., 2012年11月29日, My role -as the leader of tomorrow, 第49回環境工学研究フォーラム特別企画「これからの環境工学研究・教育の海外展開」, 京都, ポスター
- Effendi, Putra, R. S., Tanaka, S., 2012年7月8日-11日, Study on the Removal of Methylene Blue from Polluted Kaolinite by Using Electrokinetic Process., EREM2012, 札幌, ポスター
- Ishikawa, M., Yoshikawa, K., Jambaljav, Y., Sharkhuu, N., Yamahashi, I., Westermann, S., Etzelmüller, B., Zheleznyak, M.N., Laxton, S., 2013年1月14日-17日, Thermal states of Mongolian permafrost and deploying permafrost observatories over the arctic., Third International Symposium on the Arctic Research (ISAR3), 東京, 口頭
- Islam, Md. S., Kurasaki, M., 2013年1月20日-23日, Novel approaches for arsenic remediation and phytofiltration mechanism in urban water using *Micranthemum umbrosum*., 2nd Water Research Conference, シンガポール, ポスター
- Islam, Md. S., Tanaka, S., Saito, T., Hosokawa, T., Sato, S., Gumiri, S., Ardlanor, Uddin, M.K., Tareq, S.M., Shammi, M., Kamal, A.K.I., Kurasaki, M., 2012年9月13日-14日, Correlation of dissolved metals with physico-chemical parameter of the major rivers in Dhaka, Bangladesh., International Symposium on Wild Fire and Carbon Management in Peat-Forest in Indonesia, インドネシア・ボゴール, ポスター
- Islam, Md. S., 上野恭幸, Sikder, Md. T., 齋藤健, 蔵崎正明, 2012年7月5日-6日, *Micranthemum umbrosum* を用いた水圏環境中のカドミウムおよびヒ素のファイトレメディエーション, 第23回微量元素学会, 東京, 口頭
- Kubo, K., Yamaguchi, K., Tanaka, S., 2012年9月20日, Concentration profiles of PCB congeners in Steller sea lion, Hokkaido, Japan., 19th International Mass Spectrometry Conference, 京都, 口頭
- Kwon, T.O., Tsuyuzaki, S., 2012年7月23-28日, Effects of *Salix reinii* root exudates on seed germination and seedling growth and nutrient transfer through common mycorrhizal networks (CMNs) on a volcano in northern Japan., 55th Symposium of International Association for Vegetation Science, 韓国・木浦, ポスター
- Lamsal, D., Watanabe, T. and Sawagaki, T., 2012年10月8日, Glacial lake development of Chamlang South Glacier and its prospect to GLOF occurrence., International Symposium on 'Changing Mountain Environments in Asia, ネパール・カトマンズ, 口頭
- Liu, J., Watanabe, T., Shirasaka, S. and Miyahara, I., 2012年5月21日, Land degradation in the Alai region, the Kyrgyz Republic, before and after the 1991 independence., 日本地球惑星連合同大会GLP国際セッション, 千葉, 口頭
- Liu, J., Watanabe, T., Shirasaka, S., Miyahara, I., 2012年10月8日, Assessing vegetation cover changes induced by livestock grazing in the Alai Valley, the Kyrgyz Republic in and after the Soviet time., International Symposium on Changing Mountain Environments in Asia, ネパール・カトマンズ, 口頭
- Magdaong, E., Yamano, H., Fujii, M., 2012年5月15日, Development of a large-scale, long-term coral cover database in the Philippines., 2nd International PICES Symposium S7-Coastal and low lying areas, 韓国・麗水, 口頭
- Magdaong, E., Yamano, H., Fujii, M., 2012年12月4日, Assessing long term coral cover change in the Philippines: a meta-analysis. , International Symposium "Biodiversity in changing coastal waters of tropical and subtropical Asia", 天草, 口頭
- Masuma, R., 鹿嶋さくら, 蔵崎正明, 奥野勉, 2012年7月27日-28日, 培養細胞におけるUV照射波長の違いによるピリミジンダイマー生成量への影響, 第34回日本光医学・光生物学会, 神戸, 口頭
- Orencio, P. M., Fujii, M., 2012年5月22日-28日, Establishing a Composite Index from Criteria of Resilient Coastal Communities Determined from an Analytical Hierarchy Process (AHP) Model. , Philippine Society for the Study of Nature 2nd International Seminar and 12th Annual Scientific Conference, フィリピン・ジェネラルサントス, 口頭
- Orencio, P. M., Fujii, M., 2012年11月7日-8日, Establishing a Composite Index from Criteria of Resilient Coastal Communities Determined from an Analytical Hierarchy Process (AHP) Model., First Asia Pacific Regional Symposium on Coastal Ecosystems Conservation and Adaptive Management in Response to Change, フィリピン・ケソンシティ, ポスター
- Orencio, P. M., Fujii, M., 2012年12月17日-19日, Multi-hazard and Multi-risk Assessment to Determine At-risk Coastal Areas in the Philippines., TBTI CZAP SEAFDEC Workshop on Small-scale Fisheries: Livelihoods, Wellbeing, Vulnerability and Governance, タイ・バンコク, 口頭
- Putra, R. S., Akemoto, Y., Tanaka, S., 2012年7月8日-11日, Application of entrapping zone on the removal of Cs by using 2D electrokinetic process., EREM2012, 札幌, 口頭
- Sawagaki, T., Abe, Y. and Yamaguchi, S., 2012年10月8日, Application of a glacier flow model in the reconstruction of past glacier ELA - Combination of geomorphological interpretation and glacier dynamics - . , International Symposium on 'Changing Mountain Environments in Asia, ネパール・カトマンズ, ポスター
- Siswoyo, E., Tanaka, S., 2012年9月20日, Mechanism and adsorption capacity of sludge from drinking water treatment plant as adsorbent to remove cadmium ion in water., 日本分析化学会第61年会, 金沢, 口頭
- Song, E., Watanabe, T., Shirasaka, S., 2012年10月8日, Changing transhumance in Sary Tash, southern Kyrgyzstan. , International Symposium on 'Changing Mountain Environments in Asia, ネパール・カトマンズ, ポスター
- Sun, Y., Miyajima, M., Hosokawa, T., Saito, T., Kurasaki, M., 2012年9月30日-10月5日, Changes of Epigenetic

- Factors in Apoptotic Status Induced by Copper in PC12 Cells., 8th International Copper Meeting Copper in Biology, イタリア・アルゲーロ, ポスター
- Sun, Y., Mukai, Y., Sato, S., Hosokawa, T., Saito, T., Kurasaki, M., 2012年10月16日-17日, Effects of Consumption of Green Tea during Lactation on Epigenetic Factors in Female Infants of Pregnancy Rats with Low-protein Diet., The 6th International Niigata Symposium on Diet and Health, 新潟, ポスター
- Syawal, Y., 2012年9月13日-14日, Effects of forest fire on characterization of humic acid and fulvic acid from soil and water in Central Kalimantan, Indonesia., International Symposium on Wild Fire and Carbon Management in Peat-Forest in Indonesia, インドネシア・ボゴール, 口頭
- Syawal, Y., Tanaka, S., 2012年8月4日, Characterization of humic acid and fulvic acid from burnt peat soil and non-burnt peat soil in Central Kalimantan, Indonesia., 北海道支部2012年夏季研究発表会, 旭川, 口頭
- Watanabe, T., Liu, J., Shirasaka, S., Miyahara, I., Komatsu, T., Sawagaki, T., Mizushima, K. and Ochiai, Y., 2012年8月29日, Transformation of livestock grazing and land degradation in the Kyrgyz Pamir., 32nd International Geographical Congress, ドイツ・ケルン, 口頭
- 青木久美子, 根岸淳二郎, 永山滋也, 萱場祐一, 2012年9月8日-11日, 木曾川中流域における河床低下が及ぼすオオシロカゲロウ(*Ephoron shigae*)の生息環境への影響, 応用生態工学会, 東京, 口頭
- 明本靖広, 官正彦, 田中俊逸, 2012年10月14日-17日, 動電的手法を用いた海水流入による塩害土壌の修復, 第2回CSJ化学フェスタ, 東京, ポスター
- 阿部直美子, 石川守, 米延仁志, Tsogtbaatar J., Gashzeveg G., 2013年3月29日-31日, モンゴル・カラマツ林におけるLight ringによる虫害履歴の復元, 日本地理学会春季学術大会, 熊谷, 口頭
- 阿部洋祐, 澤柿教伸, 山口悟, 2012年3月28日-30日, 地形学的解釈と氷河流動モデルの融合による氷河復元手法の検討, 日本地理学会春季学術大会, 東京, 口頭
- 飯尾真理, 2012年5月29日-31日, DNA/カチオンポリマー複合繊維の合成と機能評価, 第61回高分子学会年次大会, 横浜, ポスター
- 飯尾真理, 于洪文, 古月文志, 2012年9月19日, サケ白子由来DNA/四級アンモニウムカチオンポリマー 複合繊維を用いた発がん性物質の除去, 第61回高分子討論会, 名古屋, ポスター
- 石川守, 酒井貴裕, Jambaljav Y., 2012年9月23日-27日, モンゴルのピンゴ-分布・形態・構造・形成史-, 雪氷研究大会, 福山, 口頭
- 江川知花, 2012年11月30日, 湿原遷移における植生およびシードバンクの発達機構, 北海道植物学会, 札幌, 口頭
- 江川知花, 露崎史朗, 2012年7月23-28日, Interaction between litter thickness and seed size determines secondary seed dispersal and seedbank persistence., 55th Symposium of International Association for Vegetation Science, 韓国・木浦, 口頭
- 江川知花, 露崎史朗, 2013年3月5日-9日, 遷移における植生・リター発達が実生加入およびシードバンク形成に与える影響, 第60回日本生態学会, 静岡, 口頭
- 大泉嶺, 高田壮則, 2012年9月10日-12日, 確率変動を伴う最適生活史戦略と個体群動態, 第22回日本数理生物学会, 岡山, 口頭
- 大泉嶺, 高田壮則, 2013年3月5日-9日, 齢・サイズ構造モデルにおける不確実性を含む生活史の最適戦略モデル, 第60回日本生態学会, 静岡, 口頭
- 大坪澄生, 高田壮則, 小泉逸郎, 2013年3月5日-9日, 北海道二十四河川におけるシロザケ遡上数の時系列解析, 第60回日本生態学会, 静岡, ポスター
- 長内雅浩, 田中俊逸, 2013年1月30日, とろろ昆布を吸着体とする重金属イオンの除去法の検討, 化学系学協会北海道支部2013年冬季研究発表会, 札幌, ポスター
- 小野智郁, 石川守, 2013年3月29日-31日, 地域住民の生業戦略とコモンズ-モンゴル国トゥブ県アルタンブラグ郡の事例から-, 日本地理学会春季学術大会, 熊谷, ポスター
- 金子賢介, 鷲尾健司, 梅澤大樹, 森川正章, 松田冬彦, 沖野龍文, 2012年6月29日-30日, 紅藻ウラボソ(*Laurencia nipponica*)由来の臭素付加酵素の解析, 第7回化学生態学研究会, 函館, 口頭
- 久保溪女, 山口勝透, 田中俊逸, 2013年1月30日, 北海道周辺海域に來遊するトドの胎児におけるPCBs 詳細濃度, 化学系学協会北海道支部2013年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 倉野健人, 藤島洸, 白岩孝行, 2013年3月29日-31日, 地域住民の生業戦略とコモンズ-モンゴル国トゥブ県アルタンブラグ郡の事例から-, 日本地理学会春季学術大会, 熊谷, 口頭
- 小林勇介, 平川一臣, 小松哲也, 小畑貴博, 渡辺悌二, 2013年3月29日-31日, 北海道における登山道侵食のパターン: 12の山での「登山道侵食」地形学図の作成でわかったこと, 日本地理学会春季学術大会, 熊谷, 口頭
- 小松哲也, 渡辺悌二, 2013年3月29日-31日, タジク・パミールにおける氷河災害とそれに関連したアセスメント研究のレビュー, 日本地理学会春季学術大会, 熊谷, 口頭
- 斎藤達也, 2012年4月5日, 外来植物と在来植物間のリター分解速度の違い: 生育形的重要性, 日本雑草学会, つくば, 口頭
- 酒井佑樞, 高田壮則, 2012年9月10日-12日, 平衡状態が自由度を持つ病原体伝播モデルの解析, 第22回日本数理生物学会, 岡山, 口頭
- 酒井佑樞, 高田壮則, 2013年3月5日-9日, 格子モデルを用いた植物における病原体伝播モデルの解析, 第60回日本生態学会, 静岡, 口頭
- 白坂蕃, 渡辺悌二, 劉潔, 宋鳳, 宮原育子, 2013年3月29日-31日, 地域住民の生業戦略とコモンズ-モンゴル国トゥブ県アルタンブラグ郡の事例から-, 日本地理学会春季学術大会, 熊谷, 口頭
- 孫凌, 2012年8月26日, Novel bubble-containing ca<sup>2+</sup> cross-linked alginate composite beads encapsulating graphene oxide for dye removal., The 2012 World Congress on Advances in Civil, Environmental, and Materials Research(ACEM'12) Int'l Association of Structure Eng. & Mechanics (IASSEM) Korea Advanced Inst. of science & technology (KAIST), 韓国・ソウル, 口頭
- 武島智美, 山田義久, 多田祐也, 西原雅夫, 杉正人, 西則雄, 米澤徹, 古月文志, 2012年5月29日-31日, サケ白子DNAをテンプレートとして用いたAgナノ粒子の調製法, 第62回高分子学会年次大会, 横浜, ポスター
- 武島智美, 多田祐也, 山田義久, 王延青, 西原雅夫, 杉正人, 西則雄, 米澤徹, 古月文志, 2012年9月19日, サケ白子DNAを鋳型として用いた調製した銀ナノ粒子の抗菌作用

- についての検討, 第61回高分子討論会, 名古屋, ポスター
- 武島智美, 多田祐也, 山田義久, 王延青, 西原雅夫, 杉正人, 西則雄, 米澤徹, 古月文志, 2012年9月19日, サケ白子DNAを用いて調製した銀ナノ粒子の特性評価, 第61回高分子討論会, 名古屋, 口頭
- 武島智美, 2012年12月11日, Preparation and Characterization of Novel Ag Nanoparticles Using Salmon Milt DNA as the Template., The 9th SPSJ International Polymer Conference, 神戸, ポスター
- 田中朱美, 佐藤友徳, 山中康裕, 2013年3月26日-29日, 北海道におけるイネの障害型冷害に関する感度分析, 日本農業気象学会2013年全国大会, 野々市, 口頭
- 田中朱美, 高橋潔, 申龍熙, 増富祐司, 山中康裕, 佐藤友徳, 2012年9月13日-14日, 潜在作物生産性モデルGAEZの北海道での適用可能性の検討と改良, 土木学会 第20回地球環境シンポジウム, 京都, 口頭
- 中村一樹, 吉村暢彦, 根岸淳二郎, 佐藤祐介, 佐藤友徳, 山中康裕, 藤吉康志, 佐藤志穂, 山岸奈津子, 田中大介, 星宏聡, 上林宣夫, 橋本亮一, 今野裕次郎, 鈴木和仁, 佐藤大介, 岡崎善二, 藤本武, 中村博, 2012年10月30日-11月1日, 寒冷な地域特性を活かした産官学発展の取り組み ~星野リゾートトマム・占冠村・北海道大学の三者が発展する連携へ~, 第28回寒地技術シンポジウム, 弘前, 口頭
- 新岡 正, 大貫宗一郎, 2012年11月17日, 低レベル騒音が認知課題成績、脳酸素動態および心臓血管系反応に及ぼす影響と相互の関係, 日本生理人類学会第67回大会, 東京, 口頭
- 新岡 正, 大貫宗一郎, 2013年3月25日, 認知課題成績等に及ぼす騒音影響の騒音レベル依存性と個体差要因の分析, 第83回日本衛生学会学術総会, 金沢, 口頭
- 野村七重, 露崎史朗, 2013年2月22日, 北海道渡島駒ヶ岳におけるシラタマノキ種子の散布と発芽, 日本生態学会北海道地区会, 札幌, ポスター
- 藤井佑介, 2012年9月19日, DNA/ポリウレタンフォームを用いたセシウムイオン吸着・除去の検討, 第61回高分子討論会, 名古屋, ポスター
- 古川雄大, 川村隆一, 2012年10月3日-5日, 北海道道東地方における土壌凍結深変動の気候学的要因, 日本気象学会2012年秋季大会, 札幌, ポスター
- 水木千春, 2013年3月29日-31日, 地域住民の生業戦略とモンズ-モンゴル国トゥブ県アルタンブラグ郡の事例から-, 日本地理学会春季学術大会, 熊谷, 口頭
- 三原義広, 張思京, 田中俊逸, 2012年5月19日, 超微細中空体(シラスバルーン)への疎水基の導入とハイドロゲルの浮力の制御, 日本分析化学会第72回分析化学討論会, 鹿児島, 口頭
- 森崎夏輝, 根岸淳二郎, 有賀望, 2012年9月8日-11日, サケ産卵床の空間分布に地下水が及ぼす影響, 応用生態工学会, 東京, ポスター
- 熊炫睿, 増田良帆, 橋岡豪人, 小埜恒夫, 山中康裕, 2012年12月17日, 西部北太平洋におけるガス交換係数の季節変動による大気海洋間CO<sub>2</sub>フラックスへの影響, 2012年度海洋気象学会第2回例会, 大阪, 口頭
- 熊炫睿, 増田良帆, 橋岡豪人, 小埜恒夫, 山中康裕, 2013年3月21日-25日, 西部北太平洋におけるガス交換係数、二酸化炭素分圧及びCO<sub>2</sub>フラックスの季節変動に関する研究, 日本海洋学会, 東京, 口頭
- 山田翔一, 高田壮則, 2012年9月10日-12日, Approximate solution of a sex determination model by quantitative trait., 第22回日本数理生物学会, 岡山, 口頭
- 山橋いよ, 石川守, Jambaljav Y., Westermann S., Etzelmuller B., 2013年3月29日-31日, モンゴル1m深地温分布とその環境要因-確率分布図の作成に向けて-, 日本地理学会春季学術大会, 熊谷, ポスター
- 渡辺のぞみ, 根岸淳二郎, 布川雅典, 2012年9月8日-11日, 流域スケールにおけるβ多様性維持機構の解明 - 水生昆虫群集と湧水河川に着目して, 応用生態工学会, 東京, 口頭
- 王延青, 2012年12月4日, Polyelectrolyte-induced dispersion of graphene sheets in the hybrid AgCl/PDDA/Graphene nanocomposites., 2012 International Conference of Health, Structure, Material and Environment, 中国・深圳, 口頭

#### 地球圏科学専攻 (平成23年度)

- Abe, S. and Nakamura, T., 2011年6月28日-7月7日, Diapycnal mixing generated by breaking of tideinduced large-amplitude internal waves, The XXV IUGG General Assembly Earth on the Edge: Science for a Sustainable Planet, オーストラリア・メルボルン, ポスター
- Abe, S. and Nakamura, T., 2012年2月20日-24日, Transition process from breaking large-amplitude internal waves to turbulence, 2012 Ocean Sciences Meeting, アメリカ・ソルトレイクシティ, ポスター
- Ajioka, T., Yamamoto, M., Okino, T., Takemura, K., Hayashida, A., 2011年6月11日, Branched glycerol dialkyl glycerol tetraethers as a paleoclimate proxy: Application in Lake Biwa study, 2nd Annual Symposium of IGCP-581 "Evolution of Asian River Systems: Tectonics and Climates", 札幌, ポスター
- Bin Shaari, H., Yamamoto, M., Iрино, T., Oba, T., 2011年9月22日, Variability of sea surface temperature in the eastern equatorial Pacific Ocean during the last glacial cycle., 25th International Meeting on Organic Geochemistry, スイス・インターラーケン, ポスター
- Endo, H., 2011年11月2日, Impact of ocean acidification on marine phytoplankton photosynthesis as estimated from their rbcL gene expression., 第3回北海道大学サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト, 札幌, ポスター
- Fei, Y. and Kawamura, K., 2011年9月14日-16日, Organic molecular compositions and source apportionments of suburban aerosols collected at Mangshan, north China, 2011年度日本地球化学会 年会, 札幌, ポスター
- Fujiyoshi, Y., Oosumi, K., Mukasa, K., Ito, R., 2011年5月18日-21日, ドップラーレーダを用いた海水移動ベクトルの作成、渦状擾乱と突風域の検出, 日本気象学会 2011年度春季大会, 東京, ポスター
- Fujiyoshi, Y., Oosumi, K., Yamada, Y., 2012年2月20日-22日, Retrieval of high temporal and saptial distribution of sea ice velocity fields using Doppler radar data, 第27回北方圏国際シンポジウム「オホーツク海と流氷」, 紋別, 口頭
- Fujiyoshi, Y., Fujiwara, C., 2011年9月16日, 3次元走査型コヒーレントドップラーライダーを用いた陸上・海上・大気中の風の観測, 電子情報通信学会, 札幌, 招待講演
- Fujiyoshi, Y., Nagumo, N., Yamamura, I., Aoki, A., 2011年6

- 月 22 日, A revisit to Marshall-Palmer size distribution of raindrops, International Workshop on Aerosol-Cloud-Precipitation Interactions, 中国・南京, 口頭
- Fukamachi, Y., Ohshima, K. I., Simizu, D., Tamura, T., Kitade, Y., Aoki, S., Ushio, S., Hashida, G. and Wakatsuchi, M., 2011年10月24日-28日, Mooring measurement of Antarctic Bottom Water export from the Cape Darnley Polynya and sea-ice thickness within this polynya, WCRP Open Science Conference, アメリカ・デンバー, ポスター
- Greve, R., Sato T., 2011年6月28日-7月7日, Implementation of ice shelf dynamics in the ice sheet model SICOPOLIS, The XXV IUGG General Assembly Earth on the Edge: Science for a Sustainable Planet, オーストラリア・メルボルン, 口頭
- Greve, R., Sato T., 2011年8月22日, Sensitivity experiments for the Antarctic ice sheet in a future warming climate, Colloquium of the Study Center Mechanics, Darmstadt University of Technology, ドイツ・ダルムシュタット, 口頭
- Hasebe, F., Domon, Y., Miyazaki, K., and Inai, Y., 2011年10月24日-28日, SOWER (Soundings of Ozone and Water in the Equatorial Region): Application of Data Assimilation to the Study of TTL Dehydration, WCRP Open Science Conference, アメリカ・デンバー, ポスター
- Inai, Y., Hasebe, F., Fujiwara, M., Shiotani, M., Nishi, N., Ogino, S-Y., Voemel, H., Shibata, T. and Iwasaki, S., 2011年10月24日-28日, SOWER (Soundings of Ozone and Water in the Equatorial Region): Dehydration in the TTL estimated from the water vapor match, WCRP Open Science Conference, アメリカ・デンバー, ポスター
- Kunwar, B. and Kawamura, K., 2011年9月14日-16日, Chemical composition and seasonal variation of low molecular weight dicarboxylic acids and related compounds in the marine aerosols from Cape Hedo, Okinawa Island, Japan, 2011年度日本地球化学学会 年会, 札幌, ポスター
- Liang, M., Sugimoto, A., Iwahana, G., Tei, S., 2011年5月22日-27日, Observations on photosynthesis and C and N stable isotopes of arctic ecosystem in Eastern Siberia, 日本地球惑星科学連合2011年大会, 千葉, ポスター
- Liang, M., Sugimoto, A., Iwahana, G., Tei, S., Maximov, T., 2012年3月7日-9日, Factors controlling C assimilation by larch in taiga-tundra boundary ecosystem in eastern Siberia with special references on C and N contents and stable isotope ratios of larch needle, 1st International Conference Global Warming and the Human-Nature Dimension in Siberia, 京都, ポスター
- Liang, M., Sugimoto, A., Maximov, T., 2011年9月14日-16日,  $^{15}\text{N}$  natural abundance and N use by the plants of taiga-tundra boundary ecosystem in Eastern Siberia, 2011年度日本地球化学学会 年会, 札幌, ポスター
- Nosaka, Y., 2011年11月2日, Characteristics of transparent exopolymer particle (TEP) distributions in the Oyashio during the spring diatom bloom 2010, 第3回北海道大学サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト, 札幌, ポスター
- Ohshima, K. I., Fukamachi, Y., Nakayama, Y., Tamura, T., Nihashi, S., Kitade, Y., Matsumura, Y., Hasumi, H., Aoki, S. and Wakatsuchi, M., 2011年6月28日-7月7日, Formation of Antarctic Bottom Water off Cape Darnley with huge sea ice production, The XXV IUGG General Assembly Earth on the Edge: Science for a Sustainable Planet, オーストラリア・メルボルン, 口頭
- Park, Y.H., Yamamoto, M., Polyak, L., 2011年5月14日, Terrestrial biomarkers in Alaskan margin sediments in the Arctic Ocean., Workshop on the Arctic Ocean Research in Korea, Pusan National University, 韓国・釜山, 口頭
- Park, Y.H., Yamamoto, M., Polyak, L., 2011年6月11日, Terrestrial biomarkers in Alaskan margin sediments in the Arctic Ocean, 2nd Annual Symposium of IGCP-581 "Evolution of Asian River Systems: Tectonics and Climates", 札幌, ポスター
- Park, Y.H., 山本正伸, Polyak, L., 2011年9月14日-16日, GDGT-based approach to paleo-environmental reconstruction in Holocene sediments from the Chukchi-Alaska Shelf in the Arctic Ocean., 2011年度日本地球化学学会 年会, 札幌, ポスター
- Sakazaki, T., Fujiwara, M., 2012年3月19日-23日, Diurnal wind variations in the lower-tropospheric wind over Japan as revealed with wind profilers and analysis/reanalysis data sets, 13th MST radar workshop, ドイツ・キュールンクスボルン, 口頭
- Sakazaki, T., Fujiwara, M. and Hashiguchi, H., 2011年6月28日-7月7日, Diurnal variations of upper tropospheric and lower stratospheric winds over Japan as revealed with middle and upper atmosphere radar (34.85N, 136.10E) and five reanalysis data sets, The XXV IUGG General Assembly Earth on the Edge: Science for a Sustainable Planet, オーストラリア・メルボルン, ポスター
- Sakazaki, T., Fujiwara, M., Hashiguchi, H., 2012年3月19日-23日, Diurnal wind variations in the upper-tropospheric and lower stratospheric wind over Japan as revealed with MU radar and five reanalysis data sets, 13th MST radar workshop, ドイツ・キュールンクスボルン, 口頭
- Sakazaki, T., Fujiwara, M., Shiotani, M. and Suzuki, M., 2011年11月29日-12月1日, Preliminary results on diurnal variations of temperature and ozone as observed with SMILES, The 6th Atmospheric Limb Conference, 京都, 口頭
- Sakazaki, T., Fujiwara, M., Zhang, X., Hagan, Jeffrey Forbes, J., 2011年6月28日-7月7日, Diurnal migrating tides in the troposphere to lowermesosphere as deduced with TIMED/SABER data and six reanalysis data sets, The XXV IUGG General Assembly Earth on the Edge: Science for a Sustainable Planet, オーストラリア・メルボルン, 口頭
- Sato-Takabe, Y., 2011年11月2日, Ecophysiology of aerobic anoxygenic phototrophic bacteria in the ocean., 第3回北海道大学サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト, 札幌, ポスター
- Sato, T., Greve, R., 2011年6月9日, SeaRISE sensitivity experiments with the model SICOPOLIS for the Antarctic ice sheet with varied sub-ice-shelf melting rates, IGS Symposium on Interactions of Ice Sheets

- and Glaciers with the Ocean, アメリカ・サンディエゴ, 口頭
- Sato, T., Greve, R., 2011年9月19日-23日, 棚氷の底面融解による南極氷床変動の変動性, 日本雪氷学会雪氷研究大会, 長岡, 口頭
- Shimizu, K. and Hasebe, F., 2011年10月24日-28日, SOWER (Soundings of Ozone and Water in the Equatorial Region): Precise observations of the atmospheric temperature profile by fast-response high-resolution tungsten sondes, WCRP Open Science Conference, アメリカ・デンバー, ポスター
- Shingubara, R., Iwahana, G., Takano, S., Nakamura, M., Maximov, T., Sugimoto, A., 2012年3月7日-9日, CH<sub>4</sub> flux and its stable isotope ratios in a taiga-tundra ecotone, East Siberia, 1st International Conference Global Warming and the Human-Nature Dimension in Siberia, 京都, ポスター
- Sue, Y. and Kubokawa, A., 2012年2月20日-24日, Latitude of eastward jet prematurely separated from the western boundary in a two-layer QG model, 2012 Ocean Sciences Meeting, アメリカ・ソルトレイクシティ, ポスター
- Sunmonu, N., Fujiyoshi, Y., Kurita, N., Nagumo, N., Muramoto, K., 2011年11月16日-18日, レーザ分光法を用いた水蒸気の安定同位体比の連続測定-札幌での短時間変動特性の季節変化と日本海での船上観測結果, 日本気象学会2011年秋季大会, 名古屋, ポスター
- Tamura, T., and Ohshima, K. I., 2011年6月28日-7月7日, Mapping of sea ice production in the Arctic coastal polynya, The XXV IUGG General Assembly Earth on the Edge: Science for a Sustainable Planet, オーストラリア・メルボルン, 口頭
- Tamura, T., Ohshima, K. I., Nihashi, S. and Hasumi, H., 2011年6月28日-7月7日, Estimation of surface heat/salt fluxes associated with sea ice growth/melt in the Southern Ocean, The XXV IUGG General Assembly Earth on the Edge: Science for a Sustainable Planet, オーストラリア・メルボルン, 口頭
- Tei, S., Sugimoto, A., Yonenobu, H., Maximov, T., 2012年2月15日-17日, Use of satellite-derived surface soil moisture data to compare with estimated soil moisture based on tree-ring delta-13C and methane emission in eastern Siberia, Final User Workshop ESA Data User Element DUE Permafrost, ドイツ・ポツダム, 口頭
- Tei, S., Sugimoto, A., Yonenobu, H., Maximov, T., 2012年3月7日-9日, Changes in relationship between larch tree growth and climate in eastern Siberia over past 100 years, 1st International Conference Global Warming and the Human-Nature Dimension in Siberia, 京都, 口頭
- Ueta, A., Sugimoto, A., 2011年11月2日, The role of taiga forest in the water cycle system in eastern Siberia, 第3回北海道大学サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト, 札幌, ポスター
- Yamamoto, M., Park, Y.H., Polyak, L., Kobayashi, D., Nam, S.I., 2012年2月12日, Late Quaternary biomarker records from the Chukchi-Alaskan margin and the Mendeleev Ridge., Co-ordinated Scientific Drilling in the Beaufort Sea: Addressing past, present and future changes in Arctic terrestrial and marine systems, カナダ・カナナスキス, ポスター
- Yamamoto, Y., Yamamoto, M., Irino, T., Ajioka, T., Takemura, K., 2011年6月11日, Paleotemperature estimation over the past 10000 years by the application of GDGT-based proxy in soil sequences from the Ono River Basin, Oita, Japan, 2nd Annual Symposium of IGCP-581 "Evolution of Asian River Systems: Tectonics and Climates", 札幌, ポスター
- Yamazaki, K. and Yoshida, K., 2011年4月4日, Tropical cooling in the case of stratospheric sudden warming in January 2010: focus on the tropical tropopause layer, EGU General Assembly, オーストリア・ウィーン, ポスター
- Yamazaki, K. and Yoshida, K., 2012年2月22日, Tropical cooling in the case of stratospheric sudden warming in January 2011: focus on the tropical tropopause layer, Workshop on the stratospheric sudden warming and its role in weather and climate variations, 京都, ポスター
- Zhu, C., Yoshikawa, H., Matsueda, H., Sawa, Y., Niwa, Y., Wada, A. and Tanimoto, H., 2011年5月22日-27日, Variations of atmospheric radon-222 at Rishiri Island, Japan and tarced fetch regions, 日本地球惑星科学連合2011年大会, 千葉, 口頭
- 青木茂, 金田麻理子, 矢吹崇, 永延幹男, 田村岳史, 大島慶一郎, 2011年9月26日-30日, ロス海の塩分低下にみられる南極氷床融解の影響, 2011年度日本海洋学会秋季大会, 春日, 口頭
- 味岡拓, 山本正伸, 竹村恵二, 林田明, 2011年9月14日-16日, 分枝GDGT組成を用いた古温度復元法の琵琶湖堆積物への応用, 2011年度日本地球化学学会 年会, 札幌, 口頭
- 阿部祥子, 中村知裕, 2011年12月5日-7日, 大振幅内部波の碎波に伴う鉛直混合過程, 低温研共同研究集会「北太平洋の生物地球化学過程に果たす環オホーツク圏の海洋循環・物質循環の役割」, 札幌, 口頭
- 伊佐田智規, 平澤享, 小林創, 松本慧太郎, 野坂裕一, 鈴木光次, 齊藤誠一, 2012年3月26日-30日, ハイパースペクトルセンサーを用いた植物プランクトン群集(珪藻類)推定方法の開発, 2012年度日本海洋学会春季大会, つくば, 口頭
- 上田哲大, 杉本敦子, 2011年9月14日-16日, 東シベリアタイガ林の大気水蒸気同位体比と領域スケールの水蒸気フラックスの変動, 2011年度日本地球化学学会 年会, 札幌, 口頭
- 上田哲大, 杉本敦子, 2011年9月16日-18日, 東シベリアタイガ林の水循環の解明, 日本地球化学若手シンポジウム2011, 伊達, ポスター
- 大島和裕, 末吉雅和, 安田珠幾, 岡田靖子, 谷本陽一, 謝尚平, 2011年11月16日-18日, CMIP3マルチ気候モデルを用いた北太平洋における大気・海洋の将来変化, 日本気象学会2011年秋季大会, 名古屋, 口頭
- 大島和裕, 谷本陽一, 岡田靖子, 2011年11月16日-18日, 北太平洋における大気・海洋の将来変化 -地域分布とその不確実性-, 環境省推進費S-5テーマ2 2011年度第2回テーマ会合, 名古屋, 口頭
- 大島和裕, 谷本陽一, 謝尚平, 岡田靖子, 2011年6月9日, 北太平洋における冬季SLPトレンドの地域分布とその不確実性, 環境省推進費S-5テーマ2 2011年度第1回テーマ会合, 柏, 口頭
- 岡田靖子, 山崎孝治, 2011年11月8日-9日, 沖縄梅雨の気候学的時間発展と年々変動-5月と6月の特徴の違いについて, 第8回「異常気象と長期変動」研究集会, 京都, 口頭

- 柏瀬陽彦, 大島慶一郎, 二橋創平, 2011年9月26日-30日, オホーツク海における海水生産量の長期変動と中層水の変動との関係, 2011年度日本海洋学会秋季大会, 春日, 口頭
- 河村公隆, 藤原真太郎, 関幸, 宮崎雄三, 2012年1月29日, 富士山における有機エアロゾルの研究, NPO法人富士山測候所を活用する会 第5回成果報告会, 東京, ポスター
- 漢那直也, 西岡純, 村山愛子, 鈴木光次, 2012年3月26日-30日, オホーツク海水中に含まれる粒子態鉄の生物利用能, 2012年度日本海洋学会春季大会, つくば, 口頭
- 漢那直也, 西岡純, 村山愛子, 豊田威信, 2011年9月25日, オホーツク海水中に含まれる主要栄養塩と鉄分, 日本海洋学会, 札幌, 口頭
- 小林大祐, 山本正伸, 2011年9月14日-16日, 北太平洋亜寒帯域の過去580万年間の古水温復元, 2011年度日本地球化学会 年会, 札幌, 口頭
- 佐伯立, 三寺史夫, 藤崎歩美, 2012年3月26日-30日, 海水と内部波の相互作用によるアイスバンドの形成機構, 2012年度日本海洋学会春季大会, つくば, 口頭
- 榊原大貴, 杉山慎, 澤柿教伸, 2011年9月19日-23日, パタゴニア・ウプサラ氷河における近年の急速な後退と流動速度の増加, 日本雪氷学会雪氷研究大会, 長岡, 口頭
- 坂崎貴俊, 藤原正智, 2011年5月18日-21日, WINDASで明らかになった日本上空下部対流圏の風の日変動, 日本気象学会 2011年度春季大会, 東京, 口頭
- 坂崎貴俊, 藤原正智, 塩谷雅人, 鈴木睦, 秋吉英治, Kinnison, D., 2012年3月2日, SMILES 観測で明らかになった中層大気オゾンの日変動, 第26回大気圏シンポジウム, 相模原, 口頭
- 坂崎貴俊, 藤原正智, Zhang, X., Hagan, M., Forbes, J., 2011年5月18日-21日, TIMED/SABERデータおよび全球再解析データを用いた対流圏-下部中間圏の大気潮汐の研究, 日本気象学会 2011年度春季大会, 東京, 口頭
- 坂崎貴俊, 藤原正智, Zhang, X., Hagan, M., Forbes, J., 2011年5月22日-27日, TIMED/SABER衛星データおよび全球再解析データを用いた一日周期大気潮汐の研究, 日本地球惑星科学連合2011年大会, 千葉, 口頭
- 佐藤由季, 浜崎恒二, 鈴木光次, 2011年5月22日-27日, 海洋性酸素非発生源型好気性光合成細菌Roseobacter属とErythrobacter属の光合成特性, 日本地球惑星科学連合2011年大会, 千葉, ポスター
- 朱春茂, 吉川久幸, 松枝秀和, 澤庸介, 丹羽洋介, 和田晃, 谷本浩志, 2011年9月14日-16日, 後方流跡線に基づく利尻島大気ラドン-222時系列解析について, 2011年度日本地球化学会 年会, 札幌, 口頭
- 新宮原諒, 鷹野真也, 岩花剛, Maximov, T., 杉本敦子, 2011年9月14日-16日, 東シベリアタイガ-ツンドラ境界域におけるメタンフラックス, 2011年度日本地球化学会 年会, 札幌, 口頭
- 陶泰典, 久保川厚, 2011年9月26日-30日, 西岸境界流の東向き続流ジェットの緯度について, 2011年度日本海洋学会秋季大会, 春日, 口頭
- 杉本風子, 館山一孝, 榎本浩之, 白澤邦男, 下田春人, 宇都正太郎, 牛尾収輝, 尾関俊浩, 清水大輔, 深町康, 大島慶一郎, 2011年11月14日-18日, 電磁誘導法による海水厚と積雪深の計測 -日本・オーストラリア南極観測データより-, 第2回極域科学シンポジウム および第35回極域宙空圏・第34回極域気水圏・第31回極域地学・第33回極域生物・第34回南極隕石シンポジウム, 立川, 口頭
- 鈴木光次, 陰泳駿, 津田敦, 2011年10月3日-4日, 亜熱帯・熱帯太平洋における植物プランクトンおよび窒素固定生物の群集組成の特徴, 東京大学大気海洋研究所共同利用研究集会「亜熱帯太平洋のプランクトン生態系および物質循環に関する比較海洋学」, 東京, 口頭
- 高尾信太郎, 平澤享, 橋田元, 吉川久幸, 鈴木光次, 2011年9月14日-16日, 南大洋における植物プランクトン群集が海表面pCO<sub>2</sub>に与える影響, 2011年度日本地球化学会 年会, 札幌, 口頭
- 田村岳史, Williams, G., Fraser, A., 大島慶一郎, 2012年3月26日-30日, メルツ氷舌崩壊による海水生産量のレジームシフト, 2012年度日本海洋学会春季大会, つくば, 口頭
- 津滝俊, 西村大輔, 吉澤猛, 杉山慎, 2011年5月22日-27日, スイスアルプス・ローヌ氷河における氷河前縁湖形成後の流動変化, 日本地球惑星科学連合2011年大会, 千葉, 口頭
- 都築佑太, 時岡仁志, 山下洋平, 柴田英昭, 杉本敦子, 2011年9月14日-16日, 北海道水同位体マップ作成と応用に向けた水の安定同位体比の定点観測, 2011年度日本地球化学会 年会, 札幌, ポスター
- 寺尾建哉, 堀之内武, 2011年5月18日-21日, 東部熱帯太平洋における下層雲変動の力学的要因, 日本気象学会 2011年度春季大会, 東京, ポスター
- 中村進之介, 河村公隆, 2011年9月14日-16日, 中国泰山大気中における低分子モノカルボン酸のガス-エアロゾル相の分配, 2011年度日本地球化学会 年会, 札幌, ポスター
- 中山桃子, 吉川久幸, 谷本浩志, 2011年10月18日-20日, 利尻島における積雪内間隙空気中オゾン濃度の変動とそのメカニズム, 第17回大気化学討論会, 京都, ポスター
- 中山桃子, 吉川久幸, 廣川淳, 入野智久, 児玉裕二, 谷本浩志, 2011年9月14日-16日, 利尻島における積雪内間隙空気中オゾン濃度の変動, 2011年度日本地球化学会 年会, 札幌, 口頭
- 西村大輔, 津滝俊, 杉山慎, 2011年5月15日-16日, スイスアルプス・ローヌ氷河の底面堆積物分布, 日本雪氷学会北海道支部会研究発表会, 札幌, 口頭
- 西村大輔, 津滝俊, 杉山慎, 2011年9月19日-23日, スイスアルプス・ローヌ氷河における底面流動速度の観測, 日本雪氷学会雪氷研究大会, 長岡, 口頭
- 野坂圭, 河村公隆, 持田陸宏, 岩本洋子, 2011年9月14日-16日, 森林における低分子ジカルボン酸・脂肪酸の組成と日変化, 2011年度日本地球化学会 年会, 札幌, ポスター
- 野坂裕一, 鈴木光次, 伊佐田智規, 齊藤宏明, 津田敦, 服部寛, 山下洋平, 高橋一生, 2011年12月5日-7日, 西部北太平洋亜寒帯域における基礎生産力、光合成特性、および透明細胞外重合体粒子 (TEP) 分布の特徴, 低温研共同研究集会「北太平洋の生物地球化学過程に果たす環オホーツク圏の海洋循環・物質循環の役割」, 札幌, 口頭
- 野坂裕一, 鈴木光次, 山下洋平, 齋藤宏明, 高橋一生, 2011年9月14日-16日, 2010年春季親潮珪藻ブルーム期における透明細胞外重合体粒子 (TEP) 分布の特徴, 2011年度日本地球化学会 年会, 札幌, 口頭
- ビンジャリ・ハスリザル, 山本正伸, 入野智久, 2011年9月14日-16日, 氷期環境変動に対応した東部熱帯太平洋の水温勾配の変化, 2011年度日本地球化学会 年会, 札幌, 口頭
- 深町康, 清水大輔, 大島慶一郎, 小野敦也, 田村岳史, 青木

- 茂, 牛尾収輝, 橋田元, 2011年9月26日-30日, 南極海ケープダンレーポリニヤにおける海水・海洋の係留観測, 2011年度日本海洋学会秋季大会, 春日, 口頭
- 深町康, 清水大輔, 大島慶一郎, 小野数也, 田村岳史, 青木茂, 牛尾収輝, 橋田元, 2011年11月14日-18日, 南極海ケープダンレーポリニヤにおける海水・海洋の係留観測, 第2回極域科学シンポジウム および第35回極域宙空圏・第34回極域気水圏・第31回極域地学・第33回極域生物・第34回南極隕石シンポジウム, 立川, 口頭
- 深町康, 清水大輔, 大島慶一郎, 小野数也, 田村岳史, 青木茂, 北出裕二郎, 平野大輔, 牛尾収輝, 橋田元, 2012年3月26日-30日, ケープダンレープロジェクト-第4の南極底層水起源域の同定-, 2012年度日本海洋学会春季大会, つくば, 口頭
- 福田武博, 杉山慎, 澤柿教伸, 2011年5月15日-16日, ALOS/PRISMデータの解析によるラングホブデ氷河表面高度測定, 日本雪氷学会北海道支部会研究発表会, 札幌, ポスター
- 福田武博, 杉山慎, 澤柿教伸, 2011年8月8日-9日, ALOS/PRISMステレオ画像を用いた南極ラングホブデ氷河の表面地形解析, 低温研共同利用研究集会「氷河の流動および変動に関する観測技術の進化」, 札幌, 口頭
- 福田武博, 杉山慎, 澤柿教伸, 2011年9月19日-23日, ALOS/PRISMステレオ画像を用いた南極ラングホブデ氷河の表面地形解析, 日本雪氷学会雪氷研究大会, 長岡, 口頭
- 藤吉麗, 津久浦朱美, 内埜裕子, 杉本敦子, Baatabileg, N., 2011年9月14日-16日, モンゴル森林-草原境界生態系の樹木と土壌の炭素・窒素安定同位体比, 2011年度日本地球化学会 年会, 札幌, ポスター
- 本間有慈, 堀之内武, 2011年5月18日-21日, 熱帯の季節内振動に伴う東アジア域の降水変動の解析, 日本気象学会2011年度春季大会, 東京, ポスター
- 松田淳二, 笹島雄一郎, 三寺史夫, 中村知裕, 羽角博康, 2011年12月5日-7日, オホーツク海・北太平洋熱塩循環モデリング, 低温研共同研究集会「北太平洋の生物地球化学過程に果たす環オホーツク圏の海洋循環・物質循環の役割」, 札幌, 口頭
- 松田淳二, 笹島雄一郎, 三寺史夫, 中村知裕, 羽角博康, 2011年9月26日-30日, 高解像度太平洋オホーツク海海洋-海水モデルの構築, 2011年度日本海洋学会秋季大会, 春日, 口頭
- 松田淳二, 笹島雄一郎, 三寺史夫, 中村知裕, 羽角博康, 2012年2月20日-22日, Modeling of thermo-haline circulation of the Sea of Okhotsk and North Pacific, 第27回北方圏国際シンポジウム「オホーツク海と流氷」, 紋別, 口頭
- 松田淳二, 笹島雄一郎, 三寺史夫, 中村知裕, 羽角博康, 2012年3月26日-30日, 高解像度太平洋・オホーツク海モデルの開発, 2012年度日本海洋学会春季大会, つくば, 口頭
- 三原草介, 久保川厚, 2012年3月26日-30日, 理想的な設定の海洋 GCM における亜熱帯反流の季節変動, 2012年度日本海洋学会春季大会, つくば, ポスター
- 宮崎雄三, 河村公隆, 澤野真規, 鄭進永, 古谷浩志, 植松光夫, 2011年9月13日, 西部太平洋における海洋生物起源の有機態窒素エアロゾル, 大気・海洋間の生物地球化学的循環過程のリンケージ-W-PASS最終シンポジウム一, 札幌, 口頭
- 村中里衣, 谷本陽一, 2012年3月13日-15日, 黒潮・黒潮続流上の大気境界層内における非地衡風成分の特徴, 2012年度新学術領域「中緯度海洋と気候」全体会議, 東京, 口頭
- 山下洋平, 野坂裕一, 鈴木光次, 小川浩史, 高橋一生, 齊藤宏明, 2011年10月3日-4日, 亜熱帯海域における chromophoric dissolved organic matter の分布特性: 他海域との比較, 東京大学大気海洋研究所共同利用研究集会「亜熱帯太平洋のプランクトン生態系および物質循環に関する比較海洋学」, 東京, 口頭
- 山下洋平, 鷹野真也, 杉本敦子, 岩花剛, Maximov, T., 2011年9月14日-16日, 東シベリア域インディギルカ川下流域における溶存有機物の分布特性, 2011年度日本地球化学会 年会, 札幌, ポスター
- 山本真也, 中村進之介, 関幸, 河村公隆, 2011年9月14日-16日, 立山・室堂平の積雪層中の陸上植物バイオマーカー組成とその安定水素同位体比, 2011年度日本地球化学会 年会, 札幌, ポスター
- 山本正伸, 小林大祐, 2012年1月5日, 鮮新世全球温暖期における北西太平洋亜寒帯域の寒冷化, 2011年度古海洋シンポジウム, 柏, 口頭
- 山本康人, 味岡拓, 山本正伸, 竹村恵二, 2011年9月14日-16日, グリセロール・ジアルキル・グリセロール・テトラエーテルの組成にもとづく大分県大野川地 域の過去10000年間の古環境変遷の復元, 2011年度日本地球化学会 年会, 札幌, 口頭
- 吉川久幸, 亀山宗彦, 吉田愴, 緑川貴, 石井雅男, 笹野大輔, 中岡慎一郎, 橋田元, 2011年9月14日-16日, 大気・海洋間の二酸化炭素交換-南大洋-, 2011年度日本地球化学会 年会, 札幌, 口頭
- 吉田愴, 亀山宗彦, 谷本浩志, 奥沢和浩, 猪俣敏, 鈴木光次, 野木義史, 2011年11月14日-18日, 南大洋における溶存イソプレンの分布とその成因に関する研究, 第2回極域科学シンポジウム および第35回極域宙空圏・第34回極域気水圏・第31回極域地学・第33回極域生物・第34回南極隕石シンポジウム, 立川, 口頭
- 渡邊武志, 山崎孝治, 2011年11月16日-18日, 西部チベット高原上空の擾乱により生じる下層のロスビー波のアジアモンスーンへの影響, 日本気象学会2011年秋季大会, 名古屋, 口頭

#### (平成24年度)

- Bajish, C.C., Aoki, S., Taguchi, B., Komori, N., 2012年11月26日-30日, Quasi-decadal variability of Antarctic sea ice, 第3回極域科学シンポジウム, 立川, 口頭
- Bin Shaari, H., Yamamoto, M., Irino, T., 2012年6月16日, The temperature difference between TEX86-H and UK37 as a potential upwelling index in the eastern equatorial Pacific., 日本堆積学会 2012年札幌大会, 札幌, 口頭
- Endo, H., Yoshimura, T., Sugie, K., Suzuki, K., 2012年7月8日-13日, Responses of phytoplankton assemblages in pCO<sub>2</sub> level during the spring bloom in the Oyashio region, 2012 ASLO Aquatic Sciences Meeting, 大津, 口頭
- Fu, P. Q., Kawamura, K., Chen, J., Li, J., Sun, Y. L., Liu, Y., Tachibana, E., Aggarwal, S. G., Okuzawa, K., Tanimoto, H., Kanaya, Y., and Wang, Z. F., 2012年9月17日-21日, Seasonal variation of water soluble organic carbon, dicarboxylic acids, ketoacids, and  $\alpha$ -dicarbonyls in aerosol from the Central Himalayas, 12th IGAC Open Science Conference, 中国・北京, ポスター
- Fukuda, T., Sugiyama, S. and Sawagaki, T., 2012年6月24

- 日-29日, Ice velocity, surface elevation and grounding line position of Langhovde Glacier, an outlet glacier in East Antarctica., International Glaciological Society, アメリカ・フェアバンクス, ポスター
- Fukuda, T., Sugiyama, S., Sawagaki, T. and Nakamura, K., 2012年11月26日-28日, The change of terminus and grounding positions and ice velocity field in Langhovde glacier, Antarctica, The Third Symposium on Polar Science, 東京, 口頭
- Fujiyoshi, R., Sugimoto, A., 2013年1月11日-12日, Research of Nitrogen dynamics along water status gradient using  $\delta^{15}\text{N}$  of plant and soil, Present studies in Yamagata University (Faculty of Agriculture) and Leibniz Universitat Hannover (Faculty of Sciences), 山形, 口頭
- Fujiyoshi, Y., Nagumo, N., Yamamura, I., Aoki, A., 2012年7月29日-8月3日, A revisit to Marshall-Palmer size distribution of raindrops, 16th Conference on Clouds and Precipitation, ドイツ・ライピヒ, ポスター
- Fujiyoshi, Y., Umehara, A. and Fujiwara, C., 2012年7月29日-8月3日, Hammock effect of atmospheric boundary layer for downdraft associated with new-type of organized turbulent air motion, 16th Conference on Clouds and Precipitation, ドイツ・ライピヒ, 口頭
- Greve, R., Seddik, H., Sato, T., 2012年11月26日-28日, Modelling the response of ice sheets to environmental forcing and projecting future sea level rise within the framework of the SeaRISE community effort, The Third Symposium on Polar Science, 東京, 口頭
- Iizuka, Y., Hansson, M., Oyabu, I., Karlin, T. and Goto-Azuma, K., 2012年4月22日-27日, Chemical compounds of past soluble aerosols preserved in the NEEM and Dome Fuji ice cores, EGU General Assembly 2012, オーストリア・ウィーン, ポスター
- Kanna, N., Suzuki, K., Murayama, A. and Nishioka, J., 2012年10月12日-21日, Bioavailability of sea ice-derived iron for phytoplankton growth, PICES annual meeting, 広島, ポスター
- Kunwar, B. and Kawamura, K., 2012年9月11日-13日, One-year observations of organic carbon, elemental carbon, water-soluble organic carbon, and major ions in marine aerosols from Okinawa Island, Japan, an outflow region of Asian dust, 2012年度日本地球化学会年会, 福岡, ポスター
- Liang, M., Sugimoto, A., Tei, S., Maximov, T., Kiyashko, S., Velivetskaya, T.A., Ignatiev, A. V., 2013年1月15日-1月17日, Application of stable isotope ratios of C and N to carbon assimilation and nitrogen utilization of larch in arctic ecosystem of Eastern Siberia, Third International Symposium on Arctic Research (ISAR-3), 東京, ポスター
- Matsuda, J., Sasajima, Y., Mitsudera, H., Nakamura, T. and Hasumi, H., 2013年2月18日-21日, Narrow and strong coastal current in the Sea of Okhotsk represented by high resolution ice coupled ocean circulation model, 第29回北方圏国際シンポジウム「オホーツク海と流氷」, 紋別, 口頭
- Matsuno, S., Sugiyama, S., Sakakibara, D., Yamaguchi, S., Matoba, S. and Sawagaki, T., 2013年11月26日-28日, Thinning of an ICE cap at the coastal margin of northwestern Greenland, The Third Symposium on Polar Science, 東京, ポスター
- Mori, F., 2012年10月13日-21日, Turbulent flow measurement in the surface boundary layer using the PIV method, 第4回北海道大学サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト, 札幌, ポスター
- Nakamura, T., Koseki, S., Mitsudera, H., 2012年5月20日-25日, Response of summertime low-level clouds in the Okhotsk Sea to oceanic meso-scale SST variability, 日本地球惑星科学連合2012年大会, 千葉, 口頭
- Nakamura, T. and Takeuchi, Y., 2013年2月18日-21日, Effects of temporal variation in tide-induced vertical mixing in the Kuril Straits on the thermohaline circulation in the Okhotsk Sea and the North Pacific, 第29回北方圏国際シンポジウム「オホーツク海と流氷」, 紋別, 口頭
- Nosaka, Y., Suzuki, K., Yamashita, Y., 2012年7月8日-13日, Characteristics of transparent exopolymer particle (TEP) distributions in the Oyashio region of the Northwest Pacific during the spring diatom bloom 2011, 2012 ASLO Aquatic Sciences Meeting, 大津, ポスター
- Oyabu, I., Iizuka, Y., Sakurai, T., Suzuki, T., Miyake, T., Hirabayashi, M., Motoyama, H., Hondoh, T., 2012年4月22日-27日, Chemical composition of soluble particles around the Termination 1 in the Dome Fuji ice core, EGU General Assembly 2012, オーストリア・ウィーン, ポスター
- Oyabu, I., Iizuka, Y., Sakurai, T., Suzuki, T., Miyake, T., Hirabayashi, M., Motoyama, H., Hondoh, T., 2012年10月1日-5日, Chemical compositions of soluble aerosols around the Termination 1 in the Dome Fuji ice core, International Partnerships in Ice Core Sciences First Open Science Conference, フランス・コートダジュール, ポスター
- Oyabu, I., Iizuka, Y., Karlin, T., Fukui, M., Hondoh, T. and Hansson, M., 2012年10月25日-27日, Chemical compositions of soluble aerosols around the Termination I in the NEEM (Greenland) ice core, Nordic Branch IGS meeting, 2012, スウェーデン・ストックホルム, 口頭
- Oyabu, I., Iizuka, Y., Karlin, T., Fukui, M., Hondoh, T. and Hansson, M., 2013年1月15日-17日, Chemical compositions of soluble aerosols around the last termination in the NEEM (Greenland) ice core, Third International Symposium on Arctic Research (ISAR-3), 東京, ポスター
- Park, Y.H., Yamamoto, M., Nam, S.I., Polyak, L., Chikita, K., Harada, N., 2012年6月16日, Application of biomarkers to environmental reconstruction in the western Arctic Ocean., 日本堆積学会 2012年札幌大会, 札幌, 口頭
- Park, Y.H., Yamamoto, M., Polyak, L., 2012年5月24日, Reconstruction of paleoenvironmental change based on GDGT-proxies from the Chukchi-Alaskan margin during the Holocene., The 18th International Symposium on Polar Sciences: Milestones in Polar Reserach Collaboration, 韓国・済州島, ポスター
- Popova, A., Tokuchi, N., Maximov, T., Sugimoto, A., 2012年7月30日-8月5日, Nitrogen budget and dynamics of taiga forest ecosystem in north eastern Siberia (in Russian), "Biological problems of the cryolithic zone": All-Russian Conference with an international involvement, ロシア・ヤクーツク, 口頭
- Popova, A., Tokuchi, N., Ohte, N., Maximov, T., Sugimoto,

- A., 2013年1月15日-1月17日, Dynamic and larch uptake of nitrogen in the north eastern Siberia taiga forest, Third International Symposium on Arctic Research (ISAR-3), 東京, ポスター
- Roxy, M., Tanimoto, Y., Preethi, B., Terray, P., Krishnan, R. and Valsala, V., 2012年4月30日-5月1日, Spatial variability of intraseasonal SST-precipitation relationship over the Indian Ocean and South China Sea during the Asian summer monsoon, CFSv2 Evaluation Workshop, アメリカ・カレッジパーク, 口頭
- Saiki, R., Mitsudera, H., Fujisaki, A., Ukita, J., Kimura, N., 2013年2月18日-21日, A formation mechanism of ice band by the interaction between sea-ice and internal wave, 第29回北方圏国際シンポジウム「オホーツク海と流氷」, 紋別, 口頭
- Sakakibara, D., Sugiyama, S., Sawagaki, T., Marinsek, S. and Skvarca, P., 2012年6月24日-29日, Rapid retreat, acceleration, and thinning of Glaciär Upsala in the Southern Patagonia Icefield, initiated in 2008, International Glaciological Society, アメリカ・フェアバンクス, ポスター
- Sakazaki, T., Fujiwara, M., Mitsuda, C., Imai, K., Manago, N., Naito, Y., Nakamura, T., Akiyoshi, H., Kinnison, D., Sano, T., Suzuki, M. and Shiotani, M., 2012年8月27日-31日, Diurnal Ozone Variations in the Stratosphere as Revealed with SMILES Observations, Quadrennial Ozone Symposium 2012, カナダ・トロント, 口頭
- Sakazaki, T. and Fujiwara, M., 2012年10月15日-19日, Atmospheric temperature tides in the tropical upper troposphere and lower stratosphere, A U.S.-Japan Bilateral Workshop on the Tropical Tropopause Layer: State of Current Science and Future Observational Needs, アメリカ・ハワイ, ポスター
- Sato, T., Greve, R., Kusahara, K., Hasumi, H., 2012年9月23日-27日, 南極氷床変動への棚氷、海洋からの影響 - SeaRISE 実験および海洋モデル、衛星データ等の応用, 日本雪氷学会 雪氷研究大会, 福山, ポスター
- Shingubara, R., Iwahana, G., Takano, S., Nakamura, M., Maximov, T., Sugimoto, A., 2012年5月20日-25日, Methane Flux and its Stable Isotope Ratios in a Taiga-Tundra Ecotone in East Siberia, 日本地球惑星科学連合2012年大会, 千葉, ポスター
- Shingubara, R., Sugimoto, A., Maximov, T., 2013年1月15日-1月17日, CH4 Emission from a Taiga-Tundra Ecotone of Eastern Siberia: Process Study by Stable Isotopes, Third International Symposium on Arctic Research (ISAR-3), 東京, ポスター
- Sugidachi, T., Fujiwara, M., 2012年10月15日-19日, Development of a balloon-born Peltier-based chilled-mirror hygrometer for the troposphere and the lower stratosphere, A U.S.-Japan Bilateral Workshop on the Tropical Tropopause Layer: State of Current Science and Future Observational Needs, アメリカ・ハワイ, ポスター
- Sugimoto, A., Shingubara, R., Bragin, I., Iwahana, G., Nakamura, M., Tei, S., Liang, M., Takano, S., Pedrov, R., Maximom, T., 2013年1月15日-1月17日, Vegetation growth and methane emission at taiga-tundra boundary ecosystem in eastern Siberia, Third International Symposium on Arctic Research (ISAR-3), 東京, 口頭
- Sugiyama, S., Sawagaki, T. and Fukuda, T., 2012年6月12日-14日, Hot water drilling and subglacial measurements at the floating tongue of Langhovde Glacier, East Antarctica, 26th International Forum for Research into Ice Shelf Processes, スウェーデン・ストックホルム, 口頭
- Sugiyama, S., Sawagaki, T. and Fukuda, T., 2012年6月24日-29日, Hot water drilling and subglacial observations at the floating tongue of Langhovde Glacier, East Antarctica, International Glaciological Society, アメリカ・フェアバンクス, 口頭
- Sugiyama, S., Sawagaki, T., Fukuda, T., Aoki, S. and Imura, S., 2012年11月26日-30日, Hot water drilling and measurements beneath the grounding zone of Langhovde Glacier, East Antarctica, 第3回極域科学シンポジウム, 立川, 口頭
- Sugiyama, S., Matoba, S., Yamaguchi, S., Sakakibara, D. and Matsuno, S., 2012年1月15日-17日, Ice mass loss in northwestern Greenland, Third International Symposium on Arctic Research (ISAR-3), 東京, 口頭
- Takao, S., Hirawake, T., Suzuki, K., 2012年7月8日-13日, Photosynthetic physiology and primary productivity of phytoplankton in the Australian sector of the Southern Ocean, 2012 ASLO Aquatic Sciences Meeting, 大津, 口頭
- Tanimoto, Y., Kanenari, T., Tokinaga, H. and Xie, S.P., 2012年7月12日, Sea level pressure minimum and ageostrophic surface winds over the Kuroshio and its extension, AMS 18th Conference on Air-Sea Interaction, アメリカ・ボストン, 口頭
- Tei, S., Sugimoto, A., Yonenobu, H., Maximov, T., 2013年1月15日-1月17日, Tree-ring delta-13C and tree growth over the past 100 years at three larch forests in eastern Siberia, Third International Symposium on Arctic Research (ISAR-3), 東京, ポスター
- Toyota, T. and Ishii, H., 2012年5月28日-6月1日, Temporal evolution of the structural properties of seasonal sea ice during the early melt season., International Symposium on Seasonal Snow and Ice, フィンランド・ラハティ, 口頭
- Toyota, T. and Kimura, N., 2013年2月18日-21日, On the validity of the sea ice rheology by Hibler for the Sea of Okhotsk ice., 第29回北方圏国際シンポジウム「オホーツク海と流氷」, 紋別, 口頭
- Yamaki, M. and Hasebe, F., 2012年10月15日-19日, The Dehydration process in the Tropical Tropopause Layer, A U.S.-Japan Bilateral Workshop on the Tropical Tropopause Layer: State of Current Science and Future Observational Needs, アメリカ・ハワイ, ポスター
- Yamamoto, M., Kuwae, M., Abe, M., Ichikawa, N., 2012年12月7日, Decadal- and centennial-scale variability in sea surface temperature in Beppu Bay in Japan during the last 2900 years, American Geophysical Union Fall Meeting 2012, アメリカ・サンフランシスコ, 口頭
- Yamamoto, M., Park, Y.H., Kobayashi, D., Polyak, L., Nam, S.I., 2012年5月24日, Biomarkers as a tool of paleoenvironmental reconstruction in the western Arctic Ocean., The 18th International Symposium on Polar Sciences: Milestones in Polar Reserach Collaboration, 韓国・濟州島, 口頭
- Wang, K., Saito, K., Tada, R., Zheng, H. and Irino, T.,

- 2012年6月16日, Variability in provenance of suspended quartz of the Yangtze River during these 5 kyrs reconstructed from the Delta core, 日本堆積学会 2012年札幌大会, 札幌, 口頭
- Wang, K., Tada, R., Yoshida, T., Toyoda, S., and Zhneg, H., 2012年5月20日-25日, Provenance of quartz of sediments along the Yangtze River drainage., 日本地球惑星科学連合2012年大会, 千葉, ポスター
- Wang, K., Zheng, H., Irino, T., Tada, R. and Zheng, Y., 2013年1月21日, Variation in the Yangtze River discharge during the Holocene based on sedimentological records from the East China Sea inner shelf, The 3rd International IMAGES/PAGES Workshop of Western Pacific Paleoceanography, 台湾・高雄, 口頭
- Watanabe, T. and Yamazaki, K., 2012年8月16日, Influence of the anomaly in the subtropical jet over the western Tibetan Plateau on the intraseasonal variability of the summer Asian monsoon in early summer, AOGS-AGU(WPGM) Joint assembly, シンガポール, ポスター
- Yakkala, Y. R., Nakamura, T., Mitsudera, H., 2012年5月20日-25日, Numerical simulation of a snow cloud band over the Sea of Okhotsk, 日本地球惑星科学連合2012年大会, 千葉, 口頭
- Zhu, C., Nakayama, M., Yoshikawa-Inoue, H., 2012年9月17日-21日, CO<sub>2</sub> effluxes from seasonal snow pack in a mid-latitude forest eco-system: gas diffusion measurement through an automated tower, 12th IGAC Open Science Conference, 中国・北京, ポスター
- Zhu, C., Yoshikawa, H., Matsueda, H., Sawa, Y., Niwa, Y., Wada, A. and Tanimoto, H., 2013年1月15日-17日, Application of Radon-222 as a tracer for characterising fetch regions and evaluating a global 3D model, Third International Symposium on Arctic Research (ISAR-3), 東京, ポスター
- Zhang, W. and Ebuchi, N., 2012年12月12日, Estimation of wind drift current in the Soya Strait, 九州大学応用力学研究所 共同研究集会「海洋レーダを用いた海況監視システムの開発と応用」, 福岡, 口頭
- 青木周司, 稲飯洋一, 中澤高次, 本田秀之, 飯嶋一征, 庄司泰弘, 松坂幸彦, 井筒直樹, 吉田哲也, 森本真司, 菅原敏, 豊田栄, 古谷浩志, 植松光夫, 松見豊, 長谷部文雄, 2012年10月3日-5日, 白鳳丸による東部太平洋赤道上での大気微量成分の総合観測, 日本気象学会2012年度秋季大会, 札幌, 口頭
- 味岡拓, 山本正伸, 竹村恵二, 林田明, 2012年6月16日, 温帯表層土壌を用いたMBT/CBT 指標の確立と琵琶湖堆積物への適用., 日本堆積学会 2012年札幌大会, 札幌, 口頭
- 阿部祥子, 中村知裕, 三寺史夫, 2012年9月13日-17日, 発達初期段階における Kelvin-Helmholtz 波・Tollmien-Schlichting波の共鳴, 2012年度日本海洋学会秋季大会, 静岡, ポスター
- 池田元美, 田中伸一, 渡邊豊, 2013年3月21日-25日, 北極海下層の水塊分布: 長期変動に関する仮説, 2013年度日本海洋学会春季大会, 東京, 口頭
- 稲飯洋一, 青木周司, 本田秀之, 菅原敏, 森本真司, 長谷部文雄, 植松光夫, 2012年10月3日-5日, 白鳳丸熱帯東部太平洋気球観測によるTTL上端大気のage推定, 日本気象学会2012年度秋季大会, 札幌, 口頭
- 稲垣成一, 漢那直也, 村山愛子, 豊田威信, 西岡純, 2013年3月21日-25日, 冬季オホーツク海におけるFe(II)の定量的評価, 2013年度日本海洋学会春季大会, 東京, 口頭
- 入野智久, 山本康人, 山本正伸, 竹村恵二, 2012年5月20日-25日, 大分県大野川流域土壌および河口堆積物の鉱物組成変動, 日本地球惑星科学連合2012年大会, 千葉, ポスター
- 遠藤寿, 鈴木光次, 杉江恒二, 芳村毅, 2013年3月21日-25日, rbcL遺伝子からみた春季親潮域の珪藻類に対するCO<sub>2</sub>の効果, 2013年度日本海洋学会春季大会, 東京, 口頭
- 大賀友貴, 藤吉康志, 2012年10月3日-5日, 東京におけるオゾン濃度の季節および短時間変動, 日本気象学会2012年度秋季大会, 札幌, ポスター
- 大島慶一郎, 深町康, 青木茂, 田村岳史, 2012年11月26日-30日, New findings of Antarctic Bottom Water: Ongoing warming/freshening and a discovered AABW source, 第3回極域科学シンポジウム, 立川, 口頭
- 大平深史, 山本正伸, 竹村恵二, 林田明, 2012年6月16日, BIW08-B コアのリグニン組成変動による過去15万年間の古植生変遷., 日本堆積学会 2012年札幌大会, 札幌, ポスター
- 岡田靖子, 山崎孝治, 2012年5月26-29日, 沖縄梅雨の気候学的時間発展と5月と6月の特徴の違い, 日本気象学会2012年度春季大会, つくば, ポスター
- 柏瀬陽彦, 大島慶一郎, 深町康, 二橋創平, 2012年9月13日-17日, サハリン沖での係留系氷厚データとの直接比較によるAMSR-E薄氷厚アルゴリズムの作成, 2012年度日本海洋学会秋季大会, 静岡, 口頭
- 蒲山裕起, 藤吉康志, 2012年10月3日-5日, 霞の落下速度と粒径分布の定式化, 日本気象学会2012年度秋季大会, 札幌, ポスター
- 漢那直也, 豊田威信, 村山愛子, 西岡純, 2013年3月21日-25日, 海水融解が海洋表層の栄養環境と植物プランクトン増殖に与える影響, 2013年度日本海洋学会春季大会, 東京, 口頭
- 北出裕二郎, 嶋田啓資, 田村岳史, 深町康, 青木茂, 大島慶一郎, 牛尾収輝, 2012年6月10日, ビンセネス湾沖で係留観測によって捉えた南極底層水の特性, 2012年度日仏海洋学会学術研究発表会, 東京, 口頭
- 北出裕二郎, 嶋田啓資, 田村岳史, 深町康, 青木茂, 牛尾収輝, 大島慶一郎, 2012年9月13日-17日, ビンセネス湾沖で係留観測によって捉えた南極底層水の特性, 2012年度日本海洋学会秋季大会, 静岡, 口頭
- 北出裕二郎, 嶋田啓資, 田村岳史, 深町康, 青木茂, 牛尾収輝, 大島慶一郎, 2012年11月26日-30日, ビンセネス湾沖で係留観測によって捉えた南極底層水の特性, 第3回極域科学シンポジウム, 立川, 口頭
- 北山あさみ, 杉本敦子, 2013年1月11日-12日, Tree-ring  $\delta^{13}C$  as environmental index in Northern Mongolia, Present studies in Yamagata University (Faculty of Agriculture) and Leibniz Universitat Hannover (Faculty of Sciences), 山形, 口頭
- 佐伯立, 三寺史夫, 藤崎歩美, 浮田甚郎, 木村詞明, 2013年3月21日-25日, 海水と内部波の相互作用によるアイスバンド形成機構(2), 2013年度日本海洋学会春季大会, 東京, 口頭
- 榎原大貴, 杉山慎, 2012年5月18日-19日, 南パタゴニア氷原におけるカービング氷河の変動と流動速度の関係, 2012年度日本雪氷学会 北海道支部 研究発表会, 札幌, 口頭
- 榎原大貴, 杉山慎, 2012年9月23日-27日, 人工衛星画像を用

- いた南パタゴニア氷原カービング氷河の流動速度測定, 日本雪氷学会 雪氷研究大会, 福山, 口頭
- 榑原大貴, 杉山慎, 2013年1月15日-17日, Ice front variations and velocity of outlet glaciers terminating in Inglefield fjord, the Northwest Greenland, Third International Symposium on Arctic Research (ISAR-3), 東京, ポスター
- 坂崎貴俊, 藤原正智, 塩谷雅人, 鈴木睦, 秋吉英治, Kinnison, D., 2012年5月20日-25日, SMILES 観測で明らかになった中層大気オゾンの日変動, 日本地球惑星科学連合2012年大会, 千葉, 口頭
- 坂崎貴俊, 藤原正智, 塩谷雅人, 鈴木睦, 秋吉英治, Kinnison, D., 2012年5月26-29日, SMILES 観測で明らかになった中層大気オゾンの日変動, 日本気象学会2012年度春季大会, つくば, 口頭
- 坂崎貴俊, 藤原正智, 光田千紘, 今井弘二, 眞子直弘, 内藤陽子, 中村哲, 秋吉英治, Kinnison, D., 佐野琢己, 鈴木睦, 塩谷雅人, 2013年2月28日-3月1日, SMILESで観測された成層圏オゾンの日変化, 第27回大気圏シンポジウム, 相模原, 口頭
- 清水大輔, 深町康, 大島慶一郎, 岩本勉之, Petrich, C., Mahoney, A., Eicken, H., 2013年1月15日-17日, Mooring measurement of sea-ice thickness in the Chukchi Sea off Barrow Alaska, Third International Symposium on Arctic Research (ISAR-3), 東京, ポスター
- 清水大輔, 深町康, 大島慶一郎, 岩本勉之, 2013年3月21日-25日, 北極海バロー沖における海水厚直接観測, 2013年度日本海洋学会春季大会, 東京, 口頭
- 朱春茂, 中山桃子, 吉川久幸, 2012年9月11日-13日, 利尻における積雪下褐色森林土壌からの二酸化炭素フラックス, 2012年度日本地球化学学会年会, 福岡, 口頭
- 新宮原諒, 杉本敦子, Maximov, T., 2012年9月11日-13日, 東シベリアタイガ-ツンドラ境界域における土壌のメタンフラックスと安定同位体比, 2012年度日本地球化学学会年会, 福岡, 口頭
- 陶泰典, 久保川厚, 2013年3月21日-25日, 西岸境界流の東向き続流ジェットの緯度について, 2013年度日本海洋学会春季大会, 東京, ポスター
- 杉立卓治, 藤原正智, 清水健作, 井端一雅, 金井良之, 2012年5月26-29日, 気候監視のためのラジオゾンデ用気蒸気センサの開発, 日本気象学会2012年度春季大会, つくば, ポスター
- 杉立卓治, 藤原正智, 2012年10月3日-5日, Meisei RS-06G ラジオゾンデによる湿度測定 of 気温0°Cにおける不連続な変化とその補正法, 日本気象学会2012年度秋季大会, 札幌, ポスター
- 杉本敦子, 新宮原諒, Liang, M., 中村恵, 鷹野真也, 岩花剛, 鄭峻介, Bragin, I., Maximov, T., 2012年9月11日-13日, 東シベリア北極圏タイガ-ツンドラ境界生態系の水・炭素循環, 2012年度日本地球化学学会年会, 福岡, 口頭
- 杉本敦子, Popova, A., 上田哲大, 鄭峻介, 鷹野真也, Maximov, T., 2012年5月20日-25日, 東シベリアにおける水循環変動と永久凍土生態系の応答, 日本地球惑星科学連合2012年大会, 千葉, 口頭
- 杉本風子, 下田春人, 清水大輔, 宇都正太郎, 館山一孝, 星野聖太, 田村岳史, 牛尾収輝, 大島慶一郎, 2012年11月26日-30日, 昭和基地沖流水域での電磁誘導法による海水厚観測, 第3回極域科学シンポジウム, 立川, 口頭
- 杉山慎, 澤柿教伸, 福田武博, 2012年9月23日-27日, 南極ラングホブデ氷河の接地線近傍における熱水掘削, 日本雪氷学会 雪氷研究大会, 福山, 口頭
- 杉山慎, 澤柿教伸, 福田武博, 2012年5月18日-19日, 南極ラングホブデ氷河における熱水掘削, 2012年度日本雪氷学会 北海道支部 研究発表会, 札幌, 口頭
- 鷹野真也, 杉本敦子, 山下洋平, Maximov, T., 2012年9月11日-13日, 東シベリア永久凍土層の氷形成メカニズムと植生の関係, 2012年度日本地球化学学会年会, 福岡, 口頭
- 田中美菜子, 漢那直也, 村山愛子, 西岡純, 2013年3月21日-25日, オホーツク海南部・日本海北部の表層水中における鉄及び栄養塩の地理的分布, 2013年度日本海洋学会春季大会, 東京, 口頭
- 田村岳史, 豊田威信, 野村大樹, 中田和輝, 青木茂, 大島慶一郎, 橋田元, 館山一孝, 牛尾収輝, 2012年11月26日-30日, 海氷物理・生態研究に関する南極海国際共同観測, 第3回極域科学シンポジウム, 立川, 口頭
- 田村岳史, 大島慶一郎, 中田和輝, 野村大樹, 豊田威信, 牛尾収輝, 2013年3月21日-25日, ヘリ搭載型マイクロ波放射計による海氷厚観測, 2013年度日本海洋学会春季大会, 東京, 口頭
- 鄭峻介, 杉本敦子, 米延仁志, Maximov, T., 2012年5月20日-25日, 過去100年の気候変動に対する東シベリアタイガ林の応答の変化, 日本地球惑星科学連合2012年大会, 千葉, 口頭
- 豊田威信, 木村詞明, 2013年3月21日-25日, オホーツク海におけるHiblerの海氷レオロジーの検証, 2013年度日本海洋学会春季大会, 東京, ポスター
- 中田和輝, 大島慶一郎, 二橋創平, 木村詞明, 田村岳史, 2012年11月26日-30日, 南極ロス棚氷ポリニヤの変動機構と海氷生産収支, 第3回極域科学シンポジウム, 立川, 口頭
- 中田和輝, 大島慶一郎, 二橋創平, 木村詞明, 田村岳史, 2013年3月21日-25日, 南極ロス棚氷ポリニヤの変動機構と海氷生産収支, 2013年度日本海洋学会春季大会, 東京, 口頭
- 中村進之介, 河村公隆, 2012年9月11日-13日, 札幌における低分子モノカルボン酸の季節変動及びガス-エアロゾル相の分配, 2012年度日本地球化学学会年会, 福岡, ポスター
- 中村知裕, 大上真寅, 2013年3月4日, 潮流により生成される渦のシミュレーション, 第11回HSSワークショップ/第9回創成シンポジウム, 札幌, 口頭
- 西村大輔, 杉山慎, 2012年9月23日-27日, スイスアルプス・ローヌ氷河の底面堆積物分布, 日本雪氷学会 雪氷研究大会, 福山, 口頭
- 野坂圭, 河村公隆, 宮崎雄三, 2012年9月11日-13日, 札幌郊外の森林における低分子ジカルボン酸・脂肪酸の組成と年変化, 2012年度日本地球化学学会年会, 福岡, ポスター
- 野坂裕一, 鈴木光次, 山下洋平, 齊藤宏明, 高橋一生, 2013年3月21日-25日, 春季親潮珪藻ブルーム期における透明細胞外重合体粒子 (TEP) 分布の特徴, 2013年度日本海洋学会春季大会, 東京, 口頭
- 野間恵理子, 入野智久, ハスリザル・ビン・シャリ, 山本正伸, 2013年1月7日, ODP Site1237の鉱物組成から見た後期漸新世以降の中央アンデスの環境変動, 2012年度古海洋シンポジウム, 柏, ポスター
- 野間恵理子, 入野智久, Bin Shaari, H., 山本正伸, 2012年6月16日, 南東太平洋 ODP1237 地点への漸新世以降の火山灰および陸源碎屑物供給パターン変動, 日本堆積学会 2012年札幌大会, 札幌, ポスター
- 野間恵理子, 入野智久, Bin Shaari, H., 山本正伸, 2012年9

月15日-17日, 南東太平洋ODP1237地点における漸新世以降の陸源碎屑物供給パターンおよび海洋環境の変遷, 日本地質学会第119年学術大会, 大阪, 口頭

林侑斗, 藤吉康志, 2013年2月18日-21日, Formation mechanism and structure of snow bands developed from Hokkaido coast of the Sea of Okhotsk, 第29回北方圏国際シンポジウム「オホーツク海と流氷」, 紋別, 口頭

福田武博, 杉山慎, 澤柿教伸, 2012年5月18日-19日, 南極ラングホブデ氷河における表面流動速度測定と氷厚探査, 2012年度日本雪氷学会 北海道支部 研究発表会, 札幌, 口頭

福田武博, 杉山慎, 澤柿教伸, 2012年8月23日-24日, 南極ラングホブデ氷河における表面流動速度測定と氷厚探査, 低温科学研究所共同利用研究集会「氷河の流動および変動に関する研究集会」, 札幌, 口頭

福田武博, 杉山慎, 澤柿教伸, 2012年9月23日-27日, 南極ラングホブデ氷河における表面流動速度測定と氷厚探査, 日本雪氷学会 雪氷研究大会, 福山, 口頭

福田康朗, 河村公隆, 持田陸宏, 岩本洋子, 2012年9月11日-13日, 森林大気中における有機エアロゾルの組成, 2012年度日本地球化学学会年会, 福岡, ポスター

松野智, 榊原大貴, 杉山慎, 澤柿教伸, 2012年9月23日-27日, 衛星画像を用いたグリーンランド氷床カナック付近の氷帽・氷河変動解析, 日本雪氷学会 雪氷研究大会, 福山, ポスター

箕輪昌紘, 榊原大貴, 杉山慎, 澤柿教伸, 2012年9月23日-27日, パタゴニア・ペリートモレノ氷河, アメギノ氷河における末端変動と氷厚変化, 日本雪氷学会 雪氷研究大会, 福山, 口頭

村中里衣, 谷本陽一, 2012年11月17日, 黒潮海域における海上風非地衡風成分と大気境界層の関係, 2012年大気海洋相互作用に関する研究会, 京都, 口頭

森文洋, 2012年12月26日, PIVを用いた接地境界層における乱流構造の把握, 北大環境科学院GCOE-RA成果発表会, 札幌, ポスター

吉田怜, 亀山宗彦, 鈴木光次, 吉川久幸, 谷本浩志, 奥沢和浩, 猪俣敏, 野木義史, 2012年9月24日-25日, 南大洋における溶存イソプレンの分布とその成因に関する研究, 南大洋インド洋区における海洋地球科学合同観測の成果~IODP掘削へ向けて~, 柏, 口頭

渡邊武志, 山崎孝治, 2012年10月3日-5日, 年々変動スケールでの西部チベット高原上空の変動とアジアモンスーン域の擾乱との関係, 日本気象学会2012年度秋季大会, 札幌, ポスター

#### 生物圏科学専攻 (平成23年度)

Agata, T., Urushibata, W., Kanai, T., Atomi, H., Imanaka, T., Morikawa, M., 2011年9月11日-16日, Functional characterization of Thermococcus kodakaraensis s-layer protein in E. coli., Thermophiles, アメリカ・ビッグスカイ, ポスター

Aguilos, M., Takagi, K., Fukuzawa, K., Saigusa, N., Murayama, T., Fujinuma, Y. and Sasa, K., 2011年11月9日-13日, Northern Japan's cool-temperate forest reaches a carbon compensation point 7 years after clearcutting, AsiaFlux Workshop 2011, マレーシア・ジョホールバル, ポスター

Aguilos, M., Takagi, K., Fukuzawa, K., Sasa, K., Saigusa, N., Murayama, T. and Fujinuma, Y., 2012年3月17日

-21日, Northern Japan's cool-temperate forest reaches its carbon compensation point 7 years after clearcutting, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, 口頭

Aguilos, M., Takagi, K., Watanabe, Y., Sasa, K., Fukuzawa, K., Liang, N., Goto, S., Takahashi, Y., Mukai, H., Saigusa, N., Murayama, T. and Fujinuma, Y., 2011年10月21日-22日, Effect of disturbances to the carbon budget of forests in northern Japan, 生物地球科学会10周年セッション, 札幌・苫小牧, 口頭

Amagai, Y., Kaneko, M., Kudo, G., 2012年3月17日-21日, Trend in patch growth of Pinus pumila in the Taisetsu Mountains: analyses of aerial photographs and shoot elongation., 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター

Aoshima, Y., Miyata, R., Kudo, G., 2012年3月17日-21日, Seasonal pattern of photosynthetic traits of Sasa kurilensis along an elevation gradient., 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター

Asaka, Y., 2012年3月17日-21日, Invasive or not invasive contrasting genetic structures of Yellow crazy ant and Weaver ant, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, オーガナイズド・セッション

Asaka, Y., Miyazaki, S., Higashi, S., 2012年3月17日-21日, Is there gene-flow between sympatric winged and queen colonies of ants Myrmecina nipponica?, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター

Atikah, T.D., Apandi, I., Shiodera, S. and Seino, T., 2011年9月22日-24日, Peat swamp forest in Hampangen village, Central Kalimantan after forest fire: structure, species composition, and recovery, The 3rd International Workshop JST-JICA "Wild Fire and Carbon Management in Peat-Forest in Indonesia, インドネシア・バランカラヤ, ポスター

Atikah, T.D. and Kohyama, T.S., 2012年3月17日-21日, Comparison of sapling architecture among mixed dipterocarp, heath, and peat swamp forest in Kalimantan, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター

Bin Haji Mohd Taha, A.I. and Okuyama, H., 2011年9月6日-10日, Bioproduction of docosaehaenoic acid-rich phospholipids using triacylglycerol-accumulating marine microorganisms, 国際微生物学連合2011会議, 札幌, ポスター

Boonmak, C., Takahashi, Y., Morikawa, M., 2011年9月6日-10日, Analysis of multiple alkB genes from Geobacillus thermoleovorans B23., 国際微生物学連合2011会議, 札幌, ポスター

Boonmak, C., Takahashi, Y., Morikawa, M., 2011年9月26日-28日, Analysis of LadA-related long-chain alkane monooxygenase in an extremely thermophilic Geobacillus thermoleovorans B23., 第63回日本生物工学会大会, 東京, 口頭

Chida, S., Morikawa, M., 2011年9月6日-10日, Identification of novel plant-growth promoting factor produced by Acinetobacter calcoaceticus P23, a rhizobacterium of Lemna aoukikusa., 国際微生物学連合2011会議, 札幌, ポスター

Fu, G., Nagasato, C., Ito, T., Kajimura, N., Oka, S., Cock, M.J., Motomura, T., 2011年10月9日-14日, Electron tomography and proteomics of the flagella in brown algae, The 6th Asian Pacific Phycological Forum, 韓

- 国・麗水, 口頭
- Fujii, M., Hirao, T., Kojima, H. and Fukui, M., 2012年3月17日 - 21日, Geographic distribution of microorganisms and its limiting factors in freshwater environments, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- Fukano, T., Takahashi, Y., Gomi, M., Osaki, Y., Morikawa, M., 2011年9月6日 - 10日, Isolation and characterization of Rhizobium sp. R8 that forms biofilms on a toilet bowl., 国際微生物学連合2011会議, 札幌, ポスター
- Fukaya, K., Amano, M., Nakamura, S. and Ueda, H., 2011年6月12日-18日, Diurnal changes of salmon GnRH secretion in sockeye salmon brain, 第1回国際魚類テレメトリー会議, 札幌, ポスター
- Fukaya, K., Amano, M. and Ueda, H., 2012年3月3日-7日, In vitro GnRH secretion in salmon brain, The 7th Asia Oceania Society for Comparative Endocrinology, マレーシア・クアラルンプール, ポスター
- Gotoh, H., Miura, T., 2011年7月29日-31日, Developmental mechanisms of sex-specific mandibular growth in stag beetles, 第13回日本進化学会 京都大会, 京都, ポスター
- Hayamizu, M., Hosokawa, I., Kimura, O., Ohara, M., 2012年3月17日-21日, Inter-specific variation in life history traits of *Viora brevistipulata* (Violaceae), 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- Havashida, K., Nii, H., Tsuji, T., Miyoshi, K. and Ueda, H., 2011年6月12日-18日, Physiological effects of curing period on chum salmon, 第1回国際魚類テレメトリー会議, 札幌, 口頭
- Havashida, K., Nii, H., Tsuji, T., Miyoshi, K. and Ueda, H., 2011年9月4日-8日, Physiological effects of recovery period on Rainbow trout, American Fisheries Society 141st Annual Meeting, アメリカ・シアトル, ポスター
- Hirai, T., Aibara, I., Miwa, K., 2012年1月19日-20日, Boron-dependent translation of a boron transporter and generation of plants tolerant to high boron stress., Japan-Australia Symposium on Plant Sciences For Agriculture, 札幌, 口頭
- Hori, R., Nishida, N. and Okuyama, H., 2011年11月14日-18日, The novel function of eicosapentaenoic acid in bacterial cell membranes, 極域生物シンポジウム, 立川, ポスター
- Iida, Y., Kohyama, T., Kubo, T., Kassim, A., Potts, M., Sterck, F., Poorter, L., 2012年3月17日-21日, Linking size-dependent growth and mortality with architectural traits across 145 co-occurring tropical tree species, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- Iida, Y., Poorter, L., Sterck, F., Kassim, A. R., Potts, M. D., Kubo, T., Kohyama, T. S., 2012年3月24日-27日, Interspecific differences in architectural traits, growth and mortality across co-occurring tree species in a Malaysian rainforest, Annual Meeting of the Association for Tropical Biology and Conservation, Asia-Pacific Chapter, 中国・雲南省, 口頭
- Inoue, T., Nagumo, M., Yoshida, T. and Imura, S., 2011年5月15日 - 19日, Variations in decay states and vegetation capability of deadwoods in a natural mixed forest in Japan., International Symposium on dynamics and ecological services of deadwood in forest ecosystems, カナダ・ルーインノランダ, ポスター
- Inoue, T., Nagumo, M. and Yoshida, T., 2011年9月5日-9日, The effects of tree species and environmental conditions on deadwood decomposition in a natural mixed forest in Japan, 国際長期生態学研究ネットワーク (ILTER) 年次会議2011, 札幌, ポスター
- Ishikawa, A., Gotoh, H., Ogawa, K., Miura, T., 2011年7月26日-30日, Endocrine mechanisms underlying the loss of reproductive polyphenism in the pea aphid *Acyrtosiphon pisum*, SMBE 2011 - Annual Meeting of the Society for Molecular Biology and Evolution, 京都, ポスター
- Ishikawa, Y., Aonuma, H., Sasaki, K., Miura, T., 2011年7月26日 - 30日, Molecular underpinnings of the defensive polyethism in termites, SMBE 2011 - Annual Meeting of the Society for Molecular Biology and Evolution, 京都, ポスター
- Ito, Y., Shao, H., Minami, K. and Miyashita, K., 2011年8月22日-25日, Spatial estimation of the kelp forest (*Laminaria* spp.) distributions in coastal waters of Osatube Hokkaido, Japan, using acoustic method and GIS, 5th International Symposium on GIS/Spatial Analyses in Fishery and Aquatic Science, ニュージーランド・ウェリントン, 口頭
- Izumi, K., Shimada, T., Saitoh, T., 2012年3月17日-21日, Does the Japanese Wood Mouse Inherit Tannin Tolerance? -An Insight into Geographic Variation of the Physiological Trait, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- Kagiwada, H., Honda, K., Takahashi, N., Otsubo, S., Miyashita, K., 2011年6月12日-18日, Interannual and seasonal migration pattern of adult Sakhalin taimen, *Hucho perryi*, in the Bekanbeushi River system, eastern Hokkaido, 第1回国際魚類テレメトリー会議, 札幌, ポスター
- Kanke, E., Zenitani, J., Ishibashi, Y., Onishi, N., Orig de Guia, A. P., Kawai, K., Saitoh, T., 2012年3月17日-21日, Estimation of maintaining genetic diversity based on comparison between mtDNA and nDNA: small mammal as a model species, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- Kato, S., Takeuchi, F. and Yoshida, T., 2012年3月17日-21日, Effects of mixture of broadleaved species on ecosystem services in a coniferous plantation., 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, 口頭
- Kimura, R., Honda, K., Shinohara, A., Mitani, Y., Miyashita, K., 2011年6月12日-18日, Application of acoustic telemetry for investigation about migration of masu salmon (*Oncorhynchus masou masou*) in the Churui River, Hokkaido, Japan, 第1回国際魚類テレメトリー会議, 札幌, ポスター
- Kishida, O., Trussell, G., Takatsu, K., Michimae, H., 2012年3月17日-21日, Predator phenotypic plasticity modifies prey life history and community, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- Kitanishi, S., Yamamoto, T., Koizumi, I., Dunham, J.B. and Higashi, S., 2012年3月17日-21日, Fine scale relationships between sex, life history, and dispersal of masu salmon, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- Ma, X., Anzoua, K.G., Kudo, H., Yamada, T., 2012年3月30日 - 4月1日, Evaluation of genetic diversity in

- Japanese wild *Miscanthus sinensis* populations using simple sequence repeat markers, The fourth Japan-China-Korea Grassland Conference, 愛知, ポスター
- Maeda, T., Kawai, T., Fujikawa, Y., Kirihara, S., Nakaoka, M. and Yotsukura, N., 2011年10月9日-14日, Elucidation of genetic diversity of *Saccharina japonica* in northern part of Japan based on DNA fragment analyses, The 6th Asian Pacific Phycological Forum, 韓国・麗水, ポスター
- Maeda, T., Pang, S. J. and Yotsukura, N., 2011年6月19日-24日, A trial on molecular marker detection for variety discrimination in *Saccharina japonica* (Phaeophyceae, Laminariales) by AFLP-based analysis, 4th Congress of the International Society for Applied Phycology, カナダ・ハリファックス, ポスター
- Mamiya, W., Uemura, S., Ito, K., 2012年3月17日-21日, Isolation and characterization of compound microsatellite loci in a tetraploid woodland herb *Symplocarpus renifolius* (Araceae), 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- Matsui, T., Kojima, H., Fukui, M., 2011年6月26日-30日, Effects of temperature on organic matter degradation process in temperate marine sediment, FEMS 2011 4th Congress of European Microbiologists, スイス・ジェノバ, ポスター
- Miyazaki, S., Okada, Y., Miyakawa, H., Koshikawa, S., Maekawa, K., Miura, T., 2011年6月29日-7月2日, Molecular basis underlying the distinct sexual color dimorphism in the ponerine ant *Diacamma* sp., 2012 International Social Insect Genomics Research Conference, 中国・深圳, ポスター
- Miyoshi, K., Hayashida, K., Makiguchi, Y., Konno, Y., Konishi, K., Sakashita, T., Nii, H., Nakao, K., Okamoto, Y. and Ueda, H., 2011年6月12日-18日, Effects of ground sills on upstream migration of salmonids in the Toyohira River, Hokkaido, Japan, 第1回国際魚類テレメトリー会議, 札幌, ポスター
- Momota, K., Yamada, K., Hori, M., Reynolds, L. K., Watanabe, K., Nakaoka, M., 2012年3月21日-24日, Relationship between epifaunal community structure and environmental gradient in eelgrass beds of Akkeshi, northern Japan, Benthic Ecology Meeting 2012, アメリカ・ノーフォーク, ポスター
- Motoigi, T., Morita, N. and Okuyama, H., 2011年9月6日-10日, No eicosapentaenoic acid is required for *Shewanella marinintestina* IK-1 to grow at any temperature, 国際微生物学連合2011会議, 札幌, ポスター
- Murakami, S., Gurning, V., Itoh, Y., Morikawa, M., 2011年9月6日-10日, Purification of azoreductase from a bacterium strain that degrades Orange G dye., 国際微生物学連合2011会議, 札幌, ポスター
- Nagasato, C., Terauchi, M. and Motomura, T., 2011年10月9日-14日, Cytokinesis and cell wall formation in brown algae., The 6th Asian Pacific Phycological Forum, 韓国・麗水, 口頭
- Nagumo, M., Inoue, T., Yoshida, T. and Shibata, H., 2011年9月5日-9日, Change in carbon stock in a managed natural mixed forest of northern Japan., 国際長期生態学研究ネットワーク (ILTER) 年次会議2011, 札幌, ポスター
- Naito, S., Inoue, T., Nagumo, M., Yoshida, T. and Nakamura, F., 2012年3月17日-21日, Effects of selection cutting on complexity and heterogeneity of mixed forests in northern Japan., 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- Nakamura, S., Kudo, G., 2012年3月17日-21日, Comparisons of lifecycle and foraging pattern of bumblebee communities between urban and montane forests., 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- Novkovic, B., 木村正人, 2011年9月16日-19日, 琉球列島・対話におけるショウジョウバエ3種の系統地理学的研究, 日本昆虫学会第71回大会, 松本, 口頭
- Orou-Matilo, T.B.A., Kohyama, T.S., 2011年9月5日-9日, Distribution and composition of vegetation patterns in sub-sahelian savanna in West Africa in Benin., 国際長期生態学研究ネットワーク (ILTER) 年次会議2011, 札幌, ポスター
- Orou-Matilo, T.B.A., Miyata, R., Kohyama, T.S., 2012年3月17日-21日, Tree community patterns of woody savanna in Benin under the influence of fire disturbance., 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- Ou, W., Igota, M., Nagata, J., Kaji, K., Saitoh, T., 2012年3月17日-21日, Genetic differences between residents and migrants of an eastern sika deer (*Cervus nippon*) population in Hokkaido, Japan, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- Safuruddin, Ito, Y., Yasuma, H., Itaya, K., Maeda, K., Miyashita, K., 2011年11月25日-26日, The effects of environmental factors on the Japanese sandeel (*Ammodytes personatus*) abundance and distribution in the northern coast of Hokkaido, 平成23年度日本水産学会北海道支部大会, 函館, 口頭
- Safuruddin, Ito, Y., Yasuma, H., Itaya, K., Maeda, K., Miyashita, K., 2012年3月6日, Estimation of distribution pattern of the Japanese sandeel (*Ammodytes personatus*) in the northern coast of Hokkaido, Japan, using quantitative echo sounder, 平成23年度北海道音響資源調査研究情報交換会, 札幌, 口頭
- Sakagami, K., Itoh, Y., Matsumoto, M., Morikawa, M., 2011年9月6日-10日, Isolation of an aerobic chemoheterotroph that positively affects the activity of ammonia-oxidizing bacteria., 国際微生物学連合2011会議, 札幌, ポスター
- Sakaguchi, N., Okuyama, H., 2011年9月6日-10日, Autochthonous bioaugmentation of artificially crude oil-contaminated sea sands collected at the coasts of Hokkaido, Japan, 国際微生物学連合2011会議, 札幌, ポスター
- Sakaguchi, N., Okuyama, H., 2011年11月14日-18日, Community structures of crude-oil degrading bacteria in seacoasts of Hokkaido, 極域生物シンポジウム, 立川, ポスター
- Sakaguchi, N., Takahashi, M., Ueno, A., Shimizu, S., Satô, M., Maekawa, K. and Okuyama, H., 2012年2月19日-24日, Feasibility of autochthonous bioaugmentation technologies for managing oil spills on the northern coasts of Hokkaido, 第27回北方圏国際シンポジウム-オホーツク海と流氷-, 紋別, 口頭
- Shao, H., Ito, Y., Minami, K. and Miyashita, K., 2011年11月15日-21日, Spatial estimation of the kelp forest

- (*Laminaria* spp.) distributions in coastal waters of Osatsube Hokkaido, Japan, using acoustic method, 中国黄海研究所, 中国・青島, 口頭
- Sunmonu, A.I., Kudo, G., Ida, T.A., 2012年3月17日-21日, Small but effective: revealing the importance of bract in a spring ephemeral herb., 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- Takahashi, M., Sakaguchi, N., Nagai, M., Okuyama, H., 2011年11月14日-18日, Autochthonous augmentation to crude-oil contamination in Hokkaido, 極域生物シンポジウム, 立川, ポスター
- Takahashi, N., Honda, K., Kagiwada, H., Yamamoto, K., Mitani, Y., Miyashita, K., 2011年6月12日-18日, Swimming patterns and habitat use of Sakhalin taimen (*Hucho perryi*) using acceleration data logger, in the Bekanbeushi River, Lake Akkeshi and an estuary in Hokkaido, Japan, 第1回国際魚類テレメトリー会議, 札幌, ポスター
- Takatsu, K., Kishida, O., 2012年3月17日-21日, Offensive phenotypes of predatory salamanders select amplified defensive phenotypes of prey frog tadpoles, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- Takeuchi, E., Kato, S. and Yoshida, T., 2012年3月17日-21日, Changes in structure of a peatland *Picea glehnii* forest along with the distance from a water channel., 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, 口頭
- Tanaka, N., Nakamura, M., 2012年3月17日-21日, The variety of indirect effects of deer bark stripping, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, 口頭
- Terada, C., Tatsuzawa, S., Saitoh, T., 2012年3月17日-21日, Effects of environmental factors on the geographical differences in morphology in deer: climate and/or topography, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- Terauchi, M., Kajimura, N., Nagasato, C., Motomura, T., 2011年10月9日-14日, Ultrastructural study on plasmodesmata of brown algae., The 6th Asian Pacific Phycological Forum, 韓国・麗水, 口頭
- Tojo, F., Itoh, Y., Okabe, S., Morikawa, M., 2011年5月19日-20日, Analysis of the granule formation by Anammox bacteria., 第1回国際anammoxシンポジウム, 熊本, 口頭
- Tsutsumi, M., Kojima, H., Fukui, M., 2011年6月26日-30日, Spatiotemporal variations in community of closely related planktonic aerobic methane oxidizing bacteria, FEMS 2011 4th Congress of European Microbiologists, スイス・ジェノバ, ポスター
- Umegane, H., Nagumo, M., Inoue, T. and Yoshida, T., 2012年3月17日-21日, The estimation of above ground biomass using Lidar remote sensing for forest carbon studies - effects of spatial resolution, topography and vegetation type., 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- Urushibata, W., Funayama, T., Morikawa, M., 2011年9月5日-9日, An extremely thermophilic bacterium, *Coprothermobacter* sp. PM9-2, isolated from an offshore petroleum reservoir in the South China Sea., 国際長期生態学研究ネットワーク (ILTER) 年次会議 2011, 札幌, ポスター
- Yamada, T., Anzoua, K.G., Toma, Y., Suzuki, K., Iizuka, N., Green, K., 2011年10月16日-19日, *Miscanthus* ssp. genetic resources and its potential as an energy crop, ASA, CSSA and SSSA Annual Meetings, アメリカ・サンアントニオ, 口頭
- Yamamoto, K., Mitani, Y. and Miyashita, K., 2011年6月12日-18日, Quantitative Comparison of swimming patterns between rainbow trout and white spotted charr under flowing-water conditions, 第1回国際魚類テレメトリー会議, 札幌, ポスター
- Yamamoto, Y., Bandoh, H. and Ueda, H., 2011年4月13日-17日, Olfactory imprinting and discriminating ability of sockeye salmon, AChemS 33rd Annual Meeting, アメリカ・セントピートビーチ, ポスター
- Yamazaki, C., Weigel, B., Mueller, R., Roßbach, F.I., Winkler, S., Astudillo, J.C., Cordova, M.R., Madariaga, D.J., Ferrari, J., Raraswati, I., Gülden-zoph, C., Hiebenthal, C., Weinberger, F., 2012年3月17日-21日, Photosynthesis and metabolic responses of marine macroalgae under short term light fluctuation from different climate regions, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- Yuta, T., Koizumi, I., 2011年7月24日-29日, Don't put all your eggs in one basket: Nest predation risk increases extra-pair paternity in the Japanese Great Tit, 129th Meeting of American Ornithologists' Union, アメリカ・ジャクソンビル, ポスター
- Yuta, T., Koizumi, I., 2011年11月2日, Long Breeding Season and High Frequency of Multiple Brood of the Great Tit in Northern Japan, 第3回北海道大学サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト, 札幌, ポスター
- Yuta, T., Koizumi, I., 2012年3月17日-21日, Spatial Analysis of Extra-Pair Paternity in Japanese Great Tits, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- 朝香友紀子, 2011年7月29日-31日, 熱帯広域分布アリ類の対照的な系統地理, 第13回日本進化学会 京都大会, 京都, ポスター
- 阿部太亮, 小川浩太, 石川麻乃, 三浦徹, 2011年8月5日-6日, ソラマメヒゲナガアブラムシの翅多型における翅原基分化の制御機構, 第1回 日本アブラムシ研究会, 愛知, 口頭
- 阿部太亮, 小川浩太, 石川麻乃, 三浦徹, 2011年9月21日-23日, ソラマメヒゲナガアブラムシの翅多型における翅原基分化の制御機構, 日本動物学会第82回大会, 旭川, ポスター
- 阿部博哉, 長谷川夏樹, Yoon, S.J., 岸道郎, 2011年9月16日-19日, 博哉北海道厚岸湖におけるアサリの成長とその制限要因について, 日本ベントス学会, 高知, 口頭
- 荒木肇, 市川伸次, 中野英樹, 高虫慧子, 地子立, 山形定, 上出光志, 2011年7月16日-17日, ペレット燃料によるハウスへの熱供給と野菜の試作, 日本農作業学会 平成23年度春季大会, 京都, 口頭
- 荒木肇, 地子立, 熊野貴宏, 二階堂華那, 藤原沙弥香, 藤井賢彦, 2012年3月24日-25日, 自然エネルギーを活用した野菜生産の試み 夕張市での温泉廃湯と積雪の活用事例, 日本農作業学会 平成24年度春季大会, つくば, 口頭
- 安生浩太, 佐藤淳, 細田徹治, 木下豪太, 鈴木仁, 2011年9月21日-23日, ニホンテン紀伊集団における毛色関連遺伝子ASIPの遺伝的分化, 日本動物学会第82回大会, 旭川, ポスター
- 五十嵐理人, 堀田海帆, 植松孝昌, 宗原弘幸, 2011年9月29

- 日-10月2日, アイナメ系雑種の正体は、雑種生殖集団による戻し交配でした, 2011年度日本魚類学会年会, 弘前, 口頭
- 石川由希, 青沼仁志, 佐々木謙, 三浦徹, 2011年9月21日-23日, 兵隊シロアリの攻撃性はチラミンによってもたらされる, 日本動物学会第82回大会, 旭川, ポスター
- 石崎智美, 2011年12月2日, 「Sagebrush (*Artemisia tridentata*) の被食防衛反応と植物間コミュニケーション」, 第56回北海道植物学会大会 講演会と総会, 札幌, 口頭
- 石崎智美, 大原雅, 塩尻かおり, Karban, R., 2012年3月17日-21日, 植物間コミュニケーションによる食害抵抗性の誘導およびそれらに影響を与える生態的要因 (Workshop: 個体間コミュニケーションが導く表現型可逆性 - その多様性と共通原理 -), 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, 口頭
- 石田浩太郎, 佐藤淳, 2011年9月21日-23日, クロテンおよびニホンテンの毛色関連遺伝子を用いた系統地理学的研究, 日本動物学会第82回大会, 旭川, 口頭
- 石山宙夢, 上野洋路, 稲津将, 2011年9月26日-30日, アリュウシアン渦の形成及び伝播特性, 2011年度日本海洋学会秋季大会, 福岡, 口頭
- 井上太樹, 南雲未智, 伊村智, 吉田俊也, 2011年8月8日-10日, 北海道北部の針広混交林における枯死木上のコケ植物群集の35年間の変化, 日本蘚苔類学会第40回大会, 奈良, 口頭
- 井上太樹, 南雲未智, 吉田俊也, 2012年3月17日-21日, 天然生針広混交林における枯死木の腐朽に及ぼす立地・樹種の影響, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, 口頭
- 井上太樹, 南雲未智, 吉田俊也, 2012年3月26日-29日, 北海道の天然生針広混交林における枯死木の腐朽状態と定着している植物との関係, 第123回日本森林学会大会, 宇都宮, ポスター
- 臼井平, 黒木真理, 高井孝太郎, 小泉逸郎, 2011年12月3日, 世界唯一遡河回遊性をもったコイ科魚類ウグイ (*Tribolodon hakonensis*)における降海性緯度クラインの検証, 第33回魚類系統研究会, 苫小牧, 口頭
- 漆畑亘, 船山哲, 森川正章, 2011年11月27日-28日, 海底油田から単離した高度好熱菌 *Coprothermobacter* sp. PM9-2株の諸特性解析, 極限環境微生物学会2011年度年会, 長崎, 口頭
- 小川浩太, 三浦徹, 2011年8月5日-6日, オス産生時にみられるX染色体放出機構の解明にむけて, 第1回 日本アブラムシ研究会, 愛知, 口頭
- 小川浩太, 三浦徹, 2011年9月16日-19日, エンドウヒゲナガアブラムシに見られる生活型特異的な飛翔器官形成, 日本昆虫学会第71回大会, 松本, 口頭
- 落合正則, 高橋洋平, 2011年9月21日-23日, カイコのアポリポホリンIIIによるセクロピン抗菌活性の増強作用, 日本動物学会第82回大会, 旭川, ポスター
- 鍵和田玄, 本多健太郎, 高橋伸幸, 宮下和士, 2011年11月25日-26日, イトウ (*Hucho perryi*) 成魚が選択する生息域河川環境特性, 平成23年度日本水産学会北海道支部大会, 函館, 口頭
- 粕谷菜月, 三井偉由, 木村正人, 2011年9月16日-19日, 寄生蜂 *Ganaspis xanthopoda* の分類学的検討, 日本昆虫学会第71回大会, 松本, 口頭
- 片平浩孝, 臼井平, 黒木真理, 小泉逸郎, 長澤和也, 2011年12月3日, 寄生虫を用いてウグイの降海履歴を決定できるか? ~耳石微量元素分析との比較~, 第33回魚類系統研究会, 苫小牧, 口頭
- 片平浩孝, 臼井平, 黒木真理, 小泉逸郎, 長澤和也, 2012年2月18日-19日, 寄生虫が語るウグイの回遊履歴, 第23回魚類生態研究会, 広島, 口頭
- 川内陽平, 千村昌之, 武藤卓志, 渡野邊雅道, 岩木道郎, 山本潤, 宮下和士, 2011年11月25日-26日, 餌生物転換期におけるスケトウダラ稚魚の鉛直分布の昼夜変化, 平成23年度日本水産学会北海道支部大会, 函館, 口頭
- 川内陽平, 千村昌之, 武藤卓志, 渡野邊雅道, 岩木道郎, 山本潤, 宮下和士, 2012年3月6日, 昼夜におけるスケトウダラ太平洋系群稚魚の鉛直分布特性, 平成23年度北海道音響資源調査研究情報交換会, 札幌, 口頭
- 菅家恵未, 銭谷純平, 石橋靖幸, 大西尚樹, Orig de Guia, S. P., 河合久仁子, 齊藤隆, 2012年2月26日, mtDNA と nDNA の比較に基づいた遺伝的多様性の維持機構の推定 - 小型哺乳類であるエゾヤチネズミをモデルとして -, 2011年度日本生態学会・北海道地区会, 札幌, 口頭
- 木下豪太, 2011年9月21日-23日, 北海道産ユキウサギの集団史と分子系統学的位置づけ, 日本動物学会第82回大会, 旭川, 口頭
- 木下豪太, 2011年9月21日-23日, 日本産ノウサギ属2種の季節適応に関する分子集団遺伝学的解析, 日本動物学会第82回大会, 旭川, ポスター
- 久保弦, 山下善道, 岩田晃一郎, 荒木肇, 藤井賢彦, 2012年3月7日-9日, 北海道大学札幌キャンパスにおける学内堆肥化実現可能性の検討, 第7回LCA学会研究発表会, 東京, 口頭
- 倉科光紀, 三輪京子, 森川正章, 2012年3月22日-26日, さまざまなプラスチック表面における細菌バイオフィーム形成量の比較, 日本農芸化学会2012, 京都, 口頭
- 桑山崇, 布目三夫, 森脇和郎, 鈴木仁, 2011年9月20日-22日, 北海道における野生ハツカネズミのハプロタイプ構造解析に基づく浸透性交雑の検出, 第83回日本遺伝学会, 京都, 口頭
- 児玉紗也香, 布目三夫, 森脇和郎, 鈴木仁, 2011年9月20日-22日, 野生ハツカネズミの毛色関連遺伝子 *Mc1r* 周辺領域の塩基多様度の減少, 第83回日本遺伝学会, 京都, 口頭
- 後藤寛貴, 三浦徹, 2011年9月21日-23日, 性決定遺伝子 *dsx* はクワガタの性特異的な大顎発達を制御する, 日本動物学会第82回大会, 旭川, ポスター
- 小林章弥, 外山雅大, 小泉逸郎, 2012年3月17日-21日, 鳥類ペリットを用いた新規DNA解析法, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- 坂上景子, 伊東義兼, 生田創, 三輪京子, 松本光史, 森川正章, 2012年3月22日-26日, *Nitrosomonas europaea* IFO14298 のアンモニア酸化活性を向上させる作用メカニズムの解析, 日本農芸化学会2012, 京都, 口頭
- 笹千舟, 宮崎智史, 東正剛, 三浦徹, 2011年9月21日-23日, トゲオオハリアリにおける性特異的な触角形態とその発生過程, 日本動物学会第82回大会, 旭川, ポスター
- 笹千舟, 宮崎智史, 東正剛, 三浦徹, 2012年2月26日, トゲオオハリアリにおける触角形態の顕著な性差をもたらす分子発生の基盤, 2011年度日本生態学会・北海道地区会, 札幌, 口頭
- 笹千舟, 宮崎智史, 東正剛, 三浦徹, 2012年3月27日-29日, トゲオオハリアリの触角形態における性的二型とその分子発生の基盤, 第56回日本応用動物昆虫学会大会, 奈良, 口頭
- 篠原陽, 川原創, 本多健太郎, 野別貴博, 宮下和士, 2011年11月11日-13日, 知床半島周辺海域におけるシロザケ漁獲量と海洋環境の経年比較, 2011年度 水産海洋学会研究発表大会, 函館, ポスター

- 邵花梅, 盛田祐加, 伊藤祐介, 川内陽平, 園木詩織, 仲岡雅裕, 四ツ倉典滋, 安間洋樹, 福井信一, 渡辺健太郎, 前田高志, 藤川義一, 南憲史, 宮下和士, 2012年3月6日, 音響計測手法を用いたコンブ林の分布推定 ~磯焼けの動態把握に向けて~, 平成23年度北海道音響資源調査研究情報交換会, 札幌, 口頭
- 下田真明, 中野英樹, 高虫慧子, 高橋太郎, 堀廣孝, 河合孝雄, 星野洋一郎, 2011年9月24日-26日, ハスカップとミヤマウグイスカグラの種間雑種の育成: 雑種個体の花および果実の特徴, 園芸学会 平成23年秋季大会, 岡山, 口頭
- 杉原雄一, 荒木肇, 上野秀人, 2011年9月24日-26日, 緑肥体系におけるヘアーベッチ由来窒素のトマトへの寄与率, 園芸学会 平成23年秋季大会, 岡山, 口頭
- 鈴木仁, 乃美大祐, 神戸嘉一, 安田俊平, 中田勝士, 2011年9月8日-11日, 沖縄島北部地域で捕獲された全身黒色型クマネズミの系統的背景, 日本哺乳類学会2011年度大会, 宮崎, 口頭
- 園木詩織, 盛田祐加, 伊藤祐介, 邵花梅, 福井信一, 南憲史, 小路淳, 安間洋樹, 宮下和士, 2012年3月6日, 音響計測手法を用いた藻場の分布推定 ~生態系サービスの定量化に向けて~, 平成23年度北海道音響資源調査研究情報交換会, 札幌, 口頭
- 高津邦夫, 岸田治, 2011年10月14日-16日, 捕食者の共食いによる成長が被食者の防御形態を誘導する, 第27回個体群生態学会, 岡山, ポスター
- 高津邦夫, 岸田治, 2012年2月26日, エゾサンショウウオ幼生の誘導攻撃がエゾアカガエル幼生の誘導防御を選択する — 表現型可塑性の進化的意義の一例として —, 2011年度日本生態学会・北海道地区会, 札幌, 口頭
- 高橋菜里, 中村幸弘, 青柳彰, 南部久男, 東出幸真, 鈴木夕紀, 三谷曜子, 田島木綿子, 山田格, 2011年6月18日-19日, 日本沿岸にストランディングしたカマイルカ (*Lagenorhynchus obliquidens*) の胃内容物解析, 日本セトロロジー研究会 第22 回大会, 名古屋, ポスター
- 高橋菜里, 服部薫, 後藤陽子, 和田昭彦, 中野渡拓也, 大島慶一郎, 三谷曜子, 宮下和士, 2011年9月8日-11日, 北海道猿払沖からロシアに北上するトド妊娠雌の回遊と潜水行動, 日本哺乳類学会2011年度大会, 宮崎, ポスター
- 高橋菜里, 服部薫, 後藤陽子, 和田昭彦, 中野渡拓也, 大島慶一郎, 三谷曜子, 宮下和士, 2011年11月25日-26日, 北海道猿払に來遊するトド妊娠雌における北上回遊期の行動, 平成23年度日本水産学会北海道支部大会, 函館, 口頭
- 高橋菜里, 服部薫, 後藤陽子, 和田昭彦, 中野渡拓也, 大島慶一郎, 三谷曜子, 宮下和士, 2012年3月17日-21日, 衛星発信機を用いたトド妊娠雌の北上期における行動, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, 口頭
- 田中友樹, 小泉逸郎, 2011年9月29日-10月2日, オシロコマの夜行性戦術における餌資源の役割, 2011年度日本魚類学会年会, 弘前, ポスター
- 田中友樹, 小泉逸郎, 2011年12月3日, 知られざる夜の生態: サケ科魚類の定位と摂餌の謎, 第33回魚類系統研究会, 苫小牧, 口頭
- 田中友樹, 小泉逸郎, 2012年3月17日-21日, 河川性サケ科魚類の夜行性戦術における環境要因, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- 田中幹展, 中村誠宏, 2012年3月26日-29日, 洪水攪乱による光環境の変化に対するヤナギの生長戦略, 第123回日本森林学会大会, 宇都宮, 口頭
- 地子立, 午来博, 中野英樹, 市川伸次, 松永邦則, 三浦信一, 杉原雄一, 荒木肇, 2011年9月24日-26日, 北海道でのグリーンアスパラガス伏せ込み促成栽培における品種特性, 園芸学会 平成23年秋季大会, 岡山, ポスター
- 地子立, 午来博, 門傳千香子, 荒木肇, 2012年3月28日-29日, 北海道のグリーンアスパラガス伏せ込み促成栽培における1年半養成株の掘り取り時期が収量性に与える影響, 園芸学会 平成24年春季大会, 大阪, ポスター
- 地子立, 白井正利, 橋本寛隆, 木島誠二, 後藤章, 宗像宗之, 荒木肇, 2011年9月24日-26日, グリーンアスパラガス伏せ込み促成栽培における空気膜二重フィルム多重被覆によるハウス内保温と暖房費削減効果, 園芸学会 平成23年秋季大会, 岡山, ポスター
- 地子立, 横田富男, 西田吏利, 荒木肇, 2011年9月6日-8日, 温泉施設の廃熱を有効活用したグリーンアスパラガス冬季生産技術, 日本生物環境工学会2011年北海道大会, 札幌, 口頭
- 寺田千里, 齊藤隆, 2011年9月8日-11日, 進化的に重要な単位(ESU)に基づいてニホンジカ個体群を区分する, 日本哺乳類学会2011年度大会, 宮崎, ポスター
- 長里千香子, 梶村直子, 寺内真, 峰雪芳宣, 本村泰三, 2011年9月4日-9日, Three-dimensional analysis of transient membrane compartment during cytokinesis in brown alga, *Silvetia babingtonii* (Fucales, Phaeophyceae) by electron tomography., 5th European Phycological Congress, ギリシャ・イクシア, ポスター
- 永山毅, 平田聡之, 荒木肇, 2011年7月16日-17日, 北海道における春コムギカバークロープ1年輪作体系の有効性 (1) 窒素効果からみた肥料効果の有効性, 日本農作業学会 平成23年度春季大会, 京都, 口頭
- 永山毅, 平田聡之, 荒木肇, 2011年7月16日-17日, 北海道における春コムギカバークロープ一年輪作体系の有効性 1. 窒素収支からみた肥料効果の検証, 日本農作業学会 平成23年度春季大会, 京都, 口頭
- 永山毅, 平田聡之, 荒木肇, 2012年3月24日-25日, 春コムギ・カバークロープ連作圃場における土壌内易分解性窒素の動態, 日本農作業学会 平成24年度春季大会, つくば, 口頭
- 南雲未智, 井上太樹, 吉田俊也, 柴田英昭, 2012年3月17日-21日, 天然生針広混交林の炭素貯留量の長期変化-林分タイプの違いに注目して, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, 口頭
- 南雲未智, 井上太樹, 吉田俊也, 柴田英昭, 2012年3月26日-29日, 天然生針広混交林の炭素貯留量の長期変化-経時的な変化の評価と将来予測, 第123回日本森林学会大会, 宇都宮, ポスター
- 南波興之, 丹羽滋, 日浦勉, 2011年5月28日-29日, リター供給量変化に伴う栄養段階による土壌動物の反応, 第34回日本土壌動物学会大会, 札幌, ポスター
- 二階堂華那, 地子立, 前田智雄, 鈴木卓, 横田富男, 荒木肇, 2012年3月28日-29日, アスパラガス若茎の品質保持に対する雪室貯蔵の有効性, 園芸学会 平成24年春季大会, 大阪, 口頭
- 丹羽滋, 南波興之, 金子信博, 日浦勉, 2011年5月28日-29日, 地表徘徊性甲虫類のトップダウン・ボトムアップ制御: 北海道の落葉樹林における操作実, 第34回日本土壌動物学会大会, 札幌, 口頭
- 橋岡香織, 吉村真理, 工藤勲, 2011年9月26日-30日, 陸奥湾における窒素態栄養塩の循環過程, 2011年度日本海洋学会秋季大会, 福岡, 口頭

- 林田寿文, 新居久也, 辻貴敏, 三好晃治, 上田宏, 2011年9月28日, 発信機装着手術後におけるサケ科魚類の酸素消費, 平成23年度日本水産学会秋期大会, 長崎, ポスター
- 林田寿文, 新居久也, 三好晃治, 羽山英人, 上田宏, 2011年11月25日-26日, 美利河ダムにおけるサクラマスの遡上行動, 平成23年度日本水産学会北海道支部大会, 函館, 口頭
- 林田寿文, 新居久也, 三好晃治, 羽山英人, 上田宏, 2011年12月12日, 美利河ダムにおけるサクラマスの遡上行動, 第5回サケ学研究会, 札幌, 口頭
- 平井達也, 浦口晋平, 藤原徹, 三輪京子, 2011年8月8日-10日, ホウ酸トランスポーターBOR4を高発現する形質転換トマトのホウ素過剰耐性の解析, 日本土壌肥料学会2011年度つくば大会, つくば, ポスター
- 平田聡之, 永山毅, 荒木肇, 2011年7月16日-17日, 北海道における春コムギカーパークロップ1年輪作体系の有効性(2)コムギ生育期間における無機養分の動態, 日本農作業学会平成23年度春季大会, 京都, 口頭
- 深野透, 高橋康徳, 五味満裕, 大崎幸彦, 三輪京子, 森川正章, 2012年3月22日-26日, 便器表面より単離したRhizobium属細菌R8株のバイオフィーム形成に関与する生体分子, 日本農芸化学会2012, 京都, 口頭
- 深谷肇一, 奥田武弘, 仲岡雅裕, 野田隆史, 2012年2月26日, 潮位に沿ったキタイワフジツボ個体群動態の空間変異性, 2011年度日本生態学会・北海道地区会, 札幌, 口頭
- 深谷厚輔, 天野勝文, 上田宏, 2011年11月24日, ヒメマスの性成熟に伴う脳内のsGnRHおよびcGnRH-IIの分泌動態, 第36回日本比較内分泌学会, 東京, 口頭
- 深谷厚輔, 天野勝文, 上田宏, 2011年11月24日, ヒメマスの性成熟に伴うsGnRHおよびcGnRH-IIの分泌動態の変化, 第5回サケ学研究会, 東京, 口頭
- 藤川義二, 山田嘉暢, 前田高志, 四ツ倉典滋, 桐原慎二, 2011年7月9日, 養殖アカモクに認められた2年目への再生, 日本応用藻類学会第10回大会, 東京, ポスター
- 藤川義二, 桐原慎二, 四ツ倉典滋, 2012年3月24日, 青森県日本海沿岸に生育するホンダワラ属5種の季節的消長の比較, 日本応用藻類学会第11回大会, 東京, ポスター
- 藤部拓己, 原登志彦, 隅田明洋, 長谷川成明, 2012年3月17日-21日, 下層植生のササの除去が樹木の空間分布に及ぼす影響, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, ポスター
- 堀田海帆, 木村幹子, 宗原弘幸, 2011年9月29日-10月2日, アイナメ属雑種2系統の起源と形成過程, 2011年度日本魚類学会年会, 弘前, 口頭
- 堀田海帆, 入江雄一朗, 2011年11月25日-26日, 戻し交配で元通り? アイナメ属雑種生殖系統の母種との交配実験, 平成23年度日本水産学会北海道支部大会, 函館, 口頭
- 本多健太郎, 宮下和士, 鍵和田玄, 高橋伸幸, 2011年11月25日-26日, 道東別寒辺牛川水系におけるイトウ成魚の季節的な回遊パターン, 平成23年度日本水産学会北海道支部大会, 函館, 口頭
- 前田高志, 山田嘉暢, 藤川義二, 桐原慎二, 四ツ倉典滋, 2011年7月9日, AFLP分析によるマコンブ産地間の遺伝的多様性の解明と変種識別, 日本応用藻類学会第10回大会, 東京, ポスター
- 前田高志, 川井唯史, 仲岡雅裕, 四ツ倉典滋, 2012年3月24日, コンブ多型解析に有効なマイクロサテライトマーカーの探索, 日本応用藻類学会第11回大会, 東京, ポスター
- スター
- 松倉隆一, 村瀬弘人, 米崎史郎, 宮下和士, 2011年11月11日-13日, 計量魚群探知機を用いたNeocalanus属カイアシ類の分布密度の推定, 2011年度水産海洋学会研究発表大会, 函館, 口頭
- 三賀森敬亮, 原田正史, 桐原 崇, 篠原明男, 土屋公幸, 鈴木仁, 2011年9月8日-11日, 日本産コウベモグラの地域系統群の境界線と遺伝的分化, 日本哺乳類学会2011年度大会, 宮崎, ポスター
- 三谷曜子, 高橋菜里, 高石雅枝, 廣崎芳次, 片倉靖次, 宮下和士, 2011年10月15-16日, 保護されたゴマフアザラシ幼獣の放獣後の回遊行動, 第17回野生生物保護学会, 網走, ポスター
- 三谷曜子, 高橋菜里, 高石雅枝, 廣崎芳次, 片倉靖次, 宮下和士, 2012年2月19日-24日, 迷子アザラシの回遊追跡調査, 第27回北方圏国際シンポジウム-オホーツク海と流氷-, 紋別, 口頭
- 宮川一志, 井口泰泉, 三浦徹, 2011年9月21日-23日, ミジンコDaphnia pulex/における捕食者カイロモンに応じた胚発生過程の変化 Developmental changes responding to predatory kairomones in the water flea Daphnia pulex, 日本動物学会第82回大会, 旭川, ポスター
- 宮田理恵, 甲山隆司, 2012年3月17日-21日, 標高傾度に沿ったアカエゾマツ肥大成長と材の炭素安定同位体比の関係, 第59回日本生態学会・第5回EAFES合同大会, 大津, 口頭
- 三好晃治, 林田寿文, 坂下拓, 新居久也, 上田宏, 2011年11月25日-26日, 2011年9月の大規模増水が豊平川のシロザケの遡上行動に与えた影響, 平成23年度日本水産学会北海道支部大会, 函館, 口頭
- 三好晃治, 林田寿文, 辻貴敏, 新居久也, 藤井真, 上田宏, 2011年12月12日, シロザケとサクラマスの遊泳能力・代謝に関する比較研究, 第5回サケ学研究会, 札幌, 口頭
- 本村泰三, Fu, G., 長里千香子, 2011年9月21日-23日, 褐藻の受精と遊泳細胞の鞭毛について, 日本動物学会第82回大会, 旭川, 口頭
- 森川正章, 高橋康徳, 2011年6月20日-21日, 原油汚染土壌修復技術へのバイオフィームの適用, 環境バイオテクノロジー学会2011年度大会, 東京, ポスター
- 森川正章, 栄木悠, 柞木田なつみ, 鷲尾健司, 2011年9月26日-28日, Marinobacter属細菌と共存する親属海洋細菌の混合バイオフィーム形成, 第63回日本生物工学会大会, 東京, 口頭
- 森本一, 桑野晶喜, 笠原康裕, 2011年8月20-21日, 液体培養系および土壌培養系におけるPseudomonas putida F1株の比較プロテオーム解析, ゲノム微生物学会ワークショップ, 仙台, ポスター
- 森本一, 桑野晶喜, 門屋亨介, 笠原康裕, 2011年10月8日-10日, 土壌環境内におけるPseudomonas putida F1株の細胞内タンパク質のプロテオミクス, 第27回日本微生物生態学会, 京都, ポスター
- 森本一, 門屋亨介, 桑野晶喜, 笠原康裕, 2012年3月10日-12日, 土壌環境中で特異的に発現するタンパク質のプロテオーム解析, 第6回日本ゲノム微生物学会, 東京, ポスター
- 山崎彩, アレキサンダー・マルケビッチ, 山村織生, 宗原弘幸, 2011年9月29日-10月2日, ツマグロカジカ属の分子系統関係と生物地理, 2011年度日本魚類学会年会, 弘前, 口頭
- 山本圭一, 篠原陽, 水越麻仁, 本多健太郎, 野別貴博, 三谷

- 耀子, 宮下和士, 2011年11月25日-26日, 北海道東部知床沿岸海域におけるシロザケの潜水行動解析手法の確立, 平成23年度日本水産学会北海道支部大会, 函館, 口頭
- 安井桂, 上野洋路, 2011年9月26日-30日, 全球塩分躍層の分布と形成, 2011年度日本海洋学会秋季大会, 福岡, 口頭
- 油田照秋, 小泉逸郎, 2011年9月17日-19日, 雛の捕食リスクはつがい外父性にどのように影響するか?, 日本鳥学会2011年度大会, 大阪, 口頭
- 吉村真理, 谷沢弘将, 工藤勲, 2011年9月26日-30日, 生物起源ケイ素量から推定する陸奥湾における基礎生産量の歴史の変遷, 2011年度日本海洋学会秋季大会, 福岡, 口頭
- 淀井智也, 北條賢, Cornette, R., 宮川一志, 後藤寛貴, 林良信, 三浦徹, 2012年3月27日-29日, オオシロアリの腹板腺におけるカーブ間差異の解析, 第56回日本応用動物昆虫学会大会, 奈良, ポスター
- (平成24年度)
- Aibara, I., Hirai, T., Miwa, K., 2013年3月26日-31日, Suntranslated region regulates boron-dependent translation of a boron transporter BOR1, International Workshop on Plant Membrane Biology XVI, 倉敷, 口頭・ポスター
- Appiah, C., 露崎史朗, Castel, J., 2013年2月22日, Post fire restoration study of ash and moisture variation effects on seed germination of *Colocynthis citrullus* and *Vigna unguiculata*, 2012年度 日本生態学会・北海道地区大会, 札幌, 口頭
- Atikah, T.D., Iida, Y., Mirmanto, E., Kohyama, T.S. and Rahajoe, J.S., 2012年9月13日-14日, Growth and survival during 12 year in peat swamp forest at Sebangau, Central Kalimantan, International Workshop: Policy Assessment and Evaluation Modeling on the Environment and Ecosystem, インドネシア・ボゴール, ポスター
- Bin Haji Mohd Taha, A.I., Kimoto, K., Kanada, T., Sato, M., Kaneko, T., Toj, M., Kanda, H., Watanabe, W., Okuyama, H., 2012年9月16日-21日, Optimization for the commercial production of docosahexanoic acid in a thraustochytrid strain 12B, 第15回国際バイオテクノロジーシンポジウム(IFS2012), 韓国・大邱, 口頭
- Bin Haji Mohd Taha, A.I., 奥山英登志, 2012年11月26日-30日, Lipids of psychrophilic and psychrotrophic bacteria, previous and current perspectives., 第3回極域科学シンポジウム および第36回極域宙空圏・第35回極域気水圏・第32回極域地学・第34回極域生物・第35回南極隕石シンポジウム, 立川, ポスター
- Boonmak, C., Takahashi, Y., Honma, M., Morikawa, M., 2012年6月16日-19日, Analysis of LadA-related long-chain alkane monooxygenase in an extremely thermophilic *Geobacillus thermoleovorans* B23., 2012 American Society for Microbiology General Meeting, アメリカ・サンフランシスコ, ポスター
- Chen, E.Y. and Ueda, H., 2012年12月8日, Research plan for dissolved free amino acids in several rivers in Hokkaido, 第6回サケ学研究会, 函館, 口頭
- Chiba, M., Miwa, K., 2013年3月26日-31日, Identification of a low-boron tolerant accession N13 in *Arabidopsis thaliana*, International Workshop on Plant Membrane Biology XVI, 倉敷, ポスター
- Fu, G., Nagasato, C., Ito, T., Kajimura, N., Oka, S., Cock, M.J., Motomura, T., 2012年4月23日-25日, Electron tomography and proteomics of the flagella in brown algae, Esil2012: algal post-genomics, フランス, ポスター
- Fu, G., Nagasato, C., Oka, S. and Motomura, T., 2012年7月13日-15日, Flagellar proteomics analysis revealed a unique blue light receptor in brown algae, 日本藻類学会第36回大会, 札幌, ポスター
- Fu, G., Nagasato, C., Oka, S., Ito, T. and Motomura, T., 2012年9月15日-17日, Proteomics analysis of flagella in brown algae, 日本植物学会第76回大会, 姫路, 口頭
- Fu, G., Nagasato, C., Oka, S., Motomura, T., 2012年11月12日-16日, Proteomic analysis of the heterogeneous flagellar isolated from zoospores of *Colpomenia bulbosa*, International Symposium on the Mechanisms of Sexual Reproduction in Animals and Plants, 名古屋, ポスター
- Fukava, K., Amano, M. and Ueda, H., 2012年9月3日-6日, GnRH secretion patterns in Pacific salmon, 7th International Symposium on Fish Endocrinology, アルゼンチン・ブエノスアイレス, ポスター
- Fukui, M., Watanabe, T., Kojima, H. and Takano, Y., 2012年7月15日-21日, Diversity of sulfate-reducing and sulfur-oxidizing organisms in sediments of Antarctic lakes, SCAR Open Science Meeting, アメリカ・ポートランド, ポスター
- Fukuma, K., Fujiwara, T., Miwa, K., 2013年3月26日-31日, Identification of a novel gene to reduce boron requirement in *Arabidopsis thaliana*, International Workshop on Plant Membrane Biology XVI, 倉敷, ポスター
- Go, G.A., Fortes, M.D., Nakaoka, M., Leopoldas, V., Lopez, R., Bolisay, K., Honda, Edralin, M. and Paciencia, F., 2012年11月7日-8日, Seagrass cover, density and biomass along a nutrient gradient in Bolinao, Pangasinan, 1st Regional Symposium on Coastal Ecosystem Conservation and Adaptive Management, フィリピン・ケソンシティ, ポスター
- Gotoh, H., Warren, I.A., Johns, A., Dworkin, I.M., Emlen, D.J., Miura, T., Lavine, L.C., 2012年8月19日-25日, The development and evolution of the exaggerated weapons of sexual selection., XXIV International Congress of Entomology, 韓国・大邱, 口頭
- Hakuman, T., Mitani, Y., Takahashi, N., Takaishi, M., Miyazawa, N., Hirotsaki, Y., Katakura, S. and Miyashita, K., 2013年2月18日-20日, Movements of rehabilitated spotted seal pups in the Sea of Okhotsk., 第28回北方圏国際シンポジウム, 紋別, 口頭
- Hayashida, K., Nii, H., Miyoshi, K., Hayama, H. and Ueda, H., 2012年7月15日-19日, Biotelemetry studies on the upstream migratory behavior of masu salmon along the Pirika Dam in Hokkaido, Japan, 10th International Congress on the Biology of Fish, アメリカ・マディソン, 口頭
- Hori, M., Shimabukuro, H., Nakaoka, M., Momota, K., Whalen, M.A., Reynolds, P.L. and Duffy, J.E., 2012年12月13日-17日, Manipulating top-down effects on ecosystem functioning of seagrass beds in southern Japan: a result from *Zostera* Experimental Network, The First Asian Marine Biology Symposium, タイ・プーケット, ポスター
- Hui, T.C.Y., Kobayashi, Y., Mitani, Y., Fujii, H., Hayashi, K.

- and *Miyashita, K.*, 2012年10月12日-21日, Spatial, temporal and dietary overlap between harbour seals and fisheries in Erimo, Japan: conflict at sea?, PICES-2012 Annual Meeting, 広島, 口頭
- Iida, Y.*, Sun, I.F. and *Kohyama, T.S.*, 2013年3月5日-9日, Association of leaf traits with growth and mortality across 43 co-occurring tree species in a Taiwanese subtropical rainforest, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- Ishikawa, A.*, *Gotoh, H.*, *Ogawa, K.*, *Miura, T.*, 2012年8月19日-25日, Endocrine mechanism underlying loss of seasonal reproductive polyphenism in the pea aphid, XXIV International Congress of Entomology, 韓国・大邱, 口頭
- Ishikawa, Y.*, *Tanabe, K.*, Aonuma, H., *Miura, T.*, 2012年8月19日-25日, Plastic defensive behavior of termite workers depending on social context., XXIV International Congress of Entomology, 韓国・大邱, 口頭
- Ishiyama, H.*, *Ueno, H.*, Inatsu, M., 2012年12月3日-7日, Formation and propagation of the Aleutian eddy, 2012 AGU Fall Meeting, アメリカ・サンフランシスコ, ポスター
- Kawauchi, Y.*, Chimura, M., Muto, T., Watanabe, M. and *Miyashita, M.*, 2012年10月12日-21日, The effect of environmental factors on the distributions of walleye pollock (*Theragra chalcogramma*) juveniles in Funka Bay and vicinity, Hokkaido, Japan., PICES-2012 Annual Meeting, 広島, 口頭
- Kinoshita, G.*, Nunome, M., Kryukov, A., Han, S.H., *Suzuki, H.*, 2012年7月27日-29日, Phylogeographic History of the Mountain Hare (*Lepus timidus*) in and around Hokkaido, Japan., Second International Symposium on East Asian Vertebrate Species Diversity, 京都, ポスター
- Kurachi, K.*, *Hosokawa, R.*, Takahashi, M., *Okuyama, H.*, 2012年9月16日-21日, The degradation rate of various petroleum products by a turbine oil-degrading bacterial consortium, 第15回国際バイオテクノロジーシンポジウム (IBS2012), 韓国・大邱, ポスター
- Lavine, L.C., Emlen, D.J., Warren, I.A., *Gotoh, H.*, Dworkin, I.M., *Miura, T.*, 2012年8月19日-25日, Mechanisms and evolution of nutrient-dependent horn allometry in beetles., XXIV International Congress of Entomology, 韓国・大邱, 口頭
- Leopardas, V.*, Uy, W., Fortes, M., Go, G.A. and *Nakaoka, M.*, 2012年11月7日-8日, Seagrass vegetation structure in Mindanao: preliminary results of long-term monitoring, 1st Regional Symposium on Coastal Ecosystem Conservation and Adaptive Management, フィリピン・ケソンシティ, ポスター
- Leopardas, V.*, Uy, W. and *Nakaoka, M.*, 2012年11月26日-28日, Macrofauna communities in different seagrass vegetation of Lopez Jaena, Misamis Occidental, Philippines, 日台共同研究ネットワークへの参加推進プログラム: 気候変動に対する生態的応答予測に向けた観測・実験・理論・解析研究の統合, 札幌, ポスター
- Leopardas, V.*, Uy, W. and *Nakaoka, M.*, 2012年12月13日-17日, Macrofauna communities in different seagrass vegetation of Lopez Jaena, Misamis Occidental, Philippines, The First Asian Marine Biology Symposium, タイ・プーケット, 口頭
- Mitani, Y.*, Mizuguchi, D., *Otsuki, M.* and *Iwahara, Y.*, 2013年1月7日-9日, Acoustic monitoring and visual survey of marine mammals in summer in the Chukuchi Sea and Barrow Canyon, ESSAS Annual Science Meeting, 函館, 口頭
- Momota, K.* and *Nakaoka, M.*, 2012年11月26日-28日, Community structure of eelgrass bed in Akkeshi in relation to biotic and abiotic factors, 日台共同研究ネットワークへの参加推進プログラム: 気候変動に対する生態的応答予測に向けた観測・実験・理論・解析研究の統合, 札幌, ポスター
- Motomura, T.*, *Fu, G.*, *Nagasato, C.*, 2013年2月25日-26日, Fertilization of brown algae: Organelle inheritance and heterogeneous two flagella of gametes, 1st JAMBIO International Symposium "Marine Biology - Cell and Evolution", 東京, 口頭
- Nagasato, C.*, *Terauchi, M.*, *Motomura, T.*, 2012年4月23日-25日, Effect of calcium ions on cell wall integrity in *Ectocarpus siliculosus*, Esil2012: algal post-genomics, フランス, ポスター
- Nakaoka, M.*, *Kagiwada, H.*, Pansch, A., Ayu, N. von Bechtolsheim, F., Huhn, M., Jofré Madariaga, D., Ma, C., Phillip, A., Schubert, S., Canning-Clode, J., Dumont, C.P., Jenkins, S., von Juterzenka, K., Machura, S., Ruiz, G., Thiel, M., Wahl, M. and Lenz, M., 2012年10月5日-8日, 全球的モジュール実験アプローチによる海洋移入種のストレス耐性の検証, 日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会, 習志野, 口頭
- Nakaoka, M.*, Honda, K., Nakamura, Y., Watai, M., Go, G.A.G., Bolisay, K., *Leopardas, V.*, Pantallano, A., Uy, W.H. and Fortes, M.D., 2012年11月7日-8日, Diversity patterns of seagrass community in Okinawa and the Philippines, 1st Regional Symposium on coastal Ecosystem Conservation and Adaptive Management, フィリピン・ケソンシティ, 口頭
- Nakaoka, M.*, Honda, K., Nakamura, Y., Watai, M., Go, G.A.G., Bolisay, K., *Leopardas, V.*, Pantallano, A., Uy, W.H., Fortes, M.D., 2012年11月30日-12月4日, Variation in diversity gradient of seagrass and fish assemblages along the Ryukyus and the Philippines coastal areas, Amakusa Biodiversity Symposium 2012, 熊本, 口頭
- Okuyama, H.*, Takaichi, S., *Wakahama, W.*, Bin Haji Mohd Taha, A.I., *Yoshida, K.*, Kogame, K., Kawachi, M., 2012年7月9日-13日, Lipid and fatty acid compositions of coral and dinoflagellate, 国際サンゴ礁シンポジウム, オーストラリア・ケアンズ, 口頭
- Safuruddin, *Kawauchi, Y.*, Itaya, K., Maeda, K. and *Miyashita, K.*, 2013年3月5日, Estimating distribution characteristics of Japanese sandeel *Ammodytes personatus* off the northern coast of Hokkaido, Japan, using quantitative echosounder., 平成24年度北海道音響資源調査研究情報交換会, 札幌, 口頭
- Safuruddin, *Kawauchi, Y.*, *Minami, K.*, Yasuma, H., *Ito, Y.*, *Matsukura, R.*, Abe, K., Itaya, K., Maeda, K. and *Miyashita, K.*, 2012年11月26日-27日, Estimating distribution characteristics of the Japanese sandeel *Ammodytes personatus* off the northern coast of Hokkaido, Japan, using a quantitative echosounder, The Sixth Annual Meeting of Asian Fisheries Acoustics Society (AFAS2012), 韓国・釜山, 口頭

- Saitoh, T., Yamada, T., Kanke, E., Zenitani, J., Ishibashi, Y., Ohnishi, N. and Orig de Guia, A. P., 2012年10月20-21日, A mechanism underlying high genetic diversity in the grey-sided vole: a role of male-biased dispersal and spatial genetic structure, 第28回個体群生態学会大会, 習志野, ポスター
- Sakaguchi, N., Takahashi, M., Ueno, A., Shimizu, S., Satô, M., Maekawa, K., Okuyama, H., 2012年9月16日-21日, Autochthonous bioaugmentation technologies targeting spilt oils, 第15回国際バイオテクノロジーシンポジウム (IBS2012), 韓国・大邱, 口頭
- Sato, M., Honda, K., Bolisay, K.O., Nakamura, Y., Nakaoka, M. and Fortes, M.D., 2012年11月30日-12月4日, Application of metapopulation model to explain occurrence patterns of two anemone-fishes around a sheltered bay of Puerto Galera, the philippines, Amakusa Biodiversity Symposium 2012, 熊本, 口頭
- Sato, M., Honda, K., Bolisay, K.O., Nakamura, Y., Nakajima, Y., Lian, C., Nakaoka, M., Fortes, M.D. and Nadaoka, K., 2012年11月7日-8日, Metapopulation structures of coral reef fish in open coast and sheltered bay in the Philippines, 1st Regional Symposium on coastal Ecosystem Conservation and Adaptive Management, フィリピン・ケソンシティ, 口頭
- Sato, M., Honda, K., Bolisay, K.O., Nakamura, Y., Nakajima, Y., Lian, C., Nakaoka, M., Fortes, M.D. and Nadaoka, K., 2012年11月26日-28日, Metapopulation structures of coral reef fish in open coast and sheltered bay in the Philippines, 日台共同研究ネットワークへの参加推進プログラム: 気候変動に対する生態的応答予測に向けた観測・実験・理論・解析研究の統合, 札幌, ポスター
- Sato, T., Inoue, T. and Yoshida, T., 2012年11月26日-28日, Composition of deadwood in a natural mixed forest of northern Japan., 日台共同研究ネットワークへの参加推進プログラム: 気候変動に対する生態的応答予測に向けた観測・実験・理論・解析研究の統合, 札幌, ポスター
- Shao, H., Morita, Y., Sonoki, S., Minami, K. and Miyashita, K., 2012年11月26日-27日, Spatial estimation of the kelp forest (*Laminaria* spp.) distributions in coastal waters of Aomori, Japan, using acoustic method., The Sixth Annual Meeting of Asian Fisheries Acoustics Society (AFAS2012), 韓国・釜山, 口頭
- Shibata, H., Hasegawa, Y., Watanabe, T. and Fukuzawa, K., 2012年6月15日-20日, Impact of snowpack decrease on net nitrogen mineralization and nitrification of forest soil in northern Japan, BIOGEMON: The 7th International Symposium on Ecosystem Behavior, アメリカ・ノースポート, 口頭
- Shibata, H., Hasegawa, Y., Watanabe, T. and Fukuzawa, K., 2013年3月5日-9日, Impact of snowpack decrease on net nitrogen mineralization and nitrification of forest soil in northern Japan, 第60回日本生態学会大会, 静岡, 口頭
- Sonoki, S., Morita, Y., Shoji, J. and Miyashita, M., 2012年10月12日-21日, Monitoring seasonal variations in a seagrass bed by an acoustics method., PICES-2012 Annual Meeting, 広島, 口頭
- Sonoki, S., Morita, Y., Shoji, J. and Miyashita, K., 2012年11月26日-27日, Monitoring seasonal variations in a seagrass bed by an acoustics method., The Sixth Annual Meeting of Asian Fisheries Acoustics Society (AFAS2012), 韓国・釜山, 口頭
- Takahashi, M., Sakaguchi, N., Kurachi, K., Ueno, A., Shimizu, S., Sato, M., Maekawa, K., Okuyama, H., 2012年9月16日-21日, Experimental evidence of efficiencies in autochthonous bioaugmentation using microbial consortia established with Vityaz crude oil and sea sand collected at the coast of Hokkaido, Japan, 第15回国際バイオテクノロジーシンポジウム (IBS2012), 韓国・大邱, ポスター
- Takahashi, N., Hattori, K., Goto, Y., Ohshima, K., Miyashita, K. and Mitani, Y., 2013年2月18日-20日, Movement patterns and diving behavior of Steller sea lions off the coasts of Hokkaido in early summer., 第28回北方圏国際シンポジウム, 紋別, 口頭
- Takaya, K., Abe, G., Sashika, M., Kaneko, M., Koizumi, I., 2012年11月25日-29日, High rate of incidental capture of native mammals and birds in introduced raccoon traps in Hokkaido, Japan, New Zealand Ecological Society Conference 2012, ニューゼーランド・リンカーン, 口頭
- Tamaru, O., Miyashita, K., Kimura, N., Fujimori, Y., Watanabe, T., Takahara, H. and Miura, T., 2012年10月12日-21日, Fishery income fluctuation due to changing vessel speed from harbor to the fishing ground in the Japanese coastal squid jigging fishery., PICES-2012 Annual Meeting, 広島, 口頭
- Tsuji, Y., Shibamura, S., Yamada, M. and Montani, M., 2012年12月13日-17日, The relationships between environmental properties and primary producers in a brackish lake surrounded by the dairy belt in the subarctic zone, The First Asian Marine Biology Symposium, タイ・プーケット, ポスター
- Umegane, H. and Yoshida, T., 2012年11月26日-28日, Evaluating impacts of vegetation types and slope degree on aboveground biomass estimation using LiDAR remote sensing - Assessing relationships between the estimation and resolution, 日台共同研究ネットワークへの参加推進プログラム: 気候変動に対する生態的応答予測に向けた観測・実験・理論・解析研究の統合, 札幌, ポスター
- Urushibata, W., Funayama, T., Morikawa, M., 2012年9月10日-13日, Characterization of an extremely thermophilic bacterium, *Coprothermobacter* sp. PM9-2, isolated from an undersea petroleum reservoir., 9th International Congress on Extremophiles 2012, スペイン・セビリヤ, ポスター
- Watanabe, T., Kojima, H. and Fukui, M., 2012年8月19日-25日, Distribution of a sulfur oxidizing bacterium *Sulfuricella denitrificans* and proteomic insights into cold adaptation, The 14th International Symposium on Microbial Ecology (ISME14), デンマーク・コペンハーゲン, ポスター
- Watanabe, M., Kojima, H. and Fukui, M., 2012年8月19日-25日, Characterization of a novel sulfate-reducing bacterium, as the second isolated member of the *Desulfotomaculum* subcluster Ie, The 14th International Symposium on Microbial Ecology (ISME14), デンマーク・コペンハーゲン, ポスター
- Watanabe, M., Kojima, H. and Fukui, M., 2012年9月19日-22日, Characterization of a novel spore-forming sulfate reducer belonging to the *Desulfotomaculum* subcluster Ie, 第28回日本微生物生態学会, 豊橋, ポスター

- Yasui, K., Ueno, H., 2012年12月3日-7日, Distribution and formation of halocline in the world ocean, 2012 AGU Fall Meeting, アメリカ・サンフランシスコ, ポスター
- Yamamoto, K., Mitani, Y. and Miyashita, K., 2012年11月26日-27日, Diel swimming pattern of brown trout in a dam by acoustic tracking., The Sixth Annual Meeting of Asian Fisheries Acoustics Society (AFAS2012), 韓国・釜山, 口頭
- 相原いづみ, 平井達也, 三輪京子, 2012年9月4日-6日, シロイヌナズナホウ酸輸送体BOR1の5'非翻訳領域によるホウ酸依存的な発現制御機構, 日本土壤肥科学会 2012年度鳥取大会, 鳥取, ポスター
- 相原いづみ, 平井達也, 三輪京子, 2012年12月5日-6日, ホウ酸輸送体 BOR1の転写後制御を欠損させた形質転換シロイヌナズナの生育解析, 第60回日本生態学会大会, 札幌, 口頭
- 青山隼人, 早柏慎太郎, 平松悠揮, 平野祐也, 山ノ内誠, 上浦達哉, 福澤加里部, 吉田俊也, 柴田英昭, 笹賀一郎, 佐藤冬樹, 2013年3月25日-28日, 北海道北部における人為的な森林攪乱が流域の溶存イオン動態に与える影, 第124回日本森林学会大会, 盛岡, ポスター
- 朝田一平, 吉田俊也, 2013年3月5日-9日, 北海道北部のササ掻き起こし地におけるミズナラ実生の分布と動態., 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 朝日健斗, 外山雅大, 佐々木健志, 坂本洋典, 小高信彦, 小泉逸郎, 2013年3月5日-9日, なぜフクロウの巣は汚いのか? その適応的な理由, 第60回日本生態学会大会, 静岡, 口頭
- 朝日健斗, 坂本洋典, 外山雅大, 小泉逸郎, 2013年3月27日-28日, 樹洞営巣性鳥類の巣内における生物群集の時間的変動, 日本応用動物昆虫学会, 藤沢, ポスター
- 雨谷教弘, 工藤岳, 金子正美, 2013年3月5日-9日, ハイマツの伸長生長に影響を及ぼす気候要因のハビタット特異性, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 荒木肇, 市川伸次, 中野英樹, 河合孝雄, 地子立, 二階堂華那, 山形定, 上出光司, 2013年3月23日-24日, ペレットボイラー温水によるアスパラガス伏せ込み生産体系, 園芸学会平成25年春季大会, 東京, 口頭
- 荒木肇, 市川伸次, 中野英樹, 河合孝雄, 地子立, 二階堂華那, 山形定, 上出光司, 2013年3月18日-19日, アスパラガス残渣ペレットの成型と木質との混合燃焼, 日本農作業学会平成25年度春季大会, 愛媛, 口頭
- 安生浩太, 浦口宏二, 齊藤隆, 2013年2月22日, アカギツネのファミリー間での食性比較, 2012年度 日本生態学会・北海道地区大会, 札幌, 口頭
- 安生浩太, 浦口宏二, 齊藤隆, 2013年3月5日-9日, アカギツネのファミリー間での食性比較, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 飯田光穂, 岩崎藍子, 阪口勝行, 佐原良祐, 萩野友聡, 野田隆史, 2013年3月5日-9日, 東北地方太平洋沖地震後の岩礁潮間帯生物群集: 地震前後のデータを用いた地盤沈下と津波の影響の評価, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 石森和佳, 小野清美, 長谷川成明, 隅田明洋, 原登志彦, 2013年3月5日-9日, カラムツの長枝葉と短枝葉の光合成及び環境ストレス応答の季節変化, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 石山知美, 下田真明, 小野寺康之, 青木宣明, 叶玉紅, 霍俊偉, 孔徳剛, 翁海竜, 星野洋一郎, 2013年3月23日-24日, 中国および日本のハスカップ倍数性レベル, DNA含量変異およびAFLPによる多様性解析, 園芸学会平成25年春季大会, 東京, ポスター
- 井上太樹, 吉田俊也, 2013年3月5日-9日, 樹木更新サイトとしての枯死木の利用性と樹種組成との関係, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 井上貴央, 柴田英昭, 福澤加里部, 2012年5月20日-25日, ササ地上部バイオマスと森林土壌中の複数生態系機能との関係性, 日本地球惑星科学連合大会2012年大会, 千葉, ポスター
- 井上貴央, 柴田英昭, 福澤加里部, 吉田俊也, 2013年3月25日-28日, 森林土壌における窒素動態の空間的不均質性の形成要因の解明: リターと植生構造に着目して, 第124回日本森林学会大会, 盛岡, ポスター
- 岩崎藍子, 飯田光穂, 萩野友聡, 阪口勝行, 佐原良祐, 野田隆史, 2013年3月5日-9日, 東北地方太平洋沖地震後の岩礁潮間帯生物群集: 帯状分布の時空間パターン, 第60回日本生態学会大会, 静岡, 口頭
- 岩原由佳, 三谷曜子, 宮下和士, 2012年6月2日-3日, 北海道沿岸海域におけるカマイルカの分布要因の推定, 日本セトロジー研究会第23回松島大会, 宮城, 口頭
- 上野洋路, 大江光穂, 嘉山雄大, 加藤尋樹, 2012年9月13日-17日, 北太平洋中高緯度域における中規模渦とクロロフィルの関係, 日本海洋学会2012年度 秋季大会, 静岡, ポスター
- 埋金宏光, 吉田俊也, 北條元, 奥田篤志, 浪花彰彦, 田森郁子, 田中美咲, 中村誠宏, 野村睦, 2013年2月22日, 航空機ライダー測量による森林バイオマス推定に樹種・地形が与える影響: 北海道北部の面積天然林試験地を用いた検討, 第15回環境リモートセンシングシンポジウム, 千葉, ポスター
- 埋金宏光, 吉田俊也, 2013年3月25日-28日, 航空機ライダー測量による森林バイオマス推定に樹種・地形が与える影響の評価, 第124回日本森林学会大会, 盛岡, ポスター
- 大江光穂, 上野洋路, 2012年9月13日-17日, 北太平洋中高緯度域における渦位フロントの経年変動, 日本海洋学会2012年度 秋季大会, 静岡, ポスター
- 小川浩太, 三浦徹, 2012年9月13日-15日, エンドウヒゲナガアブラムシの飛翔器官発生に見られる異時的な発生調節機構, 日本動物学会第83回大会, 豊中, 口頭
- 小川浩太, 三浦徹, 2012年8月10日-11日, エンドウヒゲナガアブラムシの異時的な飛翔器官の発生制御, 日本アブラムシ研究会第2回研究集会, 岡崎, 口頭
- 小川耕平, 細田徹治, 佐藤淳, 木下豪太, 安生浩太, 鈴木仁, 2012年9月13日-15日, 北海道産クロテン (*Martes zibellina brachyura*) の毛色多型に関する責任遺伝子の解析, 日本動物学会第83回大会, 豊中, 口頭
- 大坪澄生, 高田壮則, 小泉逸郎, 2013年3月5日-9日, 北海道二十四河川におけるシロザケ遡上数の時系列解析, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 岡本彩佳, 泉佳代子, 島田卓哉, 齊藤隆, 2012年9月20日-23日, アカネズミ (*Apodemus speciosus*) における堅果タンニン馴化能力の地理的変異一堅果の有無で局所適応は起こるのか, 日本哺乳類学会2012年度大会, 相模原, ポスター
- 金澤友紀代, 山崎千登勢, 田中友樹, 高屋浩介, 小泉逸郎, 2013年3月5日-9日, 外来ニジマスの流域内分布パターン - 生活史との関係, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 金澤友紀代, 山崎千登勢, 田中友樹, 高屋浩介, 小泉逸郎, 2012年11月30日-12月2日, 外来ニジマスの流域内分布パターン - 生活史との関係, 第34回魚類系統研究会, 函館, 口頭
- 川内陽平, 千村昌之, 武藤卓志, 渡野邊雅道, 宮下和士, 2012

- 年9月14日-17日, 餌生物転換期におけるスケトウダラ稚魚の分布に影響を与える環境要因, 平成24年度日本水産学会秋季大会, 下関, 口頭
- 川内陽平, 宮下和士, 2013年2月13日-14日, スケトウダラ幼稚魚の生残と飼料環境, 平成24年度資源変動要因分析調査(スケトウダラ太平洋系群)推進検討会, 札幌, 口頭
- 川原創, 柴沼成一郎, 門谷茂, 2012年10月5日-8日, 亜寒帯汽水湖(風蓮湖)におけるヤマトシジミ(*Corbicula japonica*)の栄養段階解析とシジミ浮遊幼生の分布に対する環境要因の関係, 日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会, 習志野, 口頭
- 木下豪太, 布目三夫, Kryukov, A, Han, S.H, 鈴木仁, 2012年9月20日-23日, 核DNAおよびミトコンドリアDNAの浸透性交雑を伴った北東アジア産ノウサギ属の進化史, 日本哺乳類学会2012年度大会, 相模原, ポスター
- 木ノ下菜々, 長里千香子, 伊藤利章, 本村泰三, 2012年9月15日-17日, 電子線トモグラフィーで観る褐藻の鞭毛基部構造, 日本植物学会第76回大会, 姫路, ポスター
- 木ノ下菜々, 付剛, 伊藤利章, 長里千香子, 本村泰三, 2013年3月27日-29日, 褐藻シオミドロにおける鞭毛基部及び鞭毛の微細構造解析, 日本藻類学会第37回大会, 甲府, 口頭
- 木村龍一, 本多健太郎, 篠原陽, 宮下和士, 2012年10月27日-28日, 電波テレメトリー手法を用いた北海道東部忠類川でのサクラマスの上生生態に関する研究, 第8回日本バイオロギング研究会シンポジウム, 函館, ポスター
- 倉科光紀, 菅原雅之, 三輪京子, 森川正章, 2013年3月24日-27日, ウキクサ根圏細菌共生系を利用した低炭素型フェノール分解, 日本農芸化学会2013年度大会, 仙台, 口頭
- 桑山崇, 布目三夫, 森脇和郎, 鈴木仁, 2012年9月20日-23日, 北日本における野生ハツカネズミ *Mus musculus* の浸透性交雑の検出, 日本哺乳類学会2012年度大会, 相模原, ポスター
- 桑山崇, 布目三夫, 森脇和郎, 鈴木仁, 2012年9月24日-26日, 日本列島の南方系ハツカネズミ(CAS subspecies group)系統の起源, 日本遺伝学会第84回大会, 福岡, 口頭
- 高宛愉, 竹下文雄, 園木詩織, 富安信, 小河道生, 廣瀬太郎, 黒坂浩平, 鶴専太郎, 南憲史, 宮下和士, 2013年3月5日, 豊後水道域におけるタチウオ音響資源調査, 平成24年度北海道音響資源調査研究情報交換会, 札幌, 口頭
- 小林章弥, 外山雅大, 小泉逸郎, 2013年3月5日-9日, 外来アライグマと在来フクロウの種間関係: 樹洞をめぐる資源競争, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 午来博, 地子立, 園田高広, 荒木肇, 2012年12月3日, 美幌町における11月出荷を目指した1年半養成株によるグリーンアスパラガス伏せこみ促成栽培, 北海道園芸研究談話会 平成24年度研究発表会, 札幌, 口頭
- 笹千舟, 宮崎智史, 東正剛, 三浦徹, 2013年3月5日-9日, アリ類の触角形態の性分化における遺伝子発現制御, 第60回日本生態学会大会, 静岡, 口頭
- 笹森翔一, 中田勝士, 鈴木仁, 2012年9月13日-15日, 沖縄産全身黒色性クマネズミにおける Agouti Signaling Protein 遺伝子(Asip)変異の解析, 日本動物学会第83回大会, 豊中, 口頭
- 佐藤世梨華, 盛田祐加, 邵花梅, 園木詩織, 遊佐貴志, 千葉晋, 南憲史, 宮下和士, 2013年3月5日, 音響手法を用いた能取湖におけるアマモ場の現存量推定に関する研究, 平成24年度北海道音響資源調査研究情報交換会, 札幌, 口頭
- 佐藤剛, 井上太樹, 吉田俊也, 2013年3月5日-9日, 北海道北部の天然生針広混交林における主要な枯死形態とその要因, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 椎名佳の美, 2013年3月5日-9日, 森の動物の棲み家としてのキツキの樹洞(企画集会), 第60回日本生態学会大会, 静岡, 口頭
- ジェトロ・ジョナタン・カステル, 露崎史朗, 大原雅, 2013年2月22日, Population and Ecological Studies of the Invasive Pioneer Species *Chromolaena odorata* and the Application on Post-Mining Land Restoration and Forest Regeneration, 2012年度 日本生態学会・北海道地区大会, 札幌, 口頭
- 地子立, 午来博, 門傳千香子, 園田高広, 荒木肇, 2012年9月22日-24日, グリーンアスパラガス伏せこみ促成栽培におけるおが屑培地の有効性, 園芸学会平成24年秋季大会, 福井, ポスター
- 地子立, 荒木肇, 午来博, 園田高広, 2013年3月18日-19日, グリーンアスパラガス伏せこみ促成栽培におけるおが屑培地での収量と作業性, 日本農作業学会平成25年度春季大会, 愛媛, 口頭
- 島田卓哉, 泉佳代子, 齊藤隆, 2012年9月20日-23日, アカネズミのタンニン耐性の地域変異は遺伝的な背景を持つのか?, 日本哺乳類学会2012年度大会, 相模原, 口頭
- 邵花梅, 盛田祐加, 園木詩織, 藤川義一, 四ツ倉典滋, 仲岡雅裕, 宮下和士, 2012年9月14日-17日, 小型計量魚探の開発④ コンブ林の磯焼けの動態把握に向けて, 平成24年度日本水産学会秋季大会, 下関, 口頭
- 杉木学, 齊藤隆, 2013年2月22日, エゾヤチネズミの遺伝的空間構造の年次変化-雌雄の分散パターンに着目して, 2012年度 日本生態学会・北海道地区大会, 札幌, 口頭
- 杉木学, 石橋靖幸, 齊藤隆, 2013年3月5日-9日, mtDNA と msDNA 解析に基づく, エゾヤチネズミ個体群の遺伝構造-時間と空間, 2つのスケールの観点から, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 杉原雄一, 上野秀人, 平田聡之, 荒木肇, 2012年9月22日-24日, 施設生産における土壌・肥料および緑肥由来窒素のトマトによる生育時期別吸収および分配, 園芸学会平成24年秋季大会, 福井, 口頭
- 杉原雄一, 荒木肇, 上野秀人, 2012年12月3日, トマトのヘアリーベッチ由来窒素の吸収と肥培管理, 北海道園芸研究談話会 平成24年度研究発表会, 札幌, 口頭
- 杉原雄一, 上野秀人, 平田聡之, 荒木肇, 2013年3月18日-19日, 減肥料下でのカバークロープトマト輪作体系におけるトマトの収量性と土壌炭素蓄積, 日本農作業学会平成25年度春季大会, 愛媛, 口頭
- 杉原雄一, 上野秀人, 平田聡之, 荒木肇, 2013年3月23日-24日, ヘアリーベッチトマト輪作体系における前年施用ヘアリーベッチ由来窒素のトマトへの寄与率, 園芸学会平成25年春季大会, 東京, 口頭
- 鈴木祐太郎, 友澤森彦, 小泉有希, 土屋公幸, 鈴木仁, 2012年9月20日-23日, 北海道産ヒメネズミの起源に関する系統地理学的考察, 日本哺乳類学会2012年度大会, 相模原, ポスター
- 園木詩織, 盛田祐加, 邵花梅, 小路淳, 宮下和士, 2012年9月14日-17日, 小型計量魚探の開発③藻場の生態系サービスの定量化, 平成24年度日本水産学会秋季大会, 下関, 口頭
- 園木詩織, 小路淳, 宮下和士, 2013年3月5日, 音響計測手法を用いたアマモ場の季節変動の定量化と基盤サービス

- の試算, 平成24年度北海道音響資源調査研究情報交換会, 札幌, 口頭
- 高津邦夫, 岸田治, 2012年10月20-21日, 捕食者種の共食いはエサ種との相互作用を強める: 捕食者個体の大型化に注目した実験検証, 第28回個体群生態学会大会, 習志野, ポスター
- 高津邦夫, 岸田治, 2013年3月5日-9日, 捕食者個体群内のサイズ変異がエサ種との相互作用を決める: 捕食者種の共食いと成長に注目して, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 高橋菜里, 服部薫, 後藤陽子, 大島慶一郎, 宮下和士, 三谷曜子, 2012年9月20日-23日, 北海道に来遊するトド *Eumetopias jubatus* の衛星追跡~初夏の回遊ルート~, 日本哺乳類学会2012年度大会, 相模原, ポスター
- 高橋菜里, 服部薫, 後藤陽子, 大島慶一郎, 宮下和士, 三谷曜子, 2012年10月27日-28日, 北海道に来遊したトドの初夏における回遊および潜水行動, 第8回日本バイオロギング研究会シンポジウム, 函館, ポスター
- 高屋浩介, 阿部豪, 佐鹿万里子, 金子正美, 小泉逸郎, 2013年3月5日-9日, 外来種駆除に伴う混獲の実態と対策: 捕獲場所と時期に着目した具体的な混獲軽減策の提言, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 高屋浩介, 阿部豪, 佐鹿万里子, 金子正美, 小泉逸郎, 2013年2月22日, 外来種駆除に伴う混獲の実態と対策: 捕獲場所と時期に着目した具体的な混獲軽減策の提言, 2012年度 日本生態学会・北海道地区大会, 札幌, 口頭
- 滝ヶ平智博, 甲山哲生, 木村正人, 2013年3月5日-9日, ショウジョウバエにおける寄生蜂抵抗性の進化: 抵抗性のコストの査定と抵抗性遺伝子の探索, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 田中絢子, 早船琢磨, 大原雅, 2013年3月5日-9日, 一回繁殖型多年生植物オオウバユリにおける繁殖戦略の集団間変異, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 田中友樹, 小泉逸郎, 2013年3月5日-9日, なぜサケ科魚類は冬に夜行性になるのか: 餌資源が活動時間に与える影響, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 田中友樹, 小泉逸郎, 2013年2月22日, 餌資源がサケ科魚類の活動時間に与える影響, 第60回日本生態学会大会, 札幌, 口頭
- 田中幹展, 中村誠宏, 2012年11月26日-28日, Multiple indirect effects of deer bark stripping on herbivore community, 日台共同研究ネットワークへの参加推進プログラム: 気候変動に対する生態的応答予測に向けた観測・実験・理論・解析研究の統合, 札幌, ポスター
- 田中幹展, 中村誠宏, 2013年3月5日-9日, シカの樹皮剥ぎがヤナギ上の植食性昆虫群集に与える植物を介した間接効果, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 田畑あずさ, 小野清美, 隅田明洋, 原登志彦, 2013年3月5日-9日, 異なる土壌水分条件下でのカバノキ属2種の個体生長と水分生理特性, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 田淵大地, 友田拓造, 工藤勲, 馬場勝寿, 金森誠, 2012年10月5日-8日, 炭素・窒素安定同位体を用いたヨーロッパザラボヤと養殖ホタテガイの餌競合関係, 日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会, 習志野, 口頭
- 田丸修, 渡部俊広, 高原英生, 宮下和士, 2012年9月14日-17日, 沿岸イカ釣り用LED漁灯の必要性能について, 平成24年度日本水産学会秋季大会, 下関, 口頭
- 辻泰世, 柴沼成一郎, 門谷茂, 2012年10月5日-8日, 風蓮湖に置ける塩分傾度と植物プランクトンの出現特性について, 日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会, 習志野, 口頭
- 手倉森司, 上野洋路, 2012年9月13日-17日, 北太平洋東部亜熱帯域における水温逆転構造, 日本海洋学会2012年度秋季大会, 静岡, ポスター
- 寺内真, 長里千香子, 岡征子, 本村泰三, 2012年7月13日-15日, 褐藻シオミドロにおける細胞壁タンパク質のプロテオーム解析, 日本藻類学会第36回大会, 札幌, 口頭
- 寺内真, 長里千香子, 伊藤利章, 岡征子, 本村泰三, 2012年9月15日-17日, 褐藻シオミドロにおける細胞壁の微細構造観察とプロテオーム解析, 日本植物学会第76回大会, 姫路, 口頭
- 寺田千里, 齊藤隆, Bonenfant, C., 2013年3月5日-9日, ニホンジカの性的二型は生息地の生産性に依存する, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 照本昂之, 工藤勲, 宮園章, 品田晃良, 2012年9月13日-17日, オホーツク海北海道沿岸域における春期ブルームとその鉛直輸送, 日本海洋学会2012年度 秋季大会, 静岡, 口頭
- 東條ふゆみ, 伊東義兼, 岡部聡, 森川正章, 2012年6月25日-26日, *Anammox* 細菌 *Candidatus 'Brocadia sinica'* の膜画分に高発現するタンパク質に関する研究, 環境バイオテクノロジー学会 2012 年度大会, 京都, 口頭
- 長里千香子, 寺内真, 本村泰三, 2012年9月15日-17日, 褐藻類の隔壁構造と細胞壁タンパク質のプロテオーム解析, 日本植物学会第76回大会, 姫路, 口頭
- 二階堂華那, 鈴木卓, 市川伸次, 河合孝雄, 荒木肇, 2012年12月3日, 札幌市におけるアスパラガス伏せこみ用2年生株の充実過程, 北海道園芸研究談話会 平成24年度研究発表会, 札幌, 口頭
- 二階堂華那, 地子立, 荒木肇, 2012年9月22日-24日, 冷蔵庫と雪室貯蔵におけるアスパラガス 'ウェルカム' 若茎の外観と内部品質の変化, 園芸学会平成24年秋季大会, 福井, 口頭
- 乃美大佑, 油田照秋, 小泉逸郎, 2013年3月5日-9日, クラッチサイズのシーズン変化: 複数回繁殖するシジュウカラにおける新しいパターン, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 乃美大佑, 油田照秋, 小泉逸郎, 2013年2月22日, クラッチサイズのシーズン変化: 複数回繁殖するシジュウカラにおける新しいパターン, 2012年度 日本生態学会・北海道地区大会, 札幌, 口頭
- 橋岡香織, 堤正純, 吉村真理, 小島久弥, 福井学, 工藤勲, 2012年9月13日-17日, 陸奥湾底層における硝化速度とアンモニア参加生物群集の関連性, 日本海洋学会2012年度 秋季大会, 静岡, 口頭
- 橋口恵, 原登志彦, 小野清美, 2012年9月15日-17日, 秋から冬にかけての光・温度変化に対するクマイザサの生理的応答, 日本植物学会第76回大会, 姫路, ポスター
- 橋口恵, 小野清美, 原登志彦, 2013年3月5日-9日, 光・低温ストレスに対するクマイザサの生理的応答, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 林田寿文, 新居久也, 羽山英人, 矢部浩規, 上田宏, 2012年12月8日, PITタグシステムを用いた美利河ダムにおけるサクラマススモルトの降下行動, 第6回サケ学研究会, 函館, 口頭
- 速水将人, 細川一実, 木村耕, 大原雅, 2012年12月7日-9日, オオバキスミレにおける繁殖戦略の種内変異 - 開放花・閉鎖花形成パターンの集団間比較, 第44回種生物学シンポジウム, 滋賀, ポスター
- 速水将人, 細川一実, 木村耕, 大原雅, 2013年2月22日, オ

- バキスミレにおける繁殖戦略の種内異変, 2012年度日本生態学会・北海道地区大会, 札幌, 口頭
- 速水将人, 細川一実, 木村耕, 大原雅, 2013年3月5日-9日, オオバキスミレにおける繁殖戦略の種内変異と遺伝的分化の関係性, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 深野透, 高橋康徳, 五味満裕, 大崎幸彦, 三輪京子, 森川正章, 2013年3月24日-27日, 便器表面付着性Rhizobium属細菌のバイオフィーム形成阻害の試み, 日本農芸化学会2013年度大会, 仙台, 口頭
- 深谷肇一, Royle, J.A., 奥田武弘, 仲岡雅裕, 野田隆史, 2013年3月5日-9日, 観測誤差を考慮した推移確率行列の新しい推定方法と実データへの適用, 第60回日本生態学会大会, 静岡, 口頭
- 深谷厚輔, 天野勝文, 千葉洋明, Choi, C.Y., 上田宏, 2012年12月8日, サケの母川回帰に及ぼす2種類のGnRHの役割, 第6回サケ学研究会, 函館, 口頭
- 付剛, 岡征子, 長里千香子, 本村泰三, 2013年3月27日-29日, 褐藻ワタモ遊泳細胞の前鞭毛と後鞭毛のプロテオーム解析, 日本藻類学会第37回大会, 甲府, 口頭
- 福岡健, 藤原徹, 三輪京子, 2013年3月21日-23日, 植物のホウ素要求量を低下させる遺伝子の同定, 第54回日本植物生理学会年会, 岡山, ポスター
- 藤井正典, 平尾聡秀, 小島久弥, 福井学, 2013年3月5日-9日, 淡水環境における微生物の地理的分布とその制限要因, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 堀田海帆, 鈴木将太, 風間香澄, 木村幹子, 宗原弘幸, 2012年9月21日-24日, ここまで分かった雑種生殖, 2012年度日本魚類学会年会開催, 下関, 口頭
- 三賀森敬亮, 原田正史, 桐原 崇, 篠原明男, 土屋公幸, 鈴木仁, 2012年9月20日-23日, 日本産コウベモグラの地域系統群の境界線と遺伝的・形態的分化, 日本哺乳類学会2012年度大会, 相模原, ポスター
- 箕浦るん, 阿部太亮, 渡邊大, 三浦徹, 2013年3月5日-9日, オオシロアリにおいて兵隊特異的に分化する唾液腺のプロテオミクス, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 襄島萌子, 齊藤隆, 日浦勉, 柴田英昭, 中村誠宏, 2013年3月5日-9日, 気温変化がダケカンバの樹冠葉の食害度に与える影響?標高勾配によるパターンと温暖化操作実験を用いた検証, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 襄島萌子, 中村誠宏, 2013年3月5日-9日, 温度変化がダケカンバの樹冠葉の食害に与える影響-標高勾配によるパターンと温暖化操作実験を用いた検証-, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 宮川一志, 杉本直己, 井口泰泉, 三浦徹, 2013年3月5日-9日, ミジンコの誘導防御におけるリアクションノームの多様化過程, 第60回日本生態学会大会, 静岡, 口頭
- 宮腰靖之, 山口紘, 篠原陽, 宮下和士, 2012年11月15日-18日, 北海道沿岸における秋の高水温がサケの来遊に与える影響, 2012年度 水産海洋学会創立50周年記念大会, 東京, ポスター
- 宮崎智史, 三浦徹, 前川清人, 2013年3月5日-9日, アリの新奇カーストにみられる発生過程と環境応答, 第60回日本生態学会大会, 静岡, 口頭
- 宗原弘幸, 堀田海帆, 2012年8月21日-24日, 雑種生殖遺伝子の存在と発現条件, 日本進化学会第14回東京大会, 東京, 口頭
- 村上玲一, 深谷厚輔, 天野勝文, 上田宏, 2012年12月8日, サケ脳におけるNMDA受容体がGnRH放出に及ぼす影響, 第6回サケ学研究会, 函館, 口頭
- 本猪木太朗, Rodriguez-Guilbe Baerga-Ortiz, A., 折笠善丈, 奥山英登志, 2012年7月20日, 細菌の多価不飽和脂肪酸合成に関わるチオエステラーゼについて, 第49回日本生化学会北海道支部例会, 札幌, ポスター
- 森照貴, 齊藤隆, 2013年3月5日-9日, 密度効果がもたらす群集レベルでの帰結: 密度-体サイズ関係に注目して, 第60回日本生態学会大会, 静岡, 口頭
- 森田高弘, 門谷茂, 2012年10月5日-8日, 亜寒帯汽水湖(火散布沼)における底生微細藻類群集の塩分・温度依存性と比生長速度, 日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会, 習志野, 口頭
- 森本一, 門屋亨介, 桑野晶喜, 笠原康裕, 2013年3月8日-10日, Pseudomonas putida F1株の土壌特異的タンパク質の発現解析, 第7回日本ゲノム微生物学会, 滋賀, ポスター
- 森本洋輔, 菅原雅之, 三輪京子, 森川正章, 2013年3月24日-27日, ウキクサ根圏および活性汚泥からのエストロゲン分解細菌の単離と諸特性解析, 日本農芸化学会2013年度大会, 仙台, 口頭
- 山川梨奈, 熊野貴宏, 横田富男, 荒木肇, 2012年12月3日, 盛夏期における雪冷熱と地中熱を活用した伏せこみ栽培ベッドの温度制御, 北海道園芸研究談話会 平成24年度研究発表会, 札幌, 口頭
- 山口紘, 白川北斗, 宮下和士, 2012年6月14日, 知床半島沿岸におけるシロザケの来遊行動に関する研究, 北大FSC・紋別市共同研究セミナー, 紋別, 口頭
- 山崎彩, 宗原弘幸, 2012年8月21日-24日, ツマグロカジカとアイカジカの稚魚期における分類形質としての色素放出パターンの有効性, 日本進化学会第14回東京大会, 東京, 口頭
- 山崎彩, 宗原弘幸, 2012年9月21日-24日, ツマグロカジカとアイカジカの稚魚期における分類形質としての色素放出パターンの有効性, 2012年度日本魚類学会年会開催, 下関, 口頭
- 山崎千登勢, 小泉逸郎, 2012年11月23日-25日, 乱婚でも協力的な雄は多くの交尾成功を得るか: ヤツメウナギによる実験., 日本動物行動学会第31回大会, 奈良, ポスター
- 山崎千登勢, 小泉逸郎, 2012年11月30日-12月2日, ヤツメウナギの乱婚生態学: オス・メスの奇妙な協力的造巢行動と繁殖成功, 第34回魚類系統研究会, 函館, 口頭
- 山崎千登勢, 小泉逸郎, 2013年2月22日, 働き者は報われる: 乱婚のヤツメウナギ雄の協力的造巢行動と交尾成功., 2012年度 日本生態学会・北海道地区大会, 札幌, 口頭
- 山崎千登勢, 小泉逸郎, 2013年3月5日-9日, 乱婚をする生物でも協力的な雄は多くの見返りを得るか: ヤツメウナギ雄の協力的造巢行動と繁殖成功の関係, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 山田敏也, 齊藤隆, 2013年3月5日-9日, 標識再捕獲法と遺伝的手法によるエゾヤチネズミ個体群の移入率の推定: 異なる手法から得られる推定値の信頼性の検討, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター
- 吉田磨仁, 竹ノ内明, 若浜貴宏, 奥山英登志, 小亀一弘, 中村明毅, 高嶺翔太, 栗井光一郎, 河地正伸, 高市真一, 2012年11月22日-25日, 高温処理により黄緑色化したユビエダハマサンゴの黒帯病的症状とシアノバクテリア, 日本サンゴ礁学会第15回大会, 東京, ポスター
- 吉村真理, 橋岡香織, 工藤勲, 2012年9月13日-17日, 陸奥湾における堆積物中の生元素動態に基づく生物生産過程の評価, 日本海洋学会2012年度 秋季大会, 静岡, 口頭
- 油田照秋, 2012年12月26日, つがい外父性に注目したシジュ

ウカラの繁殖生態と適応的機能, GCOE-RA 成果発表会, 札幌, ポスター

油田照秋, 乃美大佑, 小泉逸郎, 2012年11月23日-25日, 性的不能なシジウカラのオスは浮気されるか - 受精保険仮説の実験的検証, 日本動物行動学会第31回大会, 奈良, ポスター

油田照秋, 乃美大佑, 小泉逸郎, 2013年3月5日-9日, 性的不能と認識されたオスは浮気される - シジウカラによる受精保険仮説の実験的検証, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター

若浜貴宏, 奥山英登志, 吉田磨仁, 竹ノ内明, 小亀一弘, Laza-Martinez, A., 中村明毅, 高嶺翔太, 栗井光一郎, 河地正伸, 眞岡孝至, 高市真一, 2012年11月22日-25日, 糖を含むカロチノイドP457の分子構造、褐虫藻及びサンゴにおける分布と予想される生理機能, 日本サンゴ礁学会第15回大会, 東京, 口頭

若林紘子, 野田悟志, 齊藤隆, 2012年9月20日-23日, アカネズミ属における精子競争とオスの繁殖形質: マルチプルパタニティを指標として, 日本哺乳類学会2012年度大会, 相模原, ポスター

渡辺崇史, 大原雅, 2013年3月5日-9日, 生育地の分断化がオオバナノエンレイソウの集団維持に及ぼす影響~開花個体密度と花粉動態及び繁殖成功の関係に着目して~, 第60回日本生態学会大会, 静岡, ポスター

渡辺恒大, 福澤加里部, 柴田英昭, 2012年5月20日-25日, 北海道北部の森林生態系における長期的な大気窒素沈着に対するササと樹木のリター動態の応答, 日本地球惑星科学連合大会2012年大会, 千葉, 口頭

渡辺恒大, 福澤加里部, 柴田英昭, 2013年3月25日-28日, 北海道北部の森林生態系における短期的な土壌窒素肥沃度の変化に対するササ土壌系の応答, 第124回日本森林学会大会, 盛岡, ポスター

#### 環境物質科学専攻 (平成23年度)

Chiang, H., Iimori, T., Onodera, T., Oikawa, H. and Ohta, N., 2011年9月20日-23日, Electroabsorption spectroscopy of DAST microcrystals in solution, 第5回分子科学討論会2011札幌, 札幌, ポスター

Chiang, H., Iimori, T., Ohta, N., 2012年1月31日-2月1日, Electrophotoluminescence spectra of pyrene solution, 化学系学協会北海道支部2012年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

Ge, A., Kadowaki, K., Matsusaki, M., Osawa, M., Akashi, M. and Ye, S., 2012年3月10日-11日, SFG Study on Structural Studies of Polyelectrolyte Multilayers, 第5回SFG研究会, 仙台, ポスター

Ge, A., Kadowaki, K., Matsusaki, M., Osawa, M., Akashi, M. and Ye, S., 2012年11月28日-12月1日, Structural Studies of Polyelectrolyte Multilayers (PEMs) by Sum Frequency Generation (SFG) Spectroscopy, The Third Asian Spectroscopy Conference, 中国・厦門, ポスター

Hirayama, J., Kondo, H., Abe, R., Kamiya, Y., 2011年11月28日-29日, Selective photocatalytic reduction of nitrate to nitrogen in water in the presence of Pt/TiO<sub>2</sub> and Sn<sub>2</sub>-Pd/Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>, The 5th China-Japan Workshop on Environmental catalysis and Eco-materials, 中国・上海, ポスター

Hossain, Md. M., 中田耕, 嶋津克明, 2011年7月23日, Electrochemical reduction of nitrate ions on highly dispersed PdPt/Sn electrodes, 日本化学会北海道支部

2011年 夏季研究発表会, 室蘭, 口頭

Hossain, Md. M., 中田耕, 嶋津克明, 2011年9月9日-11日, Electrochemical reduction of nitrate on highly dispersed PtPd/Sn and PdPt/Sn catalysts, 2011年電気化学秋季大会, 新潟, 口頭

Islam, S. M., Nakabayashi, T., Matsumoto, J., Yasuda, M. and Ohta, N., 2011年9月6日-8日, Monitoring Changes in Cellular Environment of Yeast Cells Based on the Time-Resolved Fluorescence Spectra of NADH, 2011年光化学討論会, 宮崎, ポスター

Islam, S. M., 中林孝和, 松本仁, 保田昌秀, 太田信廣, 2011年9月20日-23日, Sensing Cellular Metabolic States by Time Resolved Fluorescence of NADH, 第5回分子科学討論会2011札幌, 札幌, ポスター

Kamei, Y., Shichibu, Y., Konishi, K., 2011年12月2日-5日, Synthesis of Novel Au<sub>8</sub> Clusters and their Optical Responses to Metal Ions, 11th ISABC (International Symposium Applied Bioinorganic Chemistry), スペイン・バルセロナ, ポスター

Kamiya, Y., Kanno, M., Hasegawa, T., Yasukawa, T., Ninomiya, W., Ooyachi, K., 2011年5月23日-25日, Selective Oxidation of Methacrolein over H<sub>4</sub>PMo<sub>11</sub>VO<sub>40</sub> Supported on NH<sub>3</sub>-modified SiO<sub>2</sub>, The 13th Korea-Japan Symposium on Catalysis, 韓国・済州島, 口頭

Kubo, K., Ryu, Z., Noro, S., Akutagawa, T., Nakamura, T., 2011年9月7日-10日, Crystal structures and physical properties of [Ni(dmit)<sub>2</sub>] salts including 4-aminopyridinium/[18]crown-6 derivatives, 11th European Conference on Molecular Electronics (ECME) 2011, スペイン・バルセロナ, ポスター

Miura, Y., Kikuchi, H., Kamiya, Y., 2011年5月23日-25日, Adsorption properties of Cs salts of tetravalent polyoxoanion added with hydroxyl, butyl, and phenyl groups, The 13th Korea-Japan Symposium on Catalysis, 韓国・済州島, 口頭

Motobayashi, K., Tomioka, R., Uchida, T., Osawa, M., 2012年1月26日-27日, Structure of chirally modified electrode interface in aqueous solution studied by SEIRAS, CRC International Symposium on Green & sustainable catalysis, 札幌, ポスター

Nakabayashi, T., Sumikawa, R., Sun, F., Kinjo, M., Ohta, N., 2011年9月6日-8日, Copper Ion Sensing Based on the Fluorescence Lifetime of Enhanced Yellow Fluorescent Protein, 2011年光化学討論会, 宮崎, 口頭

Ohtani, B., Prieto-Mahaney, O.-O., Li, D., Koba, Y., Ishida, A., Abe, R., 2011年5月23日-25日, What is Degussa (Evonik) P25? A Study on Its Crystalline Composition and Anatase-Rutile Synergetic Effect on Photocatalytic Activities, The 13th Korea-Japan Symposium on Catalysis, 韓国・済州島, 口頭

Sabeth, F., Iimori, T. and Ohta, N., 2011年9月6日-8日, Time-resolved measurements of the photoinduced changes in the conductivity of deuterated beta-(BEDT-TTF)<sub>2</sub>I<sub>3</sub>, 2011年光化学討論会, 宮崎, ポスター

Sabeth, F., Iimori, T. and Ohta, N., 2011年9月20日-23日, Photoirradiation effect on the ionic conductivity of β-AgI, 第5回分子科学討論会2011札幌, 札幌, 口頭

Shimazu, K., Domi, Y., Ikeura, K., Okamura, K., 2011年9月11日-15日, Electrochemical Sensing of Inorganic Anions Based on Their Strong Inclusion in

- Thiol-Derivatized- $\beta$ -Cyclodextrin on Au, The 62nd Annual Meeting of the International Society of Electrochemistry, 新潟, 口頭
- Suherman, 川口俊一, 嶋津克明, 2012年1月31日-2月1日, SPR Sensor Using Functionalized Alkanethiol Monolayer Modified Au Chip, 化学系学協会北海道支部 2012年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- Tong, Y., Wu, H. L., Ge, A., Osawa, M. and Ye, S., 2011年8月19日-22日, In situ Structural Study on the Hydrolysis Reaction of Lipid Bilayer Catalyzed by Phospholipase A2 (PLA2) Enzyme, The Thirteenth International Symposium on Electroanalytical Chemistry, 中国・長春, 口頭
- Uchida, T., Yamakata, A., Sasaki, Y., Sasaki, Y., Osawa, M., 2011年5月1日-6日, Hydrogen evolution reaction catalyzed by the redox cycles of 4,4'-bipyridine adsorbed on metal electrodes: A combined infrared and DFT study, 219th Electrochemical Society Meeting, カナダ・モントリオール, 口頭
- Wu, H., Tong, Y., Yu, L., Ge, A., Osawa, M., Ye, S., 2011年11月28日-12月1日, Enzyme Reaction on the Phospholipid Bilayer Surface Evaluated by in situ SFG and AFM Observations, The Third Asian Spectroscopy Conference, 中国・厦門, 口頭
- Yan, Y-N., Akutagawa, T., Kubo, K., Noro, S., Nakamura, T., 2011年11月21日-22日, 3-Fluoro-1-adamantylammonium - Crown Ether Supramolecular Rotators in  $[\text{Ni}(\text{dmit})_2]$  Salts, The 12th RIES-Hokudai International Symposium "観", 札幌, ポスター
- 天野史章, 海老名紀廣, 大谷文章, 2012年3月28日-29日, 硫化銅インジウム微結晶膜を用いた光電気化学的水素生成システム, 第109回触媒討論会, 東京, ポスター
- 鮎田康人, 梅澤大樹, 松田冬彦, 2011年7月23日, Dolastatin16の全合成研究, 日本化学会北海道支部 2011年 夏季研究発表会, 室蘭, 口頭
- 荒木瑞揮, 野田裕樹, 久保和也, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2011年9月20日-23日, 希土類フタロシアニンダブルデッカー型錯体 ( $\text{M} = \text{Tb}, \text{Er}, \text{Dy}$ ) / 金ナノ粒子集積体の合成と物性, 第5回分子科学討論会2011札幌, 札幌, ポスター
- 荒木瑞揮, 野田裕樹, 久保和也, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2012年1月31日-2月1日, 希土類フタロシアニンダブルデッカー型錯体 ( $\text{M} = \text{Tb}, \text{Dy}$ ) を物理吸着させた金ナノ粒子集積体の合成と機能発現, 化学系学協会北海道支部2012年冬季研究発表会, 札幌, ポスター
- 荒木瑞揮, 野田裕樹, 久保和也, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2012年3月25日-28日, ダブルデッカー型希土類フタロシアニン ( $\text{M} = \text{Tb}, \text{Dy}, \text{Lu}$ ) / 金ナノ粒子集積体の伝導挙動と磁性, 日本化学会第92春季年会, 横浜, 口頭
- 安藤卓, 佐野翔吾, 神谷裕一, 2011年7月23日,  $\text{Fe}^{3+}/\text{H}^{+}$ 比の異なる12-タングストリン酸セシウム-鉄塩触媒の酸触媒反応特性, 日本化学会北海道支部 2011年 夏季研究発表会, 室蘭, 口頭
- 安藤卓, 佐野翔吾, 神谷裕一, 2011年9月20日-22日, 鉄/プロトン比の異なる12-タングストリン酸セシウム-鉄塩の酸触媒反応特性, 第108回触媒討論会, 北見, 口頭
- 飯森俊文, サベト・ファルザナ, 内藤俊雄, 太田信廣, 2011年9月6日-8日, 2次元有機超伝導体  $\beta$ -(BEDT-TTF) $_2$ I $_3$ の光応答, 2011年光化学討論会, 宮崎, 口頭
- 飯森俊文, サベト・ファルザナ, 内藤俊雄, 藤原基靖, 太田信廣, 2011年9月20日-23日,  $\kappa$ -(BEDT-TTF) $_2$ Cu $[\text{N}(\text{CN})_2]$ Brおよび $\beta$ -(BEDT-TTF) $_2$ I $_3$ の電気伝導と磁化の光照射効果, 第5回分子科学討論会2011札幌, 札幌, 口頭
- 飯森俊文, サベト・ファルザナ, 内藤俊雄, 太田信廣, 2012年3月25日-28日, 有機超伝導体  $\beta$ -(BEDT-TTF) $_2$ I $_3$ の光励起ダイナミクスとその同位体効果, 日本化学会第92春季年会, 横浜, 口頭
- 飯森俊文, Sabeth, F., 内藤俊雄, 太田信廣, 2012年3月15日-18日, 有機超伝導体における電気伝導度の光応答の時間分解測定, 第59回応用物理学関係連合講演会, 東京, 口頭
- 叶深, 呉恒良, 葛愛民, 大澤雅俊, 2011年9月20日-23日, 脂質二分子膜の加水分解反応に伴う界面構造解析, 第5回分子科学討論会2011札幌, 札幌, 口頭
- 叶深, 葛愛民, 鈴木圭吾, 坂井隆也, 大澤雅俊, 2012年3月10日-11日, 和周波発生分光法による四級アンモニウム塩表面活性剤単分子膜の構造研究, 第5回SFG研究会, 仙台, 口頭
- 市川昇一, 神谷裕一, 2012年3月25日-28日, 金属酸化物触媒による水中アンモニアの選択的オゾン酸化分解, 日本化学会第92春季年会, 横浜, 口頭
- 岩瀬元希, 山田啓二, 栗崎敏, 脇田久伸, オランダ・オマール=プリエト・マハニー, 大谷文章, 2011年9月6日-8日, 可視光応答型リンドープ酸化チタンの作用スペクトルとリンのX線状態分析, 2011年光化学討論会, 宮崎, ポスター
- 苧坪敬栄, 阿部竜, 大谷文章, 2011年11月21日-22日, アークプラズマ法を用いる金属微粒子担持型光触媒の調製と評価, 第30回 固体・表面光化学討論会, 長野, 口頭
- 梅澤大樹, 柴田昌幸, 金子賢介, 沖野龍文, 松田冬彦, 2011年6月15日-16日, 光学活性Danicalipin Aの全合成, 第99回有機合成シンポジウム2011年【春】, 東京, 口頭
- 梅澤大樹, 鈴木将洋, 小栗祐子, 松浦裕志, 沖野龍文, 松田冬彦, 2011年9月27日-29日, オマエザレンの全合成, 第53回天然有機化合物討論会, 大阪, 口頭
- 梅澤大樹, 清野智也, 松田冬彦, 2012年3月25日-28日, アルデヒド、酸フッ化物、トリメチルシリルメチルホスホネートの3成分カップリング反応, 日本化学会第92春季年会, 横浜, 口頭
- 梅澤大樹, 清野智也, 松田冬彦, 2012年3月25日-28日, Mytilipin Cの全合成研究, 日本化学会第92春季年会(2012), 横浜, 口頭
- 大島瑠璃子, 中林孝和, 太田信廣, 2011年9月20日-23日, CdSeナノ粒子の光励起ダイナミクスへの外部電場効果, 第5回分子科学討論会2011札幌, 札幌, ポスター
- 太田信廣, 飯森俊文, Sabeth, F., Khaton, R., 2012年3月15日-18日, ヨウ化銀多結晶のイオン伝導度への光照射効果, 第59回応用物理学関係連合講演会, 東京, ポスター
- 大谷文章, マルチン=ジャンチャレック, 魏志順, 楊ジョウ, 2011年11月21日-22日, 多面体形状酸化チタン微粒子の調製と光触媒活性, 第30回 固体・表面光化学討論会, 長野, 口頭
- 大塚英華, 七分勇勝, 小西克明, 2011年9月17日-19日, サブナノAuクラスターの表面修飾と機能化, 錯体化学会第61回討論会, 岡山, ポスター
- 大塚英華, 七分勇勝, 小西克明, 2012年3月25日-28日, アルキニルで表面修飾したサブナノAu $_13$ クラスター誘導体の合成と発光特性, 日本化学会第92春季年会, 横浜, ポスター
- 大沼明, 有田寛, 西原正通, 大谷文章, 大塚英幸, 高原淳, 2012年3月25日-28日, ハイブリッドコロイド粒子への

- 真空紫外光照射を利用する特異構造粒子集合体の調製, 日本化学会第92春季年会, 横浜, ポスター
- 大森徹, 川口俊一, 嶋津克明, 2012年1月31日-2月1日, フェロセニルヘキサチオール単分子膜修飾電極を用いた尿酸センサ, 化学系学協会北海道支部 2012年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 岡佳和, 濱弘哉, 金正植, 諸角達也, 中村博, 2011年9月14日-16日, アントラセン修飾ベンゾクラウンの光誘起電子移動制御における置換基効果, 日本分析化学会第60年会, 名古屋, ポスター
- 加納邦泰, 梅澤大樹, 松田冬彦, 2011年7月23日, Vinigrolの合成研究, 日本化学会北海道支部 2011年 夏季研究発表会, 室蘭, 口頭
- 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2011年6月2日-4日, ユニークな構造と光化学特性を示す新規Au8クラスターの合成, ナノ学会第9回大会, 札幌, ポスター
- 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2011年9月17日-19日, 酸化還元により幾何構造が変化する新規Au8クラスター, 錯体化学会第61回討論会, 岡山, ポスター
- 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2012年3月25日-28日, サブナノAuクラスターの酸化還元特性を利用した機能探索, 日本化学会第92春季年会, 横浜, 口頭
- 菊池拓希, 三浦裕紀, 神谷裕一, 2011年7月23日, フェニルスズ置換タングストリン酸セシウム塩の分子吸着特性, 日本化学会北海道支部 2011年 夏季研究発表会, 室蘭, 口頭
- 菊池拓希, 三浦裕紀, 神谷裕一, 2011年9月20日-22日, フェニルスズを付加したタングストリン酸セシウム塩の分子吸着特性, 第108回触媒討論会, 北見, 口頭
- 喜瀬逸, 阿部竜, 大谷文章, 2011年11月21日-22日, コアシエル型助触媒を用いる選択的水素生成光触媒系の構築, 第30回 固体・表面光化学討論会, 長野, 口頭
- 久保和也, 遠藤格, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2011年5月11日-13日, 三次元構造を持つ[MnCr(oxalate)]<sub>n</sub>-錯体と超分子カチオンからなる塩の構造と物性, 2011年度 ナノマクロ物質・デバイス・システム創成アライアンス「次世代エレクトロニクス」グループ分科会, 沖縄, ポスター
- 小西克明, 亀井優太郎, 七分勇勝, 2011年9月17日-19日, Post合成法を用いるユニークなコア構造をもつサブナノ金クラスターの創製, 錯体化学会第61回討論会, 岡山, 口頭
- 小西克明, 福永直人, 2011年9月28日-30日, ゲストに誘起されるPEG修飾半導体クラスターの集合体形成, 第60回高分子討論会, 岡山, 口頭
- 小西克明, 福永直人, 2011年11月7日-10日, Organic-modified Cadmium Chalcogenide Clusters bearing Recognition Sites near the Inorganic Core: Selective Luminescence Response to Lipophilic Phenols, The International Symposium on Clusters and Nano-Structures, アメリカ・リッチモンド, 口頭
- 小西克明, 福永直人, 2011年12月19日-21日, Supramolecular Chemistry of Organic-modified Clusters, 第21回日本MRS学術シンポジウム, 横浜, 口頭
- 近藤和志, 坂入信夫, 2012年1月31日-2月1日, 無保護のグリコシルアセプターへの選択的グリコシル化, 化学系学協会北海道支部2012年冬季研究発表会, 札幌, ポスター
- 斎藤亮介, 川口俊一, 嶋津克明, 2011年7月23日, シクロデキストリン単分子層への白金電解析出挙動, 日本化学会北海道支部 2011年 夏季研究発表会, 室蘭, 口頭
- 斎藤亮介, 川口俊一, 嶋津克明, 2011年9月9日-11日, シクロデキストリン単分子層を鋳型として用いた白金ナノドットの電析成長過程の検討, 2011年電気化学秋季大会, 新潟, 口頭
- 斎藤亮介, 川口俊一, 嶋津克明, 2012年1月31日-2月1日, シクロデキストリン単分子層を鋳型として用いた白金ハニカム電極の調製, 化学系学協会北海道支部2012年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 斎藤亮介, 川口俊一, 嶋津克明, 2012年3月29日-31日, シクロデキストリン単分子層を構造制御素子として用いた白金ハニカム電極の構築, 電気化学会第79回大会, 浜松, 口頭
- 佐藤祐輔, 川口俊一, 嶋津克明, 2011年6月18日, 電気化学的手法を用いたフェロセン末端単分子膜の炭素電極上への構築, 第27回ライラックセミナー/第17回若手研究者交流会, 小樽, ポスター
- 佐藤祐輔, 川口俊一, 嶋津克明, 2011年7月23日, フェロセン末端単分子膜修飾カーボン電極の電気化学特性, 日本化学会北海道支部 2011年 夏季研究発表会, 室蘭, 口頭
- 佐藤祐輔, 川口俊一, 嶋津克明, 2011年9月9日-11日, 機能性単分子層修飾カーボン電極の電気化学キャパシタへの応用, 2011年電気化学秋季大会, 新潟, 口頭
- 佐藤祐輔, 川口俊一, 嶋津克明, 2011年11月2日, Development of Novel Energy Storage Device using Electroactive Bio-molecule Monolayer on Carbon Electrode, 北海道大学サステイナビリティウィーク2011 学生研究ポスターコンテスト, 札幌, ポスター
- 佐藤祐輔, 川口俊一, 嶋津克明, 2011年11月29日-12月1日, 炭素電極上へ最密充填させた機能性分子による単分子層の構築と表面特性, 第38回炭素材料学会年会, 名古屋, 口頭
- 佐藤祐輔, 川口俊一, 嶋津克明, 2012年3月29日-31日, 炭素電極上に構築した種々の機能性官能基を有する最密充填単分子層の電気化学キャパシタ特性, 電気化学会第79回大会, 浜松, 口頭
- 佐藤祐輔, 川口俊一, 嶋津克明, 2012年3月29日-31日, フェロセン末端単分子層修飾炭素電極の添加剤による高蓄電容量化, 電気化学会第79回大会, 浜松, 口頭
- サベト・ファルザナ, 飯森俊文, 太田信廣, 2012年3月25日-28日, ヨウ化銀におけるイオン伝導度の巨大な光誘起変化, 日本化学会第92春季年会, 横浜, 口頭
- 七分勇勝, 亀井優太郎, 小西克明, 2011年6月2日-4日, 金属コアの柔軟性を利用した新規Auクラスター群の合成と特性開拓, ナノ学会第9回大会, 札幌, 口頭&ポスター
- 七分勇勝, 亀井優太郎, 小西克明, 2011年9月20日-23日, 特徴的な吸収バンドを有するサブナノAuクラスター群の合成と幾何・電子構造解析, 第5回分子科学討論会2011 札幌, 札幌, 口頭
- 七分勇勝, 亀井優太郎, 小西克明, 2011年9月17日-19日, ユニークな吸収帯を有するサブナノAuクラスター群の合成と幾何・電子構造解析, 錯体化学会第61回討論会, 岡山, ポスター
- 七分勇勝, 亀井優太郎, 小西克明, 2012年3月25日-28日, ユニークな吸収バンドを有する非球状型Auクラスター群の合成と幾何・電子構造解析, 日本化学会第92春季年会, 横浜, 口頭
- 瀬田敬太, 七分勇勝, 小西克明, 2012年3月25日-28日, ティアラ型金属チオラートクラスターと金属イオンの相互作用, 日本化学会第92春季年会, 横浜, 口頭
- 瀬戸孟, 坂本啓典, 神谷裕一, 2011年7月23日, 活性炭担持ニッケル触媒による水中硝酸イオン還元反応の助触媒効果, 日本化学会北海道支部 2011年 夏季研究発表

- 会, 室蘭, 口頭
- 瀬戸孟, 坂本啓典, 神谷裕一, 2011年9月20日-22日, 活性炭担持ニッケル触媒による水中硝酸イオン還元反応の助触媒効果, 第108回触媒討論会, 北見, 口頭
- 孫尚鉉, 谷道子, 山岸裕, 菅藤亮輔, 佐藤久, 山田幸司, 2011年9月14日-16日, 新規蛍光ソルバトクロミック色素スルホン酸誘導体のセンシング応用, 日本分析化学会第60年会, 名古屋, ポスター
- 孫尚鉉, 山岸裕, 大矢菜摘子, 谷道子, 遠藤摩耶, 丸山健一, 山田幸司, 2012年3月12日-15日, On-demand Synthesis of Emissive Solvatochromic Dyes using Successive Suzuki-Miyaura Cross-coupling and Their Applications, Pittcon 2012, アメリカ・オーランド, ポスター
- 孫尚鉉, 山岸裕, 大矢菜摘子, 谷道子, 山田幸司, 2011年10月28日-31日, On-demand Synthesis of Solvatochromic Fluorophores using Suzuki-Miyaura Cross-coupling and Their Applications, The 8th Korea-Japan Symposium on Frontier Photoscience, 韓国・ソウル, ポスター
- 孫尚鉉, 湯浅麻衣子, 谷道子, 山岸裕, 平敏夫, 綾部時芳, 山田幸司, 2011年7月23日, 賣一のPOLARICTM 蛍光プローブによる各種細胞のマルチカラーイメージング(II), 日本化学会北海道支部 2011年 夏季研究発表会, 室蘭, 口頭
- 土居隼人, 神谷裕一, 2011年11月10日-11日, 担持イリジウム触媒の表面酸化状態とジメチルシクロペンタン水素化開環反応活性の相関性, 石油学会山口大会 (第41回石油・石油化学討論会), 山口, 口頭
- 全玉進, 張一, 路蕾蕾, 叶深, 大澤雅俊, 2011年12月15日-17日, 白金単結晶電極におけるジメチルエーテル(DME)の電気化学的酸化反応の機構研究, 第31回表面科学 学術講演会, 東京, 口頭
- 中川大輔, 七分勇勝, 小西克明, 2012年3月25日-28日, チオラート配位金ナノ粒子の合成と光化学特性, 日本化学会第92春季年会, 横浜, 口頭
- 中田耕, Farhana, R. R., 大澤雅俊, 嶋津克明, 2011年9月11日-15日, Infrared Absorption Spectroscopic Studies of Nitrate, Nitrite and Nitric Oxide Adsorbed on Platinum Electrodes, The 62nd Annual Meeting of the International Society of Electrochemistry, 新潟, 口頭
- 野中篤, 天野史章, 大谷文章, 2012年1月31日-2月1日, 電気化学的手法を用いる酸化チタン光触媒の格子欠陥の評価, 化学系学協会北海道支部2012年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 野呂真一郎, 福原克郎, 久保和也, 中村貴義, 2011年9月7日-9日, 無機アニオン混合による多孔性金属錯体の相互作用ポテンシャル精密制御の試み, 第63回コロイドおよび界面化学討論会, 京都, 口頭
- 平山純, 神谷裕一, 2011年9月19日, 固体酸触媒上でのn-ブタン骨格異性化反応, 第32回参照触媒討論会, 北見, 口頭
- 平山純, 阿部竜, 神谷裕一, 2012年3月25日-28日, Pt/TiOとSn-Pd/Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>が共存した反応系とSn-Pd/TiO<sub>2</sub>単独系の水中硝酸イオン還元反応特性の比較, 日本化学会第92春季年会, 横浜, 口頭
- 福永直人, 七分勇勝, 小西克明, 2011年6月2日-4日, 疎水場を導入した水溶性半導体クラスターの有機分子に対する応答機能, ナノ学会第9回大会, 札幌, ポスター
- 福永直人, 七分勇勝, 小西克明, 2011年9月7日-9日, 半導体クラスター表面における有機ゲストとの相互作用, 第63回コロイドおよび界面化学討論会, 京都, ポスター
- 福永直人, 七分勇勝, 小西克明, 2012年3月25日-28日, 有機小分子との相互作用に誘起されるPEG修飾半導体性クラスターの超分子集合体形成と発光応答, 日本化学会第92春季年会, 横浜, 口頭
- 福永直人, 七分勇勝, 小西克明, 由井樹人, 石谷治, 2012年1月31日-2月1日, PEG修飾半導体性クラスターの有機小ゲストに誘起される会合体形成, 化学系学協会北海道支部2012年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 福原克郎, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2011年5月11日-13日, 1次元銅金属錯体内に異種のアニオンが混在した固溶体の合成, 2011年度 ナノマクロ物質・デバイス・システム創成アライアンス「次世代エレクトロニクス」グループ分科会, 沖縄, ポスター
- 福原克郎, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2011年7月23日, 異なるアニオンが混在した固溶体型銅金属錯体の作製とガス吸着挙動, 日本化学会北海道支部 2011年夏季研究発表会, 室蘭, 口頭
- 福原克郎, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2011年9月17日-19日, 選択的CO<sub>2</sub>吸着特性を示す1次元銅金属錯体における混合アニオン効果, 錯体化学会第61回討論会, 岡山, 口頭
- 福原克郎, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2011年9月20日-23日, 分極した無機アニオン分子混合による1次元銅金属錯体の吸着挙動制御, 第5回分子科学討論会2011 札幌, 札幌, ポスター
- 福原克郎, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2011年10月17日-20日, Synthesis and Gas Adsorption Properties of Copper Coordination Polymers Containing Two Kinds of Inorganic Anion Molecules, The Third Asian Conference on Coordination Chemistry (3rd ACCC), インド・ニューデリー, ポスター
- 福原克郎, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2011年11月21日-22日, Control of Gas Adsorption Properties in Copper(II) Coordination Polymers with Hetero Inorganic Anions, The 12th RIES-Hokudai International Symposium "観", 札幌, ポスター
- 福原克郎, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2011年11月, Control of gas adsorption properties in porous copper coordination polymer using anion-mixing method, The Third SEU-Hokkaido University Bilateral Symposium on Material Science, 札幌, 口頭
- 福原克郎, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2011年12月16日-17日, 多孔性金属錯体を用いたCO<sub>2</sub>吸着材料の開発, 有機固体若手の会 冬の学校2011, 札幌, ポスター
- 福原克郎, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2012年3月25日-28日, 1,3-bis(4-pyridyl)propane配位子が架橋した多孔性銅錯体におけるCO<sub>2</sub>ガス吸着状態の評価, 日本化学会第92春季年会, 横浜, 口頭
- 藤田彩華, 坂入信夫, 2012年1月31日, 低置換EDTAキトサンによる重金属イオンの吸着特性, 高分子学会第46回北海道支部研究発表会, 札幌, ポスター
- 丸山健一, 遠藤摩耶, 荒木素子, 孫尚鉉, 山岸裕, 大矢菜摘子, 谷道子, 山田幸司, 2012年1月31日-2月1日, POLARICTMを固定化した変色型蛍光センシングデバイスの開発, 化学系学協会北海道支部2012年冬季研究発表会, 札幌, ポスター
- 三浦裕紀, 神谷裕一, 2011年9月20日-22日, ヒドロキシル基およびn-ブチル基で修飾した4価Keggin型タングストリン酸セシウム塩の細孔特性, 第108回触媒討論会, 北見, 口頭
- 三浦裕紀, 神谷裕一, 2012年3月25日-28日, 一欠損型タング

- ストリン酸セシウム-カリウム塩の特異な分子収着挙動, 日本化学会第92春季年会, 横浜, 口頭
- 水谷純也, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2011年9月20日-23日, アルカリ土類金属イオンを含んだ多孔性軽金属錯体の合成とその性質, 第5回分子科学討論会2011札幌, 札幌, ポスター
- 水谷純也, 久保和也, 野呂真一郎, 中村貴義, 2011年1月31日-2月1日, 軽金属イオンを含んだ高分子型金属錯体の合成と構造, 化学系学協会北海道支部2012年冬季研究発表会, 札幌, ポスター
- 山木邦亮, 中田耕, 大澤雅俊, 嶋津克明, 2011年7月23日, 赤外分光法によるCu/Pd電極上の硝酸イオンの吸着状態解析, 日本化学会北海道支部 2011年 夏季研究発表会, 室蘭, 口頭
- 山木邦亮, 中田耕, 大澤雅俊, 嶋津克明, 2011年9月9日-11日, 赤外分光法を用いたPd およびCu/Pd 電極上での亜硝酸イオンの吸着状態解析, 2011年電気化学秋季大会, 新潟, 口頭
- 山木邦亮, 中田耕, 嶋津克明, 大澤雅俊, 2011年1月31日-2月1日, 赤外分光法によるCu/Pd電極上の窒素酸化物の吸着状態解析, 化学系学協会北海道支部2012年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 山岸裕, 孫尚鉉, 青柳麻衣子, 山田幸司, 2011年10月8日, レシオメトリック測定を可能にする新奇な化学発光ソルバトクロミック色素の創製, 生物発光化学発光研究会第28回学術講演会, 長崎, ポスター
- 山岸裕, 孫尚鉉, 谷道子, 青柳麻衣子, 山田幸司, 2011年7月23日, 蛍光ソルバトクロミック色素の電子吸引基が光物性に与える影響, 日本化学会北海道支部 2011年夏季研究発表会, 室蘭, 口頭
- 山下綾乃, 濱出唯芽, 田中俊逸, 菅正彦, 2011年11月13日-15日, カーボンファイバー電極を用いた電気化学的手法による芳香族化合物類の捕集に関する研究, 第一回CSJ化学フェスタ -2011 世界化学年記念大会-, 東京, 口頭
- 山田幸司, 孫尚鉉, 山岸裕, 谷道子, 湯浅麻衣子, 2011年10月26日-28日, On-demand Synthesis of Wavelength-Shiftable Fluorescent Probes POLARICTM for Monitoring Membrane Dynamics, 「細胞を創る」研究会 4.0, 大阪, ポスター
- 吉竹理, 久保和也, 遠藤格, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2011年9月20日-23日, 置換anilinium/dicyclohexano[18]crown-6超分子カチオンを導入した[MnCr(oxalate)]<sub>3</sub>-錯体の構造と物性, 第5回分子科学討論会2011札幌, 札幌, ポスター
- 吉竹理, 久保和也, 遠藤格, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2012年1月31日-2月1日, (m-fluoroanilinium) (dicyclohexano[18]crown-6) [MnCr(oxalate)]<sub>3</sub> 結晶の構造と物性, 化学系学協会北海道支部2012年冬季研究発表会, 札幌, ポスター
- 吉竹理, 久保和也, 遠藤格, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2012年3月25日-28日, (m-fluoroanilinium+) (dicyclohexano[18]crown-6) 超分子ローターと[MnCr(oxalate)]<sub>3</sub>-錯体の複合化による分子性マルチフェロイック材料の開拓, 日本化学会第92春季年会, 横浜, 口頭
- 巖寅男, 芥川智行, 久保和也, 野呂真一郎, 中村貴義, 2011年7月23日, 3-fluoroadamantylammonium/dibenzo[18]crown-6/[Ni(dmit)]<sub>2</sub>塩の構造と物性, 日本化学会北海道支部 2011年 夏季研究発表会, 室蘭, 口頭
- 巖寅男, 芥川智行, 久保和也, 野呂真一郎, 中村貴義, 2011年9月20日-23日, (3-fluoro-1-adamantylammonium) ([18]crown-6)[Ni(dmit)]<sub>2</sub>の多形と物性, 第5回分子科学討論会2011札幌, 札幌, 口頭
- 巖寅男, 芥川智行, 久保和也, 野呂真一郎, 中村貴義, 2012年1月31日-2月1日, 多形を有する(3-fluoroadamantylammonium) ([18]crown-6)[Ni(dmit)]<sub>2</sub>塩の構造と物性, 化学系学協会北海道支部2012年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 巖寅男, 芥川智行, 久保和也, 野呂真一郎, 中村貴義, 2012年3月25日-28日, ([18]crown-6)[Ni(dmit)]<sub>2</sub>結晶多形における超分子ローターの分子運動と誘電応答, 日本化学会第92春季年会, 横浜, 口頭
- 劉尊奇, 李玲, 久保和也, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2011年5月11日-13日, 4-aminopyridinium/[18]crown-6誘導体超分子カチオンを含む[Ni(dmit)]<sub>2</sub>塩の結晶構造と物性, 2011年度 ナノマクロ物質・デバイス・システム創成アライアンス「次世代エレクトロニクス」グループ分科会, 沖縄, ポスター
- 劉尊奇, 李玲, 久保和也, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2011年7月23日, Pyridazinium/[18]crown-6誘導体超分子カチオンを含む[Ni(dmit)]<sub>2</sub>塩の結晶構造と物性, 日本化学会北海道支部 2011年 夏季研究発表会, 室蘭, 口頭
- 劉尊奇, 李玲, 久保和也, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2011年9月20日-23日, 4-aminopyridinium/[18]crown-6誘導体超分子カチオンを含む[Ni(dmit)]<sub>2</sub>塩の結晶構造と物性, 第5回分子科学討論会2011札幌, 札幌, ポスター
- 劉尊奇, 李玲, 久保和也, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2012年1月31日-2月1日, Aminopyridine 誘導体/dibenzo[18]crown-6 超分子カチオンを含む[Ni(dmit)]<sub>2</sub>塩の構造と物性, 化学系学協会北海道支部2012年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 劉尊奇, 李玲, 久保和也, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2012年3月25日-28日, (アミノピリジン-ク라운エーテル)誘導体 超分子カチオン/[Ni(dmit)]<sub>2</sub>塩の構造と誘電性, 日本化学会第92春季年会, 横浜, 口頭
- (平成24年度)
- Buranaboripann, W., Motomura, E., Sakairi, N., 2012年7月12日-13日, Synthesis and investigation of the inclusion property of 6-p-toluidinyl naphthalene-2-sulphonate with 8-cyclodextrin linked chitosan, 第26回キチン・キトサンシンポジウム, 札幌, 口頭
- Chiang, H. C., Iimori, T., Ohta, N., Onodera, T., Oikawa, H., 2012年9月12日-14日, Electroabsorption spectroscopy of DAST microcrystals in solution, 2012光化学討論会, 東京, ポスター
- Fukuhara, K., Noro, S., Kubo, K., Nakamura, T., 2012年9月21日-23日, Rational Synthesis of Copper Complexes Bridged by Inorganic Anions Using an Anion Mixing Method, 錯体化学会 第62回討論会, 富山, 口頭
- Ge, A., Kadowaki, K., Matsusaki, M., Osawa, M., Akashi, M., Ye, S., 2012年9月24日-28日, Interfacial Structures of Polyelectrolyte Multilayers—A Sum Frequency Generation (SFG) Vibrational Spectroscopy Study—, Vibrations at Surfaces 14, 神戸, ポスター
- Ge, A., Kadowaki, K., Matsusaki, M., Osawa, M., Akashi, M., Ye, S., 2013年2月5日-6日, Salt Effect on Surface

- Structure of Polyelectrolyte Multilayers Investigated by SFG Spectroscopy, CRC International Symposium New Challenges on the Bio-interfaces: Structures and Dynamics, 札幌, ポスター
- Hienuki, U., Ohtani, B., 2012年6月23日-28日, Measurements of amorphous contents in titania photocatalysts by powder X-ray diffraction analysis, Interfacial Phenomena in Theory and Practice VII Scientific Workshop for Postgraduate Students, ポーランド・スドミエ, 口頭
- Hori, H., Ohtani, B., 2012年10月7日-12日, Preparation of Bismuth Tungstate Nanocrystallites by Ball Milling of Flake-ball Particles and Their Photocatalytic Activity, PRiME 2012 (222nd ECS), アメリカ・ハワイ, ポスター
- Janczarek, M., Yang, Z., Takase, M., Ohtani, B., 2012年12月10日, Gas-phase preparation of decahedral single-crystalline anatase particles with tunable properties, 第19回シンポジウム「光触媒反応の最近の展開」, 東京, ポスター
- Janczarek, M., Yang, Z., Takase, M., Ohtani, B., 2013年1月29日-30日, Gas-Phase Preparation, Characterization and Photocatalytic Activity of Decahedral Anatase Titania Particles, 化学系学協会北海道支部 2013年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- Kamlesh, A., 中林孝和, 本間将人, 太田信廣, 2012年9月18日-21日, ナノ秒パルス電場誘起細胞機能変化と蛍光寿命イメージング分光, 第6回分子科学討論会, 東京, 口頭
- Kamiya, Y., Zhang, J., Kanno, M., Wang, Y., Nishii, H., Miura, Y., 2012年7月1日-6日, Changes in Surface Acidity of  $H_4SiW_{12}O_{40}/SiO_2$  in Relation to the Loading Amount, 15th International Congress on Catalysis 2012, ドイツ・ミュンヘン, ポスター
- Kamiya, Y., Wang, C., Sakamoto, Y., Ichikawa, S., 2012年9月2日-6日, Catalytic oxidation of ammonia with nitrite and ozone in water at mild reaction temperature, 7th International Conference on Environmental Catalysis, フランス・リヨン, ポスター
- Kominami, H., Tanaka, A., Ogino, A., Iwaki, M., Hashimoto, K., Ohnuma, A., Amano, F., Ohtani, B., 2012年9月5日-8日, Gold-Titanium(IV) Oxide Plasmonic Photocatalysts Prepared by Newly Developed Colloid-Photodeposition Method: Correlation Between Physical Properties and Photocatalytic Activities, GOLD2012, 東京, 口頭
- Mahardiani, L., Ichikawa, S., Kamiya, Y., 2013年3月22日-25日, Decomposition of Ammonium Ion in Water by Catalytic Ozonation Using Cobalt Oxide, 日本化学会年会第93回春季大会 (2013), 草津, 口頭
- Miura, Y., Kamiya, Y., 2012年7月1日-6日, Catalytic properties of caesium salts of phosphotungstate with hydroxyl-tin group for acid-catalyzed and oxidation reactions, 15th International Congress on Catalysis 2012, ドイツ・ミュンヘン, ポスター
- Muto, Y., Noro, S., Kubo, K., Nakamura, T., 2012年12月13日-14日, Synthesis and Properties of Two-Dimensional Layered Copper Hydroxides with Fluorinated Anions, The 13th RIES-Hokudai International Symposium "律", 札幌, ポスター
- Ohnuma, A., Ohtani, B., 2012年5月13日-18日, A strategy to form an amorphous arrangement of metal nanoparticles using eccentric hybrid particles, 第14回IACIS国際会議, 仙台, ポスター
- Ohtani, B., Sano, M., Takase, M., 2012年11月12日-15日, Crystalline Composition Analyses and Its Effect on the Photocatalytic Activities of Particulate Titania Photocatalysts, 17th International Conference on Semiconductor Photocatalysis and Solar Energy Conversion (SPASEC-17), アメリカ・ジャクソンビル, 口頭
- Peng, Q., Osawa, M., Ye, S., 2013年2月5日-6日, Molecular Structure in Langmuir-Blodgett Multilayer of Fatty Acid probed by Sum Frequency Generation, CRC International Symposium New Challenges on the Bio-interfaces: Structures and Dynamics, 札幌, ポスター
- Qiao, L., Osawa, M., Ye, S., 2012年9月24日-28日, Sum Frequency Generation (SFG) Study on Mixed monolayers of Saturated and Unsaturated Phospholipids, Vibrations at Surfaces 14, 神戸, ポスター
- Qiao, L., Osawa, M., Ye, S., 2013年2月5日-6日, Structure and Stability Studies of Mixed Monolayers of saturated and Unsaturated Phospholipids, CRC International Symposium New Challenges on the Bio-interfaces: Structures and Dynamics, 札幌, ポスター
- Sano, M., Ohtani, B., 2012年10月7日-12日, Crystalline Composition Analysis of Titanium (IV) Oxide Photocatalyst Particles by X-ray Diffraction Analysis, PRiME 2012 (222nd ECS), アメリカ・ハワイ, ポスター
- Suherman, 川口俊一, 嶋津克明, 2013年1月29日-30日, SPR Sensor Using Functionalized Alkanethiol Monolayer Modified Au Chip, 化学系学協会北海道支部 2013年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- Suherman, 川口俊一, 嶋津克明, 2013年3月17日-21日, Functionalized Alkanethiol Monolayer Domain Structure Effect on the SPR Sensing, Pittcon 2013, アメリカ・フィラデルフィア, 口頭
- Wei, Z., Ohtani, B., 2012年12月10日, Photocatalytic activity and physical properties of octahedral single crystalline titanium (IV) oxide particles, 第19回シンポジウム「光触媒反応の最近の展開」, 東京, ポスター
- Wei, Z., Ohtani, B., 2013年1月29日-30日, Preparation, Characterization and Photocatalytic Activity of Octahedral Anatase Titania Photocatalysts, 化学系学協会北海道支部 2013年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- Yoshitake, M., Kubo, K., Endo, T., Noro, S., Akutagawa, T., Nakamura, T., 2012年9月9日-13日, Structure and dielectric properties of a supramolecular rotator in (m-fluoronilinium+)(dicyclohexano[18]crown-6)[Mn<sup>II</sup>Cr<sup>III</sup>(oxalate)<sub>3</sub>], 40 International Conference on Coordination Chemistry, スペイン・バレンシア, ポスター
- 飯嶋洋平, 川口俊一, 嶋津克明, 2013年1月29日-30日, ナノ粒子固定化炭素電極の調製とキャラクタリゼーション, 化学系学協会北海道支部 2013年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 飯森俊文, サベト・ファルザナ, 太田信廣, 2012年9月18日-21日, モット絶縁体重水素化κ<sup>-</sup> (BEDT-TTF) 2 Cu [N(CN)<sub>2</sub> Br]における光と電場による絶縁体-金属転移, 第6回分子科学討論会, 東京, 口頭
- 飯森俊文, サベト・ファルザナ, 太田信廣, 2012年11月12日

- 15 日, Photoexcitation dynamics in organic superconductors by using time-resolved measurement of electrical conductivity, 7th Asian Photochemistry Conference 2012, 大阪, ポスター
- 石橋秀規, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2012年9月18日-21日, メタンスルホン酸アニオンを含む4,4'-ビピリジン架橋型金属錯体の合成と吸着特性, 第6回分子科学討論会, 東京, ポスター
- 磯村洵子, 嶋津克明, 2013年1月29日-30日, カルボキシ基導入によるシクロデキストリン単分子膜に包接特性制御, 化学系学協会北海道支部 2013年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 市川昇一, 神谷裕一, 2012年9月24日-26日, 酸化コバルト触媒による水中アンモニウムイオンの選択的オゾン酸化分解, 第110回触媒討論会, 福岡, 口頭
- 井上実行, 坂入信夫, 2012年7月12日-13日, マルトース結合キトサン誘導体のレクチン認識, 第26回キチン・キトサンシンポジウム, 札幌, ポスター
- 梅澤大樹, 清野智也, 松田冬彦, 2012年8月4日, Dolastatin16の全合成研究, 日本化学会北海道支部2012年夏季研究発表会, 旭川, 口頭
- 梅澤大樹, 清野智也, 松田冬彦, 2012年8月4日, アルデヒド、酸フッ化物、トリメチルシリルメチルホスホネートの3成分カップリング反応, 日本化学会北海道支部2012年夏季研究発表会, 旭川, 口頭
- 梅澤大樹, 清野智也, 松田冬彦, 2012年9月18日-20日, アルデヒド、酸フッ化物、トリメチルシリルメチルホスホネートの3成分カップリング反応, 第54回天然有機化合物討論会, 東京, 口頭
- 遠藤大五郎, 芥川智行, 久保和也, 野呂真一郎, 中村貴義, 2012年9月18日-21日, クラウンエーテルサイズによる(2-aminoanilium)(crown ether){PMO<sub>12</sub>O<sub>40</sub>}<sup>4-</sup>配列の変化, 第6回分子科学討論会, 東京, ポスター
- 遠藤大五郎, 久保和也, 野呂真一郎, 中村貴義, 2013年3月22日-25日, フルオロアニリン誘導体とp-トルエンスルホン酸からなる塩の結晶構造と物性, 日本化学会年会第93回春季大会(2013), 草津, 口頭
- 生沼要, 飯森俊文, 太田信廣, 2012年9月18日-21日, 有機導体λ<sup>-</sup>(BETS) 2 FeCl<sub>4</sub>の電気伝導度における電場効果と光照射効果, 第6回分子科学討論会, 東京, ポスター
- 大島雄, 久保和也, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2012年9月18日-21日, m-fluoroanilium/dicyclohexaco[18]crown-6 超分子カチオンを含む[Ni(dmit)<sub>2</sub>]塩の結晶構造と物性, 第6回分子科学討論会, 東京, ポスター
- 大島雄, 久保和也, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2013年3月22日-25日, (4-minopyridinium)(dicyclohexano[18]crown-6)超分子カチオンを含む[Ni(dmit)<sub>2</sub>]塩の結晶構造と物性, 日本化学会年会第93回春季大会(2013), 草津, 口頭
- 大島雄, 久保和也, 野呂真一郎, 中村貴義, 2012年12月13日-14日, Crystal Structure and Physical Properties of(m-fluoroanilinium)(dicyclohexano[18]crown-6)[Ni(dmit)<sub>2</sub>], The 13th RIES-Hokudai International Symposium "律", 札幌, ポスター
- 大森徹, 川口俊一, 嶋津克明, 2013年1月29日-30日, フェロセニルヘキサチオール単分子膜修飾電極を用いた尿酸センサ, 化学系学協会北海道支部 2013年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 大森徹, 川口俊一, 嶋津克明, 2013年3月29日-31日, 三電極センサチップを用いた尿中の尿酸検出, 電気化学会創立第80周年記念大会, 仙台, 口頭
- 岡佳和, 上谷祐介, 諸角達也, 中村博, 2012年5月19日-20日, 簡便な界面活性剤検出のためのアントラセン誘導体型蛍光試薬の開発, 第72回日本分析化学討論会, 鹿児島, ポスター
- 岡佳和, 上谷祐介, 諸角達也, 中村博, 2012年9月19日-21日, クラウンエーテルに色を付ける/錯形成を光で見る/, 日本分析化学会第61年会, 金沢, 口頭
- 加藤亮, 長坂隆広, 周紅波, 孫尚鉉, 服部敏明, 山田幸司, 2012年5月19日-20日, 蛍光色素担持可塑性PVC膜の温度及び水分に対する蛍光応答機能評価, 第72回日本分析化学討論会, 鹿児島, 口頭
- 加藤雄貴, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2012年8月4日, 金クラスターとポリ酸からなる多孔性複合結晶の設計, 日本化学会北海道支部2012年夏季研究発表会, 旭川, 口頭
- 加藤雄貴, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2012年9月21日-23日, 金クラスターとポリ酸からなる多孔性複合結晶の構築と特性, 錯体化学会 第62回討論会, 富山, ポスター
- 神谷裕一, 安藤卓, 佐野翔吾, 2012年10月11日-12日, 12-タングストリン酸セシウム-鉄塩の酸性質評価, 第42回石油・石油化学討論会, 秋田, 口頭
- 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2012年5月13日-18日, Unique optical and redox properties of ultrasmall gold clusters with defined core structures, 第14回IACIS国際会議, 仙台, ポスター
- 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2013年1月29日-30日, 非球状サブナノAuクラスターのスペクトル特性と酸化還元挙動, 化学系学協会北海道支部 2013年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 亀井優太郎, 七分勇勝, 小林直貴, 小西克明, 2013年3月22日-25日, チオレート配位子を位置特異的に導入したAu8クラスターの合成と酸化還元挙動, 日本化学会年会第93回春季大会(2013), 草津, 口頭
- 亀井優太郎, 七分勇勝, Reinhardt, M., Robertson, N., 小西克明, 2012年9月5日-8日, Molecular Au<sub>8</sub> clusters with unique geometries and optical/redox properties, GOLD2012, 東京, ポスター
- 亀井優太郎, 七分勇勝, Reinhardt, M., Robertson, N., 小西克明, 2012年9月21日-23日, 酸化還元によりコア構造転移を示す非球状サブナノ金属クラスター, 錯体化学会 第62回討論会, 富山, 口頭
- 喬琳, 大澤雅俊, 叶深, 2012年6月23日-24日, 飽和と不飽和脂質分子の混合単分子膜の構造研究と安定性評価, 第28回ライラックセミナー・第18回若手研究者交流会, 小樽, ポスター
- 久保和也, 巖寅男, 中村貴義, 野呂真一郎, 芥川智行, 2012年9月18日-21日, (adamantylammonium)<sub>2</sub>(benzo[18]crown-6)<sub>2</sub>[Pd(dmit)<sub>2</sub>](acetone)<sub>2</sub>の構造と物性, 第6回分子科学討論会, 東京, ポスター
- 小西克明, 福永直人, 2012年11月25日-30日, Specific Response of PEG-Coated Semiconductor Clusters to Lipophilic Compounds, 2012MRS Fall Meeting & Exhibit, アメリカ・ボストン, ポスター
- 小西克明, 福永直人, 2012年12月11日-14日, Unique response of PEG-modified semiconductor clusters in aqueous media, The 9th SPSJ International Polymer Conference, 神戸, 口頭
- 小林直貴, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2013年1月29日-30日, 有機機能团で修飾したサブナノ金クラスターの合成と性質, 化学系学協会北海道支部 2013年冬季

- 研究発表会, 札幌, ポスター
- 小林直貴, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2013年3月22日-25日, 有機配位子修飾サブナノ金クラスターの合成と光機能探索, 日本化学会年会第93回春季大会 (2013), 草津, 口頭
- 佐々木隆浩, 山下綾乃, 三原義広, 田中俊逸, 2012年5月19日-21日, プルシアンブルー修飾磁性吸着剤を用いたセシウム汚染土壌処理法の検討, 環境放射能除染学会, 第一回研究発表会, 福島, ポスター
- 佐藤祐輔, 川口俊一, 嶋津克明, 2012年6月23日-24日, 炭素電極上に修飾した最密充填単分子層の表面構造と電気化学特性, 第28回ライラックセミナー・第18回若手研究者交流会, 小樽, ポスター
- 佐藤祐輔, 川口俊一, 嶋津克明, 2012年8月4日, フェロセン末端単分子層修飾カーボン電極の蓄電容量増幅法, 日本化学会北海道支部2012年夏季研究発表会, 旭川, 口頭
- 佐藤祐輔, 川口俊一, 嶋津克明, 2012年10月7日-12日, Capacitor Property of Ferrocene Terminated Monolayer modified Carbon Electrode, PRiME 2012 (222nd ECS), アメリカ・ハワイ, ポスター
- 佐藤祐輔, 川口俊一, 嶋津克明, 2012年10月16日, Electrochemical Properties and Surface Structures of Closest-Packed Alkylamine Monolayer on Carbon Electrode, 北海道大学サステナビリティウィーク 2012 第4回サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト, 札幌, ポスター
- 佐藤祐輔, 川口俊一, 嶋津克明, 2012年12月16日, Electrochemical Properties and Surface Structures of Closest-Packed Alkylamine Monolayer on Carbon Electrode, 環境科学院/GCOE-RA 合同成果報告発表会, 札幌, ポスター
- 佐野美香子, 大谷文章, 2012年6月23日-24日, X線回折による酸化チタン(IV)光触媒微粒子の結晶構造解析, 第28回ライラックセミナー・第18回若手研究者交流会, 小樽, 口頭
- 佐野美香子, 高瀬舞, 大谷文章, 2012年8月6日-7日, X線回折による酸化チタン光触媒の結晶構造解析, 第52回オーロラセミナー, 幕別, 口頭
- 佐野美香子, 高瀬舞, 大谷文章, 2012年11月20日-22日, 粉末X線回折による微粒子酸化チタン光触媒の結晶構造解析と活性評価, 第32回表面科学学術講演会, 仙台, 口頭
- 七分勇勝, 亀井優太郎, 小西克明, 2012年5月13日-18日, Non-Spherical-Shape Gold Clusters with Unique Absorption Bands: Correlation between Geometric and Electronic Structures, 第14回IACIS国際会議, 仙台, 口頭
- 七分勇勝, 亀井優太郎, 小西克明, 2012年9月5日-8日, Non-Spherical Gold Clusters Exhibit Intense Absorption Bands: Correlation between Geometric and Electronic Structures, GOLD2012, 東京, 口頭
- 七分勇勝, 亀井優太郎, 小西克明, 2012年9月21日-23日, 新規サブナノAuクラスター群の合成と構造に基づく特性開拓, 錯体化学会 第62回討論会, 富山, 口頭
- 瀬田敬太, 七分勇勝, 小西克明, 2012年5月26日-27日, ティアラ型環状金属チオラートクラスターの選択的な金属イオンとの相互作用, 第9回ホスト・ゲスト化学シンポジウム, 札幌, ポスター
- 瀬田敬太, 七分勇勝, 小西克明, 2012年8月4日, 環状金属チオラートクラスターの選択的な金属イオンとの錯形成, 日本化学会北海道支部2012年夏季研究発表会, 旭川, 口頭
- 瀬田敬太, 七分勇勝, 小西克明, 2012年9月9日-13日, Facile complexation of tiara-shaped Pd(II) thiolate cluster with silver ion, 40 International Conference on Coordination Chemistry, スペイン・バレンシア, ポスター
- 瀬田敬太, 七分勇勝, 小西克明, 2012年9月19日-21日, 環状オリゴ金属チオラートの選択的な金属イオン認識活性, 第61回高分子討論会, 名古屋, ポスター
- 瀬田敬太, 七分勇勝, 小西克明, 2013年1月29日-30日, ティアラ型金属硫化物オリゴマーによる遷移金属イオンの認識, 化学系学協会北海道支部 2013年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 瀬田敬太, 七分勇勝, 小西克明, 2013年3月22日-25日, 金属チオラート骨格を有するティアラ型環状ホストの合成とその機能, 日本化学会年会第93回春季大会 (2013), 草津, 口頭
- 孫尚鉉, 谷道子, 本間和斗, 菅藤亮輔, 山岸裕, 山田幸司, 2012年5月19日-20日, 人工脂質2分子膜中でのPOLARICTMプローブの蛍光挙動の変化, 第72回日本分析化学討論会, 鹿児島, 口頭
- 高瀬舞, 佐野美香子, 稗貫右京, 大谷文章, 2013年3月25日-26日, 粉末X線回折による酸化チタン(IV)光触媒の組成・構造解析と活性への影響の評価, 第111回触媒討論会, 吹田, 口頭
- 高瀬舞, 楊ジョウ, 藤田千春, 大谷文章, 2012年9月12日-14日, 金の表面プラズモン共鳴吸収を利用する酸化チタン系光触媒材料の開発, 2012光化学討論会, 東京, 口頭
- 高瀬舞, 楊ジョウ, マルチン=ジャンチャレック, 大谷文章, 2013年1月29日-30日, 金を担持させた多面体型酸化チタン微粒子を用いる光触媒反応, 化学系学協会北海道支部 2013年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 張明喆, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2013年1月29日-30日, 含水有機溶媒中におけるAu6クラスターの特異的な光応答活性, 化学系学協会北海道支部 2013年冬季研究発表会, 札幌, ポスター
- 張明喆, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2013年3月22日-25日, 含水有機溶媒中におけるAu6クラスターのフォトクロミック特性, 日本化学会年会第93回春季大会 (2013), 草津, ポスター
- 富岡亮太, 本林健太, 内田太郎, 大澤雅俊, 2012年6月23日-24日, 表面増強赤外分光法を用いた電極表面上におけるシンコニジンの吸着構造の解明, 第28回ライラックセミナー・第18回若手研究者交流会, 小樽, ポスター
- 富岡亮太, 本林健太, 内田太郎, 大澤雅俊, 2012年11月20日-22日, 表面増強赤外分光法を用いた金属表面上におけるシンコニジンの吸着構造の解明, 第32回表面科学学術講演会, 仙台, 口頭
- 中田耕, Hossain, M. M., 大澤雅俊, 嶋津克明, 2013年3月29日-31日, 赤外分光法による白金-パラジウム電極上に吸着した硝酸イオンの吸着状態の解析, 電気化学会創立第80周年記念大会, 仙台, 口頭
- 中林孝和, 大島瑠利子, 太田信廣, 2012年9月12日-14日, 半導体ナノ粒子の外部電場による吸収・蛍光スペクトル変化: 粒径および半導体依存性, 2012光化学討論会, 東京, ポスター
- 中林孝和, 本間将人, Islam, M. S., 太田信廣, 2012年9月12日-14日, 自家蛍光寿命イメージングを用いた細胞内環境のその場測定, 2012光化学討論会, 東京, 口頭
- 野澤裕介, 川口俊一, 嶋津克明, 2013年1月29日-30日, 炭素基板上にキノンを固定化した新しい蓄電デバイスの開発, 化学系学協会北海道支部 2013年冬季研究発表会,

- 札幌, 口頭
- 野澤裕介, 佐藤祐輔, 川口俊一, 嶋津克明, 2013年3月29日-31日, キノン固定化単分子膜修飾炭素電極を用いたスーパーキャパシタ, 電気化学会創立第80周年記念大会, 仙台, 口頭
- 長谷川啓, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2012年9月18日-21日, 多孔性2次元Cu金属錯体の飽和・不飽和化水素吸着特性, 第6回分子科学討論会, 東京, ポスター
- 稗貫右京, 高瀬舞, 大谷文章, 2012年11月20日-22日, アナタースルチル混合微粒子酸化チタン光触媒の結晶組成の定量と光触媒活性評価, 第32回表面科学学術講演会, 仙台, 口頭
- 平山純, 阿部竜, 神谷裕一, 2012年8月6日-7日, Pt/TiO<sub>2</sub>とSn-Pd/Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>が共存した反応系とSn-Pd/TiO<sub>2</sub>単独系の中水硝酸イオン光還元反応特性の比較, 第52回オーロラセミナー, 幕別, ポスター
- 平山純, 阿部竜, 神谷裕一, 2012年9月24日-26日, 可視光応答型光触媒とSn-Pd/Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>が共存した反応系での水中硝酸イオン光還元反応, 第110回触媒討論会, 福岡, 口頭
- 平山純, 阿部竜, 神谷裕一, 2013年3月22日-25日, Pt/SrTiO<sub>3</sub>:RhとSn-Pd/Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>との共存反応系による可視光照射下での水中硝酸イオン光還元反応の反応機構, 日本化学会年会第93回春季大会 (2013), 草津, 口頭
- 福永直人, 小西克明, 2012年12月11日-14日, Optical properties and self-assembly behaviors of PEG-coated semiconductor clusters, The 9th SPSJ International Polymer Conference, 神戸, ポスター
- 福永直人, 七分勇勝, 小西克明, 2012年5月13日-18日, Luminescence Response of Water-Soluble Cadmium Chalcogenide Clusters to Small Organic Compounds, 第14回IACIS国際会議, 仙台, ポスター
- 福永直人, 七分勇勝, 小西克明, 2012年5月29日-31日, PEG修飾半導体性クラスターの応答機能, 第61回高分子学会年次大会, 横浜, ポスター
- 福永直人, 七分勇勝, 小西克明, 2012年6月14日-16日, 疎水内部空間を有するPEG修飾半導体性クラスターの応答機能, ナノ学会第10回大会, 大阪, ポスター
- 福永直人, 七分勇勝, 小西克明, 2012年8月19日-23日, Interaction of organic-functionalized luminescent cadmium chalcogenide clusters with small organic molecules in water, 244th ACS Fall meeting, アメリカ・フィラデルフィア, ポスター
- 福永直人, 七分勇勝, 小西克明, 2012年9月19日-21日, PEG修飾半導体性クラスターの水中における自己組織化とその光学的性質, 第61回高分子討論会, 名古屋, ポスター
- 福永直人, 鷲尾達也, 七分勇勝, 小西克明, 2013年3月22日-25日, PEG修飾半導体性クラスターの光学的性質と超分子集合体形成, 日本化学会年会第93回春季大会 (2013), 草津, 口頭
- 藤田彩華, 坂入信夫, 2012年7月12日-13日, 水溶性EDTAキトサンによる重金属イオン吸着特性, 第26回キチン・キトサンシンポジウム, 札幌, ポスター
- 藤田千春, 高瀬舞, 大谷文章, 2013年3月25日-26日, 金-酸化チタン系光触媒の調製と懸濁系反応特性, 第111回触媒討論会, 吹田, ポスター
- 彭奇齡, 大澤雅俊, 叶深, 2012年6月23日-24日, 和周波分光によるLB多層膜の界面構造評価, 第28回ライラックセミナー・第18回若手研究者交流会, 小樽, ポスター
- 堀晴菜, 大谷文章, 2012年6月23日-24日, タングステン酸ビスマス粒子の構造制御と光触媒活性評価, 第28回ライラックセミナー・第18回若手研究者交流会, 小樽, 口頭
- 堀晴菜, 高瀬舞, 大谷文章, 2012年8月6日-7日, フレークボール形状タングステン酸ビスマスの粉砕による構造変化と光触媒活性の評価, 第52回オーロラセミナー, 幕別, ポスター
- 堀晴菜, 高瀬舞, 大谷文章, 2013年1月29日-30日, タングステン酸ビスマス光触媒の活性におよぼす階層構造の影響, 化学系学協会北海道支部 2013年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 堀晴菜, 高瀬舞, 大谷文章, 2013年3月25日-26日, フレークボール形状タングステン酸ビスマス粒子の構造解析と光触媒活性におよぼす影響の解明, 第111回触媒討論会, 吹田, 口頭
- 本間将人, 中林孝和, 太田信廣, 2012年9月18日-21日, 細胞内フラビンの自家蛍光寿命を用いた単一細胞内pH計測, 第6回分子科学討論会, 東京, 口頭
- 本間将人, 中林孝和, 太田信廣, 2013年1月29日-30日, NADHの自家蛍光寿命を用いた細胞診断の機構の解明, 化学系学協会北海道支部 2013年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 本間将人, Islam, M. S., 中林孝和, 太田信廣, 2012年8月4日, FADの自家蛍光寿命を用いた細胞内pHのその場測定, 日本化学会北海道支部2012年夏季研究発表会, 旭川, 口頭
- 松本拓弥, 川口俊一, 嶋津克明, 2013年1月29日-30日, 炭素電極へのシクロデキストリン単分子層の構築, 化学系学協会北海道支部 2013年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 松本拓弥, 川口俊一, 嶋津克明, 2013年3月29日-31日, 炭素電極へのシクロデキストリン単分子層の構築とその包接特性, 電気化学会創立第80周年記念大会, 仙台, 口頭
- 丸山司羽佐, 平山純, 神谷裕一, 2013年3月22日-25日, 担持ニッケル触媒上での水中硝酸イオン還元反応における反応条件の影響, 日本化学会年会第93回春季大会 (2013), 草津, 口頭
- 三浦裕紀, 神谷裕一, 2012年9月24日-26日, Keggin型ヘテロポリ酸セシウム塩を触媒とした過酸化水素によるアルコールの酸化反応, 第110回触媒討論会, 福岡, 口頭
- 水谷純也, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2012年8月4日, 電荷分極型中性配位子による軽金属錯体の構造多様化の試み, 日本化学会北海道支部2012年夏季研究発表会, 旭川, 口頭
- 水谷純也, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2012年9月21日-23日, 電荷分極型中性配位子を有する多孔性軽金属錯体の合成と構造, 錯体化学会 第62回討論会, 富山, ポスター
- 三塚麻里奈, 川口俊一, 嶋津克明, 2013年3月29日-31日, 白金電極上へのシクロデキストリン単分子層の構築と包接特性評価, 電気化学会創立第80周年記念大会, 仙台, 口頭
- 三原義広, 田中俊逸, 2012年9月19日, 水底から水面へ移動する機能を持ったアルギン酸ゲルビーズの開発, 日本分析化学会第61年会, 金沢, 口頭
- 宮城裕一, 神谷裕一, 2012年9月23日, パルス法によるn-ブタン骨格異性化反応活性とベンゼン吸着等温線による親油性の評価, 第33回参照触媒討論会, 福岡, 口頭
- 宮城裕一, 神谷裕一, 2013年3月22日-25日, SiO<sub>2</sub>, TiO<sub>2</sub>, Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>担持H<sub>4</sub>SiW<sub>12</sub>O<sub>40</sub>触媒の酸触媒活性比較, 日本化学会年会第93回春季大会 (2013), 草津, 口頭
- 宮里利輝, 神谷裕一, 2013年3月22日-25日, 金属酸化物およ

び活性炭への吸着脱離を利用した水中からのリン酸イオンの分離回収，日本化学会年会第93回春季大会(2013)，草津，口頭

宮原正樹，久保和也，野呂真一郎，芥川智行，中村貴義，2012年9月18日-21日，(DABCO)<sub>2</sub>[Ni(dmit)<sub>2</sub>]<sub>2</sub>(CH<sub>3</sub>CN)<sub>2</sub>の結晶構造と物性，第6回分子科学討論会，東京，ポスター

宮原正樹，久保和也，野呂真一郎，中村貴義，2013年3月22日-25日，DABCO-[Ni(dmit)<sub>2</sub>]-結晶におけるプロトン化状態の制御，日本化学会年会第93回春季大会(2013)，草津，口頭

武藤雄一，野呂真一郎，久保和也，中村貴義，2012年9月18日-21日，含フッ素アニオンを有する二次元層状水酸化銅の合成と物性，第6回分子科学討論会，東京，ポスター

武藤雄一，野呂真一郎，久保和也，中村貴義，2013年3月22日-25日，含フッ素アニオンを含む二次元層状水酸化銅の吸着特性，日本化学会年会第93回春季大会(2013)，草津，口頭

八木祐太，大谷文章，2012年6月23日-24日，二重励起光音響分光法による酸化チタン(IV)光触媒中の格子欠陥密度の評価，第28回ライラックセミナー・第18回若手研究者交流会，小樽，口頭

八木祐太，佐野美香子，高瀬舞，大谷文章，2012年9月12日-14日，二重励起光音響分光法による酸化チタン(IV)光触媒中の格子欠陥密度の評価，2012光化学討論会，東京，ポスター

山本邦亮，大久保彰訓，野谷翔治，中田耕，大澤雅俊，嶋津克明，2012年10月7日-12日，Adsorption States and Reactivity of Nitric Oxide on Pd and Pd-based Binary Electrodes as Studied by Infrared Absorption Spectroscopy, PRiME 2012 (222nd ECS), アメリカ・ハワイ，ポスター

山下綾乃，佐々木隆浩，田中俊逸，2012年8月4日，土壤中Cs<sup>+</sup>の有機酸による溶出及びプルシアンブルー修飾マグネタイトによる磁器分離の適応，北海道支部2012年夏季研究発表会，旭川，口頭

齋寅男，芥川智行，久保和也，野呂真一郎，中村貴義，2013年3月22日-25日，naphthalene-1-aminium( benzo[18]crown-6)[Ni(dmit)<sub>2</sub>]結晶の構造と物性，日本化学会年会第93回春季大会(2013)，草津，口頭

楊ジョウ，大谷文章，2012年6月23日-24日，十面体形状アナタース酸化チタン(IV)微粒子の気相合成と構造・光触媒活性評価，第28回ライラックセミナー・第18回若手研究者交流会，小樽，口頭

楊ジョウ，高瀬舞，大谷文章，2012年9月24日-26日，十面体形状アナタース酸化チタン(IV)微粒子の気相合成と構造・光触媒活性評価，第110回触媒討論会，福岡，ポスター

楊ジョウ，マルチン=ジャンチャレック，高瀬舞，大谷文章，2012年11月21日-22日，十面体形状アナタース酸化チタン(IV)微粒子の気相合成と構造・光触媒活性評価，第31回 固体・表面光化学討論会，吹田，口頭

楊ジョウ，Janczarec, M.，高瀬舞，大谷文章，2012年11月21日-22日，十面体形状アナタース酸化チタン(IV)光触媒の気相合成と構造・活性評価，第31回 固体・表面光化学討論会，吹田，口頭

吉竹理，久保和也，杉原寛之，鈴木康孝，川俣純，芥川智行，野呂真一郎，中村貴義，2013年3月22日-25日，(m-fluoroanilinium) (dicyclohexano[18]crown-6)超分子カチオンと[MnCr(oxalate)<sub>3</sub>]からなる錯体結晶の極

性構造，日本化学会年会第93回春季大会(2013)，草津，口頭

芳村達也，金子大地，永谷広久，山岸裕，孫尚鉉，山田幸司，大塚利行，2012年5月19日-20日，両性イオン型POLARIC色素の油水界面での電位変調蛍光応答，第72回日本分析化学討論会，鹿児島，ポスター

李卿，亀井優太郎，七分勇勝，小西克明，2012年6月14日-16日，金を含む二元系金属サブナノクラスターの合成，ナノ学会第10回大会，大阪，ポスター

鷲尾達也，福永直人，七分勇勝，小西克明，2013年3月22日-25日，水中での糖認識を目指した半導体性クラスターの分子設計，日本化学会年会第93回春季大会(2013)，草津，口頭

## 12-4 受賞

### 環境起学専攻

本城慶多，2012年3月22日，沼口修士論文賞，故沼口助教教授の遺志を引き継ぎ、環境起学の理念にふさわしい優れた研究を行い修士論文をまとめた学生に授与

久保溪女，2013年2月7日，優秀講演賞，化学系学協会北海道支部2013年冬季研究発表会

長内雅浩，2013年3月25日，沼口修士論文賞，故沼口助教教授の遺志を引き継ぎ、環境起学の理念にふさわしい優れた研究を行い修士論文をまとめた学生に授与

森田真史，2013年3月25日，沼口修士論文賞，故沼口助教教授の遺志を引き継ぎ、環境起学の理念にふさわしい優れた研究を行い修士論文をまとめた学生に授与

王延青，2013年3月27日，Excellent Research Award, "FY2012 GSES-RA Research Results Presentation"での発表

### 地球圏科学専攻

Popova, A.，2013年1月17日，ISAR-3 Best Poster Award, ISAR-3においてベストポスター賞

榊原大貴，2012年9月28日，日本雪氷学会 雪氷研究大会 学生奨励賞，学会において若手に送られる優秀発表賞

坂崎貴俊，2013年3月4日，第3回(平成24年度)日本学術振興会育志賞，“対流圏・成層圏における日変動現象の統一的理解”

朱春茂，2012年10月4日，Young Scientists Program Poster Competition Winner, 学会「12th IGAC Open Science Conference」でのポスター発表について

津滝俊，2013年2月10日，中谷宇吉郎科学奨励賞，雪氷学会推薦による加賀市からの賞

寺尾建哉，2013年1月，JMSJ Award, 論文“Low Cloud Modulation by Synoptic Waves over the Eastern Tropical Pacific”が日本気象学会誌Journal of the Meteorological Society of Japanの2012年度優秀論文として顕彰

野坂裕一，2012年9月，2011年度日本地球化学会年会学生優秀口頭発表賞，“2010年春季親潮珪藻ブルーム期における透明細胞外 重合体粒子 (TEP) 分布の特徴”

野坂裕一，2013年3月18日，岩手県知事賞(平成21年度岩手県三陸海域研究論文)・岩手日報，“春季親潮珪藻ブルームにおける透明細胞外重合体粒子 (TEP) 分布の特徴”

福田武博，2012年12月26日，北海道大学環境科学院GCOE-RA成果発表会 優秀賞，“溢流水河の短期流動変化とそのメカニズムの解明”

渡邊武志, 2013年3月13日, 北海道大学えるむ賞, 環境科学院「見える化」システムを活用する環境負荷低減実現プロジェクトへの貢献

#### **環境物質科学専攻**

佐藤祐輔, 2012年6月24日, 第28回ライラックセミナー・第18回若手研究者交流会 優秀ポスター賞, 炭素電極上に修飾した最密充填単分子層の表面構造と電気化学特性について発表

佐藤祐輔, 2012年12月26日, 環境科学院/GCOE-RA 合同成果報告発表会 優秀研究賞, “Electrochemical Properties and Surface Structures of Closest-Packed Alkylamine Monolayer on Carbon Electrode”

小林直貴, 2013年2月7日, 化学系学協会北海道支部2013年冬季研究発表会 優秀ポスター賞

楊ジョウ, 2012年6月23日, 第28回ライラックセミナー・第18回若手研究者交流会優秀ポスター賞, “十面体形状アナタース酸化チタン (IV) 微粒子の気相合成と構造・光触媒活性評価”

楊ジョウ, 2012年9月25日, 第110回触媒討論会優秀ポスター発表賞, “十面体形状アナタース酸化チタン (IV) 微粒子の気相合成と構造・光触媒活性評価”

#### **生物圏科学専攻**

無し

## 1 3 修了後の進路

### 1 3-1 博士後期課程修了者

平成23年度～平成24年度修了者まで（平成25年5月1日現在）

#### 就職先別統計

学術研究 27, 公務員 1, 教育・学習支援 6, 製造業 1, その他 7, 計 42

#### 主な進路

##### 環境起学専攻

Institute of Environment Science, Amity University, India, 魚津市役所, 北海道大学, 東海大学

##### 地球圏科学専攻

独立行政法人海洋研究開発機構, 愛媛大学, 京都大学, 三重大学, ロシア北東連邦大学, マレーシア大学, 国立極地研究所, 独立行政法人水産総合研究センター, 京都大学生存圏研究所, 北海道大学低温科学研究所

##### 生物圏化学専攻

日本学術振興会特別研究員 (PD), JAMSTEC 高知コアセンター, 株式会社グリーンブルー, 国立極地研究所, 湾岸空港技術研究所, 北海道システムサイエンス株式会社, 上川農業試験場, ベナン環境自然資源省森林自然資源局, 北海道大学, 独立行政法人寒地土木研究所

##### 環境物質科学専攻

五稜化学株式会社, 名城大学, 出光興産株式会社, 産業技術総合研究所, 関西学院大学

## 13-2 修士（博士前期）課程修了者

平成23年度～平成24年度修了者まで（平成25年5月1日現在）

### 就職先別統計

博士後期課程進学（他大学院を含む） 52, 農業・林業 7, 漁業 1, 鉱業・採石・砂利採取 1, 建設業 4, 製造業 50, 電気・ガス・熱・水道 5, 情報通信 11, 運輸・郵便 3, 卸売・小売 12, 金融・保険 3, 不動産・物品賃貸 2, 学術研究 14, 宿泊・飲食サービス 2, 生活関連サービス 2, 医療・福祉 1, 教育・学習支援 10, その他サービス 5, 公務員 18, その他 1, 計 204

### 主な進路

#### 環境起学専攻

北海道畜産試験場, 財団法人日本食品分析センター, ナノサミット株式会社, 和弘食品株式会社, 王子製紙株式会社, 日本製紙株式会社, 株式会社JTB北海道, 札幌市, 福岡県, 株式会社シーエーモバイル, 株式会社ニトリ, 日比谷花壇, 東日本ハウス株式会社, 愛知県警察, リンナイ株式会社, 東海運輸株式会社, 澁澤倉庫株式会社, 北海道庁, タマノイ酢株式会社, 株式会社ゆうちょ銀行, 王子ホールディングス株式会社, 株式会社イオンモール, アクセンチュア株式会社, トーエイ株式会社, 株式会社長谷工コーポレーション, 株式会社御国色素, ANA新千歳空港株式会社

#### 地球圏科学専攻

株式会社ユニクロ, 日本プロセス株式会社, 株式会社ウェザーニューース, 大日本塗料株式会社, 札幌市立新琴似中学校, 株式会社ラプラス・システム, 株式会社ニトリ, 日本電気株式会社, 国際石油開発帝石株式会社, 日本工営株式会社, 早坂理工株式会社, 北海道電力株式会社, 株式会社アルファ水工コンサルタンツ, 明星電気株式会社, 株式会社富士通アドバンスソリューション, 株式会社ペイロール, 東亜石油株式会社, 株式会社ズコーシャ, オオスミ株式会社, 日本NCR株式会社, 札幌市, 株式会社MTG, 北海道立札幌南陵高校, リンナイ株式会社, 三菱重工株式会社, 近畿測量株式会社, 北見市, 株式会社PAP, 株式会社グラフィック, 富士通株式会社, 滋賀県庁

#### 生物圏科学専攻

株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア, 株式会社ケニス, 株式会社ACRONE T, 札幌市役所, 森産業株式会社, 富良野農業協同組合, 日本コンピューターシステム株式会社, 新潟県立高田北城高等学校, 日本海洋生物研究所, 株式会社NSC, 株式会社シャトー海洋調査, 社団法人北海道栽培漁業振興公社, 株式会社コニカミノルタビジネスエキスパート, 日産自動車株式会社, 不二貿易株式会社, 北海道信用漁業組合連合会, ヤマキ技研, 北海道立総合研究機構, 標津町役場, 磐城緑蔭中学校・高等学校, 北海道森林管理局上川北部森林管理署, 北海道大学, 株式会社野澤組, 青森県, 池田町役場, 株式会社TW北海道, 株式会社ゼンショーホールディングス, 三重県庁, 日本コカコーラボトラーズ株式会社, キューピー醸造株式会社, 株式会社サミー, 株式会社LIXIL, 味の素冷凍食品株式会社, 株式会社キッコーマン, 株式会社DSP五協フード&ケミカル, 今治造船株式会社, 株式会社静岡朝日テレビ, ゼビオ株式会社, モンベル株式会社, イオンリテール株式会社, 株式会社ベニレイ, ブリヂストンサイクル株式会社, 極洋株式会社, 株式会社ニチレイロジグループ, ダイナックス株式会社, 島根県, 北海道庁, roastery 百塔珈琲, タカラバイオ株式会社, 株式会社エフエフ東放, ケンコウマヨネーズ株式会社, 株式会社エー・ビーカンパニー, 石狩市役所, 日本配合飼料株式会社, 株式会社サカタのタネ

#### 環境物質科学専攻

藩陽新末医療器械有限公司, 花王株式会社, 東邦チタニウム株式会社, エスビー食品株式会社, 小林製薬株式会社, セイコーエプソン株式会社, 札幌第一高校, 大日本印刷株式会社, 株式会社リコー, 栗田工業株式会社, 大日本精化工業株式会社, 旭硝子株式会社, 有限会社メンデル工房, JFEコンテナ株式会社, 亀山市役所, 本田技研工業株式会社, 三菱マテリアル株式会社, 株式会社日吉, 有限会社日下レアメタル, 北海道銀行, JA函館, 出光興産株式会社, 株式会社アイレ, 日本ペイント株式会社, 日立化成工業株式会社, 日立製作所, 株式会社ディンプレックスジャパン, DIC株式会社



# V 補 遺



## 1 4 規程

### 北海道大学大学院環境科学院規程

平成17年4月1日制定  
海大達第49号

#### 第1章 総則

(趣旨)

**第1条** この規程は、国立大学法人北海道大学組織規則(平成16年海大達第32号)第27条の3第4項の規定に基づき、環境科学院(以下「本学院」という。)の教育課程等に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

**第1条の2** 本学院は、自然科学に基礎をおき、地球規模の環境問題の解明と解決を目指す教育研究を行うとともに、これらの課題に取り組む研究者及び高度専門職業人の養成を目的とする。

第1章の2 専攻及び課程

(専攻)

**第1条の3** 本学院に、次の専攻を置く。

環境起学専攻  
地球圏科学専攻  
生物圏科学専攻  
環境物質科学専攻

(課程)

**第2条** 本学院の課程は、博士課程とする。

#### 第2章 入学、再入学、転学、所属変更及び転専攻

(入学)

**第3条** 本学院に入学することのできる者は、北海道大学大学院通則(昭和29年海大達第3号。以下「通則」という。)第4条第4項に規定する修士課程(以下「修士課程」という。)にあっては、通則第10条第1項、通則第4条第4項に規定する博士後期課程(以下「博士後期課程」という。)にあっては、通則第10条第2項に該当する者で、本学院の行う選考に合格した者とする。

(再入学、転学、所属変更及び転専攻)

**第4条** 通則第13条各号又は第13条の2第1号に該当する者が本学院に再入学、転学又は所属の変更を願い出た場合及び通則第13条の2第2号に該当する者が転専攻を願い出た場合は、選考の上これを許可することがある。

#### 第3章 授業科目、修了要件、履修方法及び試験

(授業科目及び単位)

**第5条** 各専攻の授業科目及び単位は、別表のとおりとする。

2 前項に規定する授業科目のほか、必要がある場合においては、教授会の議を経て、臨時の授業科目を設けることができる。

(単位数の計算の基準)

**第5条の2** 各授業科目の単位数を定めるに当たっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実習については、45時間の授業をもって1単位とする。

(課程の修了要件)

**第6条** 修士課程の修了要件は、大学院に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士課程の目的に応じ、本学院の行う修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りるものとする。

2 本学院において教育上有益と認めるときは、他の専攻、研究科、他の学院若しくは教育部の専攻又は学部

の授業科目を指定して履修させ、修士課程の単位とすることができる。

3 本学院において教育上有益と認めるときは、北海道大学大学院理工系専門基礎科目規程(平成22年海大達第60号)に定める授業科目(以下この項及び次条において「理工系専門基礎科目」という。)のうち、別表に掲げる授業科目以外の理工系専門基礎科目を指定して履修させ、修士課程の単位とすることができる。

4 本学院において教育上有益と認めるときは、北海道大学大学院共通授業科目規程(平成12年海大達第24号)に定める授業科目(次条において「共通授業科目」という。)を指定して履修させ、修士課程の単位とすることができる。

**第7条** 博士課程の修了要件は、大学院に5年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学し、修士課程において30単位以上、博士後期課程において10単位以上をそれぞれ修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本学院の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に3年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。

2 前条第1項ただし書の規定による在学期間をもって修士課程を修了した者の博士課程の修了の要件については、前項中「5年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)」とあるのは「修士課程における在学期間に3年を加えた期間」と、「3年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)」とあるのは「3年(修士課程における在学期間を含む。)」と読み替えて、前項の規定を適用する。

3 前2項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第156条の規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、博士課程の後期3年の課程に入学した場合の博士課程の修了の要件は、大学院に3年以上在学し、10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本学院の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りるものとする。

4 本学院において教育上有益と認めるときは、理工系専門基礎科目のうち、別表に掲げる授業科目以外の理工系専門基礎科目を指定して履修させ、第1項の規定により修得すべき単位とすることができる。

5 本学院において教育上有益と認めるときは、共通授業科目を指定して履修させ、第1項の規定により修得すべき単位とすることができる。

(長期履修)

**第8条** 本学院において、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、教授会の議を経て、その計画的な履修(以下「長期履修」という。)を認めることができる。

2 長期履修に関し通則第4条の2に定めるもののほか、本学院において必要な事項は、教授会の議を経て、学院長が別に定める。

(他大学の大学院等における履修等)

**第9条** 本学院において教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、学生が他の大学の大学院の授業科目を履修し、又は外国の大学の大学院若しくは国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学(次条において「国際連合大学」という。)において学修することを認めることができる。

2 前項の規定により学生が履修した授業科目について修得した単位又は学修の成果については、修士課程及び博士後期課程を通して10単位を超えない範囲において、教授会の議を経て第6条第1項又は第7条の規定により修得すべき単位の一部とみなすことができる。

3 本学院において教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、学生が他の大学の大学院若しくは研究所等又は外国の大学の大学院若しくは研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることができる。ただし、修士課程の学生について認める場合には、当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。

(入学前の既修得単位の認定)

**第10条** 本学院において教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、新たに本学院に入学した学生が、本学院に入学する前に本学若しくは他の大学の大学院において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として履修した授業科目について修得した単位を含む。)又は外国の大学の大学院若しくは国際連合大学において学修した成果を、本学院に入学した後の本学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定により修得したものとみなすことができる単位数は、本学大学院において修得した単位以外のものについては、修士課程及び博士後期課程を通して10単位を超えない範囲において、第6条第1項又は第7条の規定により修得すべき単位の一部とすることができる。

(履修方法)

**第11条** 授業科目の履修方法の細目については、教授会の議を経て、学院長が定める。

(試験)

**第12条** 各授業科目の試験(以下「科目試験」という。)は、当該授業科目の授業が終了した学期末に行う。

ただし、やむを得ない事由があるときは、教授会の議を経て、臨時に実施することができる。

(成績の評価)

**第13条** 科目試験の成績は、秀、優、良、可及び不可の5種とし、秀、優、良及び可を合格とする。

(学位論文の提出期日)

**第14条** 修士課程及び博士課程の学位論文は、本学院の定める期日までに提出しなければならない。

#### 第4章 課程修了の認定

(課程修了の認定)

第15条 修士課程及び博士課程の修了は、当該課程の修了要件を満たした者について、教授会の議を経て認定する。

#### 第5章 特別聴講学生、特別研究学生、委託生及び外国人留学生

(特別聴講学生)

第16条 本学院において特定の授業科目を履修し、単位を修得しようとする他の大学の大学院又は外国の大学の大学院の学生があるときは、教授会の議を経て、特別聴講学生としてこれを許可することができる。

2 特別聴講学生は、学期又は学年ごとに許可する。

3 特別聴講学生に係る試験及び成績の評価については、第12条及び第13条の規定を準用する。

(特別研究学生)

第17条 本学院において研究指導を受けようとする他の大学の大学院又は外国の大学の大学院の学生があるときは、教授会の議を経て、特別研究学生としてこれを許可することができる。

(委託生)

第18条 通則第43条及び第44条の規定による委託生の入学については、教授会の議を経て、許可することができる。

(外国人留学生)

第19条 通則第47条の規定による外国人留学生の入学については、教授会の議を経て、許可することができる。

#### 附則

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

2 北海道大学大学院通則の一部を改正する規則(平成17年海大達第45号)附則第2項に規定する地球環境科学研究科の地圏環境科学専攻、生態環境科学専攻、物質環境科学専攻又は大気海洋圏環境科学専攻に在学する者(以下「地球環境科学研究科在学者」という。)に係る教育課程の実施及び課程修了の認定は、同附則第4項の規定に基づき環境科学院が行うものとし、当該地球環境科学研究科在学者に係る教育課程、課程修了の要件その他教育に関し必要な事項は、環境科学院において別に定める。

3 北海道大学大学院地球環境科学研究科規程(平成5年海大達第15号)は、廃止する。

附則(平成18年4月1日海大達第95号)

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附則(平成19年4月1日海大達第140号)

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

2 平成19年3月31日に本学大学院に在学する者(以下この項において「在学者」という。)及び同年4月1日以降に在学者の属する年次に入学する者については、改正後の第13条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則(平成19年12月26日海大達第285号)

この規程は、平成19年12月26日から施行する。

附則(平成20年4月1日海大達第83号)

1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。

2 平成20年3月31日に本学大学院に在学する者(以下この項において「在学者」という。)及び同年4月1日以降に在学者の属する年次に入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附則(平成22年4月1日海大達第95号)

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附則(平成23年4月1日海大達第121号)

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

## 1 5 予算

年度	(単位：千円)
	運営費交付金
平成23年度	9,715
平成24年度	10,386

## 1 6 安全管理

実施項目	平成23年度	平成24年度
防災訓練	5月13日	5月9日
実施内容：化学薬品吸着の取り扱い，排風機の取り扱い，AEDの使用方法，防火・防災に関するスライド上映，防火シャッター・防火戸設備の操作，屋内消火栓の操作		
安全教育	4月～5月	4月～5月
実施内容：「安全の手引き」，「安全の手引き CD 版」，「化学薬品の取扱いについて」，「安全マニュアル 環境科学院」を活用して安全教育を各研究室単位で実施		
職場巡視	10月～11月	11月
実施内容：教職員の安全管理に関する意識の高揚を図り，労働災害等の発生を防止するため，全ての実験室・居室等を対象に実施		

## 17 協定

### 国際交流：部局間交流協定

	国名	機関名	締結日	備考
1	アメリカ合衆国	イリノイ大学大学院シカゴ校 UIC Graduate College, The University of Illinois at Chicago	平成5年7月14日	
2	インドネシア共和国	パランカラヤ大学 University of Palangka Raya	平成7年3月16日 (更新：平成15年11月21日)	※
3	連合王国 (UK)	ノッチンガム大学 University of Nottingham	平成8年2月9日 (廃止：平成14年2月6日)	
4	ネパール連邦民主共和国	トリブバン大学科学技術研究科 Tribhuvan University	平成9年10月17日 (更新：平成17年1月20日)	※
5	中華人民共和国	蘭州大学資源環境学院 School of Earth and Environmental Sciences, Lanzhou University	平成9年11月17日	※
6	マレーシア	マレーシアサバ大学科学技術研究科 School of Science and Technology, Universiti Malaysia Sabah	平成10年1月16日 (廃止：平成15年1月15日)	
7	中華民国 (台湾)	国立成功大学 National Cheng Kung University	平成22年9月2日	※
8	ドイツ連邦民主共和国	GEOMAR   Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel	平成24年5月31日	
9	中華民国 (台湾)	国立東華大学 College of Environmental Studies, National Dong Hwa University	平成24年6月25日	
10	アメリカ合衆国	ユタ大学大学院・ナノ研究所 Graduate School/ Nano Institute of Utah, University of Utah	平成25年1月22日	
11	マレーシア	マレーシアサバ大学熱帯生物保全研究所 Institute for Tropical Biology and Conservation, Universiti Malaysia Sabah	平成26年2月5日	

※：後に大学間交流締結

### 国際交流：大学間交流協定

	国名	機関名	締結日	備考
1	大韓民国	ソウル大学校 Seoul National University	平成9年10月1日 (更新：平成14年10月1日, 平成19年10月1日)	
2	大韓民国	釜慶大学校 Pukyong National University	平成12年10月25日 (更新：平成17年10月25日, 平成22年10月25日)	
3	中華人民共和国	南開大学 Nankai University	平成18年5月11日 (更新：平成23年5月11日)	
4	インドネシア共和国	パランカラヤ大学 University of Palangka Raya	平成18年8月26日 (更新：平成23年8月26日)	※
5	スイス連邦	スイス連邦工科大学 Swiss Federal Institute of Technology Zurich (ETH)	平成19年6月13日 (更新：平成23年6月13日)	※
6	ロシア連邦	極東連邦総合大学 Far Eastern Federal University	平成19年11月12日	
7	オーストラリア連邦	タスマニア大学 University of Tasmania	平成21年1月19日	
8	インドネシア共和国	ボゴール農科大学 Bogor Agricultural University	平成21年7月29日	
9	中華人民共和国	蘭州大学 Lanzhou University	平成22年4月9日	
10	ネパール連邦民主共和国	トリブバン大学 Tribhuvan University	平成22年10月24日	※
11	中華人民共和国	東南大学 Southeast University	平成22年10月29日	※
12	中華人民共和国	廈門大学 Xiamen University	平成22年11月25日	

	国名	機関名	締結日	備考
13	中華人民共和国	西北農林科技大学 Northwest A&F University	平成23年10月13日	
14	大韓民国	成均館大学校 Sungkyunkwan University	平成24年12月27日	
15	中華民国（台湾）	国立成功大学 National Cheng Kung University	平成25年1月25日	

※：責任部局として参画

## 連携協定：連携・協力に関する基本合意書

	機関名	締結日
1	(株)星野リゾート・トマム	平成23年4月13日
2	環境中間支援会議・北海道	平成23年12月15日
3	(株)星野リゾート・トマム，占冠村	平成24年9月21日
4	北海道コカ・コーラボトリング株式会社	平成25年7月29日

